

# 町田市データブック

2021年度

2021年12月

町 田 市



# 目次

ねらい	17
利用にあたっての留意事項	17
グラフの見方	18
町田市・比較市・参考市 区域図	20
町田市・比較市・参考市 基礎データ	21

## I 基礎指標

<b>1 人口・世帯</b>	<b>25</b>
(1) 人口	25
①人口	
②人口密度【他市比較】	
(2) 世帯	26
①世帯数、1世帯あたり人員	
②1世帯あたり人員【他市比較】	
③世帯構成比【他市比較】	
(3) 年齢別人口	28
①年齢（3区分）別人口構成比	
②年齢（3区分）別人口構成比【他市比較】	
③人口ピラミッド	
(4) 老年化指数	29
①老年化指数	
②老年化指数【他市比較】	
(5) 人口動態	30
①人口動態	
(6) 外国人登録人口	31
①外国人登録人口	
②外国人登録人口構成比【他市比較】	
③市民1万人あたり外国人登録人口【他市比較】	
<b>2 土地利用</b>	<b>33</b>
(1) 地目別土地面積	33
①地目別土地面積構成比	
②地目別土地面積構成比【他市比較】	

(2) 公示価格	34
①住宅地・商業地の平均公示価格	
②住宅地の平均公示価格【他市比較】	
③商業地の平均公示価格【他市比較】	

## Ⅱ 福祉

1 子ども	39
(1) 保育サービス	39
①保育サービス定員	
②保育サービス提供率	
③保育所等の入所児童数	
④延長保育実施保育所数	
(2) 待機児童	41
①待機児童数	
②待機児童数の就学前児童人口比率【他市比較】	
③待機率	
④待機率【他市比較】	
(3) 学童保育	43
①学童保育クラブ入会児童数	
②1～3年生児童に占める学童保育クラブ入会児童の割合	
③1クラブあたり入会児童数【他市比較】	
(4) 各種手当	45
①児童手当受給者数、支給額	
②児童育成手当受給者数、支給額	
(5) 乳幼児医療の助成	46
①乳幼児医療対象者数	
②乳幼児医療費助成金額、助成件数	
(6) ひとり親家庭医療の助成	47
①ひとり親家庭医療費助成医療証交付世帯数	
②ひとり親家庭医療費助成金額、助成件数	
2 高齢者	48
(1) 高齢者福祉	48
①高齢者生活支援事業利用延べ回数	
②地域包括支援センター数、相談件数	
③成年後見制度相談新規受付け者数（高齢者）	
(2) 高齢者住宅	50

①高齢者住宅（シルバーピア）入居戸数	
②老人ホーム等入所者数	
③住宅設備改修給付・住宅改修予防給付利用件数	
④住宅改修支援事業（住宅改修アドバイザー）延べ利用回数	
(3) 介護保険	52
①第1号被保険者数、人口に占める第1号被保険者の割合	
②人口に占める第1号被保険者の割合【他市比較】	
③第1号被保険者に占める要介護（要支援）認定者（第1号）の割合【他市比較】	
④介護保険認定者数（第1号、第2号）	
(4) サービス受給状況	54
①サービス受給割合（第1号）【他市比較】	
(5) 後期高齢者医療費等	54
①受給者1人あたり後期高齢者医療費給付額、件数	
(6) 仲間づくり、健康づくり、社会参加等	55
①老人クラブ数、会員数	
②シルバー人材センター会員数、受託件数	
(7) 高齢者福祉センター	56
①高齢者福祉センター利用者数	
②町田市、相模原市の高齢者福祉センター相互利用数	
<b>3 障がい者</b>	<b>57</b>
(1) 障がい者福祉	57
①知的障がい者「愛の手帳」、身体障害者手帳所持者数	
②成年後見制度相談新規受付者数（障がい者）	
(2) 障がい者雇用	58
①障がい者雇用率	
<b>4 保健・医療</b>	<b>59</b>
(1) 医療施設	59
①医療施設数	
②病院病床数（総病床、一般病床）	
③市民1千人あたり病院病床数（総病床、一般病床）	
④市民1千人あたり病院病床数（総病床、一般病床）【他市比較】	
(2) 医療従事者	61
①医療従事者数	
②市民1千人あたり医師数	
③市民1千人あたり医師数【他市比較】	
(3) 市民病院	63

①市民病院の外来患者数、入院患者数	
(4) 救急診療	63
①救急診療延べ病院数、受診患者数	
②小児準夜急病診療患者数、休日歯科応急診療患者数	
(5) 健康診査等	64
①特定健診受診者数、受診率	
②がん検診受診者数	
③妊産婦、新生児、乳幼児訪問指導実施件数	
④予防接種の接種者数	
(6) 主要死因	66
①主要死因別死亡数	
<b>5 生活保護</b>	<b>67</b>
(1) 生活保護	67
①被保護人員、保護率（人員）	
②被保護世帯数、保護率（世帯）	
③年齢区分別被保護人員構成比	
④保護率（人員）【他市比較】	
<b>6 国民健康保険・国民年金</b>	<b>70</b>
(1) 国民健康保険	70
①国民健康保険被保険者数、加入割合	
②国民健康保険加入割合【他市比較】	
③被保険者1人あたり医療費（一般被保険者、退職被保険者等）	
(2) 国民年金	72
①国民年金被保険者数、免除者数、受給者数	

### Ⅲ 環境

<b>1 ごみ</b>	<b>75</b>
(1) 総ごみ量	75
①総ごみ量	
②市民1人1日あたり総ごみ量【他市比較】	
(2) ごみの資源化	76
①総資源化量、総資源化率	
②市民1人あたり総資源化量【他市比較】	
③総資源化率、可燃ごみの組成（乾ベース）【他市比較】	
(3) ごみ処理	78

①ごみ処理経費

<b>2 水質</b> . . . . .	79
(1) 河川の水質 . . . . .	79
①主要河川の環境基準点における水質の状況 (BOD75%値)	
<b>3 公害</b> . . . . .	80
(1) 公害 . . . . .	80
①公害関係苦情受付件数	
②公害関係苦情受付構成比【他市比較】	
(2) 航空機騒音 . . . . .	81
①航空機騒音測定回数	
②航空機騒音苦情受付件数	

## IV 経済

<b>1 労働</b> . . . . .	85
(1) 労働力状態 . . . . .	85
①労働力人口、人口に占める労働力人口の割合	
②人口に占める労働力人口の割合【他市比較】	
(2) 就業者 . . . . .	86
①産業大分類別 15 歳以上就業者数	
②産業大分類別 15 歳以上就業者構成比【他市比較】	
(3) 失業率 . . . . .	87
①完全失業者数、失業率	
②失業率【他市比較】	
(4) 事業所、従業者 . . . . .	88
①産業大分類別事業所構成比【他市比較】	
②産業大分類別従業者構成比【他市比較】	
<b>2 中小企業融資</b> . . . . .	90
(1) 中小企業融資 . . . . .	90
①中小企業融資利用件数	
②中小企業融資額	
<b>3 商業</b> . . . . .	92
(1) 卸売業、小売業事業所数 . . . . .	92
①卸売業、小売業事業所数	

②卸売業事業所数【他市比較】	
③小売業事業所数【他市比較】	
④卸売業、小売業事業所構成比【他市比較】	
(2)卸売業、小売業従業者数	94
①卸売業、小売業従業者数	
②卸売業従業者数【他市比較】	
③小売業従業者数【他市比較】	
④卸売業、小売業従業者構成比【他市比較】	
(3)卸売業、小売業年間販売額	96
①卸売業、小売業年間販売額	
②卸売業年間販売額【他市比較】	
③小売業年間販売額【他市比較】	
④卸売業従業者1人あたり年間販売額【他市比較】	
⑤小売業従業者1人あたり年間販売額【他市比較】	
(4)町田駅周辺	99
①町田駅周辺事業所数、従業者数	
②町田駅周辺年間販売額	
<b>4 工業</b>	<b>100</b>
(1)事業所数	100
①事業所数	
②事業所数【他市比較】	
(2)従業者数	101
①従業者数	
②従業者数【他市比較】	
(3)製造品出荷額等	102
①製造品出荷額等	
②製造品出荷額等【他市比較】	
③従業者1人あたり製造品出荷額等【他市比較】	
<b>5 農業</b>	<b>104</b>
(1)農家戸数	104
①農家戸数	
②農家構成比【他市比較】	
③1千世帯あたり農家戸数【他市比較】	
(2)農家人口	106
①農家人口	
②人口1千人あたり販売農家人口【他市比較】	

(3) 経営耕地面積	107
① 経営耕地面積	
② 経営耕地構成比【他市比較】	
③ 市域面積に占める経営耕地面積の割合【他市比較】	
(4) 市民農園	108
① 市民農園區画数、面積	

## V 都市基盤

1 交通	111
(1) 道路	111
① 道路延長	
② 道路構成比【他市比較】	
③ 道路率【他市比較】	
④ 道路平均幅員【他市比較】	
(2) 鉄道	113
① 市内鉄道路線別年間乗車人員	
② 主要駅別年間乗車人員【他市比較】	
(3) バス	114
① 地域コミュニティバス利用者数	
② 町田市民バス「まちっこ」利用者数	
③ 市内民営バス路線輸送人員、延べキロ数	
(4) 自動車	116
① 自動車保有台数	
② 1千世帯あたり乗用車保有台数【他市比較】	
2 交通安全	117
(1) 交通安全	117
① 交通事故発生件数（人身事故のみ）	
② 交通事故類型別構成比【他市比較】	
(2) 自転車対策	118
① 放置自転車撤去台数	
② 自転車駐輪場利用台数	
3 公園・緑地等	120
(1) 公園、緑地等	120
① 都市公園等面積、市民1人あたり都市公園等面積	
② 市民1人あたり都市公園等面積【他市比較】	

③市域面積に占める安定的に確保された緑地の割合

<b>4 住宅</b>	122
(1) 新設住宅	122
① 新設住宅着工数	
(2) 居住状況	123
① 1住宅あたり延べ面積【他市比較】	
② 建て方別住宅数	
③ 建て方別住宅構成比【他市比較】	
④ 住宅の所有関係別住宅構成比【他市比較】	
⑤ 駅からの距離別住宅構成比【他市比較】	
(3) 空き家状況	125
① 空き家率【他市比較】	
<b>5 下水道</b>	126
(1) 下水道	126
① 下水道処理区域面積、人口普及率、面積普及率	
② 人口普及率【他市比較】	
③ 下水処理量	
④ 公共下水道人口水洗化率	
<b>6 治水・防災</b>	129
(1) 治水	129
① 調整池の規模、箇所数	
② 雨水管面積整備率	
(2) 火災	130
① 市民1万人あたり火災発生件数【他市比較】	
② 建物不燃化率	
(3) 地域防災	131
① 消防団員数、火災・風水害等出動延べ人数	
② 自主防災組織数、自主防災組織リーダー講習会修了者延べ数	
(4) 防災無線	132
① 防災無線屋外拡声子局設置箇所数	

## VI 教育

<b>1 学校教育</b>	135
(1) 児童、生徒数	135

①市立小学校児童数、学級数	
②市立中学校生徒数、学級数	
③小学校1校あたり児童数【他市比較】	
④中学校1校あたり生徒数【他市比較】	
(2) 学校整備	137
①公立学校のトイレ改修実施延べ校数（小中学校）	
②公立学校の防音工事実施延べ校数（小中学校）	
(3) 情報化	138
①コンピュータ設置台数、1台あたり児童数（市立小学校）	
②コンピュータ設置台数、1台あたり生徒数（市立中学校）	
③コンピュータ1台あたり児童数（市立小学校）【他市比較】	
④コンピュータ1台あたり生徒数（市立中学校）【他市比較】	
(4) 学校図書	140
①蔵書数、学校図書館図書標準達成校割合（市立小中学校）	
②学校図書館図書標準達成校割合（市立小中学校）【他市比較】	
(5) 不登校	141
①不登校児童数、児童1千人あたり不登校児童数（市立小学校）	
②不登校生徒数、生徒1千人あたり不登校生徒数（市立中学校）	
(6) 相談、援助	142
①教育相談件数	
②就学援助費認定者数（小学校）	
③就学援助費認定者数（中学校）	
<b>2 生涯学習</b>	<b>144</b>
(1) 社会教育等	144
①市民ホール、和光大学ポプリホール鶴川入場者数	
②文化施設来館者数	
③レクリエーション施設来園（苑）者数	
④市民大学延べ受講者数、講座数	
(2) 図書館	146
①貸出図書数、登録者数	
②市民1人あたり貸出図書数【他市比較】	
③蔵書数、蔵書回転数	
④市民1人あたり蔵書数【他市比較】	
⑤蔵書回転数【他市比較】	
(3) 図書館相互利用	149
①相模原市民の町田市立図書館利用件数、登録者数	
②町田市民の相模原市立図書館利用件数、登録者数	

(4) スポーツ	150
①市立体育施設利用者数	
②学校開放施設利用者数	
③スポーツ教室延べ参加者数、開催回数	
④公立社会体育施設数【他市比較】	
(5) 青少年健全育成	152
①青少年施設利用者数	
②相模原市民の大地沢青少年センター利用者数	
③町田市民の相模原市立青少年施設「ビレッジ若あゆ」利用者数	

## VII 地域生活

1 コミュニティ	157
(1) 町内会自治会	157
①町内会自治会加入世帯数、加入率	
(2) 集会施設等	158
①コミュニティ施設ホールの利用者数	
②コミュニティ施設会議室の利用者数	
(3) NPO 法人	159
①NPO 法人数	
②市民1千人あたり NPO 法人数【他市比較】	
2 暮らし相談	160
(1) 暮らし相談	160
①女性相談件数	
②消費相談件数	
3 市民参画	162
(1) 情報公開	162
①町田市ホームページのアクセス件数	
②議会傍聴者数	
③情報公開、個人情報保護開示等請求件数	
(2) 市政に対する要望等	164
①市政に対する要望等の件数	
4 犯罪	165
(1) 刑法犯罪	165
①刑法犯認知件数、指数	

②人口1万人あたり刑法犯認知件数【他市比較】

## VIII 行政

1 組織	169
(1) 職員	169
① 職員数、職員1人あたり市民数	
② 職員1人あたり市民数【他市比較】	
③ ラスパイレス指数【他市比較】	
2 財政	171
(1) 財政規模	171
① 財政規模	
② 市民1人あたり財政規模【他市比較】	
(2) 歳入	172
① 歳入	
② 市民1人あたり自主財源、依存財源【他市比較】	
(3) 市税	173
① 市税	
② 税目別構成比【他市比較】	
(4) 市民税	174
① 市民税（個人）、納税義務者数（個人均等割）	
② 納税義務者1人あたり市民税（所得割）【他市比較】	
(5) 固定資産税、都市計画税	175
① 固定資産税、都市計画税	
② 市域面積1km <sup>2</sup> あたり固定資産税、都市計画税【他市比較】	
(6) 分担金及び負担金、使用料、手数料（分担金等）	176
① 分担金等	
② 市民1人あたり分担金等【他市比較】	
(7) 国からの支出金、東京都からの支出金	177
① 市民1人あたり国からの支出金【他市比較】	
② 市民1人あたり東京都からの支出金【他市比較】	
(8) 市債	178
① 市債発行額	
② 市債現在高、市民1人あたり市債現在高	
③ 市民1人あたり市債現在高【他市比較】	
(9) 積立金	180
① 積立金現在高	

②市民1人あたり積立金現在高【他市比較】	
(10) 将来にわたる実質的な財政負担	181
①将来にわたる実質的な財政負担	
(11) 目的別歳出	181
①目的別歳出	
②市民1人あたり目的別歳出【他市比較】	
(12) 性質別歳出	182
①性質別歳出	
②市民1人あたり性質別歳出【他市比較】	
(13) 義務的経費	183
①義務的経費、義務的経費比率	
②市民1人あたり義務的経費、義務的経費比率【他市比較】	
③人件費のうち職員給	
(14) 財政力指数	185
①基準財政収入額、基準財政需要額、財政力指数	
②財政力指数【他市比較】	
(15) 経常収支比率	186
①経常収支比率	
②経常収支比率【他市比較】	
(16) 実質収支比率	187
①実質収支比率	
②実質収支比率【他市比較】	
(17) 実質公債費比率	188
①実質公債費比率	
②実質公債費比率【他市比較】	
(参考) 財政用語	189

## 引用データ一覧

### I 基礎指標

1 人口・世帯	193
2 土地利用	200

### II 福祉

1 子ども	202
2 高齢者	206
3 障がい者	210
4 保健・医療	211
5 生活保護	214

6	国民健康保険・国民年金	215
<b>III</b>	<b>環境</b>	
1	ごみ	217
2	水質	219
3	公害	220
<b>IV</b>	<b>経済</b>	
1	労働	221
2	中小企業融資	224
3	商業	224
4	工業	228
5	農業	229
<b>V</b>	<b>都市基盤</b>	
1	交通	235
2	交通安全	238
3	公園・緑地等	239
4	住宅	240
5	下水道	245
6	治水・防災	246
<b>VI</b>	<b>教育</b>	
1	学校教育	249
2	生涯学習	252
<b>VII</b>	<b>地域生活</b>	
1	コミュニティ	257
2	くらし相談	258
3	市民参画	259
4	犯罪	259
<b>VIII</b>	<b>行政</b>	
1	組織	261
2	財政	262



## ねらい

- ・ 行政分野に関する代表的なデータを掲載し、町田市の現状を示す。
- ・ 多摩 26 市及び相模原市、藤沢市との比較から、町田市の位置づけを把握する。
- ・ 行政課題を抽出する基礎資料とする。

## 利用にあたっての留意事項

- ・ 本書のグラフは、行政の基礎的なデータについて掲載した。また、代表的なものについては、他市との比較を行った。
- ・ 本書のグラフは、当市各部課の資料と関係官公庁等の資料、相模原市、藤沢市からの情報提供を参考に作成した。
- ・ グラフ中、「年」とある場合は暦年（1月1日から12月31日まで）、「年度」とある場合は会計年度（4月1日から翌年3月31日まで）とした。
- ・ 数値の端数処理は、原則として四捨五入とした。したがって総数（合計数字）が内訳の合計と一致しない場合がある。
- ・ 増減率は、元データ（引用データ）に表示されている数値を用いて算出しているため、数値にずれがある場合もある。
- ・ 26市ランキングは、元データ（引用データ）でランキングしているため、同値でも違う順位となる場合がある。
- ・ 人口データは、特に記載のない場合、各年（度）1月1日現在の住民基本台帳人口に外国人登録を含むデータを用いた。（出典：「東京都の統計」東京都総務局統計部）
- ・ グラフの詳細データは、「引用データ一覧」に掲載した。
- ・ 「引用データ一覧」表内の「0」は単位未満のもの、「－」は皆無、該当する数値がないもの、資料がないものとした。
- ・ 多摩 26 市及び相模原市、藤沢市との比較に際して、隣接市、類似団体等を考慮して、八王子市、多摩市、立川市を「比較市」とし、相模原市、藤沢市を「参考市」とした。
- ・ 町田市と他市とで項目の名称等が異なる場合は、町田市で使用している名称等を用いた。
- ・ 時点は、出典資料の表記のとおり記載した。
- ・ 本書発行時点において「町田市統計書」に掲載されていない直近のデータは、庁内資料を参考とした。
- ・ 相模原市、藤沢市データについては、多摩 26 市とは時点の異なるデータが含まれている（異なるデータは注釈にて明示する）。
- ・ 出典において誤りが発見された数値については、修正した数値を用いた。

# グラフの見方

## 〈ポイント〉

特徴のある項目についてその内容と参照するグラフ番号を記載している。

## 中見出し

### 1 人口・世帯

#### 〈ポイント〉

##### (1) 人口

- 人口は、男性は横ばいだが、女性は年々微増している。【(1)①参照】

##### (2) 世帯

- 世帯数は年々増加しているが、1
- 世帯構成比は、多摩26市平均と

##### (3) 年齢別人口

- 年少人口の割合は年々減少、生
- 年齢別人口構成比は、多摩26市

## 参照するグラフ番号

〈ポイント〉に記載されている内容を表しているグラフの番号を記載している。

## グラフコード

「引用データ一覧」のグラフ詳細データを参照する場合に使用する。

〈例〉 No.1-1-2-1

- No.「大見出し」 (I 基礎指標)
- 「中見出し」 (1 人口・世帯)
  - 「小見出し」 ((2) 世帯)
  - 「グラフ番号」 (①世帯数、1 世帯あたり人員)

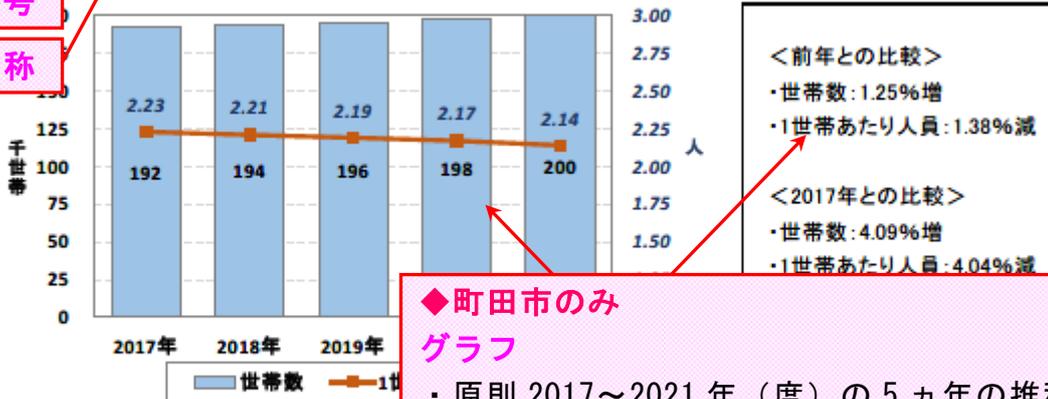
## 小見出し

### (2) 世帯

#### ① 1世帯数、1世帯あたり人員 (No.1-1-2-1)

## グラフ番号

## グラフ名称



## ◆町田市のみ

### グラフ

- ・原則 2017～2021 年（度）の 5 カ年の推移を記載している。

### コメント

- ・原則として、前年（度）からの増減率、4 年（度）前からの増減率を記載している。
- ・増減率は、元データ（引用データ）に表示されている数値を用いて算出しているため、数値にずれがある場合もある。
- ・データの内訳の項目は、「」で記載している。

## 時点

グラフデータの時点に記載している。

【時点】 各年1月1日現在

【出典】 「町田市統計書」、庁内資料

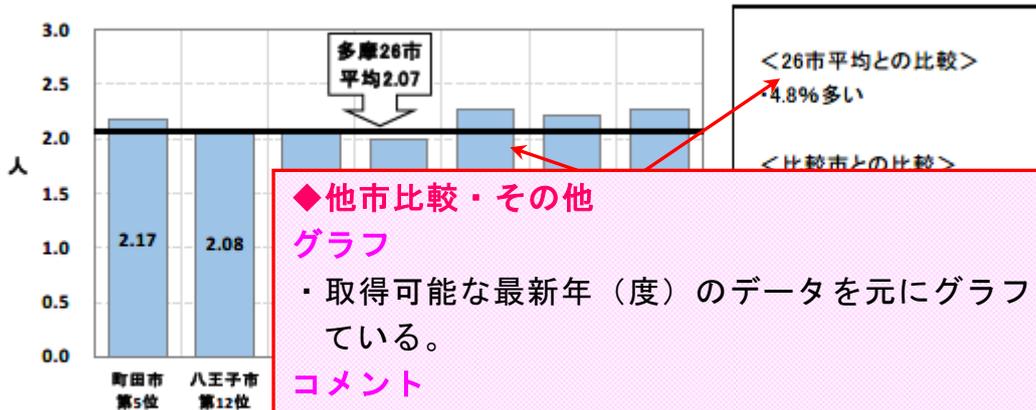
## 出典

グラフデータの出典に記載している。

## 他市比較

- ・他市と比較するグラフを記載している。
- ・構成比を示すグラフは、町田市、比較市（八王子市、多摩市、立川市）、多摩 26 市の平均、参考市（相模原市、藤沢市）を表示している。
- ・その他のグラフは、町田市、比較市、多摩 26 市第 1 位の市、参考市、多摩 26 市平均値を表示している。

②1世帯あたり人員(No.1-1-2-2)【他市比較】



【時点】 2020年1月1日  
【出典】 「多摩地域デ

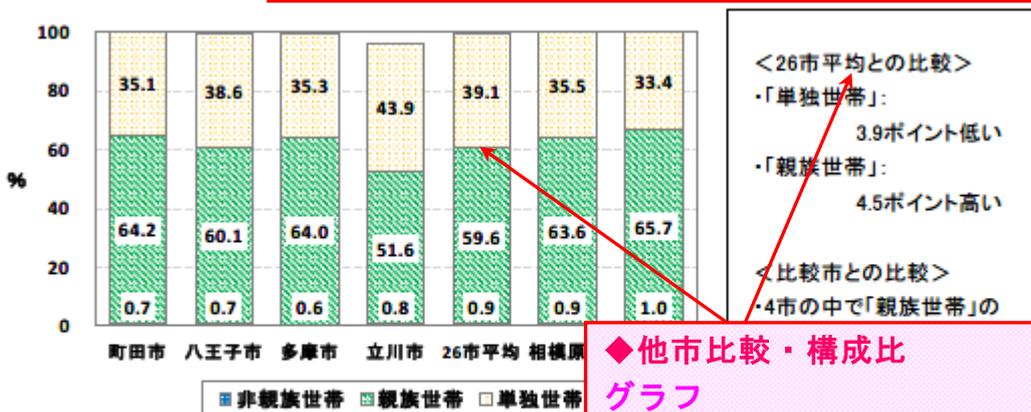
### ◆他市比較・その他 グラフ

- ・取得可能な最新年（度）のデータを元にグラフを記載している。

### コメント

- ・多摩 26 市平均との比較、比較市との比較、多摩 26 市のランキングを記載している。
- ・〈26 市ランキング〉は、グラフや引用データで表示されている数値より詳細な値で算出している場合がある。
- ・〈26 市ランキング〉は、特に記載のない場合、数値の大きい市から並べている。

③世帯構成比(No.1-1-2-2)



【注1】 総数は「不詳」を含むため、構成比の合計が100%  
【時点】 2020年10月1日現在  
【出典】 「多摩地域データ調査報告書」

### 注釈

データの計算式、語句説明、制度変更等を記載している。

### ◆他市比較・構成比

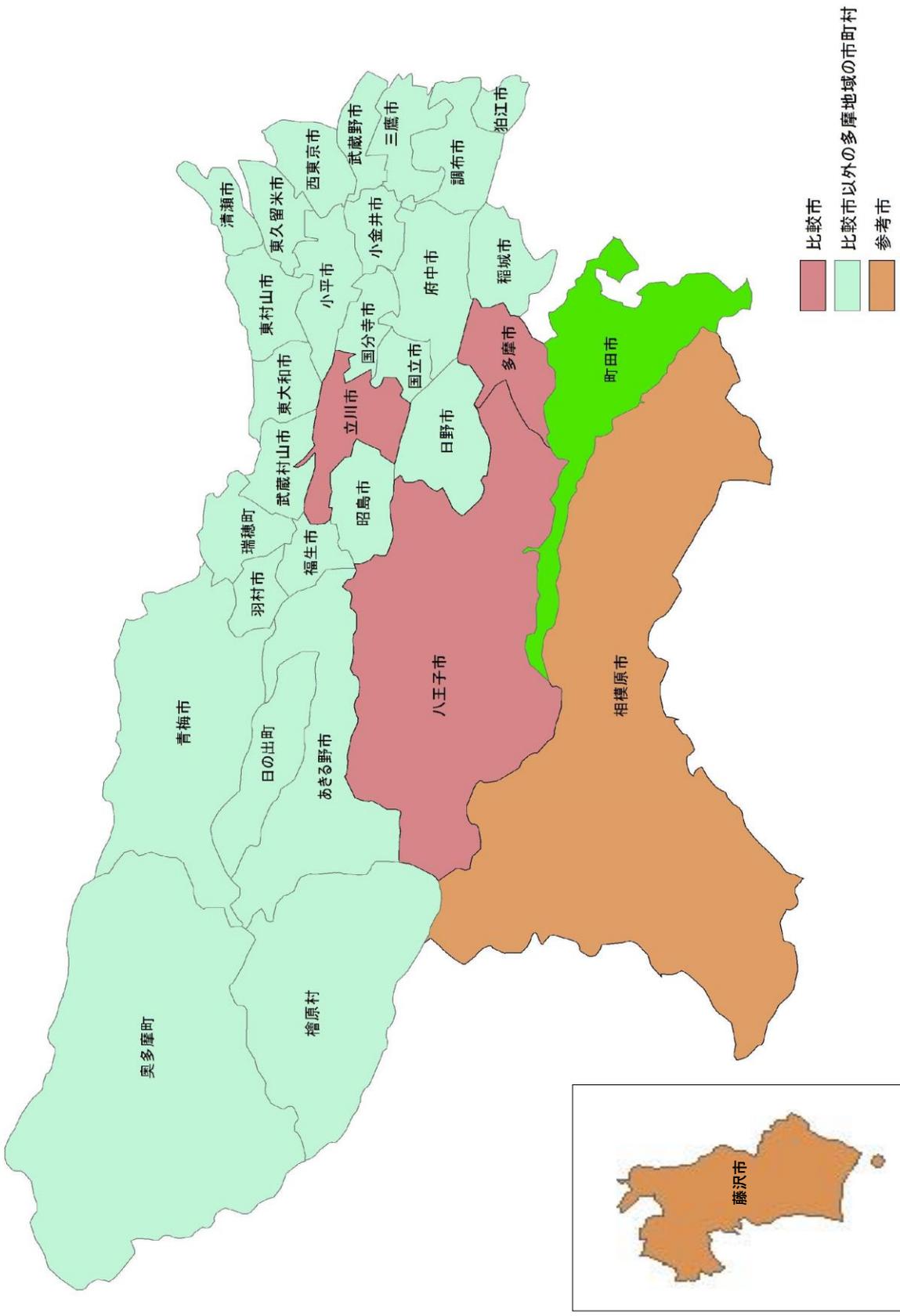
#### グラフ

- ・原則 2020 年（度）のグラフを記載している。

#### コメント

- ・多摩 26 市平均との比較、比較市との比較を記載している。
- ・〈比較市との比較〉は、主に、町田市と比較市（八王子市、多摩市、立川市）との比較から記載している。

# 町田市・比較市・参考市 区域図



# 町田市・比較市・参考市 基礎データ

## 町田市

1	人口	428,821
2	世帯数	197,711
3	面積	71.55
4	事業所数	12,663
5	従業員数	143,349
6	年間販売額	660,155
7	製造品出荷額等	104,591
8	小学校児童数	22,689
9	中学校生徒数	12,689
10	市職員数	2,117
11	歳入決算	159,397,944
12	市内鉄道駅 【JR】町田、成瀬【小田急線】町田、玉川学園前、鶴川【東急線】南町田グランベリーパーク	

## 八王子市

1	人口	562,480
2	世帯数	270,386
3	面積	186.38
4	事業所数	19,264
5	従業員数	231,984
6	年間販売額	1,238,457
7	製造品出荷額等	392,560
8	小学校児童数	26,109
9	中学校生徒数	15,166
10	市職員数	2,685
11	歳入決算	209,499,468
12	市内鉄道駅 【JR】八王子、西八王子、高尾、八王子みなみ野【京王線】京王八王子、南大沢、京王堀之内【多摩都市モノレール】中央大学・明星大学	

## 多摩市

1	人口	148,823
2	世帯数	72,469
3	面積	21.01
4	事業所数	4,009
5	従業員数	65,632
6	年間販売額	503,759
7	製造品出荷額等	25,300
8	小学校児童数	7,284
9	中学校生徒数	3,917
10	市職員数	784
11	歳入決算	57,550,935
12	市内鉄道駅 【京王線】聖蹟桜ヶ丘、京王永山、京王多摩センター【小田急線】小田急多摩センター、小田急永山【多摩都市モノレール】多摩センター	

## 立川市

1	人口	184,090
2	世帯数	92,288
3	面積	24.36
4	事業所数	7,794
5	従業員数	119,144
6	年間販売額	798,879
7	製造品出荷額等	108,210
8	小学校児童数	8,599
9	中学校生徒数	3,776
10	市職員数	975
11	歳入決算	80,667,857
12	市内鉄道駅 【JR】立川【西武線】玉川上水【多摩都市モノレール】立川北、立川南	

## 相模原市

1	人口	723,030
2	世帯数	331,936
3	面積	328.91
4	事業所数	22,480
5	従業員数	248,832
6	年間販売額	1,036,818
7	製造品出荷額等	1,401,787
8	小学校児童数	35,469
9	中学校生徒数	17,537
10	市職員数	4,789
11	歳入決算	305,311,250
12	市内鉄道駅 【JR】橋本、相模原、淵野辺、古淵、矢部【京王線】橋本【小田急線】相模大野、小田急相模原	

## 藤沢市

1	人口	440,244
2	世帯数	196,403
3	面積	69.56
4	事業所数	13,027
5	従業員数	158,104
6	年間販売額	742,912
7	製造品出荷額等	147,656
8	小学校児童数	24,815
9	中学校生徒数	13,144
10	市職員数	3,780
11	歳入決算	154,947,884
12	市内鉄道駅 【JR】藤沢、辻堂、【小田急線】長後、湘南台、六会日大前、藤沢、【相鉄線】湘南台、【地下鉄】湘南台	

### 基礎データ 時点・単位等

1	人口	時点: 2020年1月1日現在、2020年12月1日現在(相模原市)、2021年7月1日現在(藤沢市) / 単位: 人
2	世帯数	時点: 2020年1月1日現在、2020年12月1日現在(相模原市)、2021年7月1日現在(藤沢市) / 単位: 世帯
3	面積	時点: 2018年10月1日現在、2020年10月1日現在(相模原市) / 単位: km <sup>2</sup>
4	事業所数	時点: 2014年7月1日現在、2016年6月1日現在(相模原市・藤沢市) / 単位: 事業所
5	従業員数	時点: 2014年7月1日現在、2016年6月1日現在(相模原市・藤沢市) / 単位: 人
6	年間販売額	時点: 2016年6月1日現在、2014年7月1日現在(相模原市) / 単位: 百万円
7	製造品出荷額等	時点: 2019年、2018年6月1日現在(相模原市)、2020年6月1日現在(藤沢市) / 単位: 百万円
8	小学校児童数	時点: 2020年5月1日現在 / 単位: 人 ※国立・公立・私立小学校の児童数
9	中学校生徒数	時点: 2020年5月1日現在 / 単位: 人 ※国立・公立・私立中学校の生徒数
10	市職員数	時点: 2020年4月1日現在、2020年10月1日現在(相模原市)、2020年度(藤沢市) / 単位: 人 ※P.169【注1.2】参照
11	歳入決算	時点: 2019年度 / 単位: 千円
12	市内鉄道駅	2018年度に年間500万人以上が乗車した駅のみを記載(同一社線内の乗り継ぎは除く)、相模原市と藤沢市は2019年度

出典:

6.経済センサス、7.「東京の工業 工業統計調査」東京都総務局統計部、10.「地方公共団体定員管理調査」総務省自治行政局  
上記以外は「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会、相模原市は「相模原市統計書」、藤沢市は藤沢市HP



# I 基礎指標



# 1 人口・世帯

## <ポイント>

### (1) 人口

- 人口は、男性は横ばいだが、女性は年々微増している。【(1)①参照】

### (2) 世帯

- 世帯数は年々増加しているが、1世帯あたり人員は減少している。【(2)①参照】
- 世帯構成比は、多摩26市平均と比べて親族世帯が高く、単独世帯が低い。【(2)③参照】

### (3) 年齢別人口

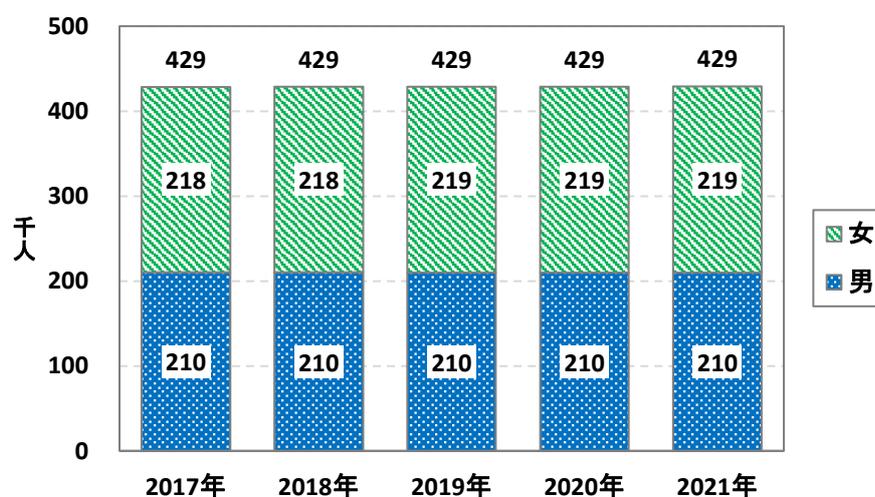
- 年少人口の割合は年々減少、生産年齢人口は横ばい、老年人口は年々増加している。【(3)①参照】
- 年齢別人口構成比は、多摩26市平均と比べて生産年齢人口が低く、老年人口が高い。【(3)②参照】

### (6) 外国人登録人口

- 外国人登録人口は、年々増加している。【(6)①参照】

## (1)人口

### ①人口(No.1-1-1-1)



#### <前年との比較>

- ・人口:0.08%増
- ・「女」:0.13%増
- ・「男」:0.02%増

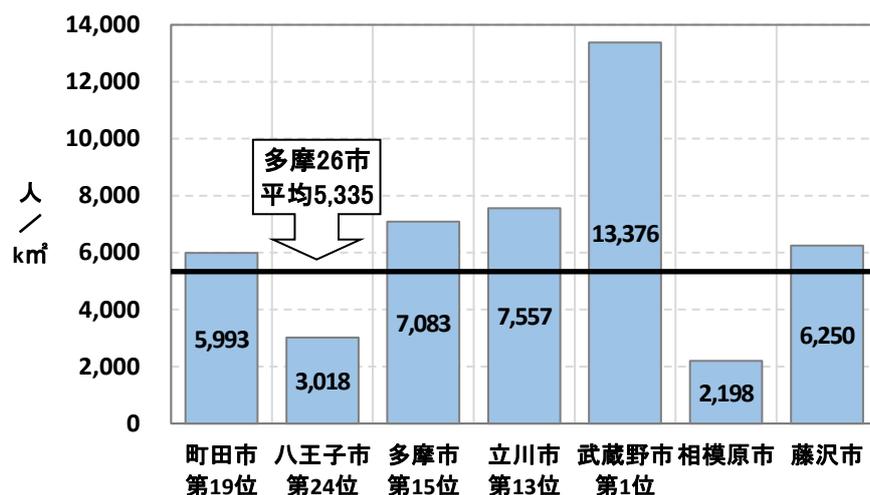
#### <2017年との比較>

- ・人口:0.14%増
- ・「女」:0.46%増
- ・「男」:0.20%減

【時点】 各年1月1日現在

【出典】 「町田市統計書」、庁内資料

## ②人口密度(No.1-1-1-2)【他市比較】



＜26市平均との比較＞

・12.3%高い

＜26市ランキング＞

第1位: 武蔵野市 13,376

第2位: 狛江市 13,029

第3位: 西東京市 13,024

(人/km<sup>2</sup>)

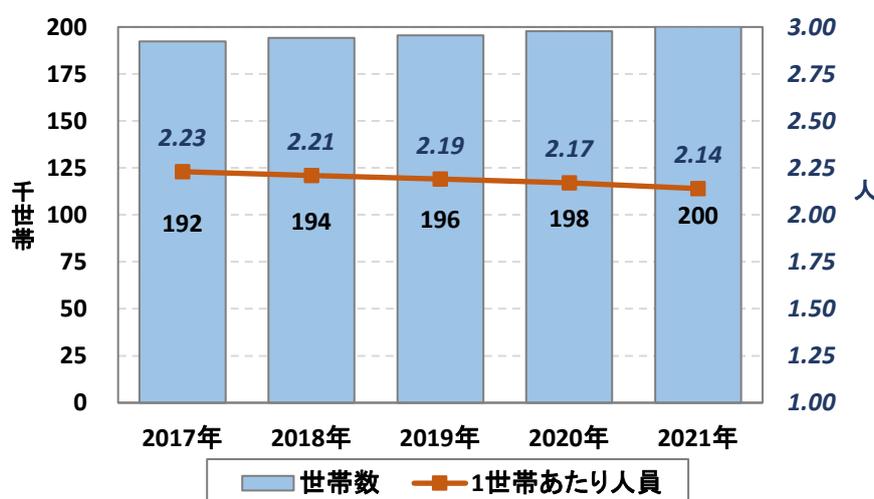
【注1】 多摩26市平均は、26市の合計人口／26市の合計面積

【時点】 2020年1月1日現在(人口)、2018年10月1日現在(市域面積)

【出典】 「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

## (2)世帯

## ①1世帯数、1世帯あたり人員(No.1-1-2-1)



＜前年との比較＞

・世帯数: 1.25%増

・1世帯あたり人員: 1.38%減

＜2017年との比較＞

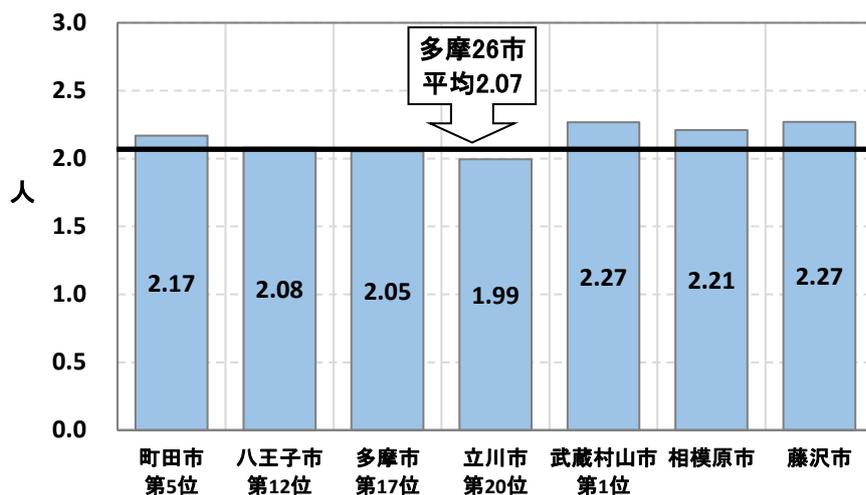
・世帯数: 4.09%増

・1世帯あたり人員: 4.04%減

【時点】 各年1月1日現在

【出典】 「町田市統計書」、庁内資料

## ②1世帯あたり人員(No.1-1-2-2)【他市比較】



<26市平均との比較>

・4.8%多い

<比較市との比較>

・4市の中で最も多い

<26市ランキング>

第1位: 武蔵村山市 2.27

第2位: 稲城市 2.25

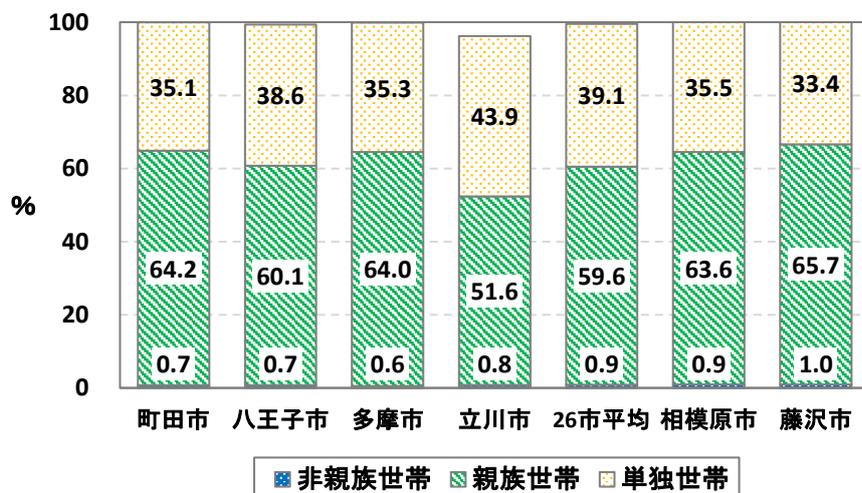
第3位: あきる野市 2.25

(人)

【時点】 2020年1月1日現在

【出典】 「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

## ③世帯構成比(No.1-1-2-3)【他市比較】



<26市平均との比較>

・「単独世帯」:

3.9ポイント低い

・「親族世帯」:

4.5ポイント高い

<比較市との比較>

・4市の中で「親族世帯」の割合が最も高い。

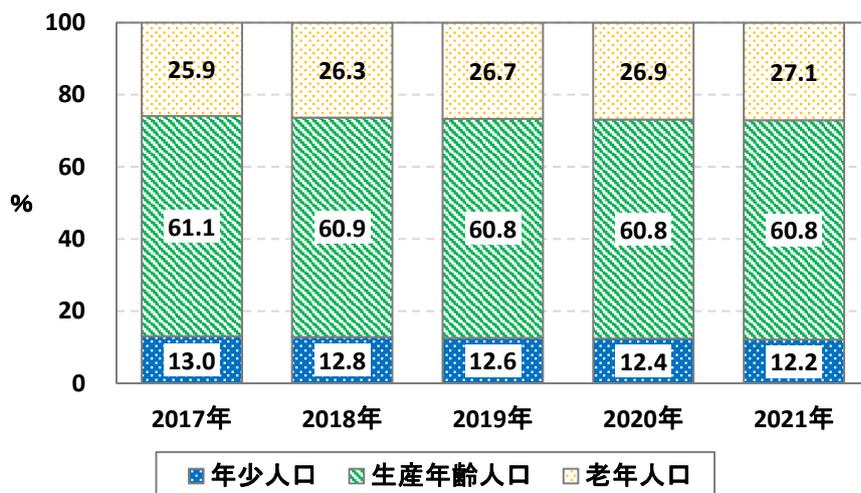
【注1】 総数は「不詳」を含むため、構成比の合計が100%にならない場合もある。

【時点】 2020年10月1日現在

【出典】 「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

## (3) 年齢別人口

## ① 年齢(3区分)別人口構成比(No.1-1-3-1)



## &lt;前年との比較&gt;

- ・「生産年齢人口」: 変化なし

## &lt;2017年との比較&gt;

- ・「老年人口」:

- 1.2ポイント上昇

- ・「生産年齢人口」:

- 0.3ポイント低下

- ・「年少人口」:

- 0.9ポイント低下

【注 1】 年少人口は、0～14歳の人口。生産年齢人口は、15～64歳の人口。

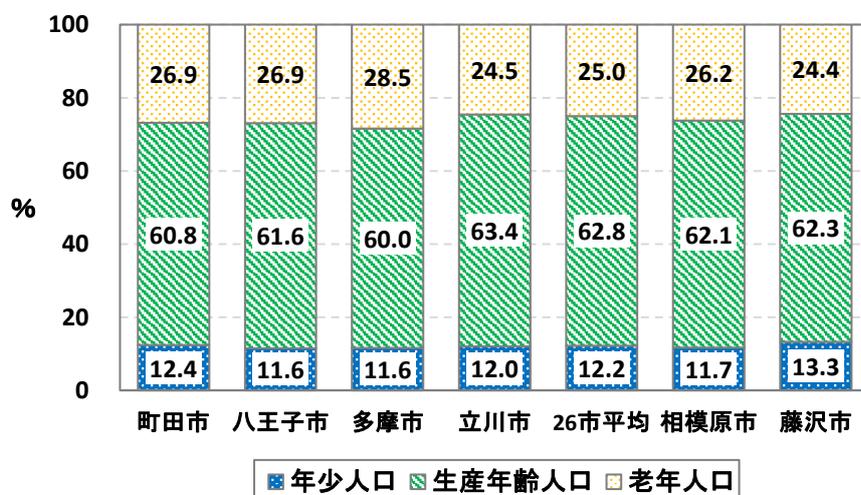
老年人口は、65歳以上の人口。

【注 2】 年齢不詳者を含まない。

【時点】 各年1月1日現在

【出典】 「町田市統計書」、庁内資料

## ② 年齢(3区分)別人口構成比(No.1-1-3-2)【他市比較】



## &lt;26市平均との比較&gt;

- ・「老年人口」:

- 1.9ポイント高い

- ・「生産年齢人口」:

- 2.0ポイント低い

- ・「年少人口」:

- 0.1ポイント高い

## &lt;比較市との比較&gt;

- ・4市の中で「年少人口」が最も高い

【注 1】 年少人口は、0～14歳の人口。生産年齢人口は、15～64歳の人口。

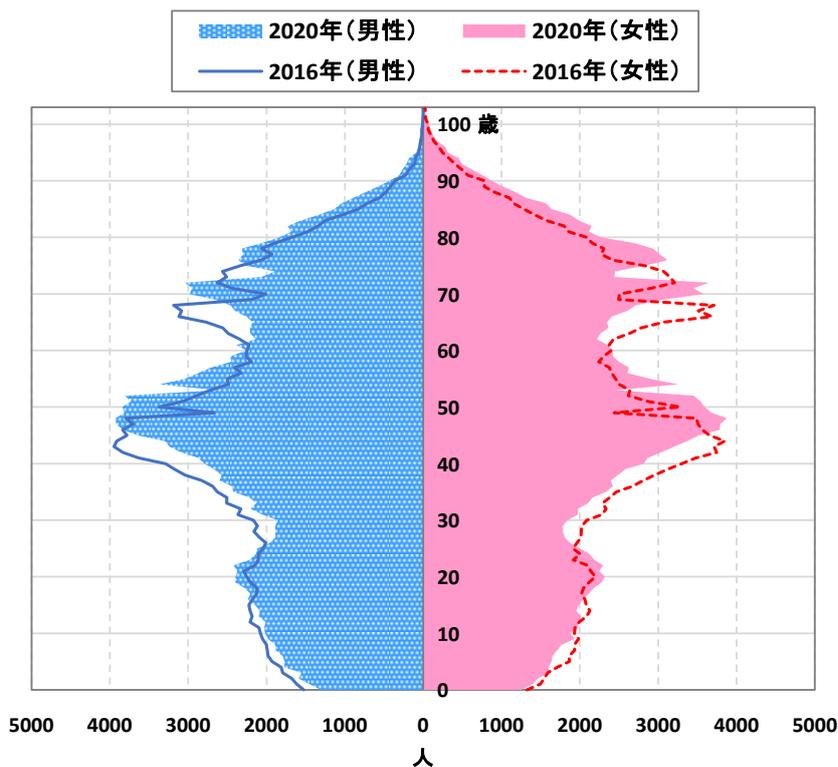
老年人口は、65歳以上の人口。

【注 2】 年齢不詳者を含まない。

【時点】 2020年1月1日現在

【出典】 「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

③人口ピラミッド(No.1-1-3-3)

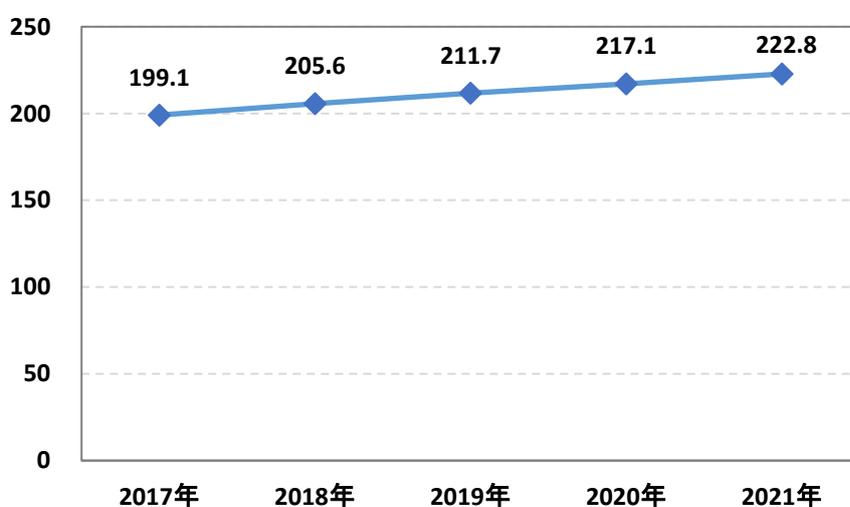


＜2016年との比較＞  
 ・男女とも高齢化が進んでいる  
 ・16～25歳が微増している

【時点】 各年1月1日現在  
 【出典】 「町田市統計書」

(4) 老年化指数

① 老年化指数(No.1-1-4-1)

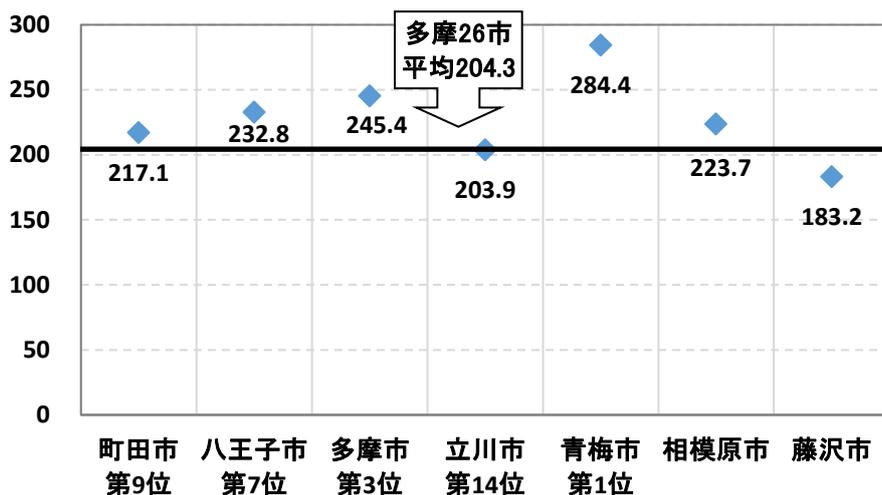


＜前年との比較＞  
 ・5.7ポイント上昇

＜2017年との比較＞  
 ・23.7ポイント上昇

【注1】 老年化指数 = 老年人口 / 年少人口 × 100  
 【時点】 各年1月1日現在  
 【出典】 「町田市統計書」、庁内資料

② 老年化指数 (No.1-1-4-2) 【他市比較】



＜26市平均との比較＞  
 ・12.8ポイント高い

＜比較市との比較＞  
 ・4市の中で2番目に低い

＜26市ランキング＞  
 第1位: 青梅市 284.4  
 第2位: 福生市 253.5  
 第3位: 多摩市 245.4

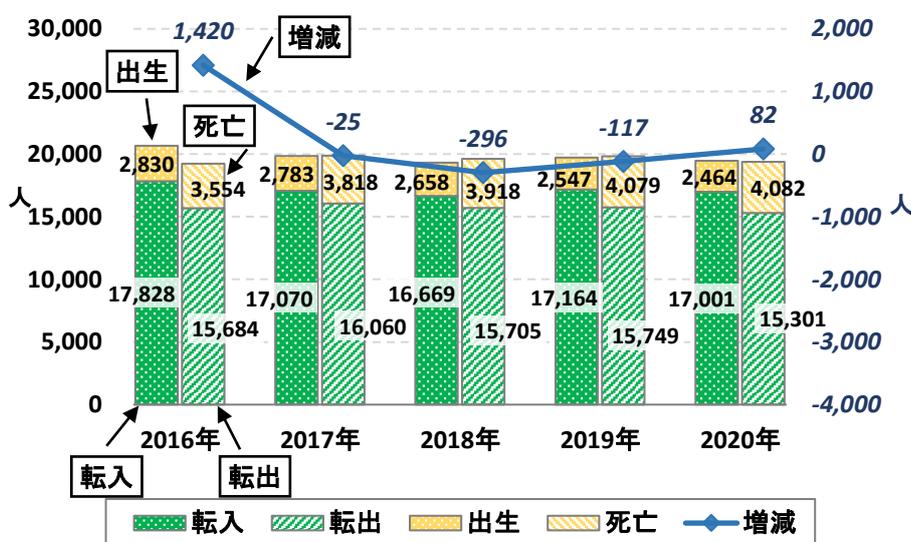
【注1】 老年化指数 = 老年人口 / 年少人口 × 100

【時点】 2020年1月1日現在

【出典】 「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

(5) 人口動態

① 人口動態 (No.1-1-5-1)



＜前年との比較＞  
 ・「出生」: 3.3%減  
 ・「転入」: 0.9%減  
 ・「死亡」: 0.1%増  
 ・「転出」: 2.8%減

＜2016年との比較＞  
 ・「出生」: 12.9%減  
 ・「転入」: 4.6%減  
 ・「死亡」: 14.9%増  
 ・「転出」: 2.4%減

【注1】 職権による記載消除、帰化、国外転出入等を除く。

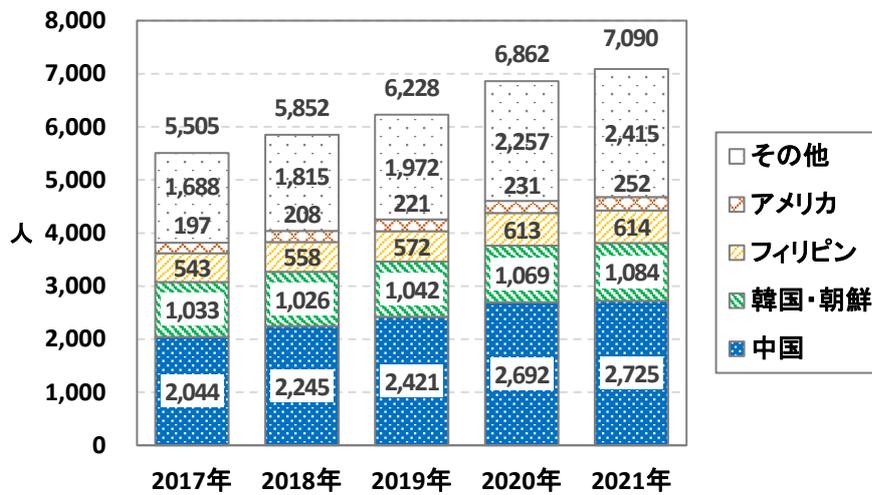
【注2】 増減は、転入と出生の合計値から、転出と死亡の合計値を差し引いた数値。

【期間】 各年1月1日～12月31日

【出典】 「町田市統計書」、庁内資料

(6)外国人登録人口

①外国人登録人口(No.1-1-6-1)



<前年との比較>

- ・外国人登録人口:3.3%増
- ・「アメリカ」:9.1%増
- ・「韓国・朝鮮」:1.4%増
- ・「中国」:1.2%増

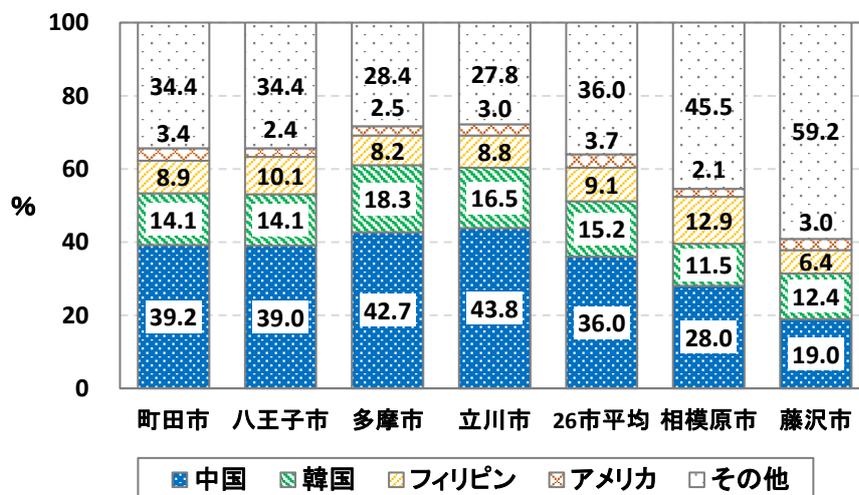
<2017年との比較>

- ・外国人登録人口:28.8%増
- ・「アメリカ」:27.9%増
- ・「フィリピン」:13.1%増
- ・「中国」:33.3%増

【時点】 各年1月1日現在

【出典】 「町田市統計書」、庁内資料

②外国人登録人口構成比(No.1-1-6-2)【他市比較】



<26市平均との比較>

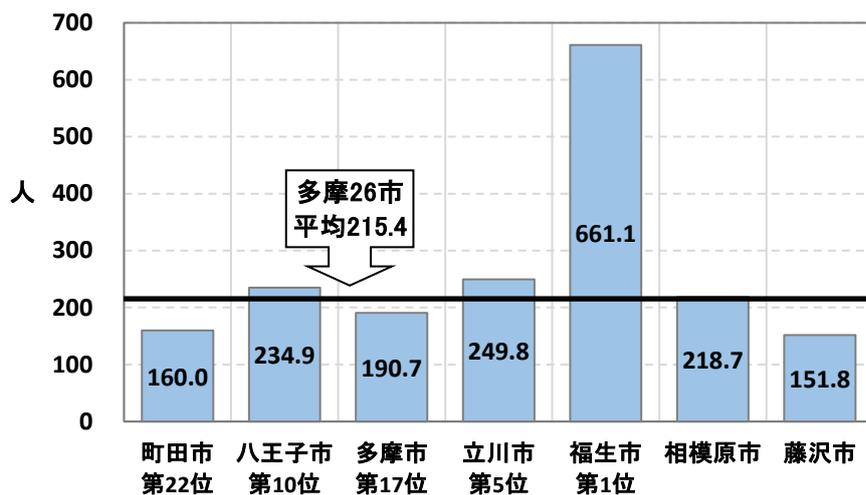
- ・「アメリカ」:  
0.3ポイント低い
- ・「フィリピン」:  
0.2ポイント低い
- ・「韓国」: 1.0ポイント低い
- ・「中国」: 3.2ポイント高い

【注1】 藤沢市の「韓国」は韓国と朝鮮の合計。

【時点】 2020年1月1日現在

【出典】 「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

## ③市民1万人あたり外国人登録人口(No.1-1-6-3)【他市比較】



<26市平均との比較>

・25.7%少ない

<比較市との比較>

・4市の中で最も少ない

<26市ランキング>

第1位: 福生市 661.1

第2位: 小平市 279.7

第3位: 西東京市 262.5

(人)

【時点】 2020年1月1日現在

【出典】 「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

## 2 土地利用

### <ポイント>

#### (1) 地目別土地面積

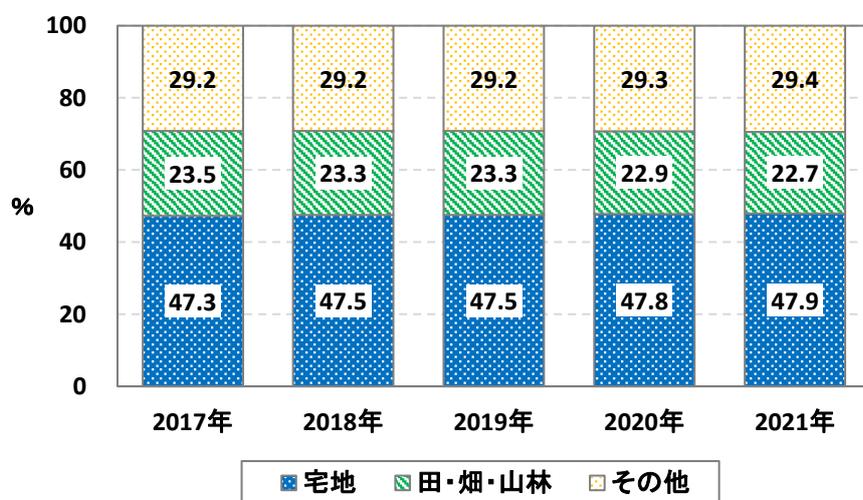
- 宅地の割合はわずかながら上昇傾向にあり、田・畑・山林の割合は低下傾向にある。  
【(1)①参照】
- 地目別土地面積構成比は、多摩26市平均と比べて宅地が高く、田・畑・山林が低い。  
【(1)②参照】

#### (2) 公示価格

- 公示価格は、住宅地は横ばい、商業地は年々上昇している。【(2)①参照】
- 多摩26市平均と比べて住宅地が低く、商業地が高い。【(2)②③参照】

### (1)地目別土地面積

#### ①地目別土地面積構成比(No.1-2-1-1)



#### <前年との比較>

- ・「田・畑・山林」:  
0.2ポイント低下
- ・「宅地」: 0.1ポイント上昇

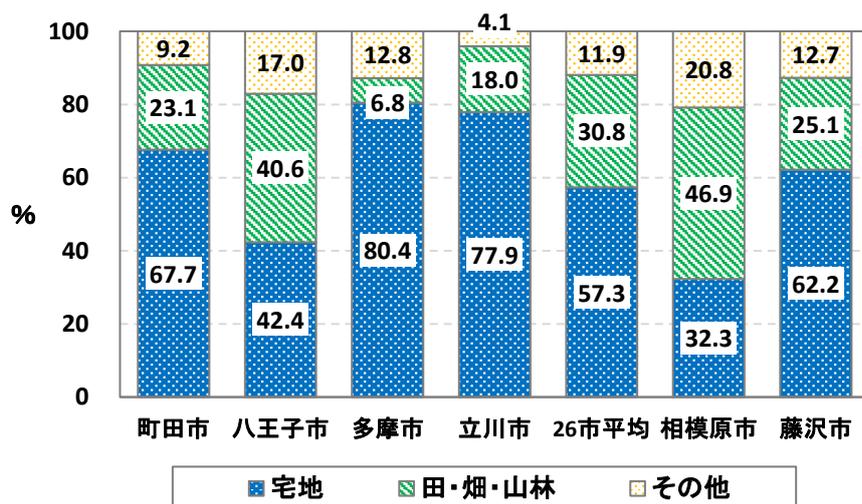
#### <2017年との比較>

- ・「田・畑・山林」:  
0.8ポイント低下
- ・「宅地」: 0.6ポイント上昇

【時点】 各年1月1日現在

【出典】 「町田市統計書」、庁内資料

## ②地目別土地面積構成比(No.1-2-1-2)【他市比較】



＜26市平均との比較＞

・「田・畑・山林」:

7.6ポイント低い

・「宅地」: 10.3ポイント高い

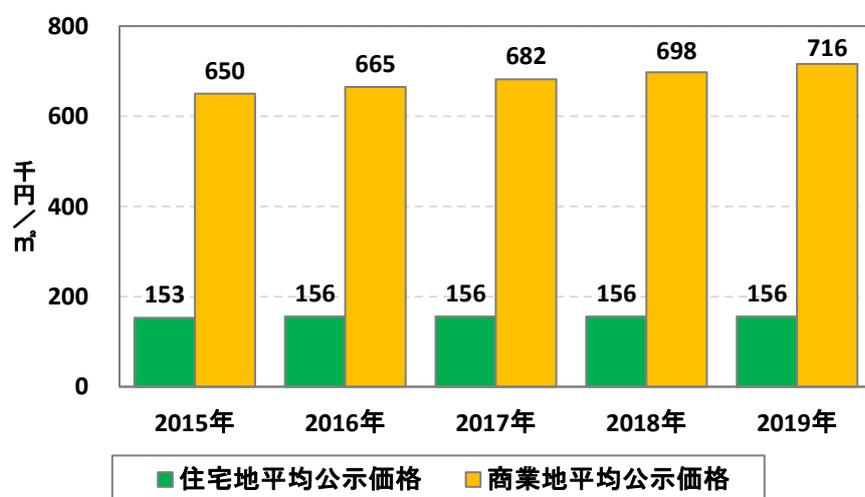
【注1】 固定資産税が非課税とされている土地(国・公有地、公共用地、墓地、道路、用水路、溜池、保安林、私立学校用地、宗教法人の境内など)は除かれている。

【時点】 2019年1月1日現在

【出典】 「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

## (2) 公示価格

## ①住宅地・商業地の平均公示価格(No.1-2-2-1)



＜前年との比較＞

・住宅地平均公示価格:

変化なし

・商業地平均公示価格:

2.6%増

＜2015年との比較＞

・住宅地平均公示価格:

2.0%増

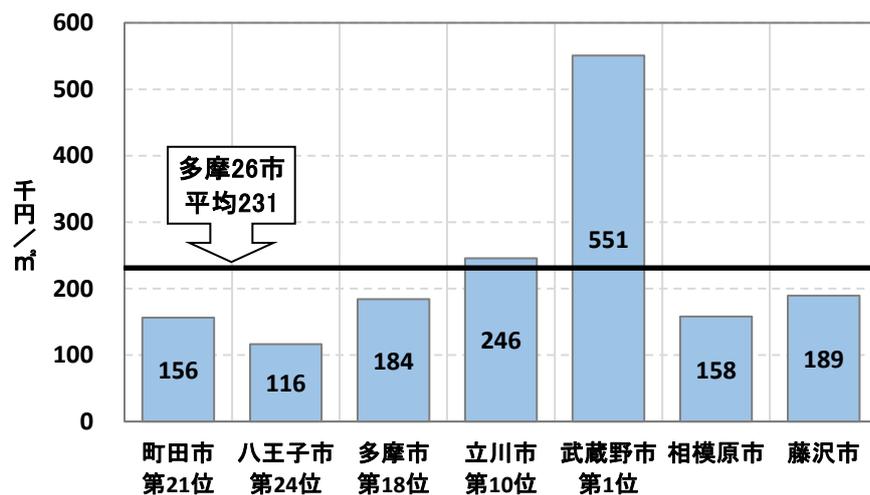
・商業地平均公示価格:

10.2%増

【時点】 各年1月1日現在

【出典】 「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

## ②住宅地の平均公示価格(No.1-2-2-2)【他市比較】



＜26市平均との比較＞

・32.3%低い

＜比較市との比較＞

・4市の中で2番目に低い

＜26市ランキング＞

第1位: 武蔵野市 551

第2位: 三鷹市 405

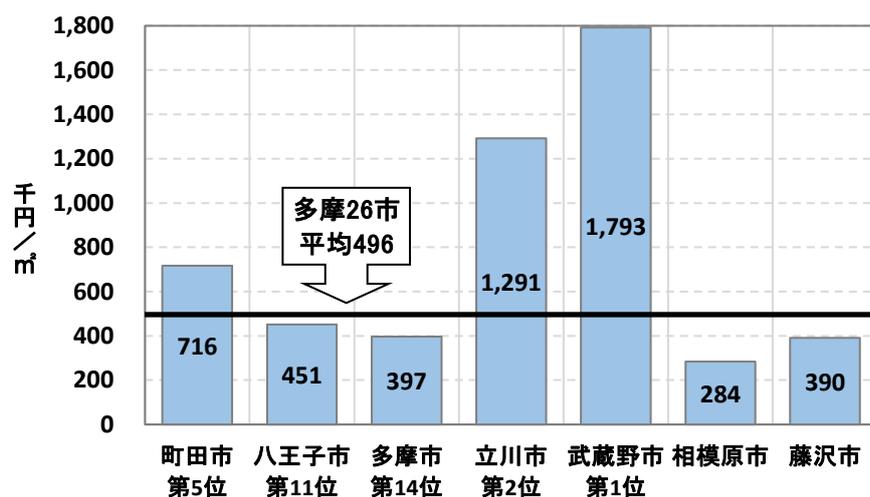
第3位: 国立市 336

(千円/㎡)

【時点】 2019年1月1日現在

【出典】 「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

## ③商業地の平均公示価格(No.1-2-2-3)【他市比較】



＜26市平均との比較＞

・44.4%高い

＜比較市との比較＞

・4市の中で2番目に高い

＜26市ランキング＞

第1位: 武蔵野市 1,793

第2位: 立川市 1,291

第3位: 三鷹市 799

(千円/㎡)

【時点】 2019年1月1日現在

【出典】 「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会



## Ⅱ 福祉



# 1 子ども

## <ポイント>

### (1) 保育サービス

- 保育サービス提供率(保育所等の定員数/未就学児童数)は、年々上昇している。

【(1)②参照】

### (2) 待機児童

- 2021年度の待機児童数は、2017年度と比べて減少している。【(2)①参照】
- 待機率(待機児童数/認可保育所の入所児童数)は、0歳児と1歳児で年々減少している。

【(2)③参照】

### (4) 各種手当

- 児童手当、児童育成手当共に受給者数と支給額は、年々減少している。【(4)①②参照】

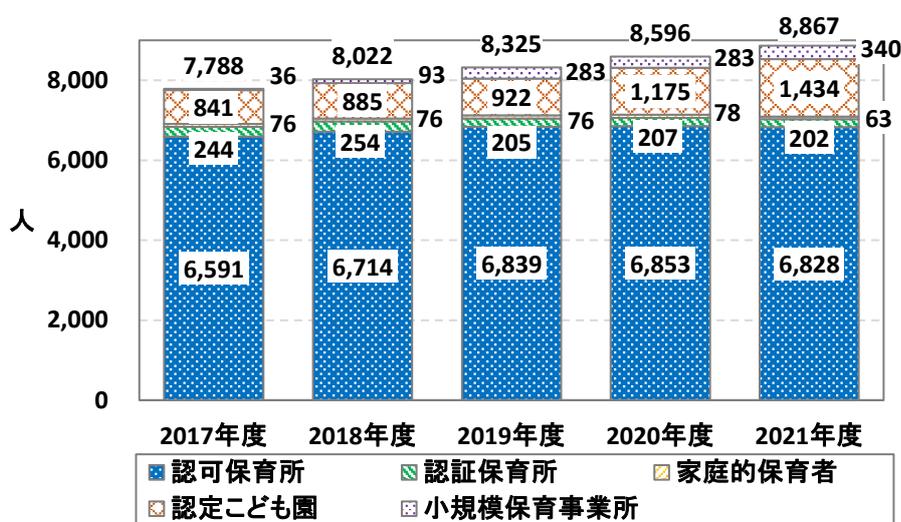
### (6) ひとり親家庭医療の助成

- ひとり親家庭医療費助成医療証交付世帯数、助成金額は、減少傾向がみられる。

【(6)①②参照】

## (1) 保育サービス

### ① 保育サービス定員 (No.2-1-1-1)



#### <前年度との比較>

- ・保育サービス定員: 3.2%増
- ・「認定こども園」: 22.0%増
- ・「認可保育所」: 0.4%減

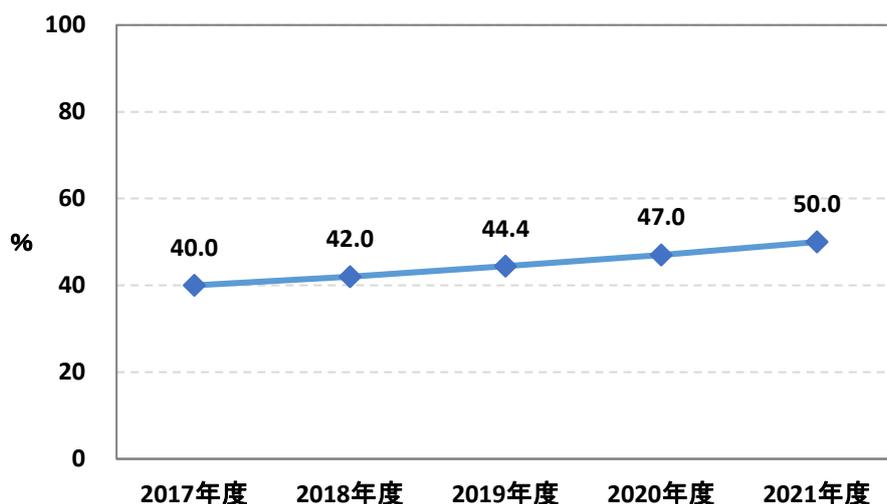
#### <2017年度との比較>

- ・保育サービス定員: 13.9%増
- ・「認定こども園」: 70.5%増
- ・「認可保育所」: 3.6%増

【時点】 各年度4月1日現在

【出典】 庁内資料

②保育サービス提供率(No.2-1-1-2)



＜前年度との比較＞  
 ・3.0ポイント上昇

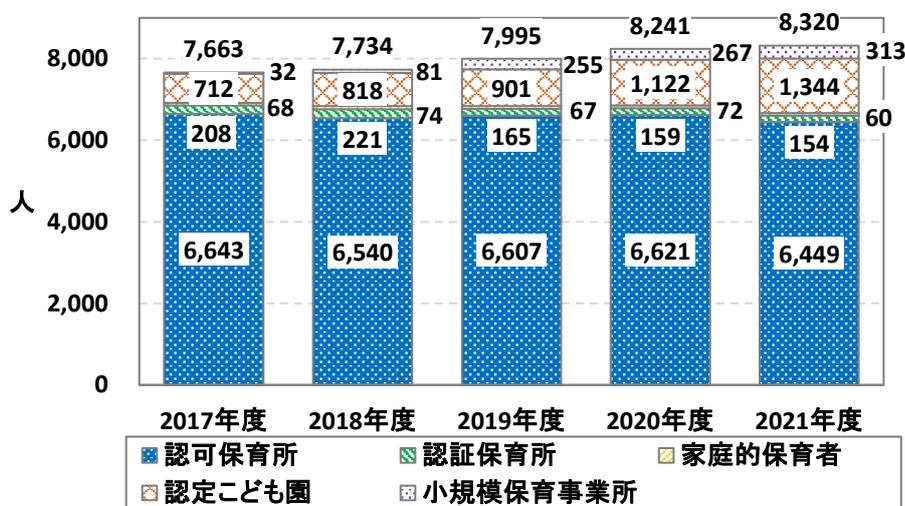
＜2017年度との比較＞  
 ・10.0ポイント上昇

【注 1】 保育サービス提供率=(認可保育所+認証保育所+家庭的保育者+認定こども園  
 +小規模保育事業所の定員数)÷未就学児童数×100

【時点】 各年度4月1日現在

【出典】 庁内資料

③保育所等の入所児童数(No.2-1-1-3)



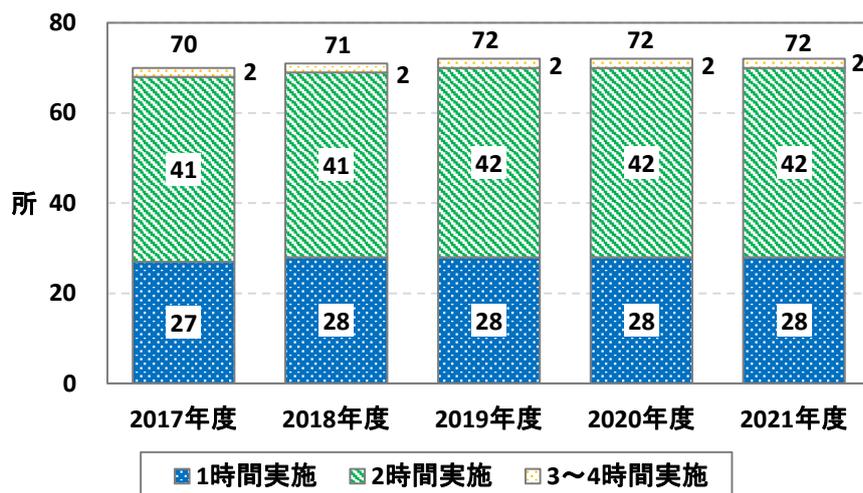
＜前年度との比較＞  
 ・入所児童数:1.0%増  
 ・「認定こども園」:19.8%増  
 ・「認可保育所」:2.6%減

＜2017年度との比較＞  
 ・入所児童数:8.6%増  
 ・「認定こども園」:88.8%増  
 ・「認可保育所」:2.9%減

【時点】 各年度5月1日現在(認可保育所)、各年度4月1日現在(認可保育所以外)

【出典】 「町田市統計書」、庁内資料

④延長保育実施保育所数(No.2-1-1-4)



<前年度との比較>

- ・延長保育計:変化なし
- ・延長時間別内訳:変化なし

<2017年度との比較>

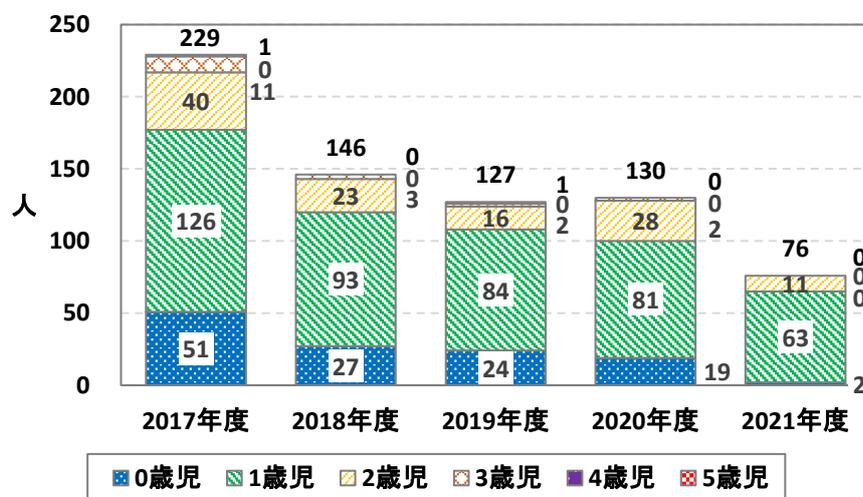
- ・延長保育計:2.9%増
- ・2時間実施:2.4%増
- ・1時間実施:3.7%増

【時点】 各年度4月1日現在

【出典】 庁内資料

(2)待機児童

①待機児童数(No.2-1-2-1)



<前年度との比較>

- ・待機児童数:41.5%減
- ・「2歳児」:60.7%減
- ・「1歳児」:22.2%減
- ・「0歳児」:89.5%減

<2017年度との比較>

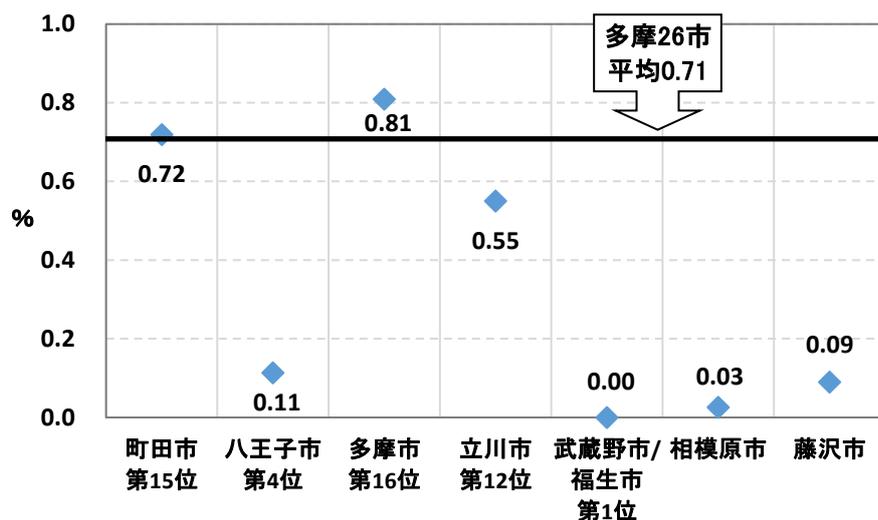
- ・待機児童数:66.8%減
- ・「2歳児」:72.5%減
- ・「1歳児」:50.0%減
- ・「0歳児」:96.1%減

【注1】 待機児童数=(認可保育所に申し込んだが入所できなかった児童数)-(第1希望しか希望しなかった人+第2・3希望なら入所できたが断った人+何らかの保育施設に入所した人)

【時点】 各年度4月1日現在

【出典】 庁内資料

②待機児童数の就学前児童人口比率(No.2-1-2-2)【他市比較】



＜26市平均との比較＞  
 ・0.01ポイント高い

＜比較市との比較＞  
 ・4市の中で2番目に高い

＜26市ランキング＞

第1位: 武蔵野市	0.00
第1位: 福生市	0.00
第3位: 青梅市	0.08
	(%)

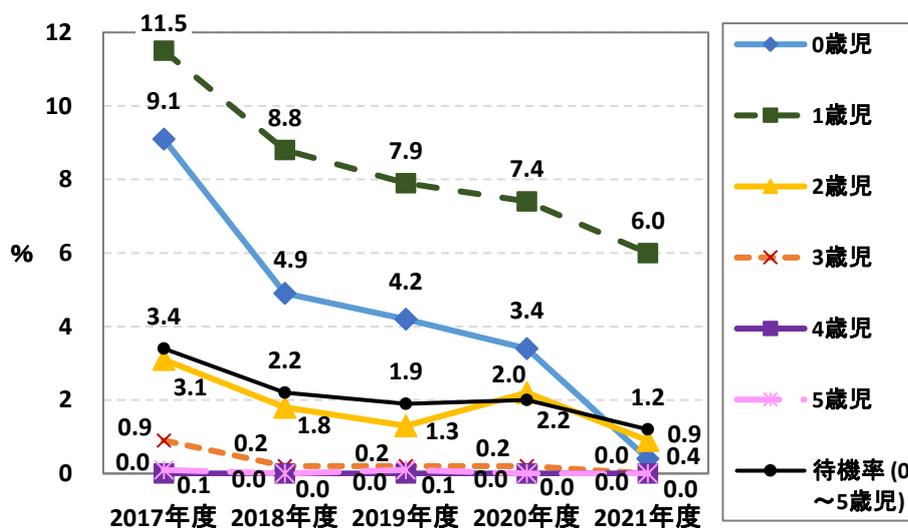
【注 1】 就学前児童人口は、外国人人口を含まない。

【注 2】 このグラフの26市ランキングについては、数値の小さい市から並べている。

【時点】 2020年4月1日現在(待機児童数)、2020年1月1日現在(就学前児童人口)

【出典】 「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

③待機率(No.2-1-2-3)



＜前年度との比較＞  
 ・待機率(0~5歳児): 0.8ポイント低下  
 ・「0歳児」: 3.0ポイント低下

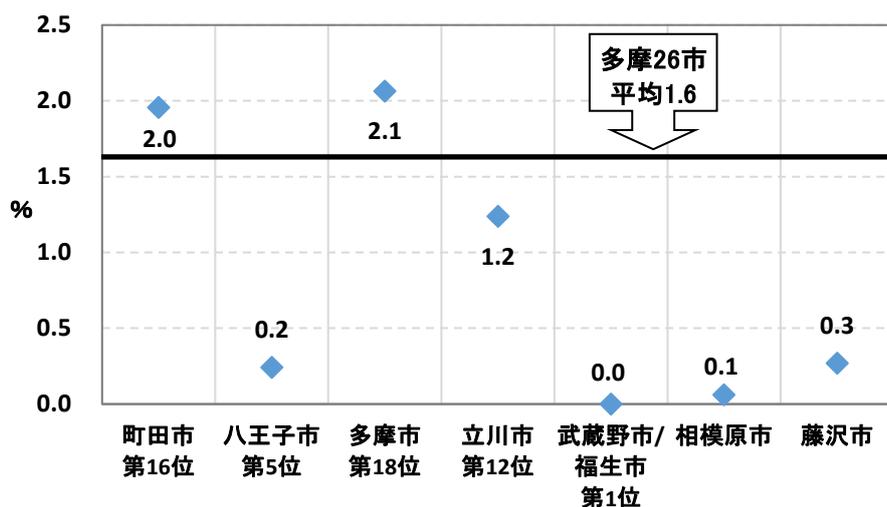
＜2017年度との比較＞  
 ・待機率(0~5歳児): 2.2ポイント低下  
 ・「0歳児」: 8.7ポイント低下

【注 1】 待機率＝待機児童数／認可保育所の入所児童数×100

【時点】 各年度4月1日現在(待機児童数)、各年度5月1日現在(入所児童数)

【出典】 庁内資料

④待機率 (No.2-1-2-4)【他市比較】



＜26市平均との比較＞  
 ・0.3ポイント高い

＜比較市との比較＞  
 ・4市の中で2番目に高い

＜26市ランキング＞  
 第1位: 武蔵野市 0.0  
 第1位: 福生市 0.0  
 第3位: 青梅市 0.1  
 (%)

【注 1】 待機率＝待機児童数／認可保育所の入所児童数×100

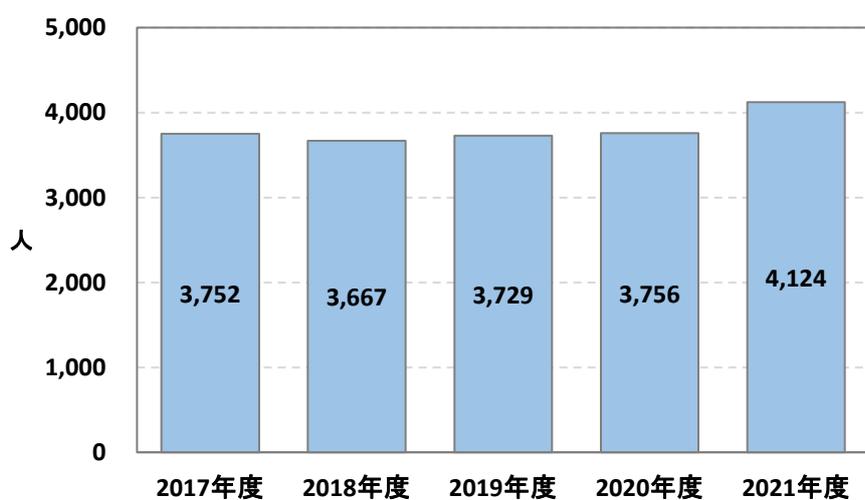
【注 2】 このグラフの26市ランキングについては、数値の小さい市から並べている。

【時点】 2020年4月1日現在

【出典】 「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

(3)学童保育

①学童保育クラブ入会児童数 (No.2-1-3-1)



＜前年度との比較＞  
 ・9.8%増

＜2017年度との比較＞  
 ・9.9%増

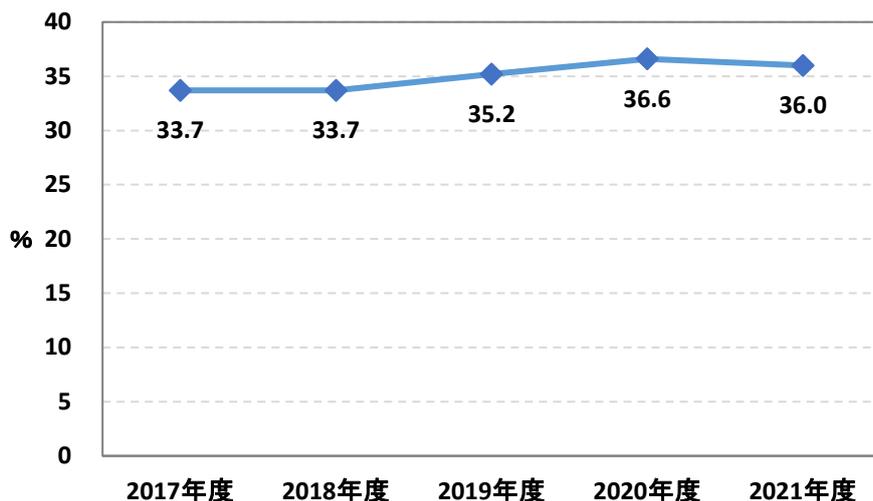
【注 1】 町田市では、年度当初において学童保育の利用希望があった者全員の受け入れを行っている。

【注 2】 2021年度からは高学年(4年～6年)の受け入れを開始。

【時点】 各年度4月1日現在

【出典】 庁内資料

②1～3年生児童に占める学童保育クラブ入会児童の割合 (No.2-1-3-2)



<前年度との比較>

・0.6ポイント低下

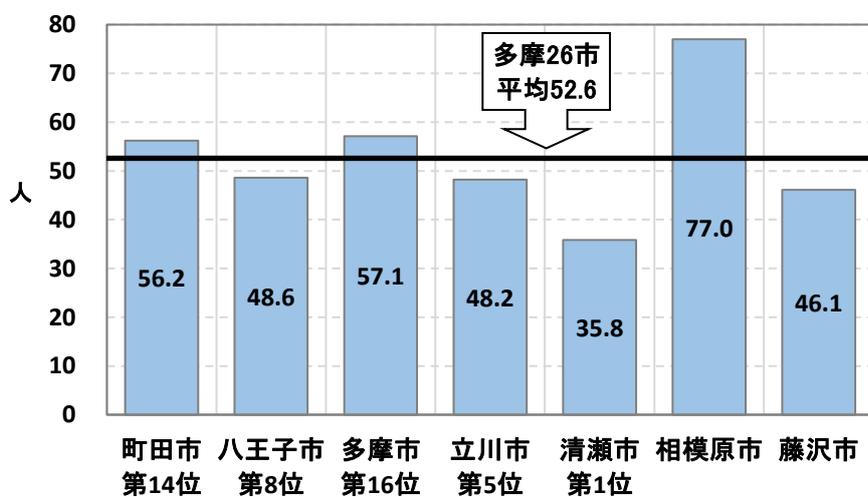
<2017年度との比較>

・2.3ポイント上昇

【時点】 各年度4月1日現在(入会児童数)、各年度5月1日現在(1～3年生児童数)

【出典】 「町田市統計書」、庁内資料

③1クラブあたり入会児童数 (No.2-1-3-3)【他市比較】



<26市平均との比較>

・6.8%多い

<26市ランキング>

第1位: 清瀬市 35.8

第2位: 国立市 37.4

第3位: 青梅市 40.9

(人)

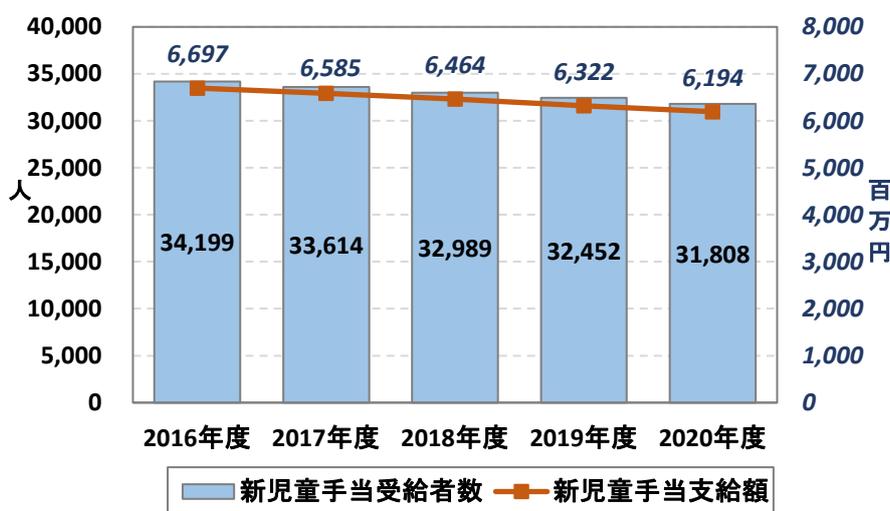
【注1】 このグラフの26市ランキングについては、数値の小さい市から並べている。

【時点】 2019年3月31日現在/相模原市は2018年5月1日現在

【出典】 「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

(4) 各種手当

① 児童手当受給者数、支給額(No.2-1-4-1)



<前年度との比較>

- ・受給者数: 2.0%減
- ・支給額: 2.0%減

<2016年度との比較>

- ・受給者数: 7.0%減
- ・支給額: 7.5%減

【注 1】 2012年4月から制度開始(旧児童手当法の改正による)

【時点】 各年度2月末現在(受給者数) 【期間】 各年度4月1日～3月31日(支給額)

【出典】 「町田市統計書」、庁内資料

② 児童育成手当受給者数、支給額(No.2-1-4-2)



<前年度との比較>

- ・受給者数: 2.3%減
- ・支給額: 2.0%減

<2016年度との比較>

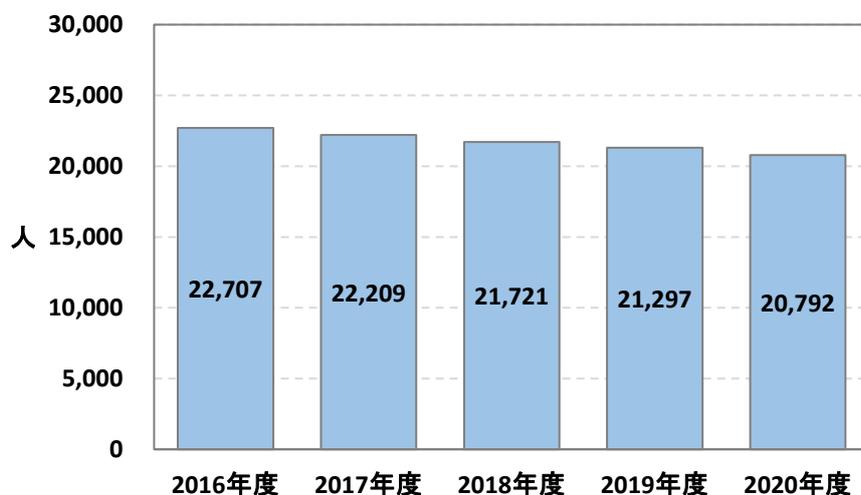
- ・受給者数: 5.3%減
- ・支給額: 5.4%減

【時点】 各年度3月31日現在(受給者数) 【期間】 各年度4月1日～3月31日(支給額)

【出典】 「町田市統計書」、庁内資料

(5)乳幼児医療の助成

①乳幼児医療対象者数(No.2-1-5-1)



<前年度との比較>

・2.4%減

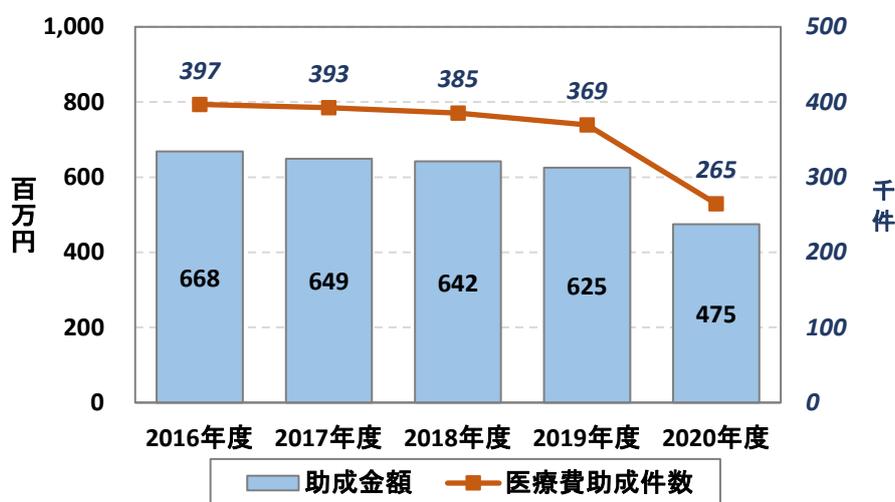
<2016年度との比較>

・8.4%減

【時点】 各年度3月31日現在

【出典】 庁内資料

②乳幼児医療助成金額、助成件数(No.2-1-5-2)



<前年度との比較>

・助成金額:24.1%減

・助成件数:28.4%減

<2016年度との比較>

・助成金額:29.0%減

・助成件数:33.3%減

【注 1】 現物給付とは、医療証を医療機関の窓口に表示し医療給付を受けることをいう。

【注 2】 現金給付とは、支払った医療費を市に申請し給付を受けることをいう。

【期間】 各年度4月1日～3月31日

【出典】 庁内資料

(6)ひとり親家庭医療の助成

①ひとり親家庭医療費助成医療証交付世帯数(No.2-1-6-1)



<前年度との比較>

・3.1%減

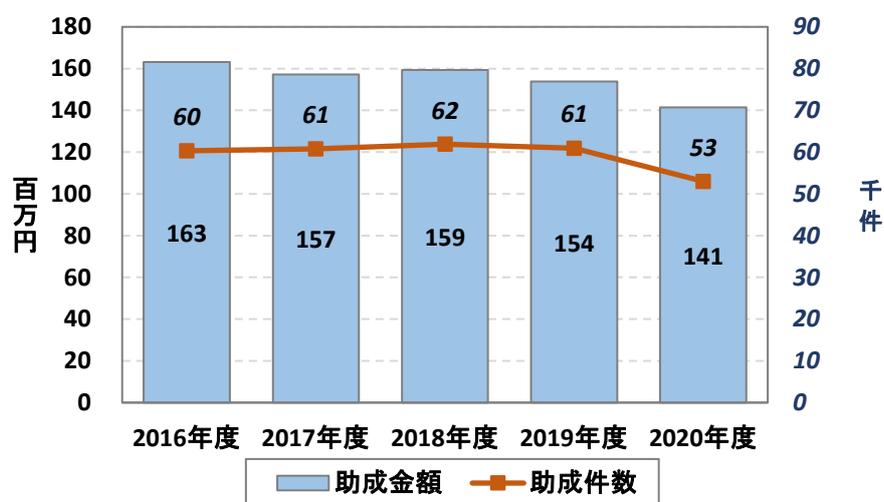
<2016年度との比較>

・6.9%減

【時点】 各年度3月31日現在

【出典】 庁内資料

②ひとり親家庭医療費助成金額、助成件数(No.2-1-6-2)



<前年度との比較>

・助成金額:8.0%減

・助成件数:13.1%減

<2016年度との比較>

・助成金額:13.3%減

・助成件数:12.1%減

【期間】 各年度4月1日～3月31日

【出典】 庁内資料

## 2 高齢者

### <ポイント>

#### (1) 高齢者福祉

- 高齢者生活支援事業利用延べ回数は、食事サービスが年々増加している。【(1)①参照】

#### (2) 高齢者住宅

- 住宅改修給付利用件数は、年々減少している。【(2)③参照】

#### (3) 介護保険

- 第1号被保険者(65歳以上)の数は、年々増加している。【(3)①参照】
- 介護保険認定者数は、年々増加している。【(3)④参照】

#### (6) 仲間づくり、健康づくり、社会参加等

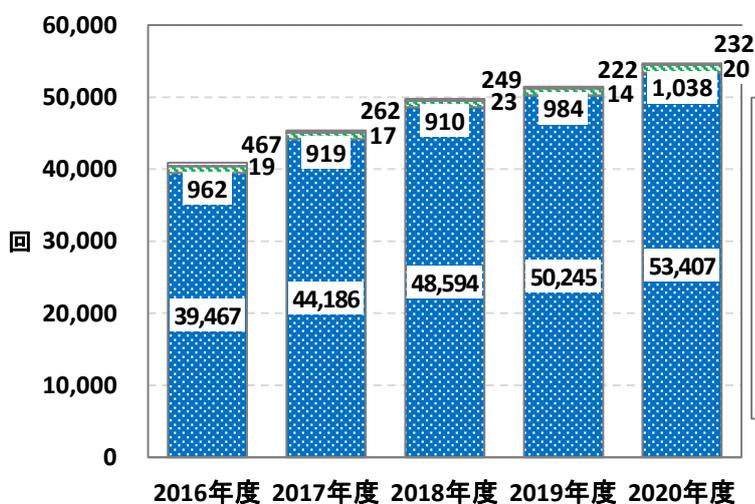
- 老人クラブ会員数は、年々減少している。【(6)①参照】

#### (7) 高齢者福祉センター

- 2019年度の利用者数は、過去3年間と比べて減少している。【(7)①参照】

### (1) 高齢者福祉

#### ① 高齢者生活支援事業利用延べ回数 (No.2-2-1-1)



#### <前年度との比較>

- ・「寝具乾燥」: 4.5%増
- ・「紙おむつ支給」: 5.5%増
- ・「食事サービス」: 6.3%増

#### <2016年度との比較>

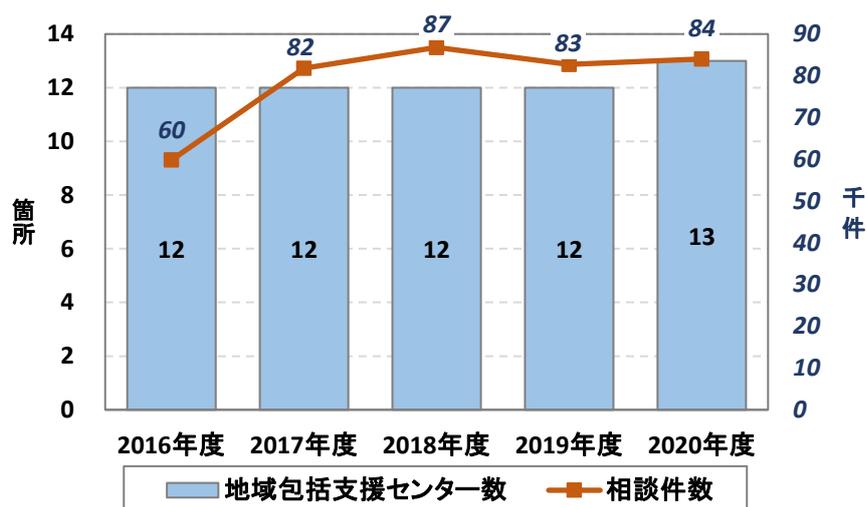
- ・「寝具乾燥」: 50.3%減
- ・「紙おむつ支給」: 7.9%増
- ・「食事サービス」: 35.3%増

【注1】 「緊急通報システム」は、集計方法変更のため「町田市データブック2021年度」では削除。

【時点】 各年度末現在

【出典】 庁内資料

②地域包括支援センター数、相談件数(No.2-2-1-2)



＜前年度との比較＞  
 ・相談件数:1.6%増

＜2016年度との比較＞  
 ・相談件数:40.5%増

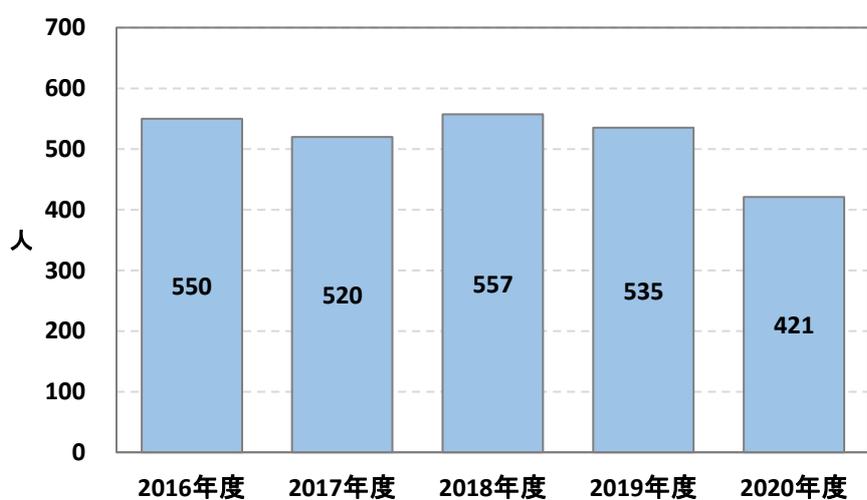
【注 1】 相談対象者は、要支援1、要支援2認定者。

【注 2】 地域包括支援センター数とは、「高齢者支援センター」と「医療と介護の連携支援センター」(2020年4月1日設置)の合計。  
 地域包括支援センターへの名称変更に伴い、グラフタイトル等の名称を変更。

【時点】 各年度4月1日現在(地域包括支援センター数)、各年度末現在(相談件数)

【出典】 庁内資料

③成年後見制度相談新規受付者数(高齢者)(No.2-2-1-3)



＜前年度との比較＞  
 ・21.3%減

＜2016年度との比較＞  
 ・23.5%減

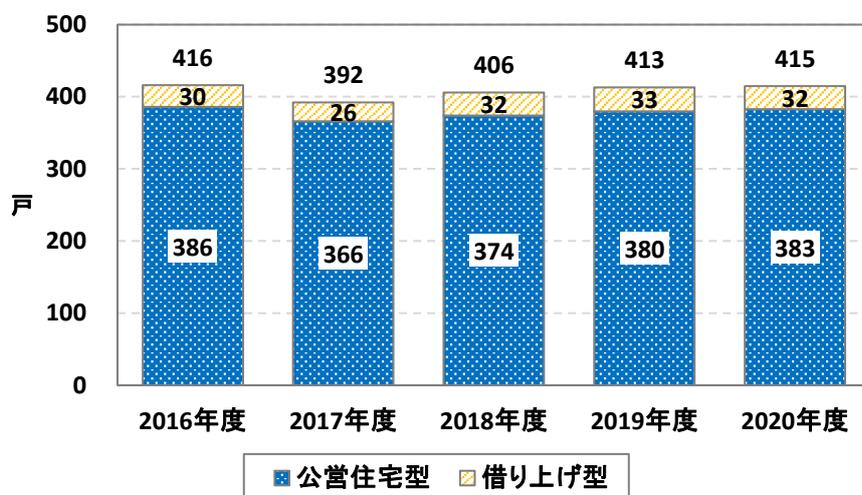
【注 1】 高齢者とは、65歳以上の者のことをいう。

【期間】 各年度4月1日～3月31日

【出典】 庁内資料

(2) 高齢者住宅

① 高齢者住宅(シルバーピア)入居戸数(No.2-2-2-1)



<前年度との比較>

- ・入居戸数:0.5%増
- ・「借り上げ型」:3.0%減
- ・「公営住宅型」:0.8%増

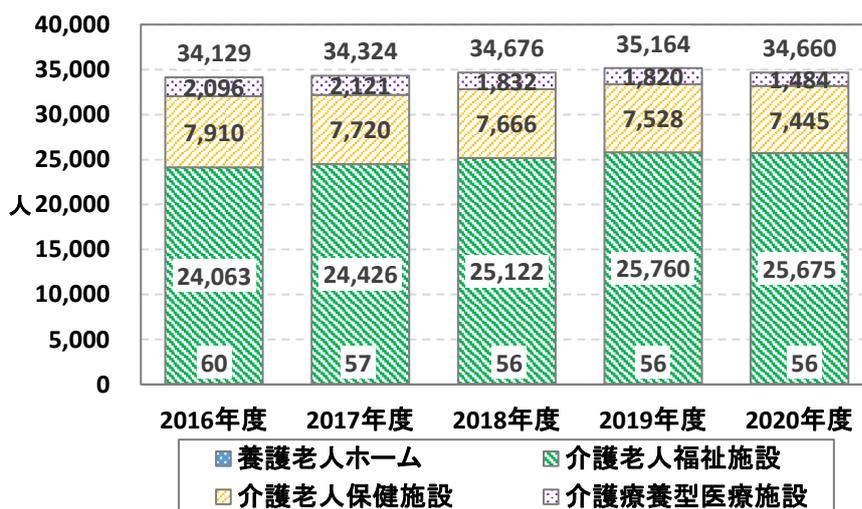
<2016年度との比較>

- ・入居戸数:0.2%減
- ・「借り上げ型」:6.7%増
- ・「公営住宅型」:0.8%減

【時点】 各年度10月1日現在

【出典】 庁内資料

② 老人ホーム等入所者数(No.2-2-2-2)



<前年度との比較>

- ・老人ホーム等入所者数: 1.4%減
- ・「介護老人福祉施設」: 0.3%減

<2016年度との比較>

- ・老人ホーム等入所者数: 1.6%増
- ・「介護老人福祉施設」: 6.7%増

【注 1】 介護療養型医療施設とは、介護が必要な方で、長期にわたって療養が必要な方や認知症のある方などに対し、療養上の管理、看護、介護及び機能訓練などを行う施設。

【注 2】 介護老人保健施設とは、病状が安定していて入院する必要のない方で、在宅生活に向けてリハビリや介護が必要な方に対し、機能訓練や日常生活への支援を行う施設。

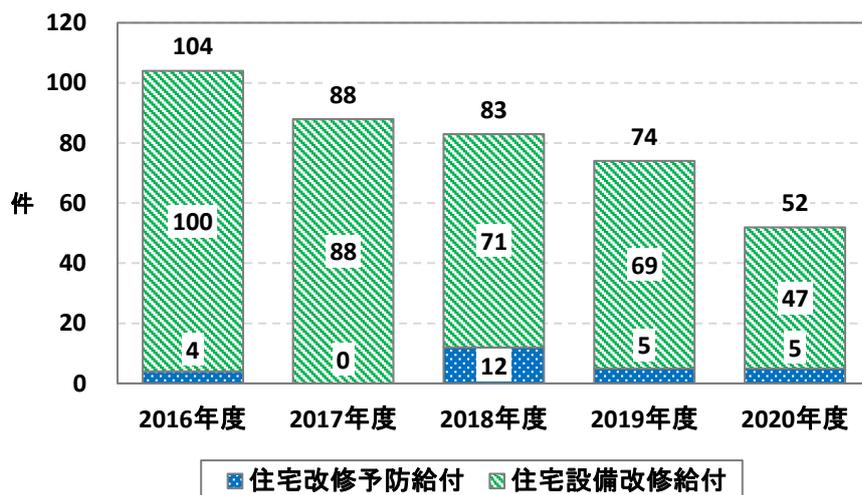
【注 3】 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)とは、介護が必要な方で、寝たきりや認知症等で在宅での生活が困難な方に対し、入浴、排泄、食事などの介護を行う施設。

【注 4】 養護老人ホームとは、身体の衰えや、家族の事情により居宅において生活することが困難で、かつ、経済的にも他の施設に入所することが困難な方が市の措置によって入所する施設。

【時点】 各年度末現在

【出典】 「町田市統計書」、庁内資料

③住宅設備改修給付・住宅改修予防給付利用件数(No.2-2-2-3)



＜前年度との比較＞  
 ・利用件数:29.7%減  
 ・「住宅設備改修給付」:  
 31.9%減

＜2016年度との比較＞  
 ・利用件数:50.0%減  
 ・「住宅設備改修給付」:  
 53.0%減

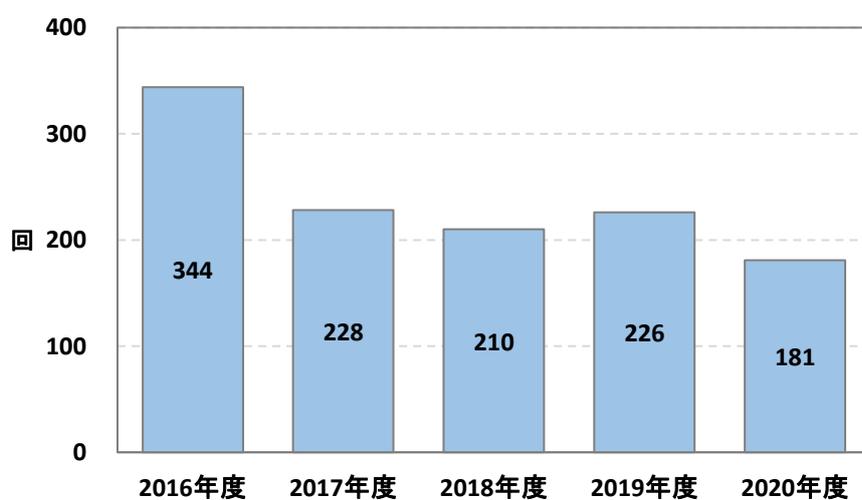
【注 1】 住宅改修予防給付は、介護保険非該当の方のうち、援助が必要な方が対象。

【注 2】 住宅設備改修給付は、介護保険とは異なる制度。

【時点】 各年度末現在

【出典】 庁内資料

④住宅改修支援事業(住宅改修アドバイザー)延べ利用回数(No.2-2-2-4)



＜前年度との比較＞  
 ・19.9%減

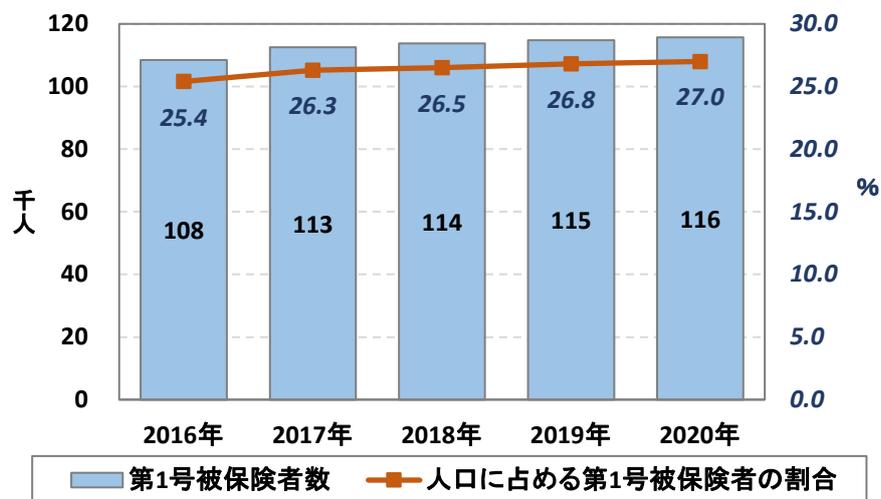
＜2016年度との比較＞  
 ・47.4%減

【時点】 各年度末現在

【出典】 庁内資料

(3)介護保険

①第1号被保険者数、人口に占める第1号被保険者の割合(No.2-2-3-1)



<前年との比較>

- ・第1号被保険者数: 0.8%増
- ・第1号被保険者の割合: 0.2ポイント上昇

<2016年との比較>

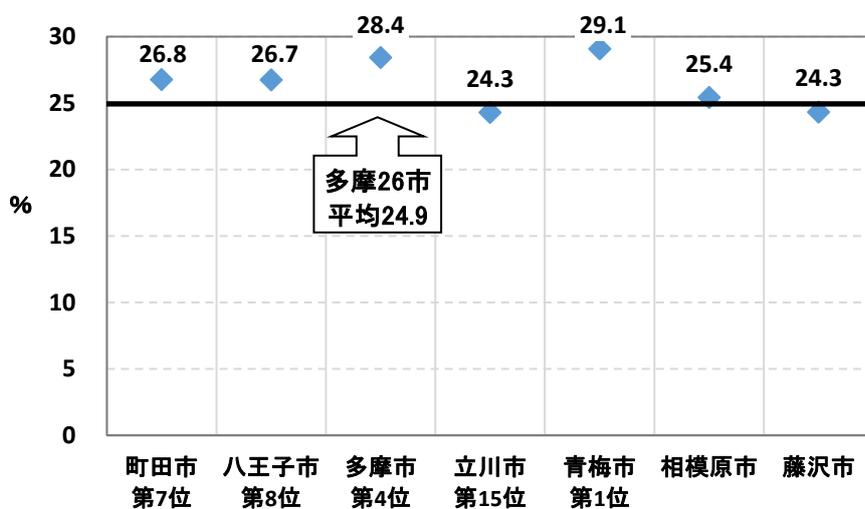
- ・第1号被保険者数: 6.7%増
- ・第1号被保険者の割合: 1.6ポイント上昇

【注1】 第1号被保険者とは、65歳以上の方をいう。

【時点】 各年1月末現在(第1号被保険者数)、各年2月1日現在(人口)

【出典】 「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

②人口に占める第1号被保険者の割合(No.2-2-3-2)【他市比較】



<26市平均との比較>

- ・1.8ポイント高い

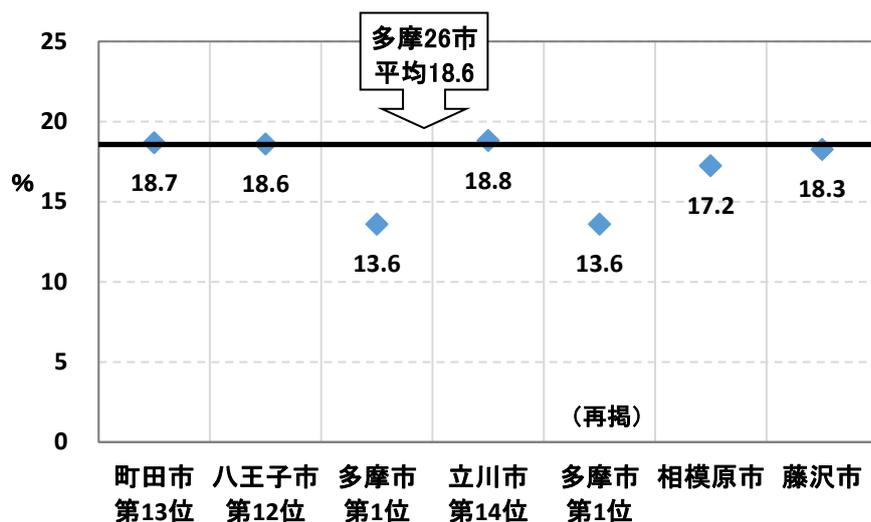
<26市ランキング>

- 第1位: 青梅市 29.1
  - 第2位: あきる野市 28.8
  - 第3位: 東久留米市 28.5
- (%)

【時点】 2020年1月末現在(第1号被保険者数)、2020年1月1日現在(人口)

【出典】 「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

③第1号被保険者に占める要介護(要支援)認定者(第1号)の割合(No.2-2-3-3)【他市比較】



<26市平均との比較>

・0.1ポイント高い

<26市ランキング>

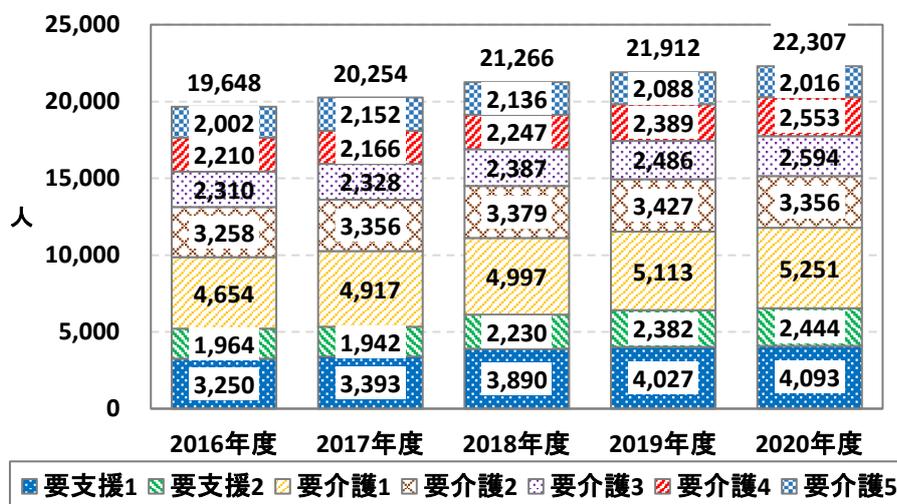
第1位: 多摩市 13.6  
 第2位: 稲城市 14.4  
 第3位: 武蔵村山市 14.8  
 (%)

【注1】 この表の26市ランキングについては、数値の小さい市から並べている。

【時点】 2020年1月末現在

【出典】 「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

④介護保険認定者数(第1号、第2号)(No.2-2-3-4)



<前年度との比較>

・認定者数:1.8%増  
 ・「要介護4」:6.9%増  
 ・「要介護3」:4.3%増  
 ・「要介護1」:2.7%増

<2016年度との比較>

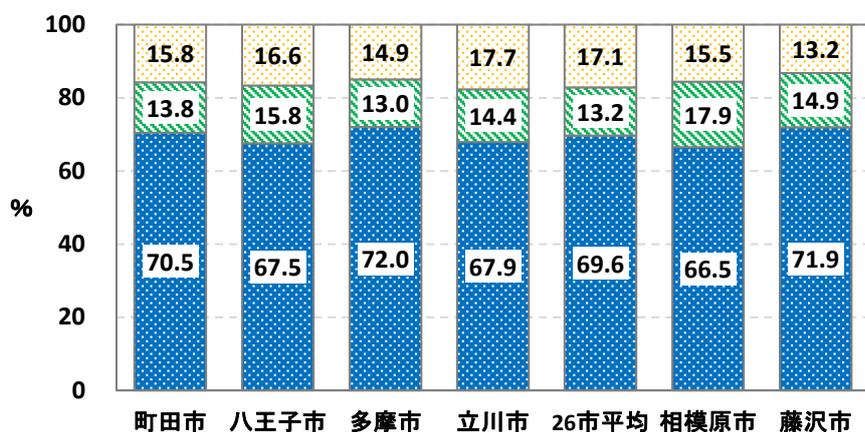
・認定者数:13.5%増  
 ・「要介護1」:12.8%増  
 ・「要支援2」:24.4%増  
 ・「要支援1」:25.9%増

【時点】 各年度末現在

【出典】 「町田市統計書」、庁内資料

(4) サービス受給状況

① サービス受給割合(第1号)(No.2-2-4-1)【他市比較】



<26市平均との比較>

- ・「施設介護サービス」:  
1.4ポイント低い
- ・「地域密着型サービス」:  
0.5ポイント高い
- ・「居宅介護(支援)サービス」:  
0.8ポイント高い

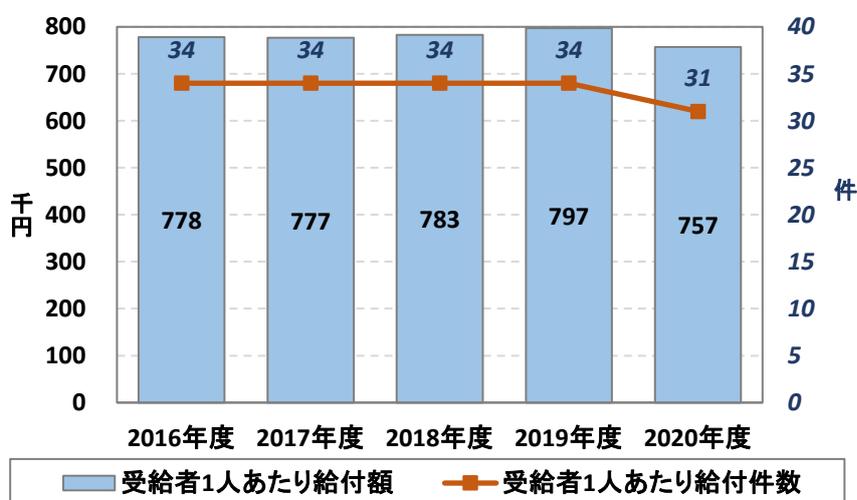
■ 居宅介護(支援)サービス ■ 地域密着型サービス ■ 施設介護サービス

【時点】 2020年1月末現在

【出典】 「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

(5) 後期高齢者医療費等

① 受給者1人あたり後期高齢者医療費給付額、件数(No.2-2-5-1)



<前年度との比較>

- ・受給者1人あたり給付額:  
5.0%減
- ・受給者1人あたり給付件数:  
8.8%減

<2016年度との比較>

- ・受給者1人あたり給付額:  
2.7%減
- ・受給者1人あたり給付件数:  
8.8%減

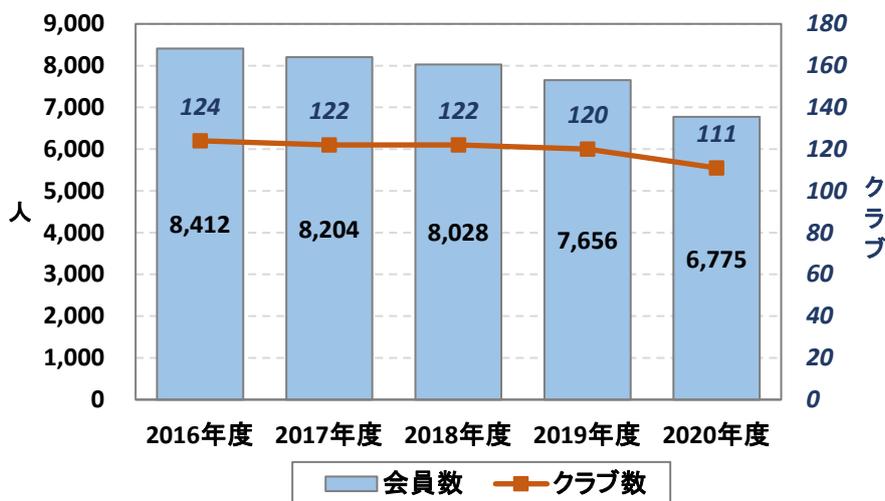
【時点】 各年度平均(受給者数)

【期間】 各年度4月1日～3月31日(給付額、給付件数)

【出典】 東京都後期高齢者医療広域連合資料

(6)仲間づくり、健康づくり、社会参加等

①老人クラブ数、会員数(No.2-2-6-1)



<前年度との比較>

- ・会員数:11.5%減
- ・クラブ数:7.5%減

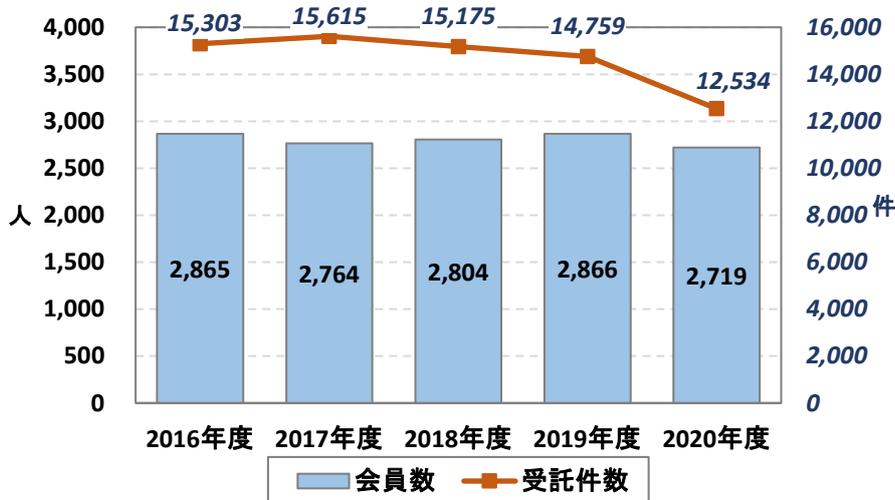
<2016年度との比較>

- ・会員数:19.5%減
- ・クラブ数:10.5%減

【時点】 各年度末現在

【出典】 「町田市統計書」、庁内資料

②シルバー人材センター会員数、受託件数(No.2-2-6-2)



<前年度との比較>

- ・会員数:5.1%減
- ・受託件数:15.1%減

<2016年度との比較>

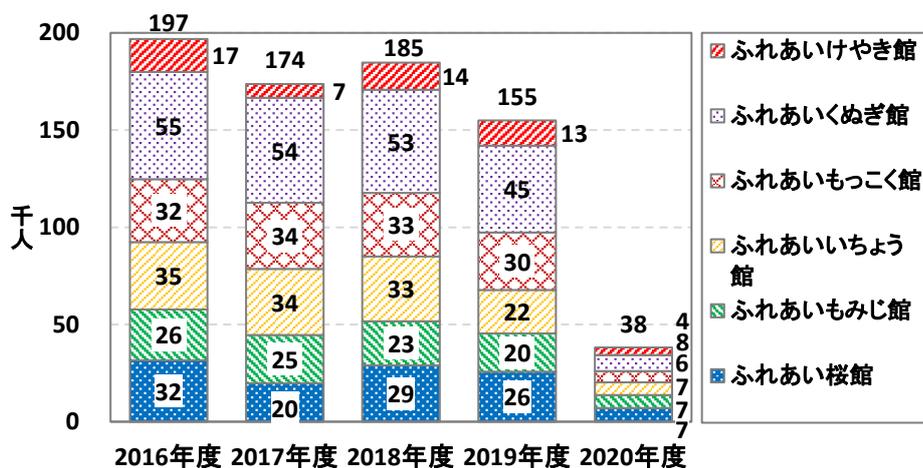
- ・会員数:5.1%減
- ・受託件数:18.1%減

【時点】 各年度末現在

【出典】 「町田市シルバー人材センター事業実施状況報告書」、庁内資料

(7) 高齢者福祉センター

① 高齢者福祉センター利用者数 (No.2-2-7-1)

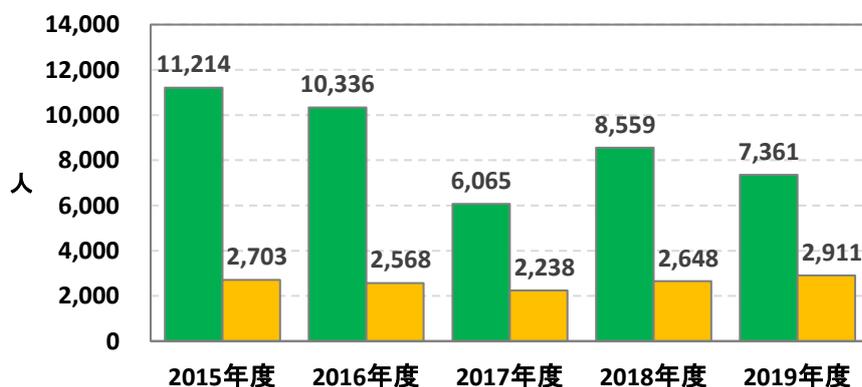


＜前年度との比較＞  
 ・利用者数：75.4%減  
 ・「くぬぎ館」：81.4%減  
 ・「もっこく館」：80.6%減

＜2016年度との比較＞  
 ・利用者数：80.6%減  
 ・「くぬぎ館」：84.9%減  
 ・「もっこく館」：82.3%減

【時点】 各年度末現在  
 【出典】 「町田市統計書」、庁内資料

② 町田市、相模原市の高齢者福祉センター相互利用数 (No.2-2-7-2)



＜2018年度との比較＞  
 ・相模原市民数：14.0%減  
 ・町田市民数：9.9%増

＜2015年度との比較＞  
 ・相模原市民数：34.4%減  
 ・町田市民数：7.7%増

■ 町田市の高齢者福祉センターを利用した60歳以上の相模原市民数  
 ■ 相模原市の高齢者福祉センターを利用した60歳以上の町田市民数

【時点】 各年度3月末現在  
 【出典】 庁内資料

### 3 障がい者

＜ポイント＞

(1) 障がい者福祉

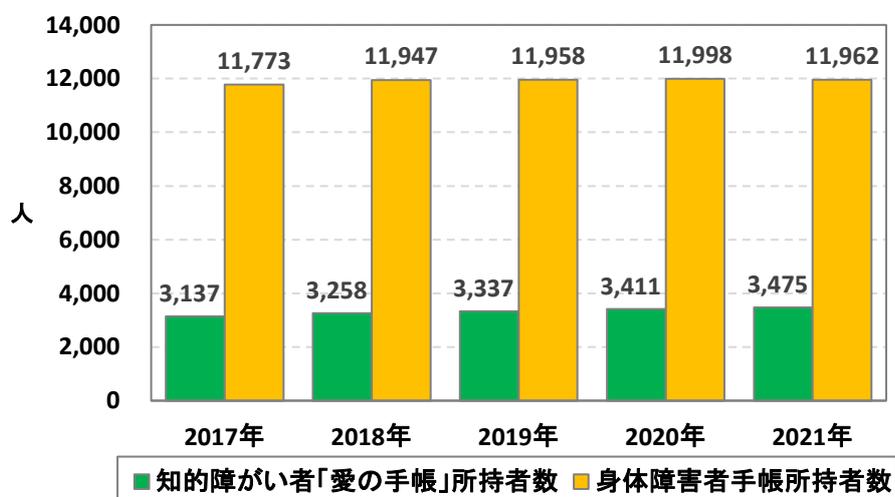
● 知的障がい者「愛の手帳」所持者数は、年々微増している。【(1)①参照】

(2) 障がい者雇用

● 障がい者雇用率は、2016年～2019年は年々上昇しているが、2020年は低下している。  
【(2)①参照】

(1)障がい者福祉

①知的障がい者「愛の手帳」、身体障害者手帳所持者数(No.2-3-1-1)



＜前年との比較＞

- ・愛の手帳:1.9%増
- ・身体障害者手帳:0.3%減

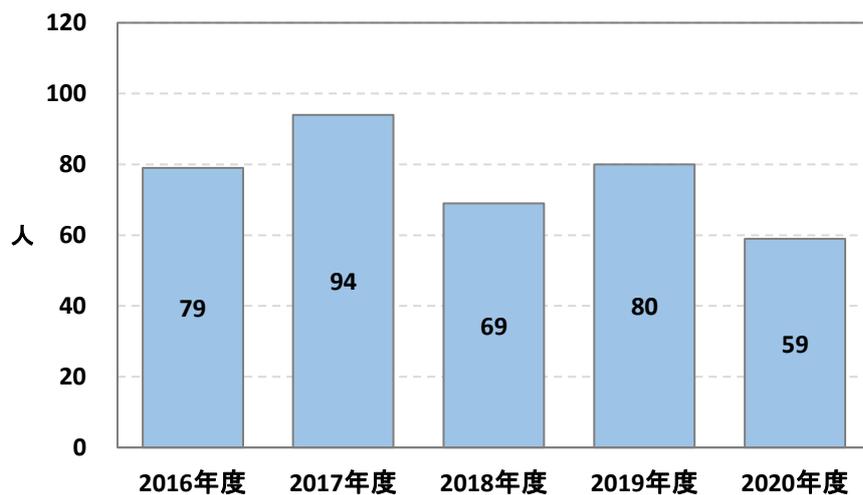
＜2017年との比較＞

- ・愛の手帳:10.8%増
- ・身体障害者手帳:1.6%増

【時点】 各年1月1日現在

【出典】 「町田市統計書」、庁内資料

②成年後見制度相談新規受付け数(障がい者)(No.2-3-1-2)



<前年度との比較>

・26.3%減

<2016年度との比較>

・25.3%減

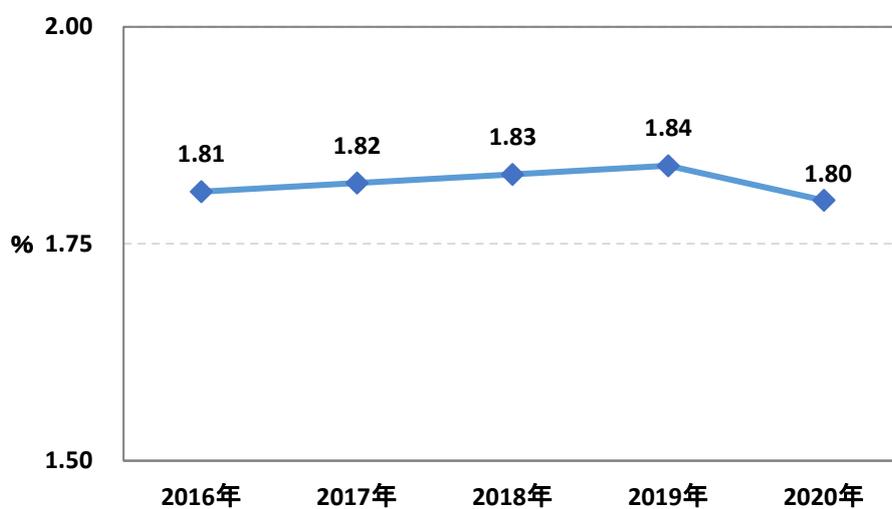
【注1】 障がい者とは、知的障がいまたは精神障がい者の内、64歳以下の者のことをいう。

【期間】 各年度4月1日～3月31日

【出典】 庁内資料

(2)障がい者雇用

①障がい者雇用率(No.2-3-2-1)



<前年との比較>

・0.04ポイント低下

<2016年との比較>

・0.01ポイント低下

【時点】 各年6月1日現在

【出典】 「町田市統計書」、庁内資料

## 4 保健・医療

### <ポイント>

#### (1) 医療施設

- 医療施設数は、増加傾向にある。【(1)①参照】
- 市民1千人あたり病院病床数は、総病床と一般病床のいずれも、多摩26市平均より少ない。【(1)④参照】

#### (2) 医療従事者

- 2018年の市民1千人あたり医師数は、2016年に比べ増加しているが、多摩26市平均より少ない。【(2)②③参照】

#### (3) 市民病院

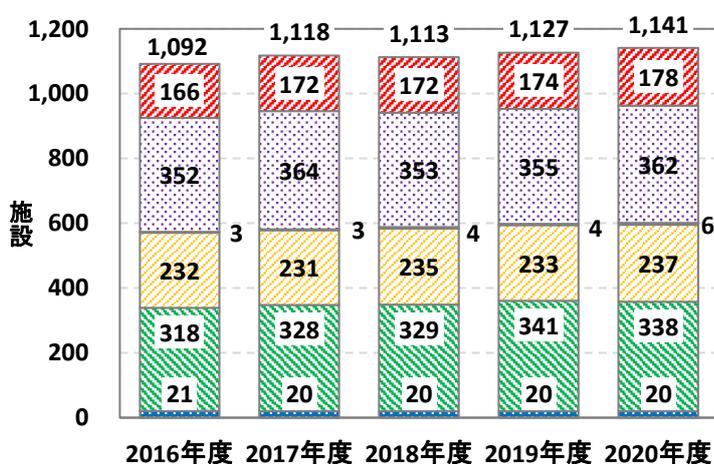
- 市民病院の外来患者数、入院患者数は、年々減少している。【(3)①参照】

#### (5) 健康診査等

- 2020年度のがん検診受診者数は、2019年度より増加しているが2016年度に比べ減少している。【(5)②参照】

### (1) 医療施設

#### ① 医療施設数 (No.2-4-1-1)



#### <前年度との比較>

- ・医療施設数: 1.2%増
- ・「薬局」: 2.3%増
- ・「施術所」: 2.0%増
- ・「歯科診療所」: 1.7%増

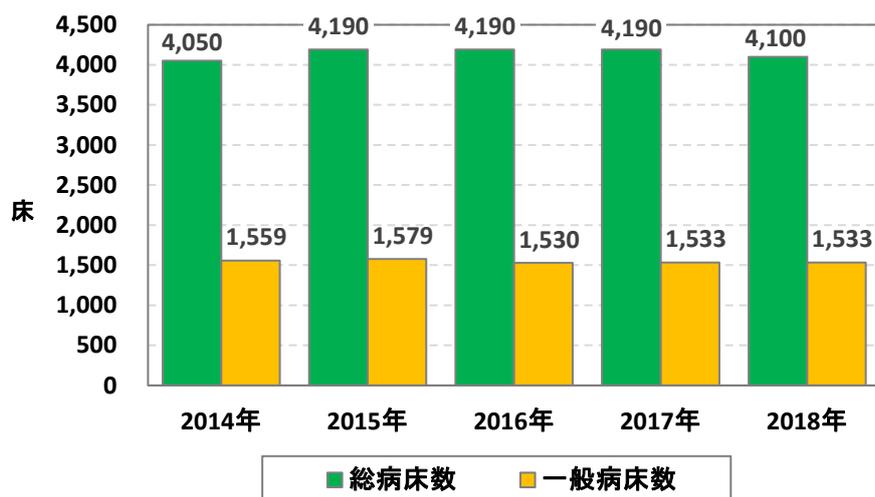
#### <2016年度との比較>

- ・医療施設数: 4.5%増
- ・「薬局」: 7.2%増
- ・「一般診療所」: 6.3%増

【時点】 各年度末現在

【出典】 「町田市統計書」、庁内資料

②病院病床数(総病床、一般病床)(No.2-4-1-2)



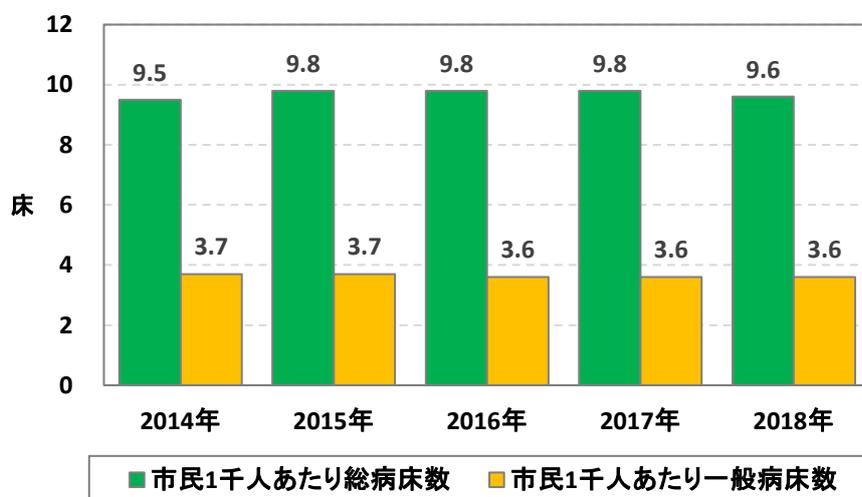
＜前年との比較＞  
 ・総病床数:2.1%減  
 ・一般病床数:変化なし

＜2014年との比較＞  
 ・総病床数:1.2%増  
 ・一般病床数:1.7%減

【時点】 各年10月1日現在

【出典】 「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

③市民1千人あたり病院病床数(総病床、一般病床)(No.2-4-1-3)



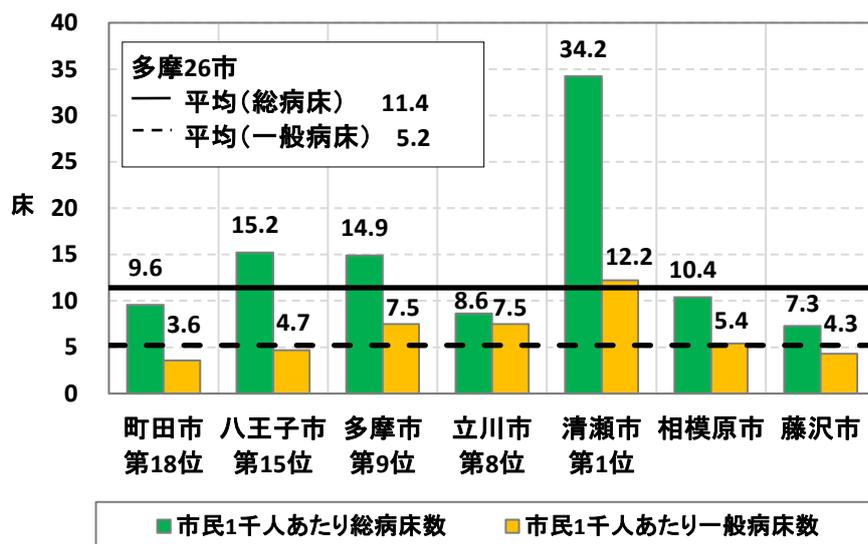
＜前年との比較＞  
 ・総病床数:2.0%減  
 ・一般病床数:変化なし

＜2014年との比較＞  
 ・総病床数:1.1%増  
 ・一般病床数:2.7%減

【時点】 各年10月1日現在

【出典】 「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

④市民1千人あたり病院病床数(総病床、一般病床)(No.2-4-1-4)【他市比較】



【市民1千人あたり一般病床数】

<26市平均との比較>

・31.3%少ない

<比較市との比較>

・4市の中で最も少ない

<26市ランキング>

第1位: 清瀬市 12.2

第2位: 福生市 10.2

第3位: 府中市 9.2

(床)

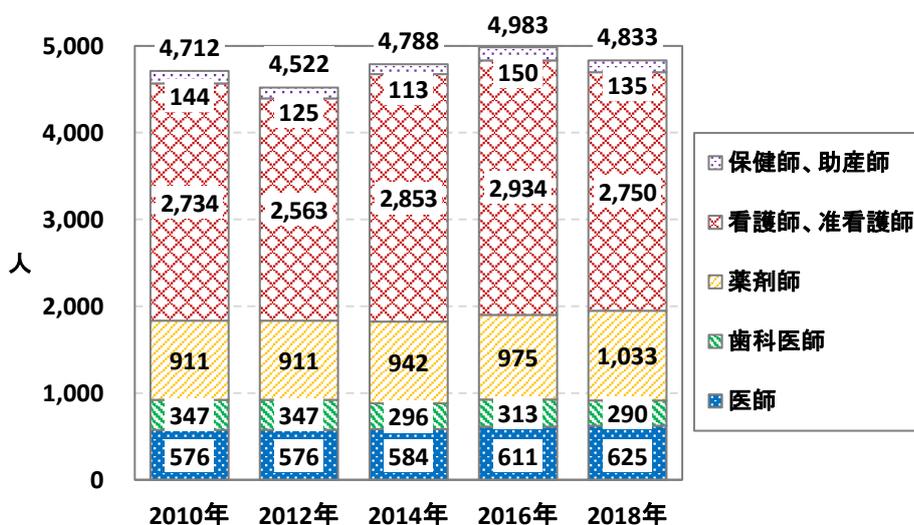
【注1】 このグラフの中の26市ランキングは、市民1千人あたり一般病床数を示している。

【時点】 2018年10月1日現在(病床数)、2019年1月1日現在(人口)

【出典】 「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

(2) 医療従事者

①医療従事者数(No.2-4-2-1)



<2016年との比較>

・医療従事者: 3.0%減

・「看護師、准看護師」:

6.3%減

<2010年との比較>

・医療従事者: 2.6%増

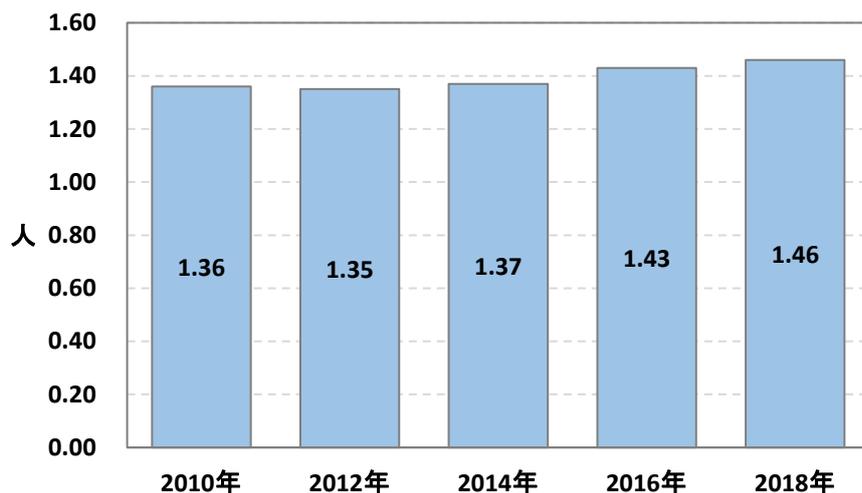
・「薬剤師」: 13.4%増

・「医師」: 8.5%増

【時点】 各年12月末現在

【出典】 「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

②市民1千人あたり医師数(No.2-4-2-2)



<2016年との比較>

・2.1%増

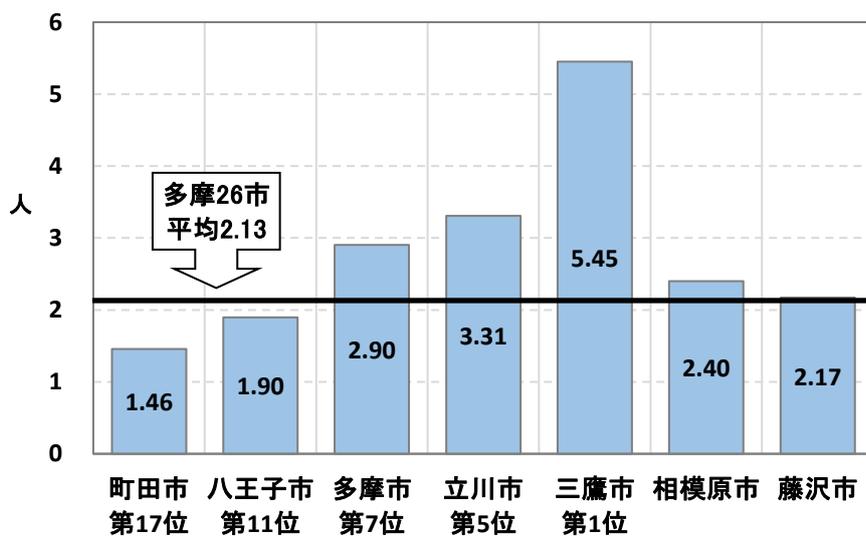
<2010年との比較>

・7.4%増

【時点】 各年12月31日現在(医師数)、翌年1月1日現在(人口)

【出典】 庁内資料

③市民1千人あたり医師数(No.2-4-2-3)【他市比較】



<26市平均との比較>

・31.6%少ない

<比較市との比較>

・4市の中で最も少ない

<26市ランキング>

第1位: 三鷹市 5.45

第2位: 府中市 3.74

第3位: 武蔵野市 3.46

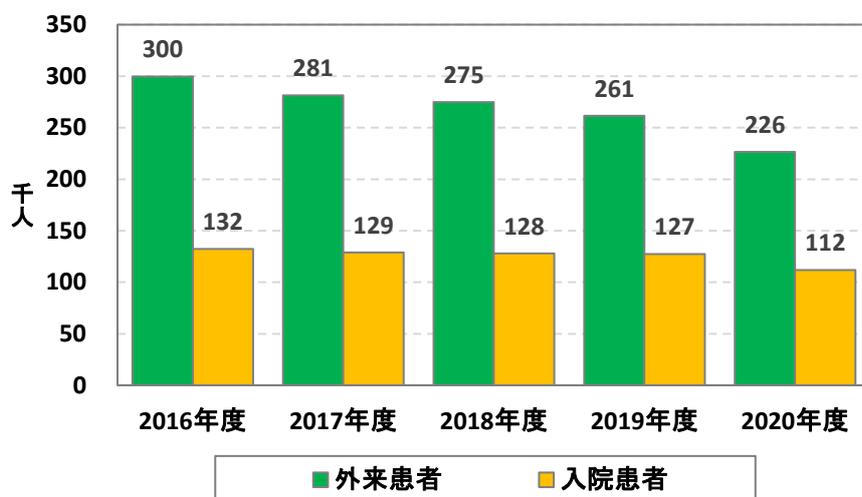
(人)

【時点】 2018年12月31日現在(医師数)、2019年1月1日現在(人口)

【出典】 「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

(3) 市民病院

① 市民病院の外来患者数、入院患者数(No.2-4-3-1)



<前年度との比較>

- ・外来患者: 13.4%減
- ・入院患者: 12.1%減

<2016年度との比較>

- ・外来患者: 24.5%減
- ・入院患者: 15.3%減

【期間】 各年度4月1日～3月31日

【出典】 「町田市統計書」、病院年報、庁内資料

(4) 救急診療

① 救急診療延べ病院数、受診患者数(No.2-4-4-1)



<前年度との比較>

- ・病院数: 2.8%減
- ・患者数: 45.4%減

<2016年度との比較>

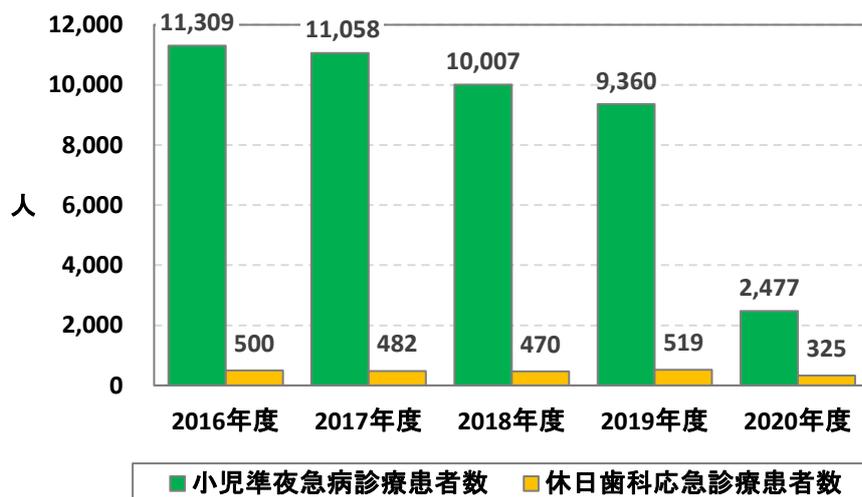
- ・病院数: 0.3%減
- ・患者数: 49.1%減

【注 1】 救急診療延べ病院数とは、平日・土曜日の時間外及び夜間における救急患者診療、休祝日における救急患者診療、休祝日における急病患者診療(初診)の1年度の実施病院数の合計をいう。

【期間】 各年度4月1日～3月31日

【出典】 「町田市統計書」、庁内資料

②小児準夜急病診療患者数、休日歯科応急診療患者数(No.2-4-4-2)



＜前年度との比較＞

- ・小児準夜急病診療患者数:73.5%減
- ・休日歯科応急診療患者数:37.4%減

＜2016年度との比較＞

- ・小児準夜急病診療患者数:78.1%減
- ・休日歯科応急診療患者数:35.0%減

【注 1】 小児準夜急病診療と休日歯科応急診療は、健康福祉会館内で実施。

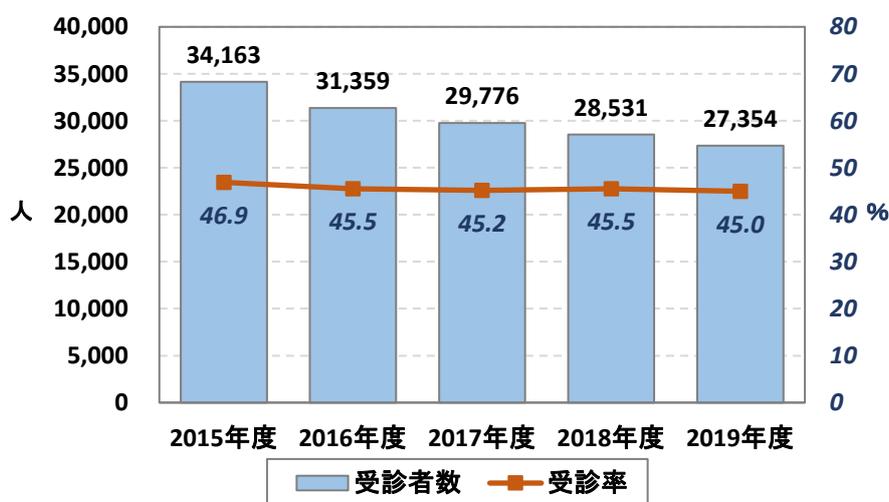
【注 2】 2016年4月24日から日中帯診療が開始。

【期間】 各年度4月1日～3月31日

【出典】 「町田市統計書」、庁内資料

(5)健康診査等

①特定健診受診者数、受診率(No.2-4-5-1)



＜前年度との比較＞

- ・受診者数:4.1%減
- ・受診率:0.5ポイント低下

＜2015年度との比較＞

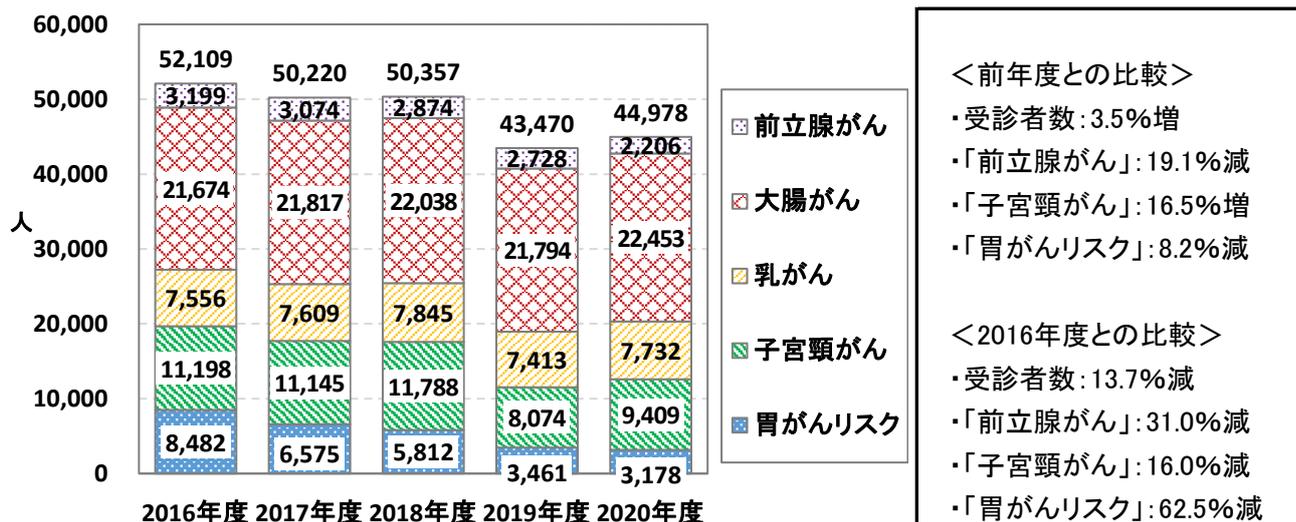
- ・受診者数:19.9%減
- ・受診率:1.9ポイント低下

【注 1】 40歳から74歳以下の町田市国民健康保険被保険者が対象。

【期間】 各年度4月1日～3月31日

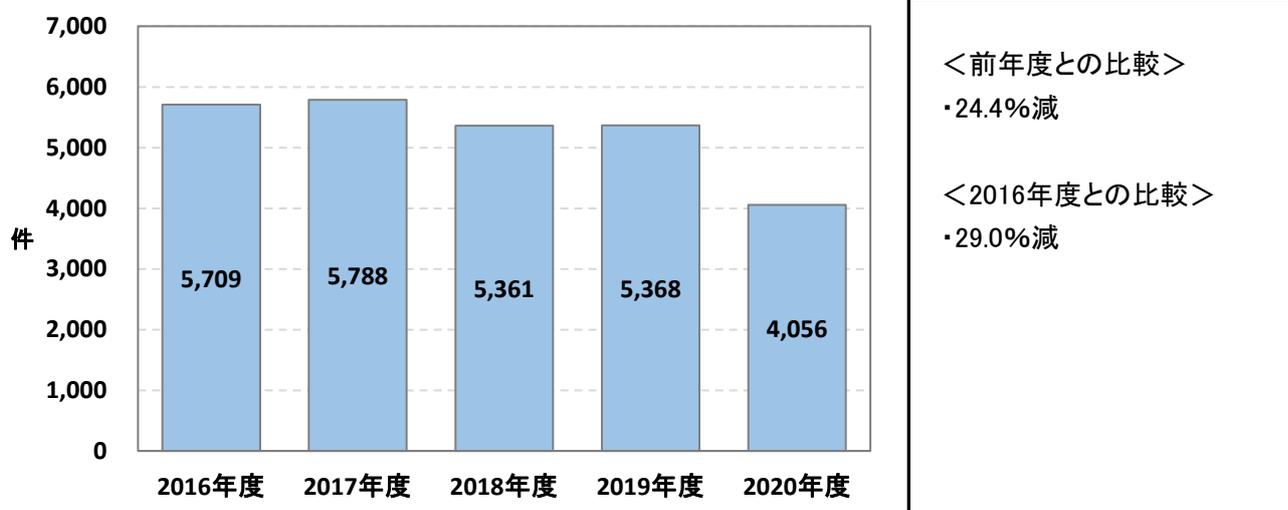
【出典】 特定健診・特定保健指導実施結果報告

②がん検診受診者数(No.2-4-5-2)



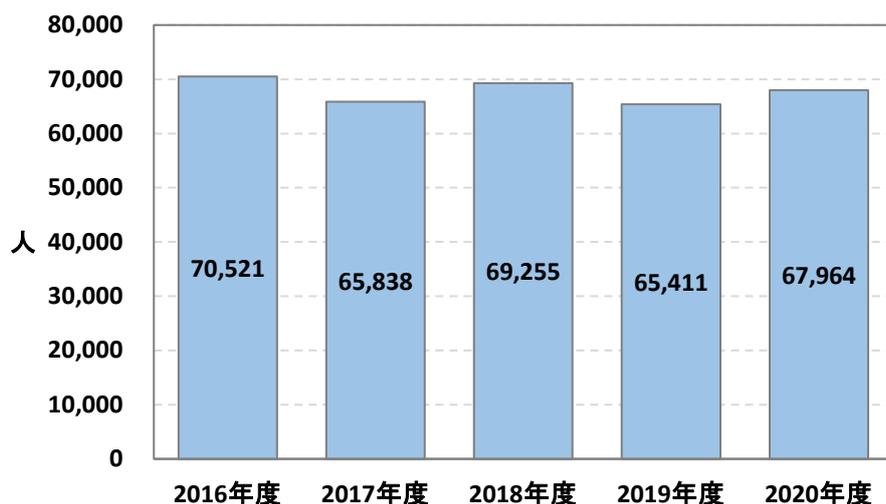
- 【注 1】 胃がんリスク健診は、2013年度は10月～2月の期間で、55～64歳の方を対象に実施、2014～2018年度は5月～2月の期間で、35歳以上の方を対象に実施。2019年度以降は5月～2月の期間で、30歳以上の方を対象に実施。
- 【注 2】 胃がん検診は、2014年度から胃がんリスク検診に移行したため胃がん検診としては廃止。
- 【注 3】 子宮頸がん検診は、2005～2018年度は20歳以上の女性、2019年度以降は20歳以上の偶数年齢の女性の方を対象に実施。
- 【注 4】 乳がん検診は、2004年度から対象年齢が40～70歳に変更。2010年度から70歳までの年齢制限廃止。
- 【注 5】 肺がん検診は、2014年度から特定健診の胸部エックス線検査に統合したため肺がん検診としては廃止。
- 【注 6】 大腸がん検診は、40歳以上の方を対象に実施。
- 【注 7】 前立腺がん検診は、2009年度から対象年齢が50～70歳の男性の方へ変更。2020年度をもって検診を終了。
- 【注 8】 胃がん検診、肺がん検診は、廃止のためデータブック2021年度版から削除。
- 【出典】 「町田市統計書」、庁内資料

③妊産婦、新生児、乳幼児訪問指導実施件数(No.2-4-5-3)



- 【期間】 各年度4月1日～3月31日
- 【出典】 庁内資料

④予防接種の接種者数(No.2-4-5-4)



<前年度との比較>

・3.9%増

<2016年度との比較>

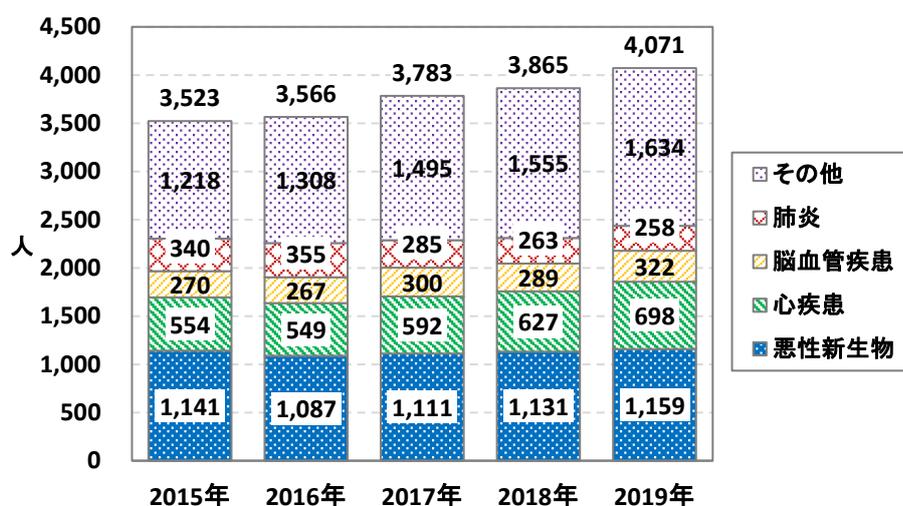
・3.6%減

【期間】 各年度4月1日～3月31日

【出典】 「町田市統計書」、庁内資料

(6)主要死因

①主要死因別死亡数(No.2-4-6-1)



<前年との比較>

・死亡数:5.3%増

・「脳血管疾患」:11.4%増

・「心疾患」:11.3%増

<2015年との比較>

・死亡数:15.6%増

・「肺炎」:24.1%減

・「脳血管疾患」:19.3%増

・「心疾患」:26.0%増

【期間】 各年1月1日～12月31日

【出典】 「町田市統計書」、庁内資料

## 5 生活保護

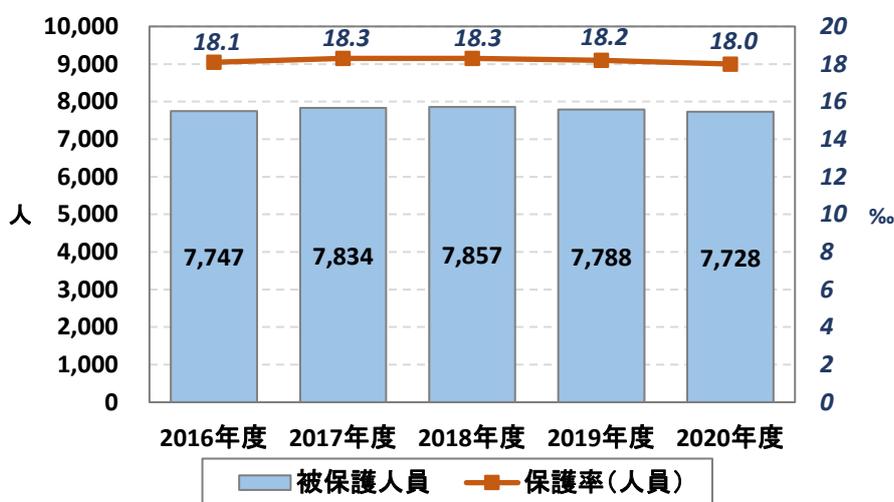
### <ポイント>

#### (1) 生活保護

- 2020年度の被保護人員保護率は、前年度より低下している。【(1)①参照】
- 2020年度の被保護世帯保護率は、前年度より上昇している。【(1)②参照】
- 被保護人員の年齢構成比は、60歳以上が約50%を占めている。【(1)③参照】

### (1)生活保護

#### ①被保護人員、保護率(人員)(No.2-5-1-1)



#### <前年度との比較>

- ・被保護人員:0.8%減
- ・保護率:0.2ポイント低下

#### <2016年度との比較>

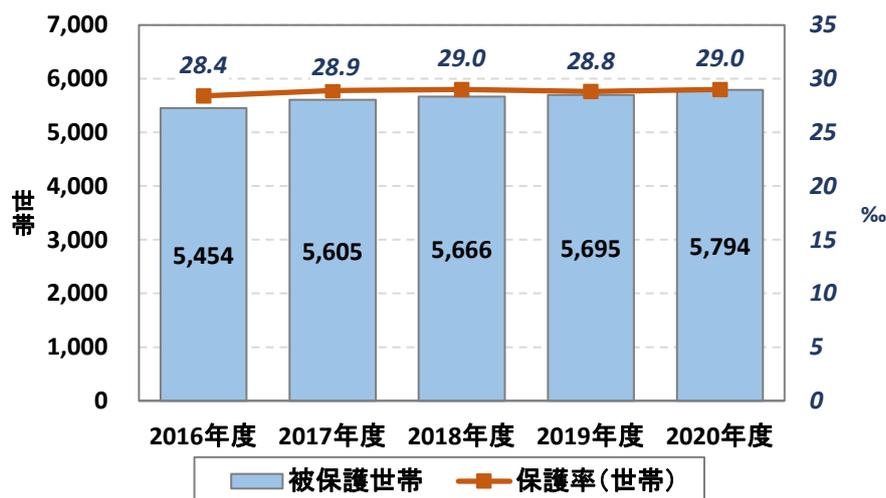
- ・被保護人員:0.2%減
- ・保護率:0.1ポイント低下

【注1】 保護率(人員) = 被保護人員(月平均) / 町田市人口(月平均) × 1,000

【時点】 各年度月平均

【出典】 「町田市統計書」、庁内資料

②被保護世帯数、保護率(世帯)(No.2-5-1-2)



＜前年度との比較＞  
 ・被保護世帯数:1.7%増  
 ・保護率:0.2ポイント上昇

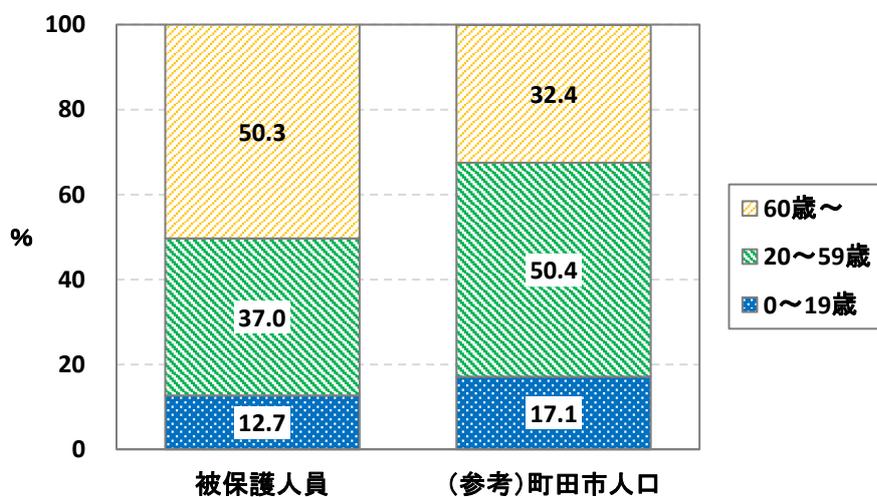
＜2016年度との比較＞  
 ・被保護世帯数:6.2%増  
 ・保護率:0.6ポイント上昇

【注1】 保護率(世帯) = 被保護世帯数(月平均) / 町田市世帯数(月平均) × 1,000

【時点】 各年度月平均

【出典】 「町田市統計書」、庁内資料

③年齢区分別被保護人員構成比(No.2-5-1-3)

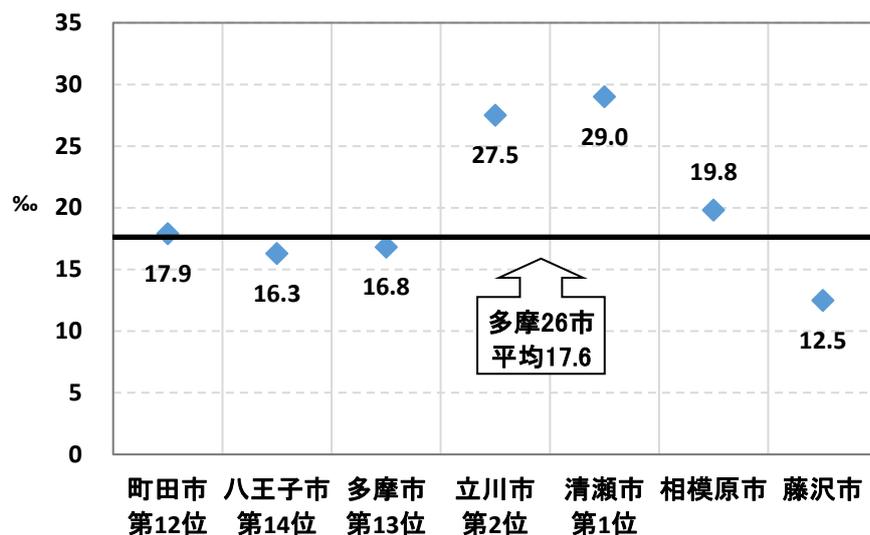


＜町田市人口との比較＞  
 ・「60歳～」:  
     17.9ポイント高い  
 ・「20～59歳」:  
     13.4ポイント低い  
 ・「0～19歳」:  
     4.4ポイント低い

【時点】 2021年3月末現在(被保護人員)、2021年4月1日現在(人口)

【出典】 「町田市統計書」、庁内資料

④保護率(人員)(No.2-5-1-4)【他市比較】



<26市平均との比較>  
 ・0.3ポイント高い  
  
 <比較市との比較>  
 ・4市の中で2番目に高い  
  
 <26市ランキング>  
 第1位: 清瀬市 29.0  
 第2位: 立川市 27.5  
 第3位: 武蔵村山市 24.0  
 (‰)

【注 1】 保護率算定の基礎人口は、東京都総務局「東京都の人口(推計)」(2019年10月1日)による。  
 (相模原市と藤沢市の保護率算定の基礎人口は2015年10月1日現在)

【時点】 2019年度平均

【出典】 「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

## 6 国民健康保険・国民年金

### <ポイント>

#### (1) 国民健康保険

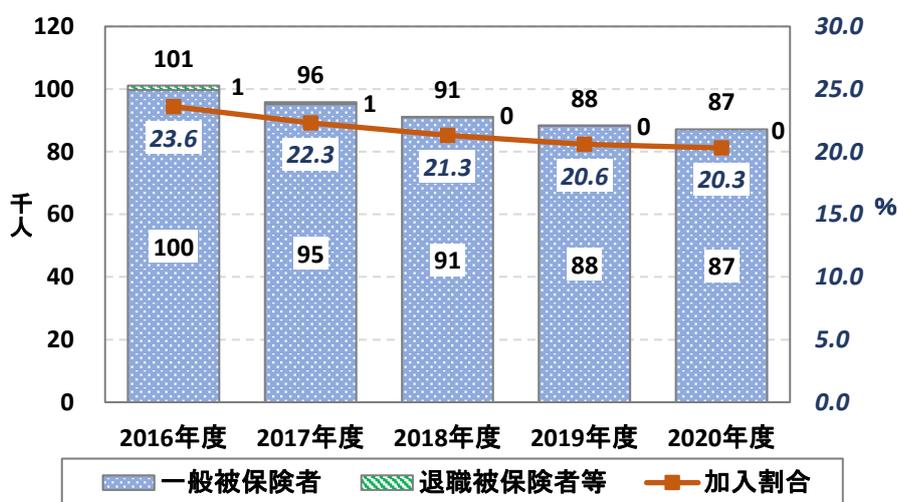
- 国民健康保険被保険者数及び加入割合は、年々減少している。【(1)①参照】

#### (2) 国民年金

- 国民年金被保険者数は年々減少しているが、受給者数は増加している。【(2)①参照】

### (1) 国民健康保険

#### ① 国民健康保険被保険者数、加入割合 (No.2-6-1-1)



#### <前年度との比較>

- ・加入割合: 0.3ポイント低下
- ・被保険者数: 1.3%減
- ・「一般被保険者」: 1.3%減

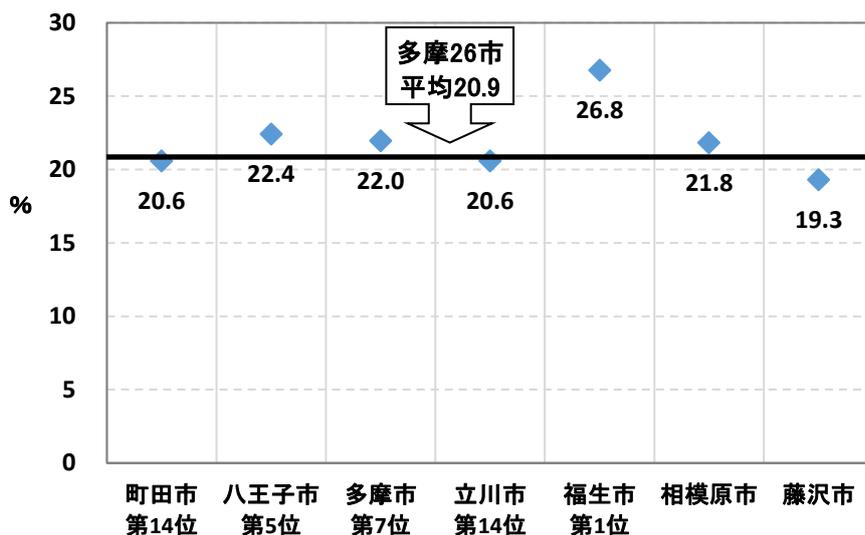
#### <2016年度との比較>

- ・加入割合: 3.3ポイント低下
- ・被保険者数: 13.8%減
- ・「一般被保険者」: 12.6%減

【時点】 各年度末現在(被保険者数)、翌年度4月1日現在(人口)

【出典】 国民健康保険事業譲許報告書(事業年報)

②国民健康保険加入割合(No.2-6-1-2)【他市比較】



＜26市平均との比較＞

・0.3ポイント低い

＜比較市との比較＞

・4市の中で立川市と同率で最も低い

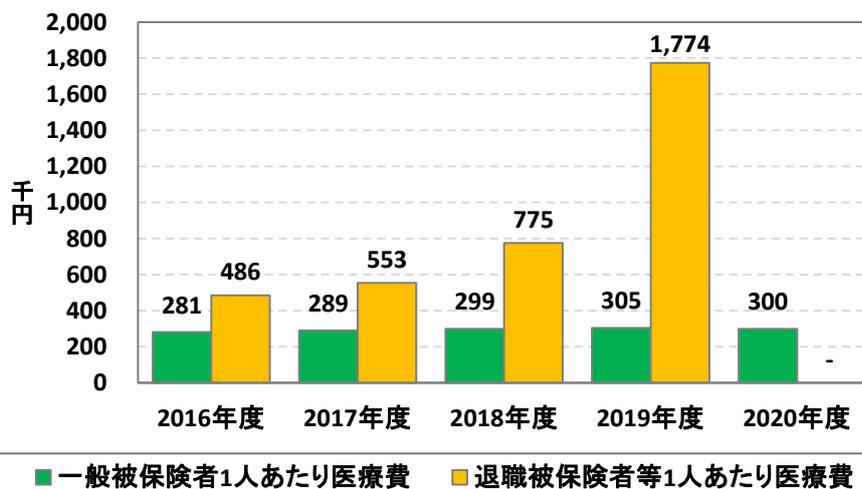
＜26市ランキング＞

第1位：福生市 26.8  
 第2位：あきる野市 23.8  
 第3位：武蔵村山市 23.5  
 (%)

【時点】 2020年3月31日現在(被保険者数)、2020年4月1日現在(人口)

【出典】 「福祉・衛生統計年報」東京都福祉保健局

③被保険者1人あたり医療費(一般被保険者、退職被保険者等)(No.2-6-1-3)



＜前年度との比較＞

・一般被保険者1人あたり医療費:1.6%減

＜2016年度との比較＞

・一般被保険者1人あたり医療費:6.5%増

【注1】 75歳以上の一般被保険者は、後期高齢者医療制度からの受給となるため、一般被保険者1人あたり医療費には含めない。

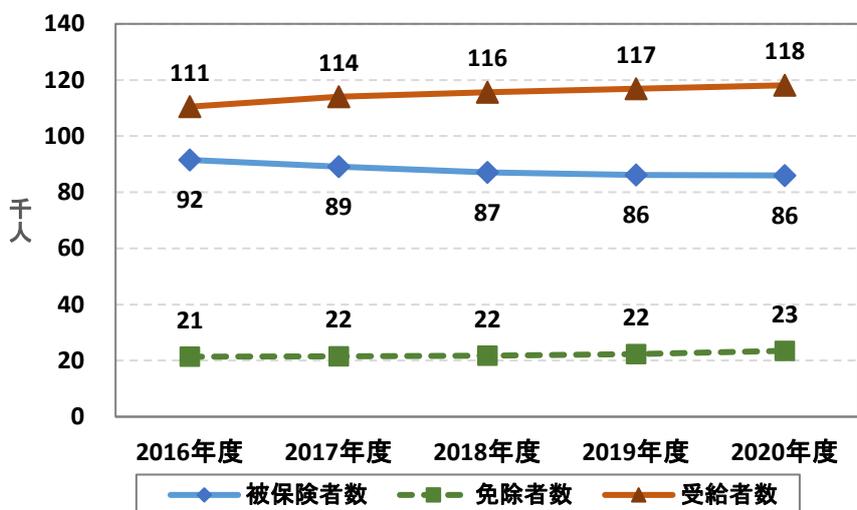
【注2】 2020年度の退職被保険者等の被保険者数は0人のため、1人あたり医療費は算出不可。

【時点】 各年度末現在

【出典】 国民健康保険事業譲許報告書(事業年報)

(2) 国民年金

① 国民年金被保険者数、免除者数、受給者数 (No.2-6-2-1)



<前年度との比較>

- ・被保険者数:0.2%減
- ・免除者数:5.5%増
- ・受給者数:1.1%増

<2016年度との比較>

- ・被保険者数:6.0%減
- ・免除者数:9.8%増
- ・受給者数:6.9%増

【時点】 各年度末現在

【出典】 「町田市統計書」、庁内資料

# III 環境



# 1 ごみ

## <ポイント>

### (1) 総ごみ量

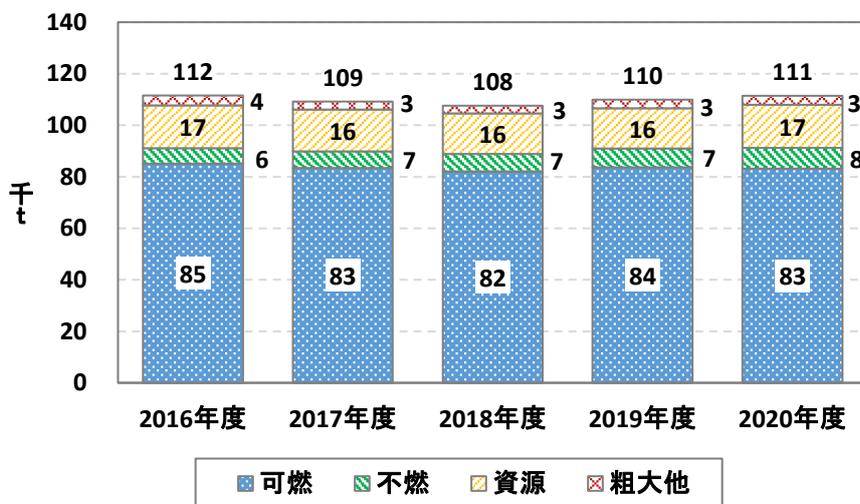
- 2020年度の総ごみ量は、前年度より増加、2016年度より微減となっている。【(1)①参照】
- 市民1人1日あたり総ごみ排出量は、多摩26市平均より若干多い。【(1)②参照】

### (2) ごみの資源化

- 多摩26市平均より集団回収量は多く、資源ごみ量は少ない。【(2)②参照】
- 総資源化率は、多摩26市平均より低い。【(2)③参照】

## (1) 総ごみ量

### ① 総ごみ量 (No.3-1-1-1)



#### <前年度との比較>

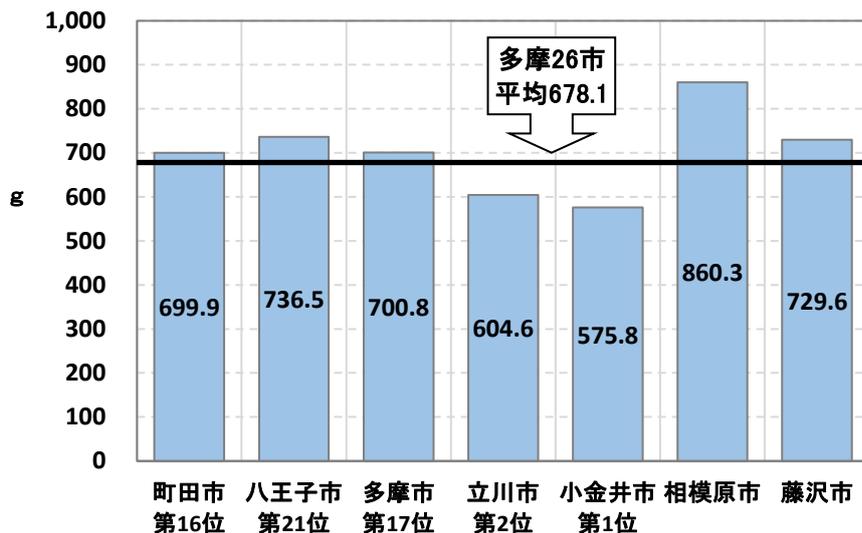
- ・総ごみ量: 1.3%増
- ・「資源」: 6.8%増
- ・「可燃」: 0.6%減

#### <2016年度との比較>

- ・総ごみ量: 0.2%減
- ・「資源」: 0.1%減
- ・「可燃」: 2.1%減

【出典】 「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

②市民1人1日あたり総ごみ量(No.3-1-1-2)【他市比較】



<26市平均との比較>  
 ・3.2%多い  
  
 <比較市との比較>  
 ・4市の中で2番目に少ない  
  
 <26市ランキング>  
 第1位: 小金井市 575.8  
 第2位: 立川市 604.6  
 第3位: 府中市 611.5  
 (g)

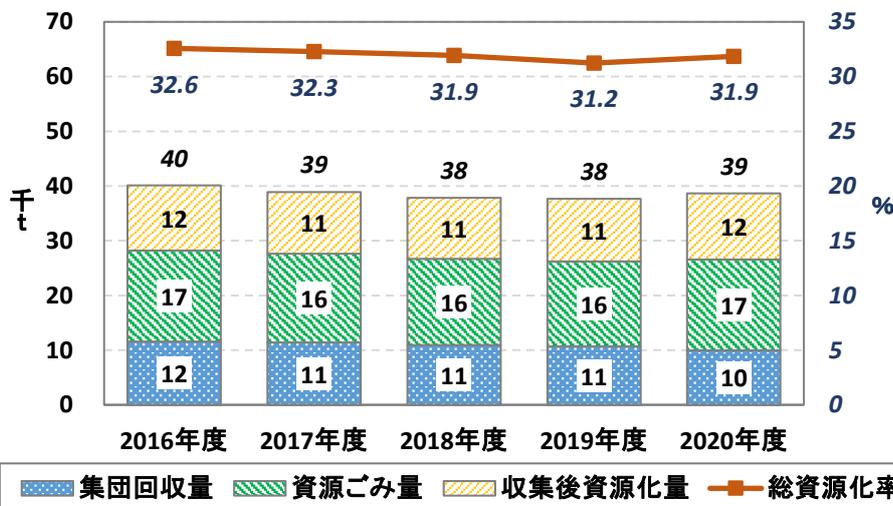
【注1】 このグラフの中の26市ランキングは、数値の小さい市から並べている。

【時点】 2019年度(ごみ排出量)、2019年10月1日現在(人口)

【出典】 「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

(2)ごみの資源化

①総資源化量、総資源化率(No.3-1-2-1)



<前年度との比較>  
 ・総資源化率:  
 0.6ポイント上昇  
 ・「収集後資源化量」:5.9%増  
 ・「資源ごみ量」:6.6%増  
  
 <2016年度との比較>  
 ・総資源化率:  
 0.7ポイント低下  
 ・「資源ごみ量」:0.4%減  
 ・「集団回収量」:13.6%減

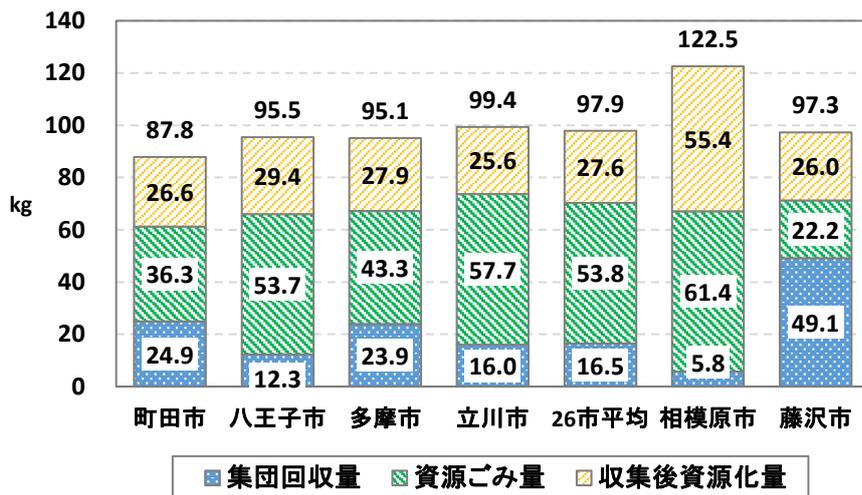
【注1】 資源ごみ量とは、資源ごみからの資源化量で、拠点回収による資源化量を含む。

【注2】 収集後資源化量とは、中間処理施設において不燃ごみや粗大ごみ等から人手や機械等によって選別された資源物の量である。

【注3】 総資源化率=(集団回収量+資源ごみ量+収集後資源化量)/(総ごみ量+集団回収量)×100

【出典】 「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

②市民1人あたり総資源化量(No.3-1-2-2)【他市比較】



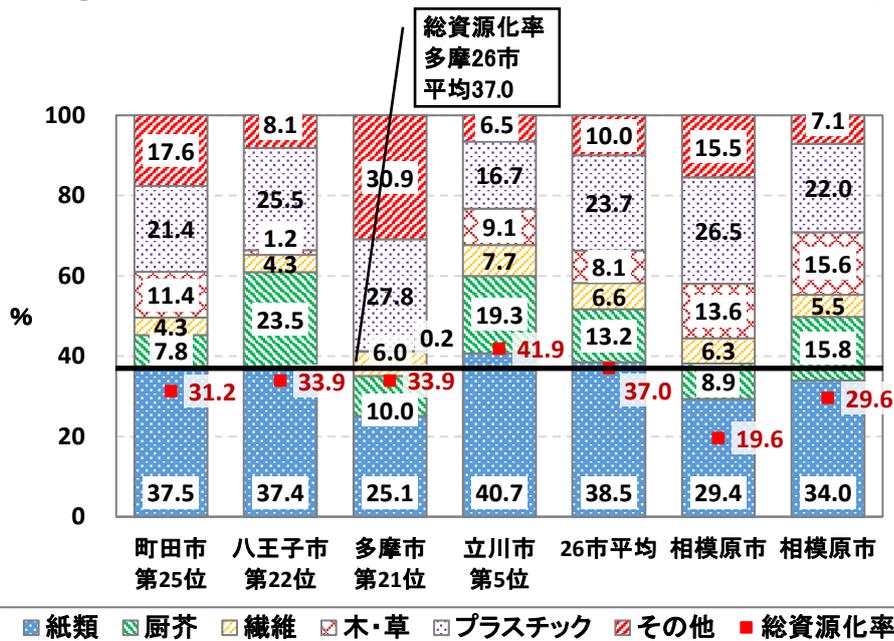
＜26市平均との比較＞

- ・総資源化量: 10.3%少ない
- ・「収集後資源化量」: 3.5%少ない
- ・「資源ごみ量」: 32.6%少ない
- ・「集団回収量」: 51.0%多い

【時点】 2019年度(資源化量)、2020年1月1日現在(人口)

【出典】 「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

③総資源化率、可燃ごみの組成(乾ベース)(No.3-1-2-3)【他市比較】



【総資源化率】

＜26市平均との比較＞

- ・5.8ポイント低い

＜比較市との比較＞

- ・4市の中で最も低い

＜26市ランキング＞

第1位:	小金井市	54.2
第2位:	国分寺市	43.7
第3位:	調布市	42.4

(%)

【注1】 総資源化率=(集団回収量+資源ごみ量+収集後資源化量)/(総ごみ量+集団回収量)×100

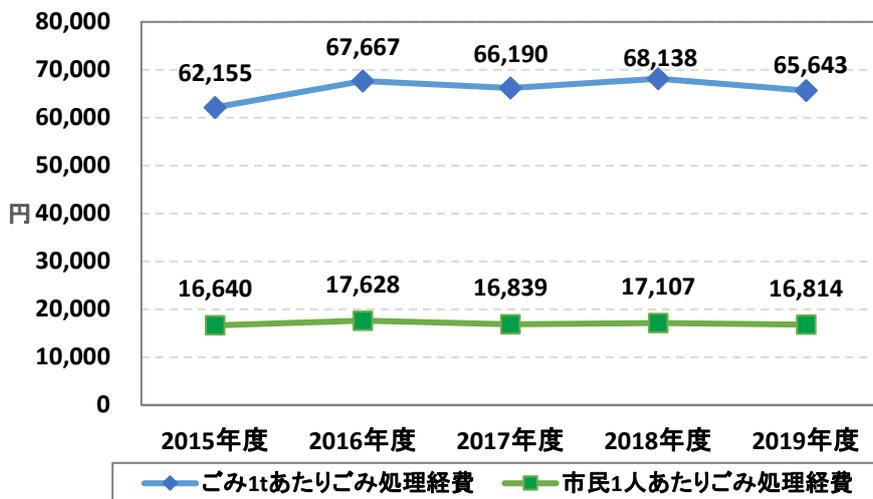
【注2】 可燃ごみの組成の多摩26市は、各市の数値の平均。

【時点】 2019年度

【出典】 「多摩地域ごみ実態調査」東京市町村自治調査会

(3)ごみ処理

①ごみ処理経費(No.3-1-3-1)



<前年度との比較>

- ・ごみ1tあたり  
ごみ処理経費: 3.7%減
- ・市民1人あたり  
ごみ処理経費: 1.7%減

<2015年度との比較>

- ・ごみ1tあたり  
ごみ処理経費: 5.6%増
- ・市民1人あたり  
ごみ処理経費: 1.0%増

【注 1】 ごみ処理に関する歳出のみを計算している。(歳入控除前)

【出典】 「清掃事業概要」

## 2 水質

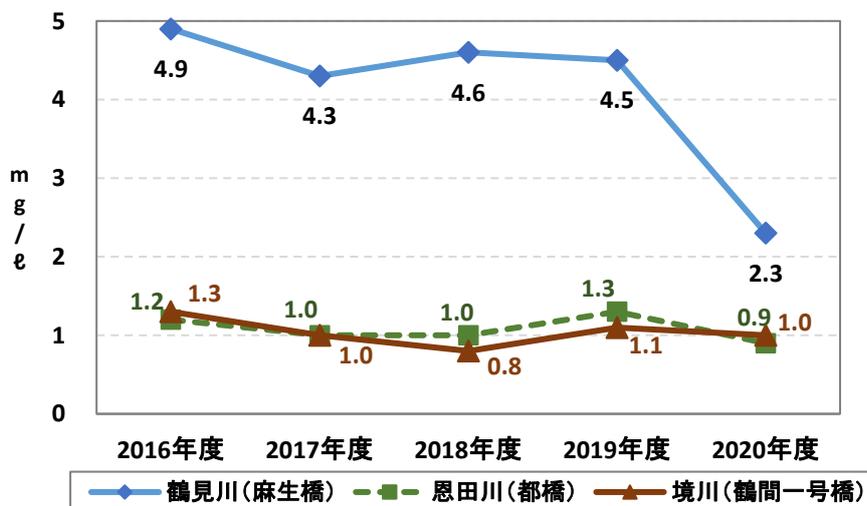
### <ポイント>

#### (1) 河川の水質

- 2020年度の水質状況は、鶴見川は2016年度に比べて大きく改善している。  
恩田川は前年度よりわずかに改善、境川はほぼ横ばいである。【(1)①参照】

### (1) 河川の水質

#### ①主要河川の環境基準点における水質の状況(BOD75%値)(No.3-2-1-1)



#### <前年度との比較>

- ・鶴見川: 48.9%減
- ・恩田川: 30.8%減
- ・境川: 9.1%減

#### <2016年度との比較>

- ・鶴見川: 53.1%減
- ・恩田川: 25.0%減
- ・境川: 23.1%減

【注 1】 BODとは、水中の有機物が微生物のはたらきによって分解されるときに消費される酸素の量で、河川の水質汚濁を測定する指標の一つ。数値が大きいほど有機物の量が多く、汚れていることを示す。

【注 2】 ( )内は観測基準点。

【期間】 各年度4月1日～3月31日 年12回平均値

【出典】 町田市環境白書、庁内資料

### 3 公害

#### <ポイント>

##### (1) 公害

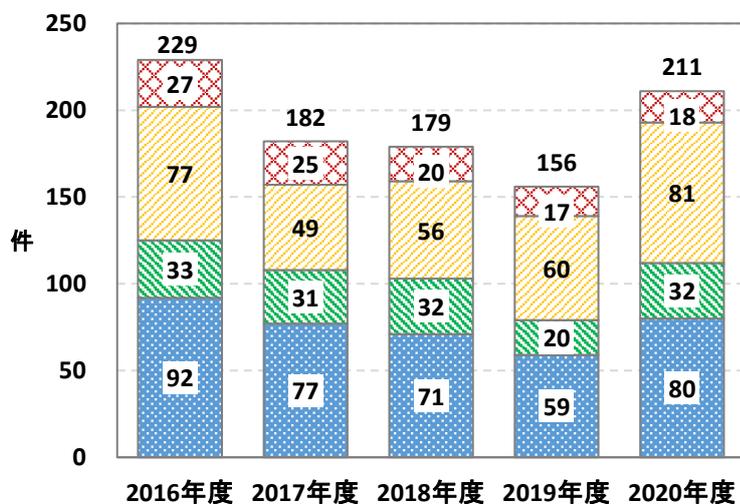
- 公害関係苦情受付件数は、2016年度から2019年度にかけて減少傾向にあったが、2020年度は前年度より増加している。【(1)①参照】
- 苦情受付構成比は、大気汚染の割合が多摩26市平均より高い。【(1)②参照】

##### (2) 航空機騒音

- 航空機騒音測定回数は、2018年度以降に大幅に減少している。【(2)①参照】
- 2020年度の航空機騒音苦情受付件数は、前年度より微増しているが、2016年度より大幅に減少している。【(2)②参照】

#### (1) 公害

##### ① 公害関係苦情受付件数 (No.3-3-1-1)



#### <前年度との比較>

- ・苦情受付件数: 35.3%増
- ・「騒音」: 35.0%増
- ・「大気汚染」: 35.6%増

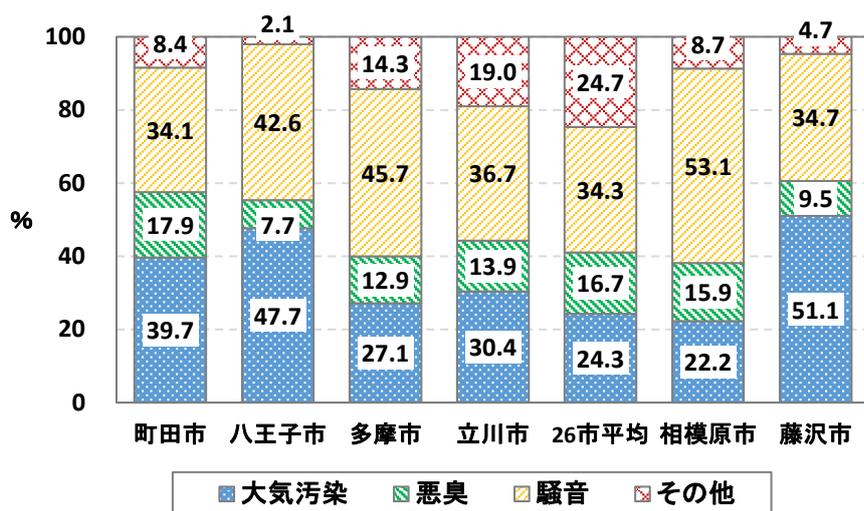
#### <2016年度との比較>

- ・苦情受付件数: 7.9%減
- ・「騒音」: 5.2%増
- ・「大気汚染」: 13.0%減

【期間】 各年度4月1日～3月31日

【出典】 町田市環境白書、庁内資料

②公害関係苦情受付構成比(No.3-3-1-2)【他市比較】



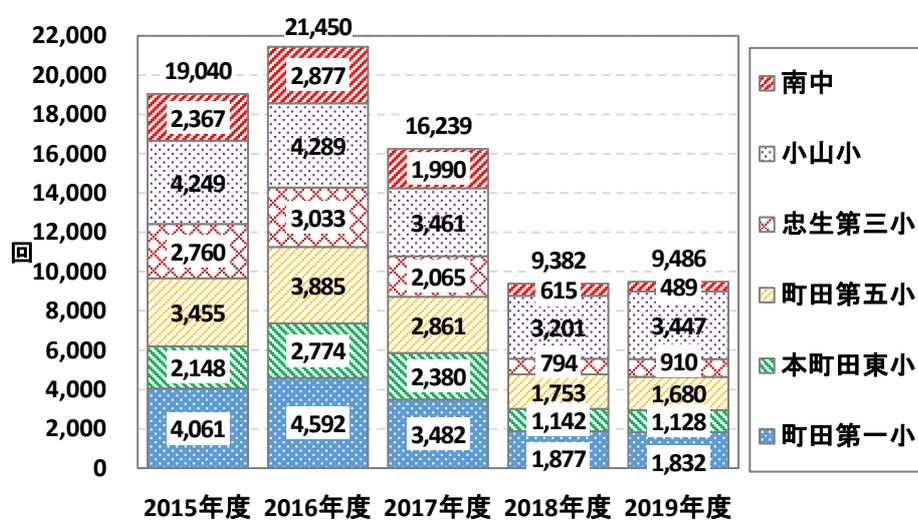
＜26市平均との比較＞

- ・「騒音」: 0.2ポイント少ない
- ・「悪臭」: 1.1ポイント多い
- ・「大気汚染」: 15.4ポイント多い

【注1】 「騒音」は低周波騒音を含む。  
 【時点】 2018年度  
 【出典】 「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

(2) 航空機騒音

①航空機騒音測定回数(No.3-3-2-1)



＜前年度との比較＞

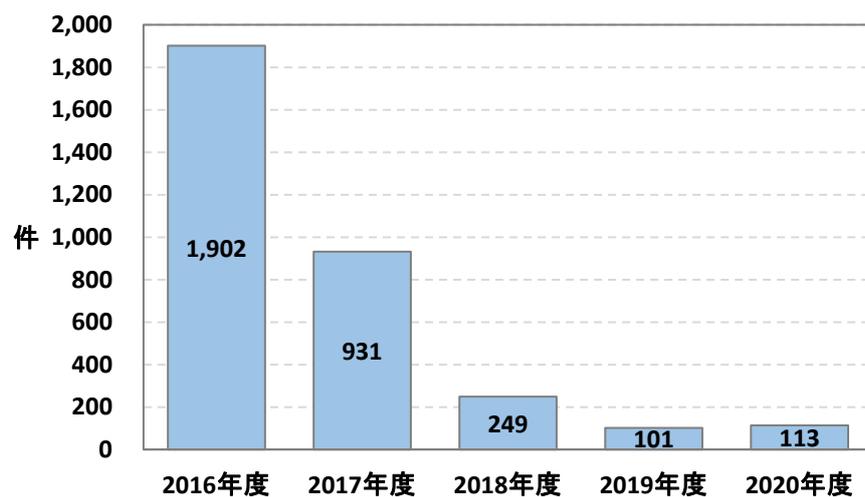
- ・騒音測定回数: 1.1%増
- ・「南中」: 20.5%減
- ・「忠生第三小」: 14.6%増

＜2015年度との比較＞

- ・騒音測定回数: 50.2%減
- ・「南中」: 79.3%減
- ・「忠生第三小」: 67.0%減
- ・「町田第五小」: 51.4%減
- ・「町田第一小」: 54.9%減

【注1】 航空機騒音測定回数は、70デシベル以上で、5秒以上続く騒音の回数である。  
 【期間】 各年度4月1日～3月31日  
 【出典】 庁内資料

②航空機騒音苦情受付件数(No.3-3-2-2)



<前年度との比較>  
 ・11.9%増  
  
 <2016年度との比較>  
 ・94.1%減

【期間】 各年度4月1日～3月31日

【出典】 庁内資料

# IV 經濟



# 1 労働

## <ポイント>

### (1) 労働力状態

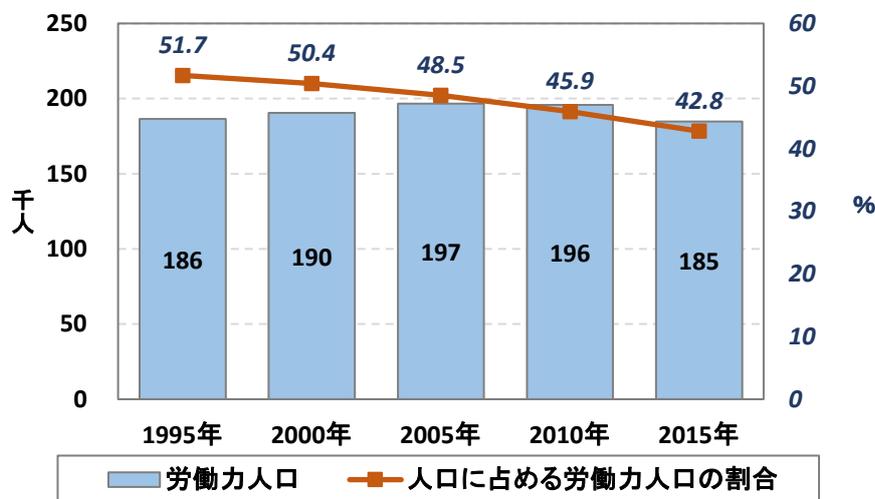
- 人口に占める労働力人口の割合は、低下している。【(1)①参照】
- 人口に占める労働力人口の割合は、多摩26市の中で最も低い。【(1)②参照】

### (3) 失業率

- 完全失業者数及び失業率は、2015年に大幅に減少し、1995年以降最も低い数値となった。【(3)①参照】

## (1)労働力状態

### ①労働力人口、人口に占める労働力人口の割合 (No.4-1-1-1)



#### <2010年との比較>

- ・労働力人口: 5.6%減
- ・人口に占める労働力人口の割合: 3.1ポイント低下

#### <1995年との比較>

- ・労働力人口: 0.8%減
- ・人口に占める労働力人口の割合: 8.9ポイント低下

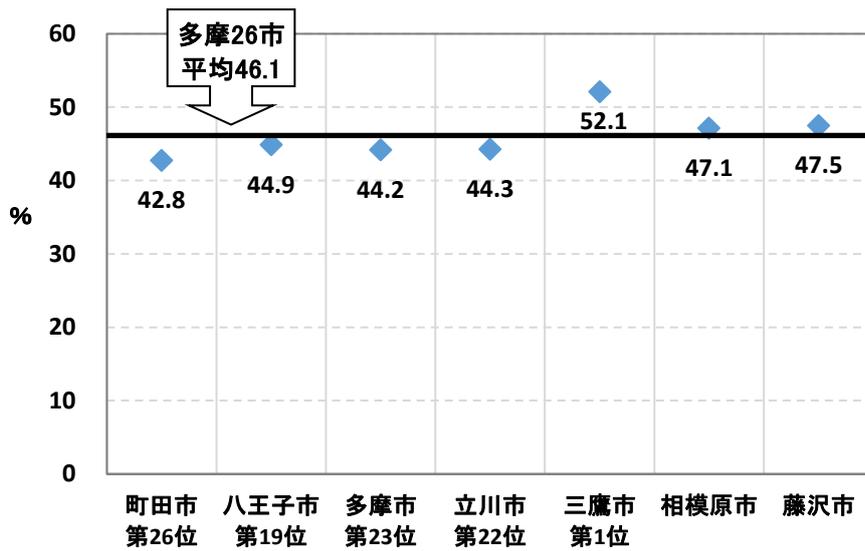
【注 1】 人口は、国勢調査人口。

【注 2】 労働力人口は、15歳以上人口のうち、労働の意思と能力をもつ者の人口。  
就業者(休業者も含む)と完全失業者の合計。

【時点】 各年10月1日現在

【出典】 「町田市統計書」、「国勢調査」

②人口に占める労働力人口の割合 (No.4-1-1-2)【他市比較】



<26市平均との比較>

・3.4ポイント低い

<比較市との比較>

・4市の中で最も低い

<26市ランキング>

第1位: 三鷹市 52.1  
 第2位: 羽村市 49.9  
 第3位: 府中市 49.3  
 (%)

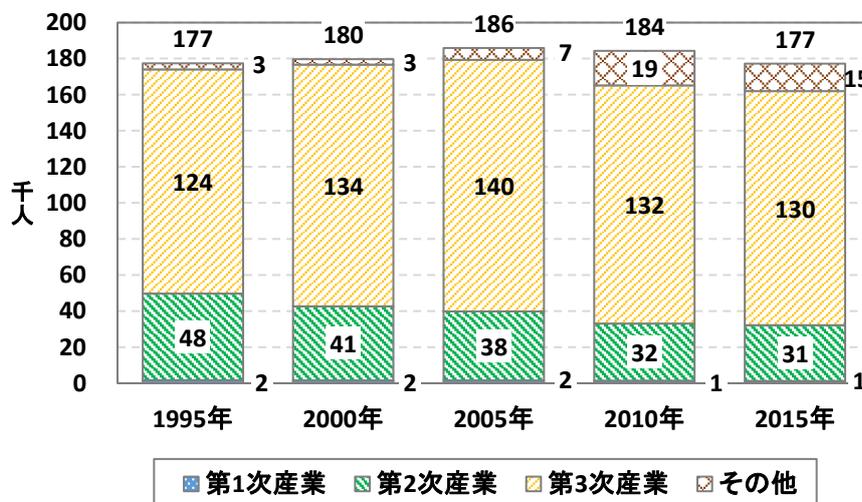
【注1】 人口は、国勢調査人口。

【時点】 2015年10月1日現在

【出典】 「国勢調査」

(2) 就業者

①産業大分類別15歳以上就業者数 (No.4-1-2-1)



<2010年との比較>

・就業者数: 3.8%減  
 ・「第3次産業」: 1.8%減  
 ・「第2次産業」: 2.7%減  
 ・「第1次産業」: 2.3%減

<1995年との比較>

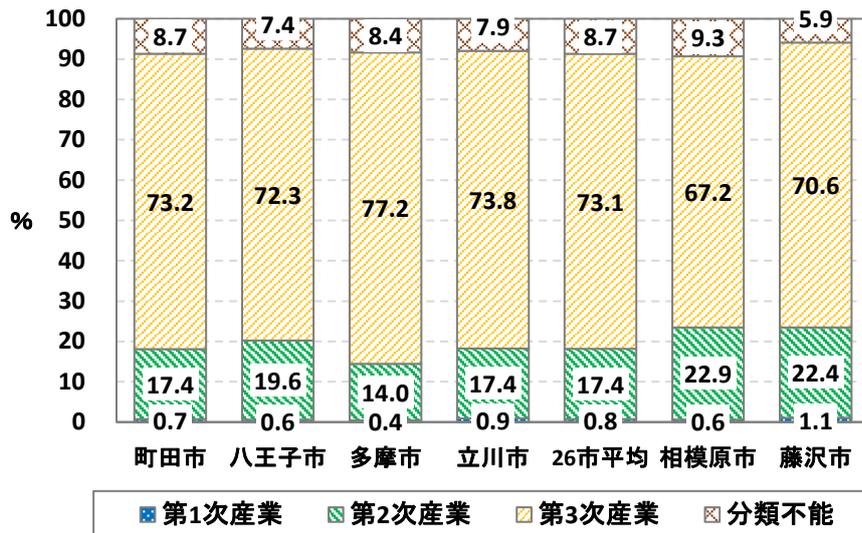
・就業者数: 0.1%減  
 ・「第3次産業」: 4.3%増  
 ・「第2次産業」: 35.7%減  
 ・「第1次産業」: 27.6%減

【注1】 「その他」は分類不能なもの。

【時点】 各年10月1日現在

【出典】 「町田市統計書」、「国勢調査」

## ②産業大分類別15歳以上就業者構成比(No.4-1-2-2)【他市比較】



＜26市平均との比較＞

・26市平均とほぼ同様の構成

【時点】 2015年10月1日現在

【出典】 「国勢調査」

## (3)失業率

## ①完全失業者数、失業率(No.4-1-3-1)



＜2010年との比較＞

・完全失業者数：34.5%減  
・失業率：1.8ポイント低下

＜1995年との比較＞

・完全失業者数：16.0%減  
・失業率：0.7ポイント低下

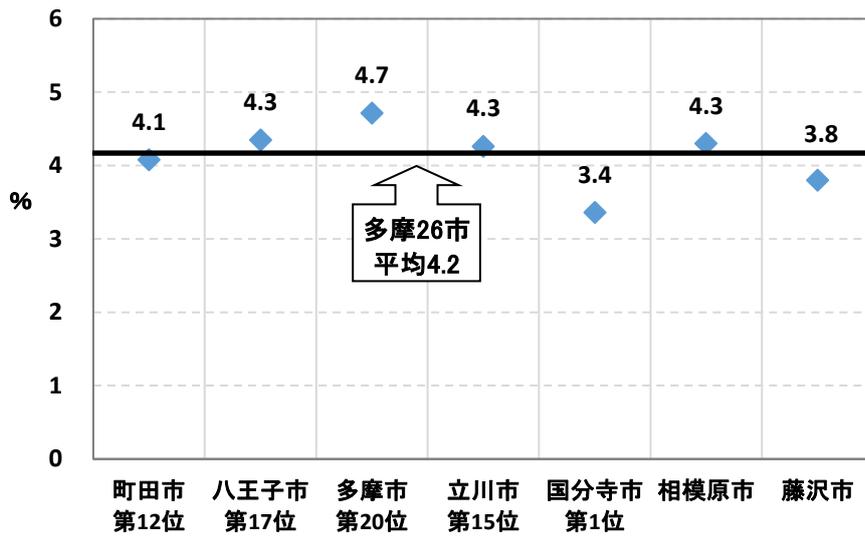
【注1】 完全失業者は、収入になる仕事を少しもしなかった人のうち、仕事に就くことが可能であって、かつ公共職業安定所に申し込むなどして積極的に仕事を探した人をいう。

【注2】 失業率＝完全失業者数／労働力人口×100

【時点】 各年10月1日現在

【出典】 「町田市統計書」、「国勢調査」

②失業率(No.4-1-3-2)【他市比較】



<26市平均との比較>

・0.1ポイント低い

<比較市との比較>

・4市の中で最も低い

<26市ランキング>

第1位: 国分寺市 3.36  
 第2位: 武蔵野市 3.37  
 第3位: 三鷹市 3.37  
 (%)

【注1】 失業率=完全失業者数/労働力人口×100

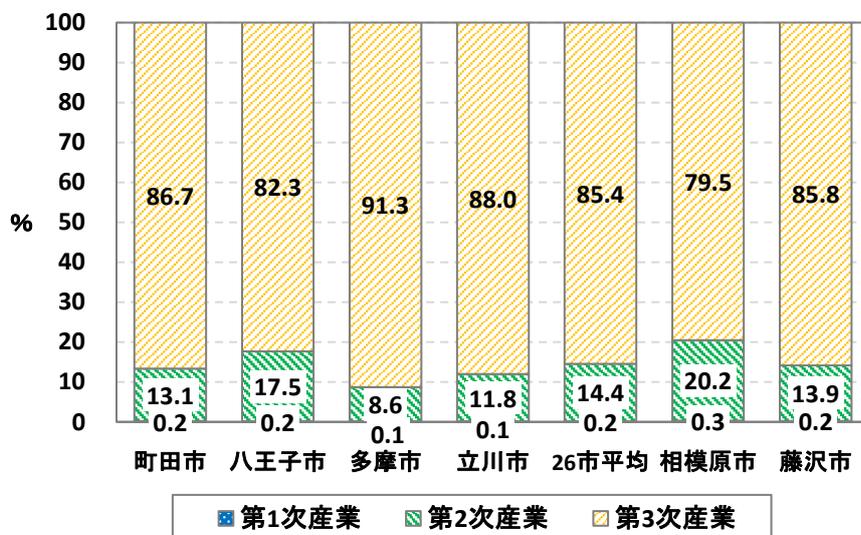
【注2】 このグラフの26市ランキングについては、数値の小さい市から並べている。

【時点】 2015年10月1日現在

【出典】 「国勢調査」

(4)事業所、従業者

①産業大分類別事業所構成比(No.4-1-4-1)【他市比較】



<26市平均との比較>

・「第3次産業」:

1.3ポイント多い

・「第2次産業」:

1.3ポイント少ない

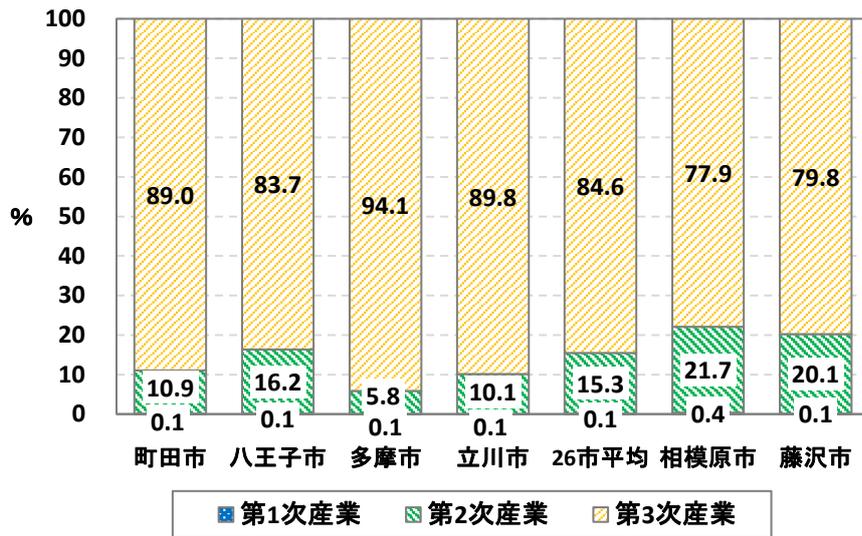
・「第1次産業」:

0.05ポイント多い

【時点】 2014年7月1日現在

【出典】 「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

## ②産業大分類別従業者構成比(No.4-1-4-2)【他市比較】



<26市平均との比較>

- ・「第3次産業」:  
4.4ポイント多い
- ・「第2次産業」:  
4.4ポイント少ない
- ・「第1次産業」: ほぼ同じ

【時点】 2014年7月1日現在

【出典】 「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

## 2 中小企業融資

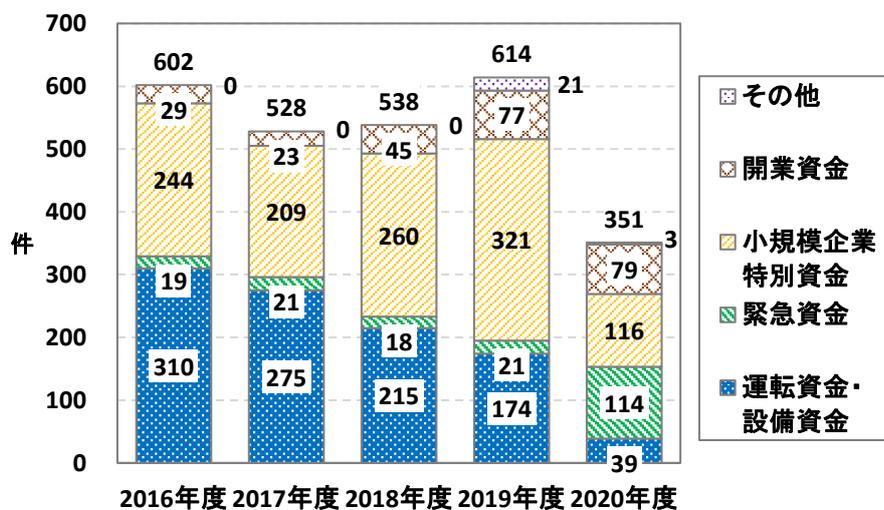
### <ポイント>

#### (1) 中小企業融資

- 2020年度の利用件数及び融資額は前年度から大きく減少した。【(1)①②参照】
- 利用件数及び融資額とも、運転資金・設備資金が大幅に減り、小規模企業特別資金も前年度の6割減になっている。【(1)①②参照】
- 緊急資金は、利用件数及び融資額とも、大幅に増加している。【(1)①②参照】

### (1) 中小企業融資

#### ① 中小企業融資利用件数 (No.4-2-1-1)



#### <前年度との比較>

- ・利用件数: 42.8%減
- ・「緊急資金」: 442.9%増
- ・「運転資金・設備資金」: 77.6%減

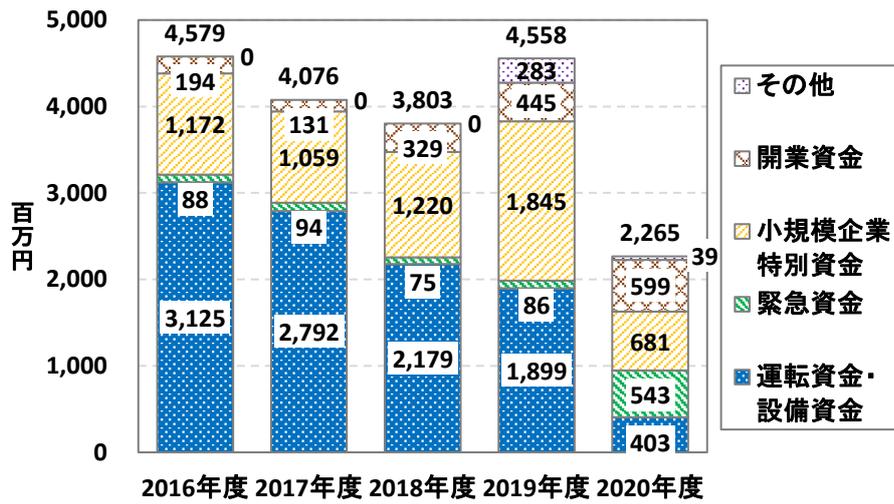
#### <2016年度との比較>

- ・利用件数: 41.7%減
- ・「緊急資金」: 500.0%増
- ・「運転資金・設備資金」: 87.4%減

【期間】 各年度4月1日～3月31日(実行日/実際に銀行により融資が行われた日)

【出典】 庁内資料

## ②中小企業融資額(No.4-2-1-2)



## ＜前年度との比較＞

- ・融資額: 50.3%減
- ・「緊急資金」: 528.7%増
- ・「運転資金・設備資金」: 78.8%減

## ＜2016年度との比較＞

- ・融資額: 50.5%減
- ・「緊急資金」: 519.4%増
- ・「運転資金・設備資金」: 87.1%減

【期間】 各年度4月1日～3月31日(実行日/実際に銀行により融資が行われた日)

【出典】 庁内資料

### 3 商業

#### <ポイント>

##### (1) 卸売業、小売業事業所数

- 2016年の事業所数は、卸売業、小売業とも2002年より減少している。【(1)①参照】
- 小売業の事業所数は、多摩26市の中では2番目に多い。【(1)③参照】

##### (2) 卸売業、小売業従業者数

- 2016年の従業者数は、卸売業、小売業とも2014年より増加しているが、2002年より減少している。【(2)①参照】
- 小売業の従業者数は、多摩26市の中では2番目に多い。【(2)③参照】

##### (3) 卸売業、小売業年間販売額

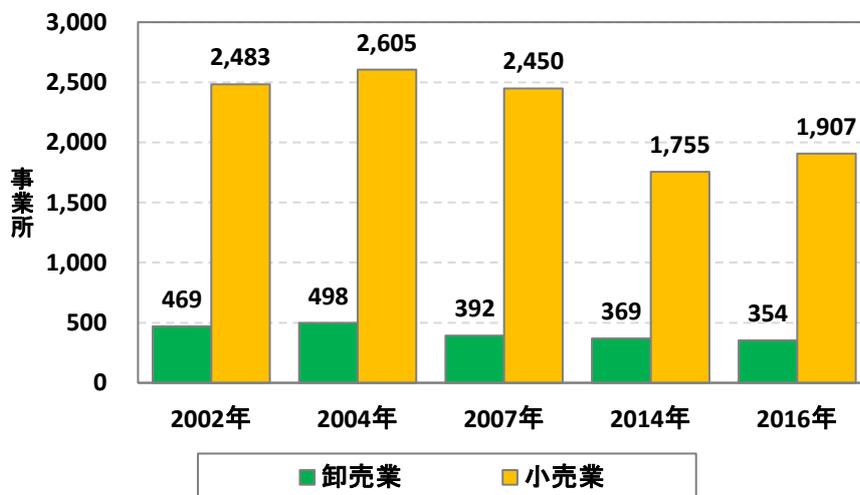
- 2016年の年間販売額は、卸売業、小売業とも2014年より増加しているが、2002年より減少している。【(3)①参照】
- 小売業の販売額は、多摩26市の中では2番目に多い。【(3)③参照】

##### (4) 町田駅周辺

- 2016年の事業所数及び従業者数は、2002年以降最も多い。【(4)①参照】

#### (1) 卸売業、小売業事業所数

##### ①卸売業、小売業事業所数(No.4-3-1-1)



#### <2014年との比較>

- ・卸売業: 横ばい
- ・小売業: やや増加

#### <2002年との比較>

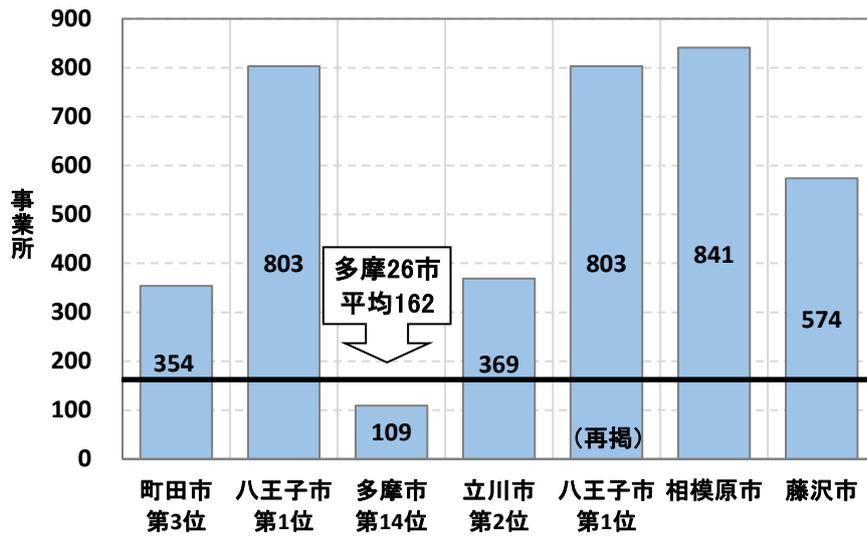
- ・卸売業: 減少
- ・小売業: 減少

【注1】 商業統計調査が2014年を最後に廃止されたため、2016年は経済センサスのデータをもとに作成。

【時点】 各年6月1日現在(2007年以前)、7月1日現在(2014年)、6月1日現在(2016年)

【出典】 「商業統計調査報告(卸売・小売業)」東京都総務局統計部、「経済センサス」

## ②卸売業事業所数(No.4-3-1-2)【他市比較】



＜比較市との比較＞

・4市の中で2番目に少ない

＜26市ランキング＞

第1位：八王子市 803

第2位：立川市 369

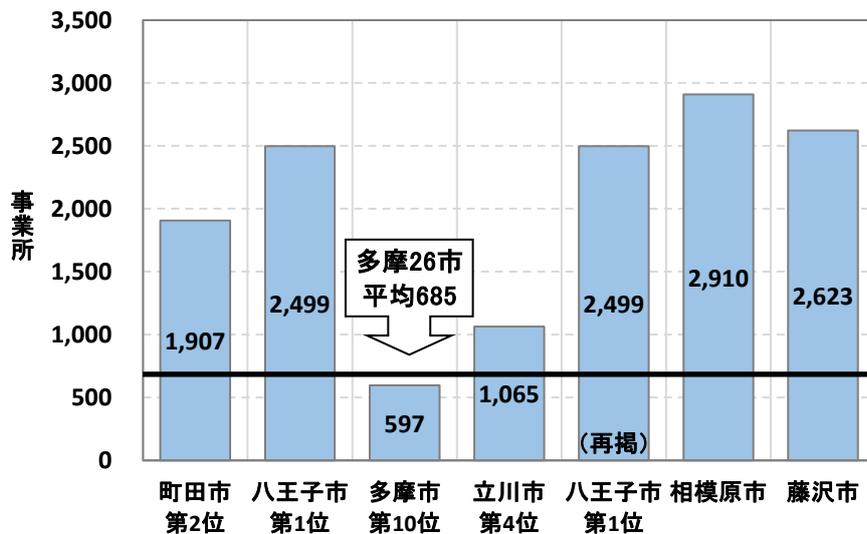
第3位：町田市 354

(事業所)

【時点】 2016年6月1日現在

【出典】 「経済センサス」

## ③小売業事業所数(No.4-3-1-3)【他市比較】



＜比較市との比較＞

・4市の中で2番目に多い

＜26市ランキング＞

第1位：八王子市 2,499

第2位：町田市 1,907

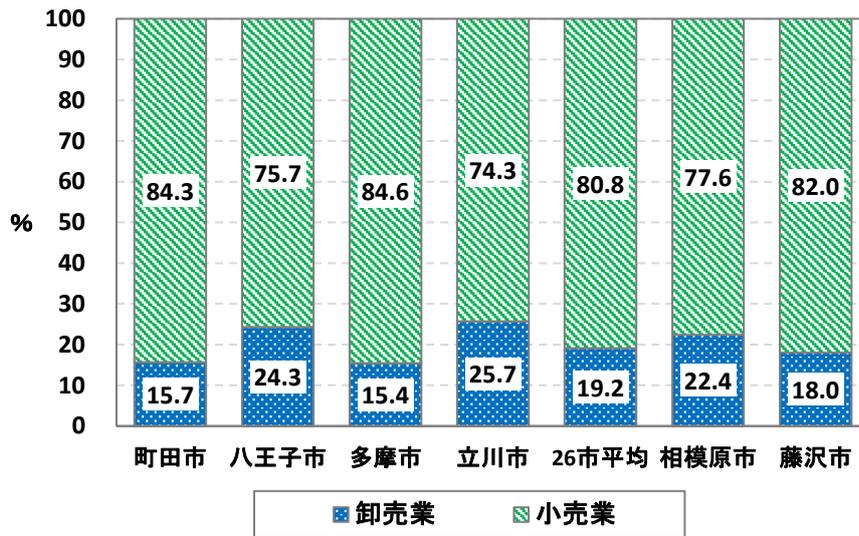
第3位：武蔵野市 1,278

(事業所)

【時点】 2016年6月1日現在

【出典】 「経済センサス」

## ④卸売業、小売業事業所構成比(No.4-3-1-4)【他市比較】



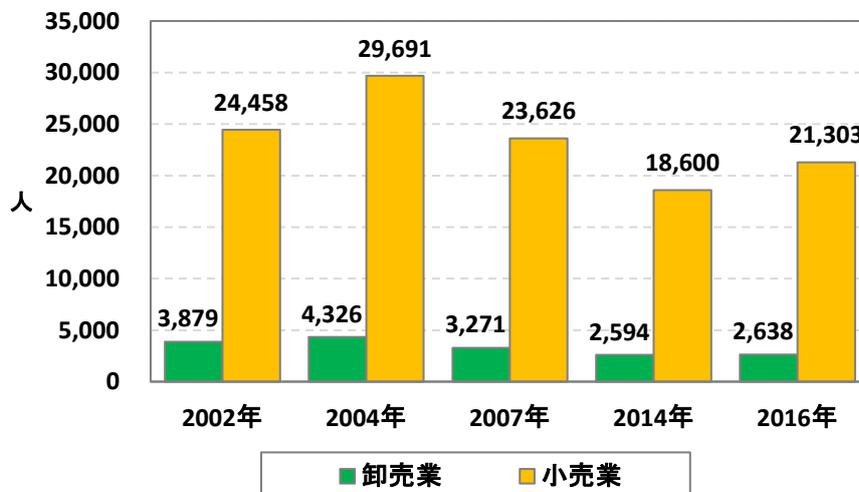
<26市平均との比較>  
・「小売業」:3.5ポイント高い

【時点】 2016年6月1日現在

【出典】 「経済センサス」

## (2)卸売業、小売業従業者数

## ①卸売業、小売業従業者数(No.4-3-2-1)



<2014年との比較>

- ・卸売業:横ばい
- ・小売業:増加

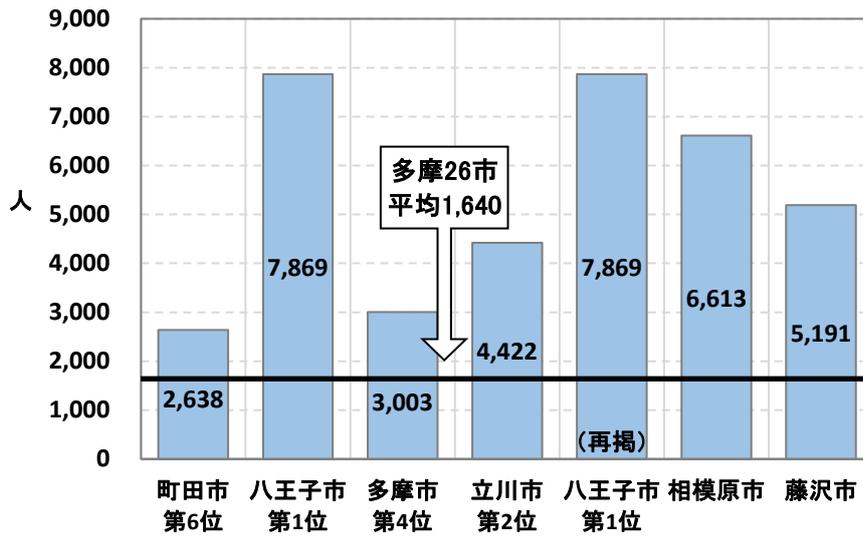
<2002年との比較>

- ・卸売業:減少
- ・小売業:減少

【時点】 各年6月1日現在(2007年以前)、7月1日現在(2014年)、6月1日現在(2016年)

【出典】 「商業統計調査報告(卸売・小売業)」東京都総務局統計部、「経済センサス」

## ②卸売業従業者数(No.4-3-2-2)【他市比較】



＜比較市との比較＞

・4市の中で最も少ない

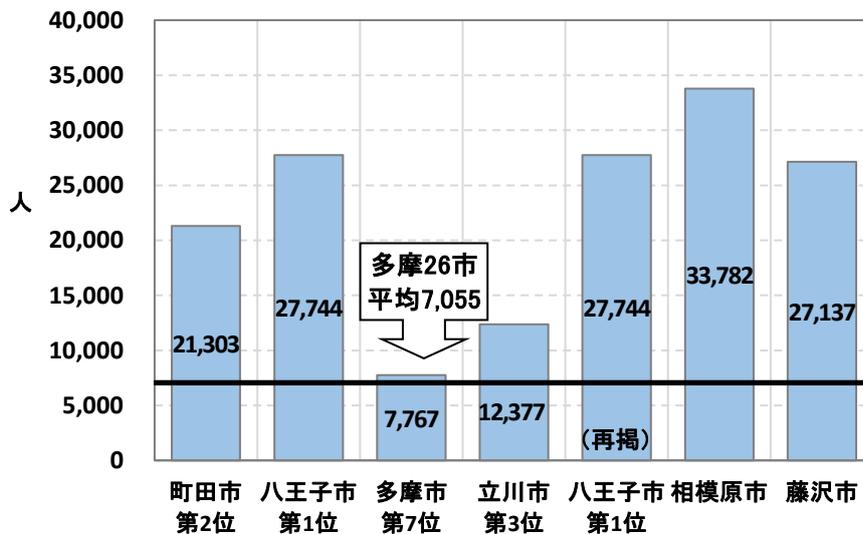
＜26市ランキング＞

第1位：八王子市 7,869  
 第2位：立川市 4,422  
 第3位：府中市 3,839  
 (人)

【時点】 2016年6月1日現在

【出典】 「経済センサス」

## ③小売業従業者数(No.4-3-2-3)【他市比較】



＜比較市との比較＞

・4市の中で2番目に多い

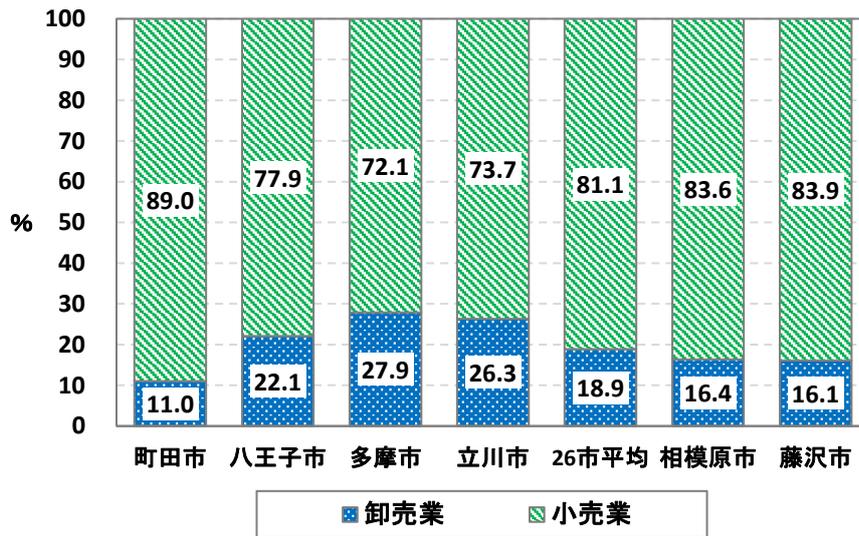
＜26市ランキング＞

第1位：八王子市 27,744  
 第2位：町田市 21,303  
 第3位：立川市 12,377  
 (人)

【時点】 2016年6月1日現在

【出典】 「経済センサス」

## ④卸売業、小売業従業者構成比(No.4-3-2-4)【他市比較】



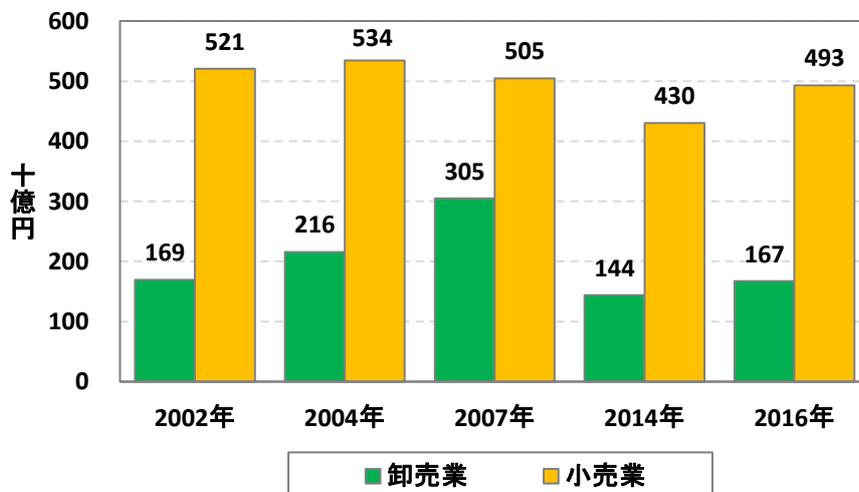
<26市平均との比較>  
・「小売業」:7.8ポイント高い

【時点】 2016年6月1日現在

【出典】 「経済センサス」

## (3)卸売業、小売業年間販売額

## ①卸売業、小売業年間販売額(No.4-3-3-1)



<2014年との比較>

- ・卸売業:増加
- ・小売業:増加

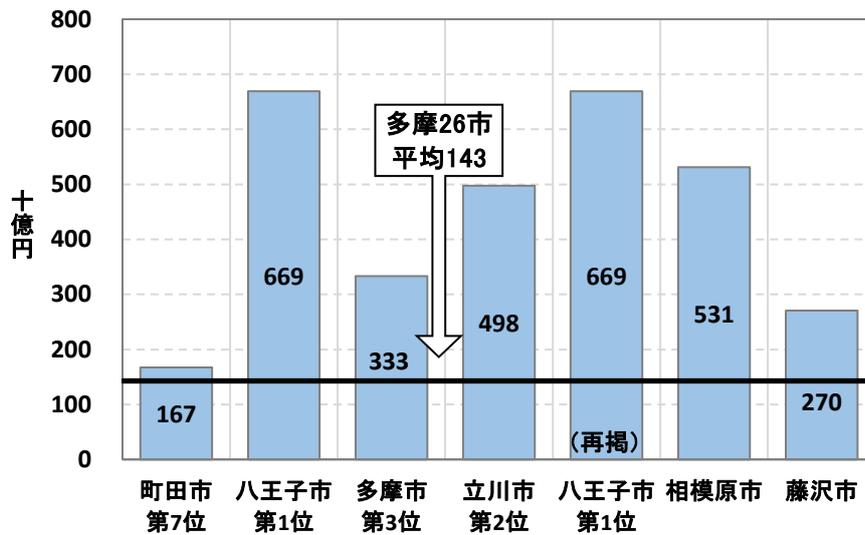
<2002年との比較>

- ・卸売業:横ばい
- ・小売業:やや減少

【時点】 各年6月1日現在(2007年以前)、7月1日現在(2014年)、6月1日現在(2016年)

【出典】 「商業統計調査報告(卸売・小売業)」東京都総務局統計部、「経済センサス」

## ②卸売業年間販売額(No.4-3-3-2)【他市比較】



<比較市との比較>

・4市の中で最も少ない

<26市ランキング>

第1位: 八王子市 669

第2位: 立川市 498

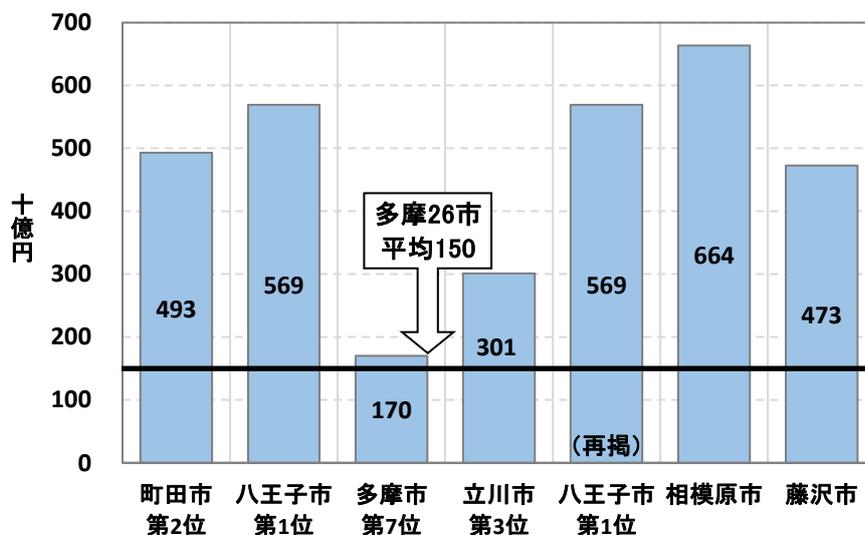
第3位: 多摩市 333

(十億円)

【時点】 2016年6月1日現在

【出典】 「経済センサス」

## ③小売業年間販売額(No.4-3-3-3)【他市比較】



<比較市との比較>

・4市の中で2番目に多い

<26市ランキング>

第1位: 八王子市 569

第2位: 町田市 493

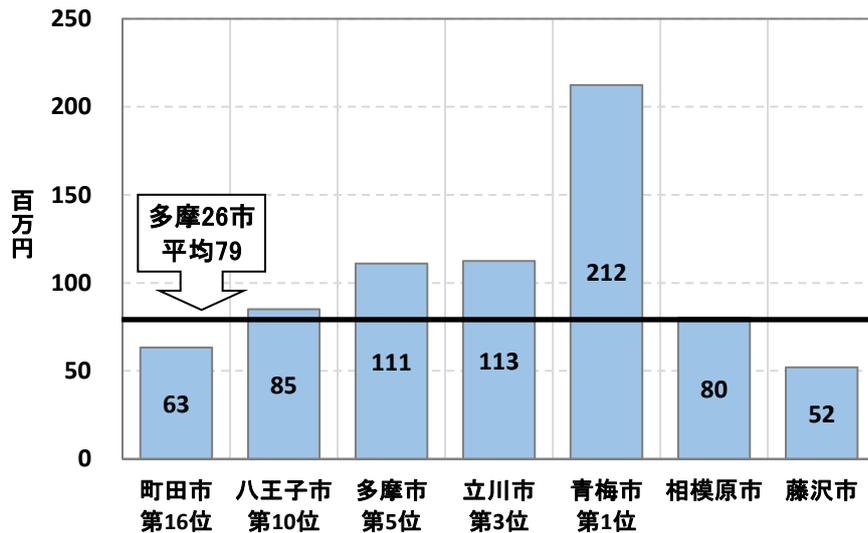
第3位: 立川市 301

(十億円)

【時点】 2016年6月1日現在

【出典】 「経済センサス」

## ④卸売業従業者1人あたり年間販売額(No.4-3-3-4)【他市比較】



＜比較市との比較＞

・4市の中で最も少ない

＜26市ランキング＞

第1位：青梅市 212

第2位：国立市 126

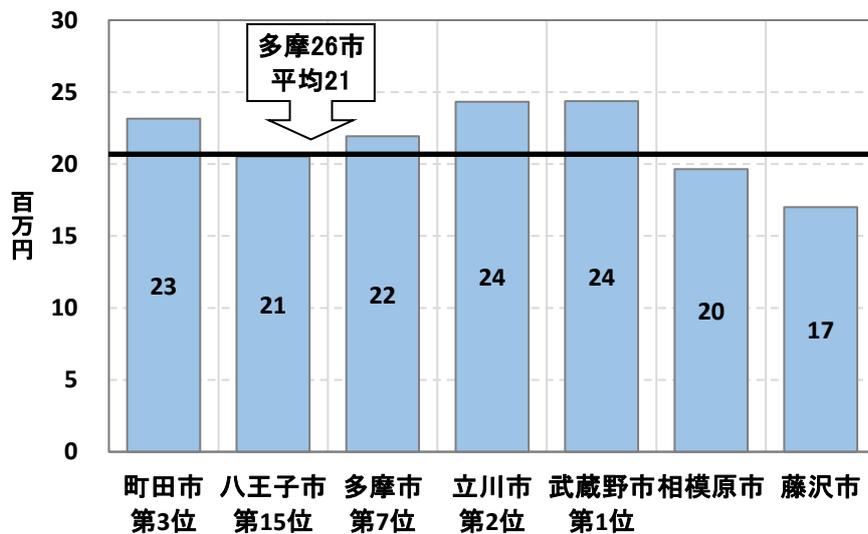
第3位：立川市 113

(百万円)

【時点】 2016年6月1日現在

【出典】 「経済センサス」

## ⑤小売業従業者1人あたり年間販売額(No.4-3-3-5)【他市比較】



＜比較市との比較＞

・4市の中で2番目に多い

＜26市ランキング＞

第1位：武蔵野市 24

第2位：立川市 24

第3位：町田市 23

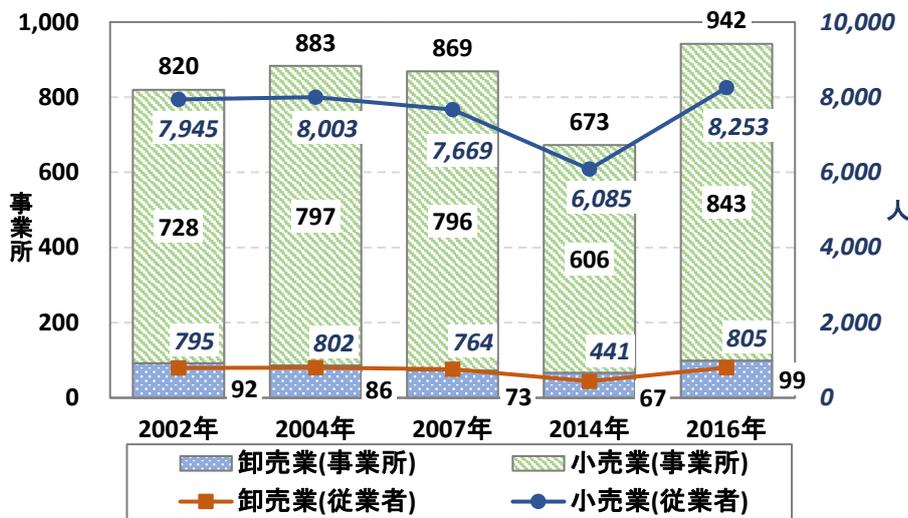
(百万円)

【時点】 2016年6月1日現在

【出典】 「経済センサス」

## (4) 町田駅周辺

## ① 町田駅周辺事業所数、従業者数(No.4-3-4-1)



<2014年との比較>

- ・事業所数:増加
- ・「小売業(事業所)」:増加
- ・従業者数:増加
- ・「小売業(従業者)」:増加

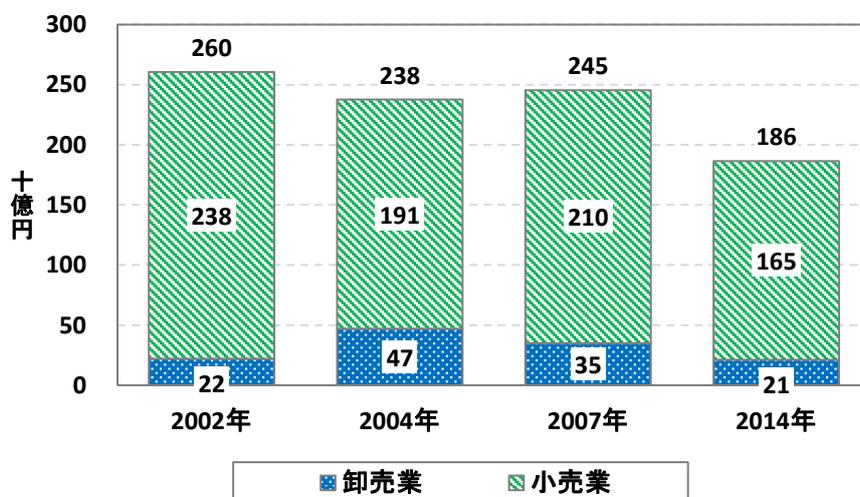
<2002年との比較>

- ・事業所数:増加
- ・「小売業(事業所)」:増加
- ・従業者数:横ばい
- ・「小売業(従業者)」:横ばい

【時点】 各年6月1日現在(2007年以前)、7月1日現在(2014年)、6月1日現在(2016年)

【出典】 「商業統計調査報告(卸売・小売業)」東京都総務局統計部、「経済センサス」

## ② 町田駅周辺年間販売額(No.4-3-4-2)



<2007年との比較>

- ・年間販売額:24.1%減
- ・「小売業」:21.5%減
- ・「卸売業」:39.6%減

<2002年との比較>

- ・年間販売額:28.4%減
- ・「小売業」:30.7%減
- ・「卸売業」:4.1%減

【注1】 商業統計調査は2014年を最後に廃止。

【時点】 各年6月1日現在(2007年以前)、7月1日現在(2014年)

【出典】 「商業統計調査報告(卸売・小売業)」東京都総務局統計部

## 4 工業

### <ポイント>

#### (1) 事業所数

- 事業所数は、横ばいであるが、多摩26市の中では3番目に多い。【(1)①②参照】

#### (2) 従業者数

- 2019年の従業者数は、2018年とほぼ同じであるが、2017年より増加している。

【(2)①参照】

#### (3) 製造品出荷額等

- 製造品出荷額等は、2017年から2018年は横ばいであるが、2019年は増加している。

【(3)①参照】

### (1) 事業所数

#### ①事業所数 (No.4-4-1-1)



<前年との比較>

・0.8%増

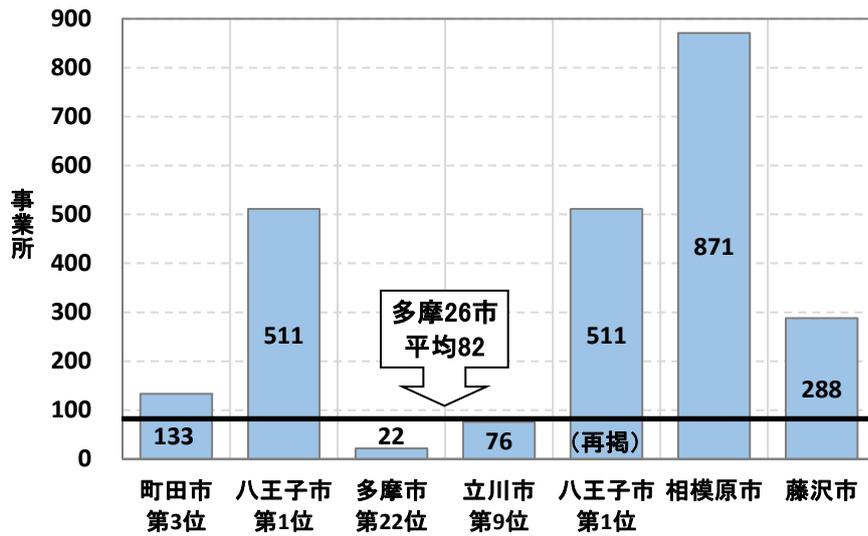
<2017年との比較>

・1.6%増

【時点】 各年12月31日現在

【出典】 「町田市統計書」

## ②事業所数(No.4-4-1-2)【他市比較】



＜比較市との比較＞

・4市の中で2番目に多い

＜26市ランキング＞

第1位: 八王子市 511

第2位: 青梅市 219

第3位: 町田市 133

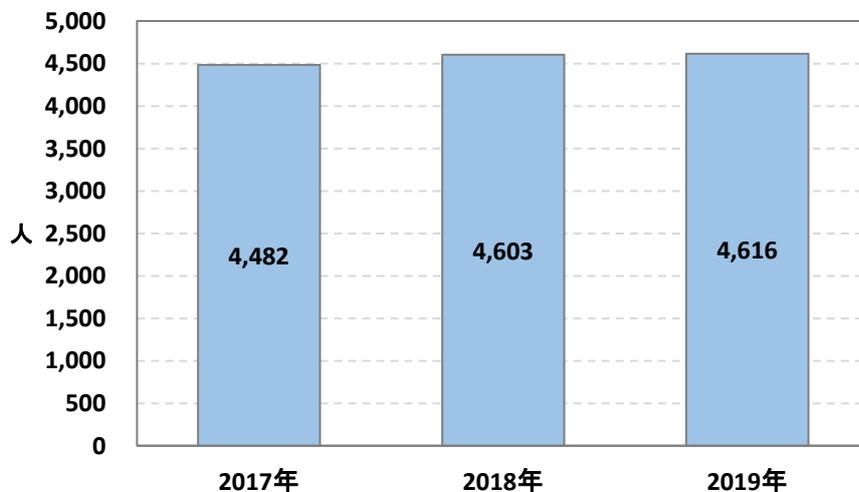
(事業所)

【時点】 2020年6月1日現在

【出典】 「東京の工業 工業統計調査報告」東京都総務局統計部

## (2) 従業者数

## ① 従業者数(No.4-4-2-1)



＜前年との比較＞

・0.3%増

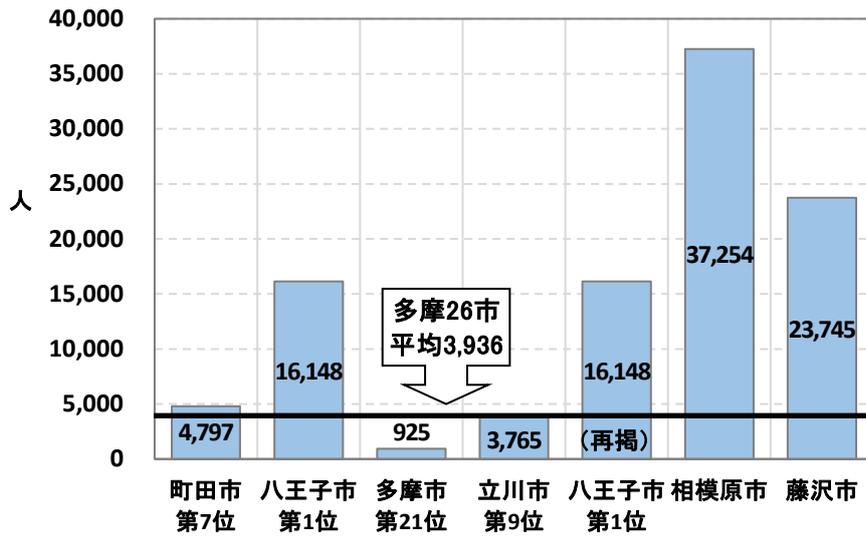
＜2017年との比較＞

・3.0%増

【時点】 各年12月31日現在

【出典】 「町田市統計書」

## ②従業者数(No.4-4-2-2)【他市比較】



＜比較市との比較＞

・4市の中で2番目に多い

＜26市ランキング＞

第1位：八王子市 16,148

第2位：府中市 13,100

第3位：日野市 11,496

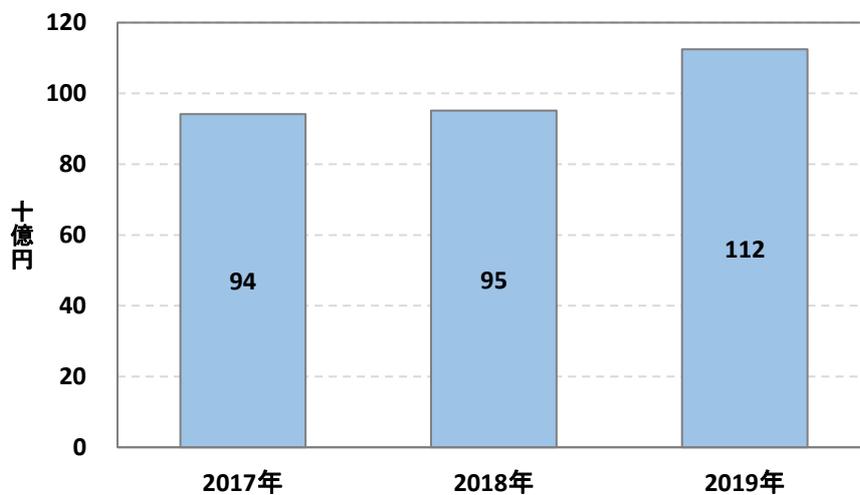
(人)

【時点】 2020年6月1日現在

【出典】 「東京の工業 工業統計調査報告」東京都総務局統計部

## (3)製造品出荷額等

## ①製造品出荷額等(No.4-4-3-1)



＜前年との比較＞

・18.2%増

＜2017年との比較＞

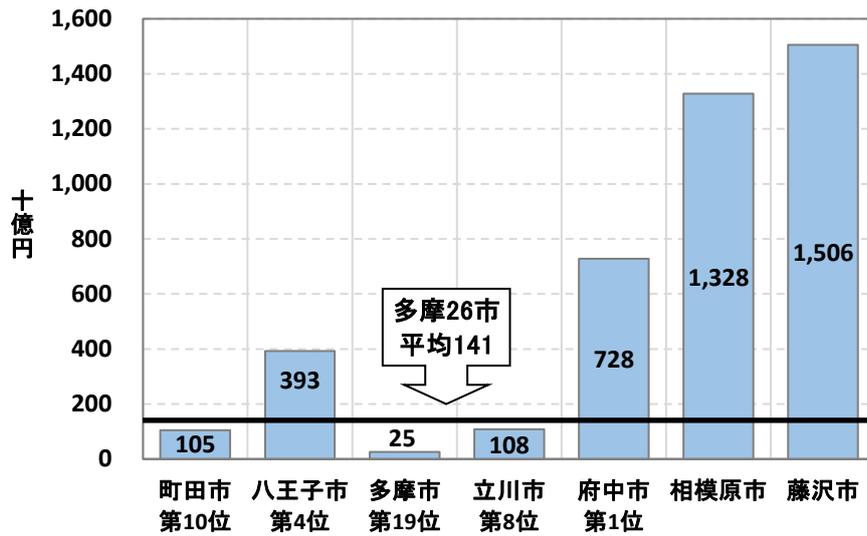
・19.4%増

【注1】 「製造品出荷額等」は、1年間における製造品出荷額、加工費収入額、修理料収入額、製造工程からでたくず及び廃物の出荷額並びにその他の収入額の合計であり、消費税及び内国消費税を含んだ額である。

【時点】 各年12月31日現在

【出典】 「町田市統計書」

②製造品出荷額等(No.4-4-3-2)【他市比較】



<比較市との比較>

・4市の中で2番目に少ない

<26市ランキング>

第1位: 府中市 728

第2位: 羽村市 603

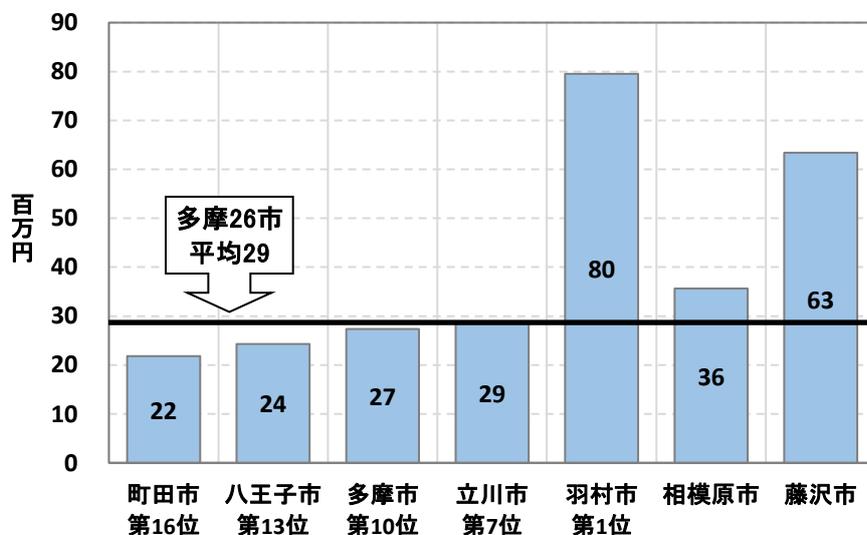
第3位: 昭島市 453

(十億円)

【時点】 2019年

【出典】 「東京の工業 工業統計調査報告」東京都総務局統計部

③従業者1人あたり製造品出荷額等(No.4-4-3-3)【他市比較】



<比較市との比較>

・4市の中で最も少ない

<26市ランキング>

第1位: 羽村市 80

第2位: 東大和市 64

第3位: 府中市 56

(百万円)

【時点】 2019年(製造品出荷額等)、2020年6月1日現在(従業者数)

【出典】 「東京の工業 工業統計調査報告」東京都総務局統計部

## 5 農業

### <ポイント>

#### (1) 農家戸数

- 農家戸数は、年々減少しており、2020年は2000年の半分近くまで減少した。【(1)①参照】

#### (2) 農家人口

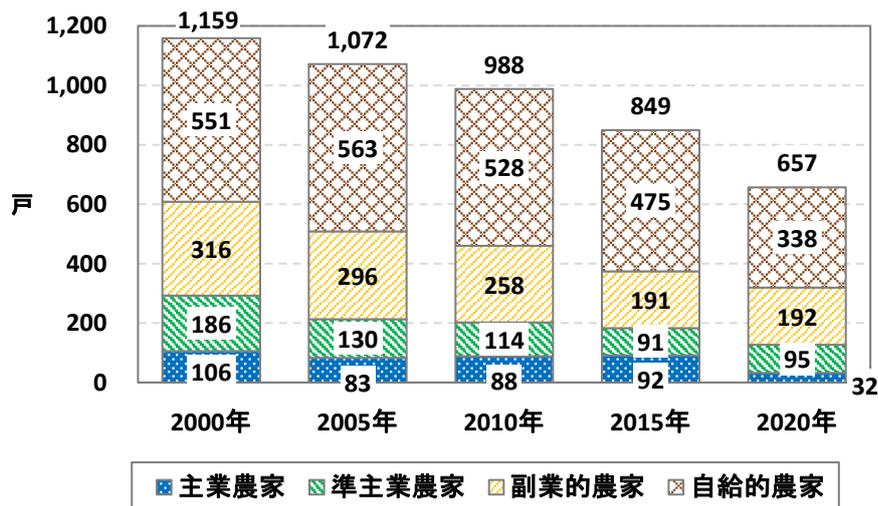
- 農家人口は、年々減少しており、2015年の販売農家の人口は2005年の人口の約6割までに減少した。【(2)①参照】

#### (3) 経営耕地面積

- 経営耕地面積は、年々減少している。【(3)①参照】

### (1) 農家戸数

#### ① 農家戸数 (No.4-5-1-1)



#### <2015年との比較>

- ・農家戸数: 22.6%減
- ・「自給的農家」: 28.8%減
- ・「主業農家」: 65.2%減

#### <2000年との比較>

- ・農家戸数: 43.3%減
- ・「自給的農家」: 38.7%減
- ・「副業的農家」: 39.2%減
- ・「準主業農家」: 48.9%減
- ・「主業農家」: 69.8%減

【注 1】 自給的農家は、経営耕地面積が30a(アール)未満かつ農産物販売金額が50万円未満の農家をいう。

【注 2】 販売農家は、経営耕地面積が30a以上または農産物販売金額が50万円以上の農家をいう。主副業別分類では、主業農家・準主業農家・副業的農家に分けられる。

【注 3】 主業農家は、農業所得が主(農家所得の50%以上が農業所得)で、65歳未満の農業従事60日以上の方がいる農家をいう。

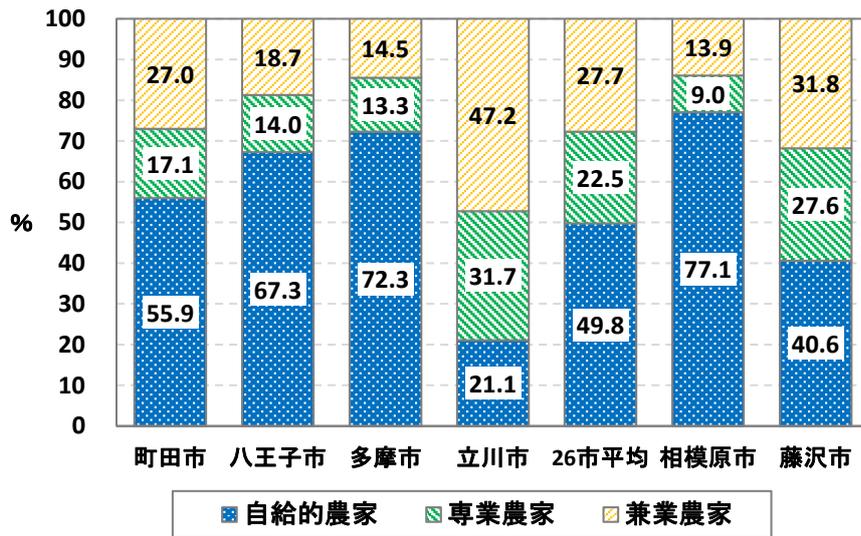
【注 4】 準主業農家は、農外所得が主で、65歳未満の農業従事60日以上の方がいる農家をいう。

【注 5】 副業的農家は、65歳未満の農業従事60日以上の方がいない農家をいう。

【時点】 各年2月1日現在

【出典】 「町田市統計書」

②農家構成比(No.4-5-1-2)【他市比較】

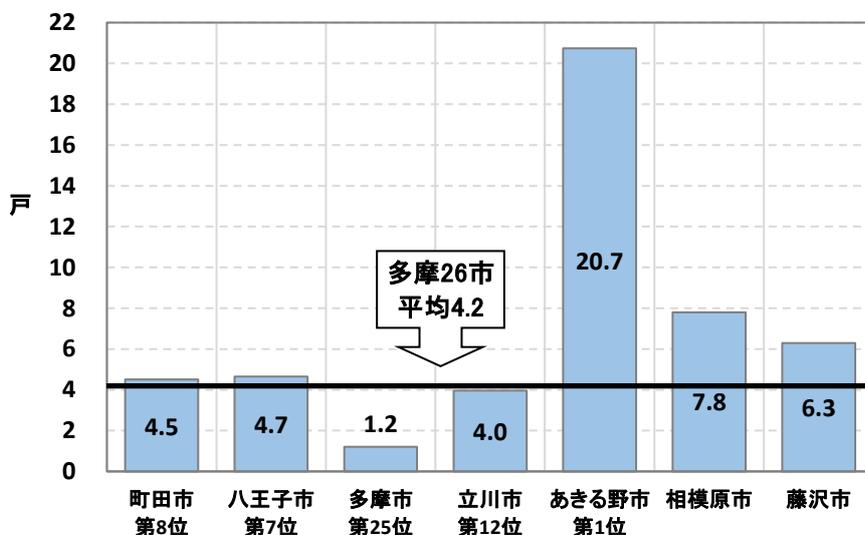


＜26市平均との比較＞

- ・「兼業農家」: 0.7ポイント低い
- ・「専業農家」: 5.4ポイント低い
- ・「自給的農家」: 6.2ポイント高い

- 【注1】 「自給的農家」とは、経営耕地面積が30a未満かつ農産物販売金額が年間50万円未満の農家。
- 【注2】 「専業農家」とは、世帯員の中に兼業従事者(1年間に30日以上他に雇用されて仕事に従事した者または農業以外の自営業に従事した者)が1人もいない農家。
- 【注3】 「兼業農家」とは、世帯員の中に兼業従事者が1人以上いる農家。
- 【時点】 2015年2月1日現在
- 【出典】 「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

③1千世帯あたり農家戸数(No.4-5-1-3)【他市比較】



＜26市平均との比較＞

- ・7.5%多い

＜26市ランキング＞

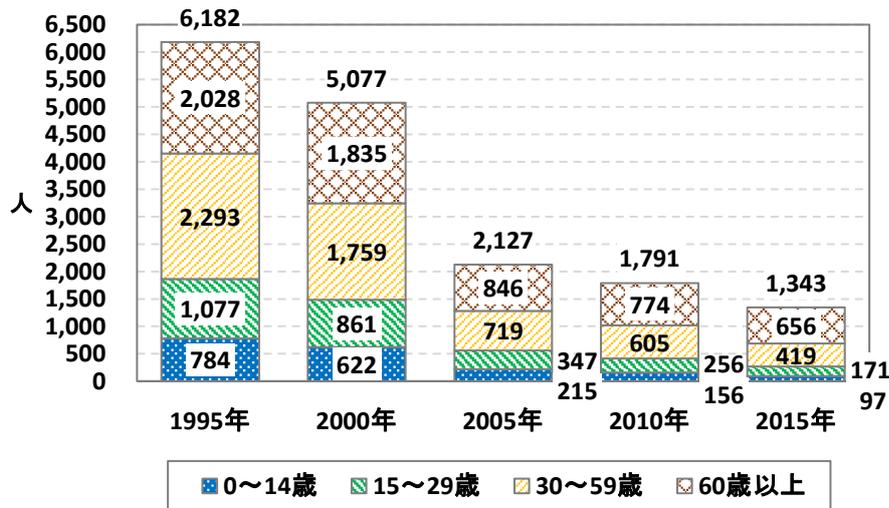
第1位	あきる野市	20.7
第2位	青梅市	11.4
第3位	武蔵村山市	10.8

(戸)

- 【時点】 2015年2月1日現在(農家戸数)、2015年1月1日現在(世帯)
- 【出典】 「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

## (2) 農家人口

## ① 農家人口 (No.4-5-2-1)



## &lt;2010年との比較&gt;

- ・農家人口: 25.0%減
- ・「60歳以上」: 15.2%減
- ・「30～59歳」: 30.7%減
- ・「15～29歳」: 33.2%減

## &lt;1995年との比較&gt;

- ・農家人口: 78.3%減
- ・「60歳以上」: 67.7%減
- ・「30～59歳」: 81.7%減
- ・「15～29歳」: 84.1%減

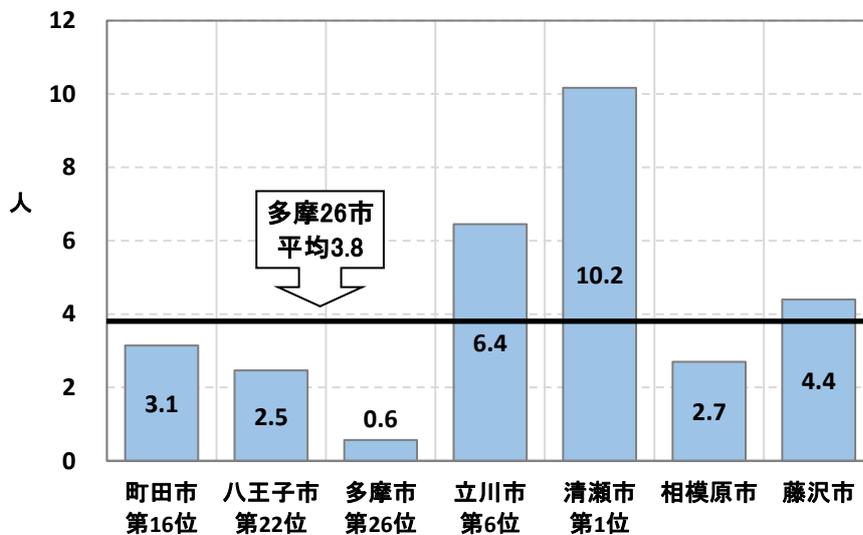
【注 1】 2005年、2010年、2015年のデータは、販売農家のみの人口。

【注 2】 2020年農林業センサスから集計方法が変更されたため、  
次回の町田市データブックでは本項目は削除する予定。

【時点】 各年2月1日現在

【出典】 「町田市統計書」

## ② 人口1千人あたり販売農家人口 (No.4-5-2-2) 【他市比較】



## &lt;26市平均との比較&gt;

- ・17.3%少ない

## &lt;26市ランキング&gt;

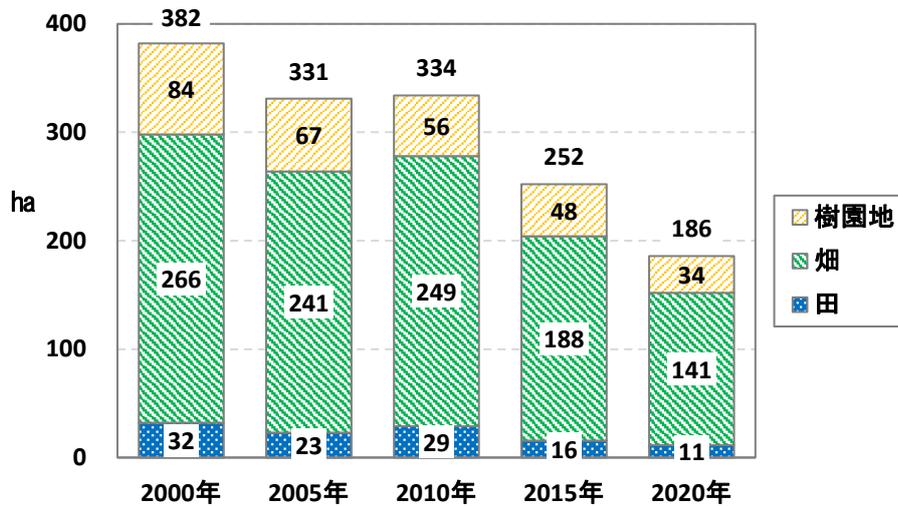
- |            |      |
|------------|------|
| 第1位: 清瀬市   | 10.2 |
| 第2位: 武蔵村山市 | 8.7  |
| 第3位: あきる野市 | 8.5  |
- (人)

【時点】 2015年2月1日現在(農家世帯員数)、2015年1月1日現在(人口)

【出典】 「農林業センサス」

## (3) 経営耕地面積

## ① 経営耕地面積 (No.4-5-3-1)



## &lt;2015年との比較&gt;

- ・総経営耕地面積: 26.3%減
- ・「樹園地」: 29.2%減
- ・「畑」: 25.4%減
- ・「田」: 27.3%減

## &lt;2000年との比較&gt;

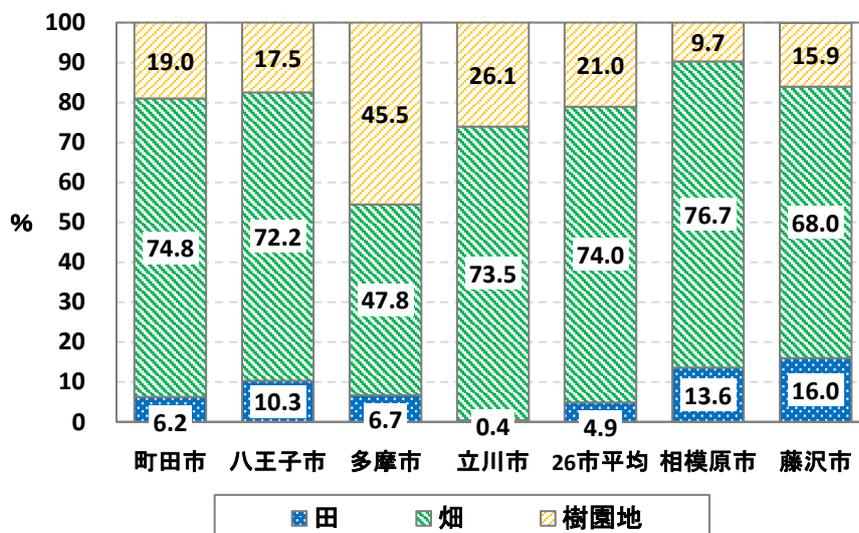
- ・総経営耕地面積: 51.3%減
- ・「樹園地」: 59.6%減
- ・「畑」: 47.2%減
- ・「田」: 64.4%減

【注1】 経営耕地面積は、農林業経営体が経営する耕地(田、畑及び樹園地の計)の面積をいい、経営体が所有している耕地のうち貸し付けている耕地と耕作放棄地を除いたもの(自作地)に借りている耕地(借入耕地)を加えたもの。

【時点】 各年2月1日現在

【出典】 「町田市統計書」

## ② 経営耕地構成比 (No.4-5-3-2) 【他市比較】



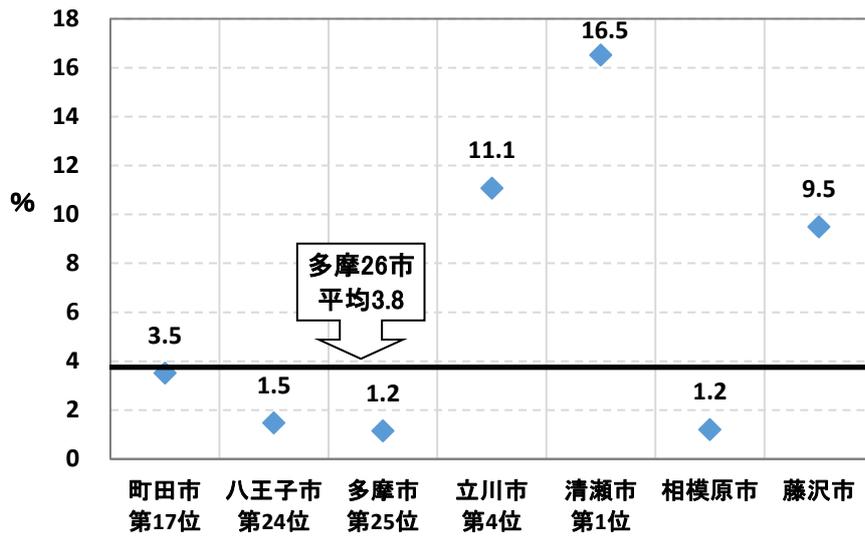
## &lt;26市平均との比較&gt;

- ・「樹園地」: 2.0ポイント低い
- ・「畑」: 0.7ポイント高い
- ・「田」: 1.3ポイント高い

【時点】 2015年2月1日現在

【出典】 「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

③市域面積に占める経営耕地面積の割合(No.4-5-3-3)【他市比較】



<26市平均との比較>  
 ・0.2ポイント低い

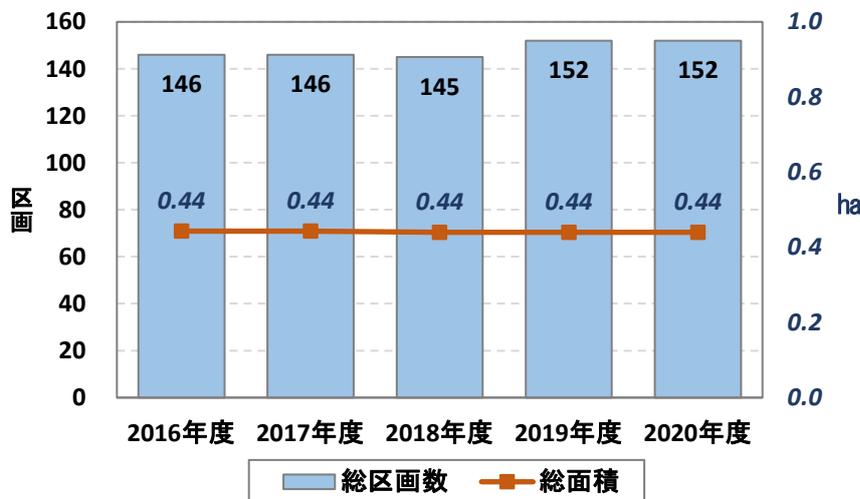
<26市ランキング>  
 第1位: 清瀬市 16.5  
 第2位: 国分寺市 12.8  
 第3位: 東久留米市 11.2  
 (%)

【時点】 2015年2月1日現在(経営耕地面積)、2015年1月1日現在(市域面積)

【出典】 「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

(4)市民農園

①市民農園區画数、面積(No.4-5-4-1)



<前年度との比較>  
 ・総区画数:変化なし  
 ・総面積:変化なし

<2016年度との比較>  
 ・総区画数:4.1%増  
 ・総面積:0.7%減

【時点】 各年度3月31日現在

【出典】 庁内資料

# V 都市基盤



# 1 交通

## <ポイント>

### (1) 道路

- 市道の道路延長は、わずかながら年々増加している。【(1)①参照】
- 市内道路に占める市道の割合は、多摩26市平均より高い。【(1)②参照】
- 道路平均幅員は、多摩26市平均より狭い。【(1)④参照】

### (2) 鉄道

- 市内の鉄道路線は、小田急小田原線とJR横浜線が中心である。【(2)①参照】
- 年間乗車人員は、多摩26市の中で町田駅が最も多い。【(2)②参照】

### (3) バス

- 地域コミュニティバス及び「まちっこ」利用者数は、前年度に比べ減少している。

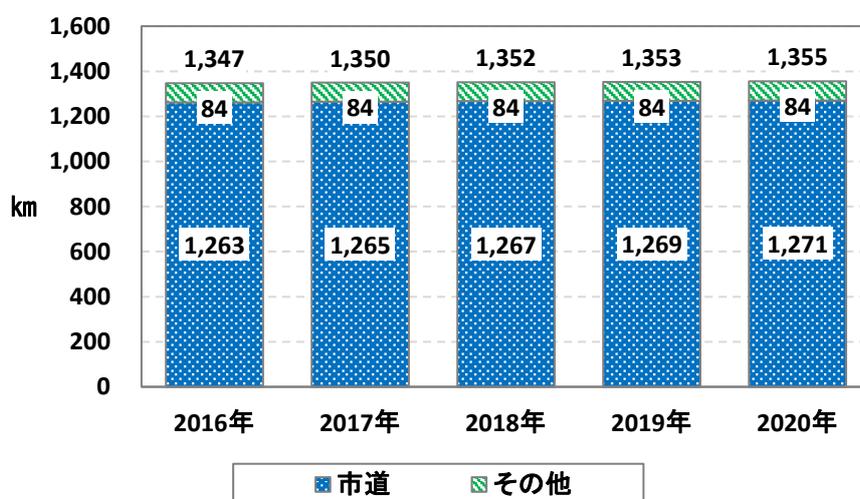
【(3)①②参照】

### (4) 自動車

- 2019年の自動車保有台数は、2015年と比べて微減している。【(4)①参照】
- 1千世帯あたり乗用車保有台数は、多摩26市平均より高い。【(4)②参照】

## (1) 道路

### ① 道路延長 (No.5-1-1-1)



#### <前年との比較>

- ・道路延長: 0.2%増
- ・「市道」: 0.2%増

#### <2016年との比較>

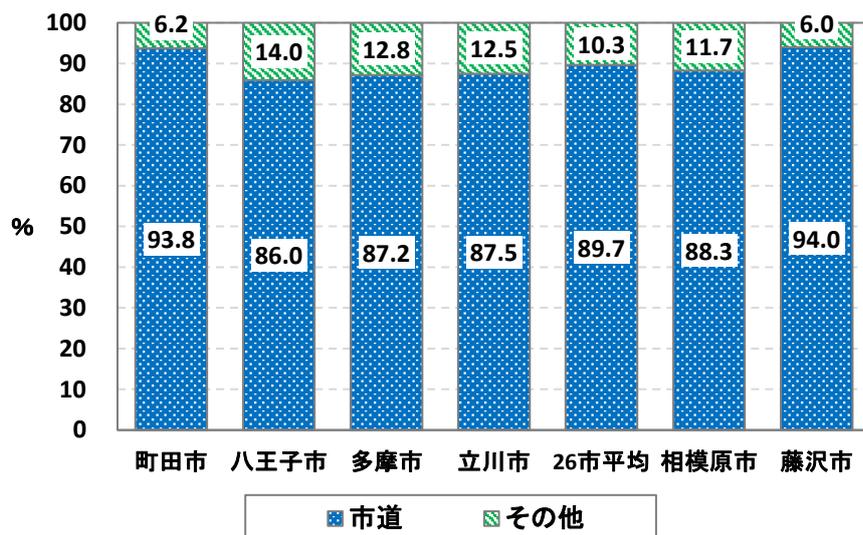
- ・道路延長: 0.6%増
- ・「市道」: 0.7%増

【注1】 「その他」は、国道、主要地方道、一般都道の合計。

【時点】 各年4月1日現在

【出典】 「町田市統計書」、庁内資料

②道路構成比(No.5-1-1-2)【他市比較】



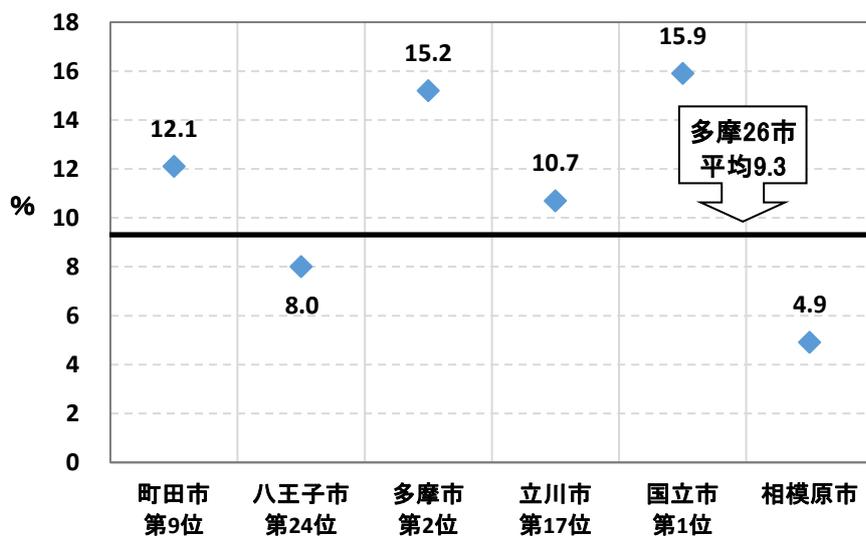
＜26市平均との比較＞  
 ・「市道」:4.0ポイント高い

＜比較市との比較＞  
 ・4市の中で「市道」の割合が最も高い

【時点】 2019年4月1日現在／相模原市は2020年4月1日現在

【出典】 「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

③道路率(No.5-1-1-3)【他市比較】



＜26市平均との比較＞  
 ・2.8ポイント高い

＜比較市との比較＞  
 ・4市の中で2番目に高い

＜26市ランキング＞

第1位: 国立市	15.9
第2位: 多摩市	15.2
第3位: 羽村市	13.4

(%)

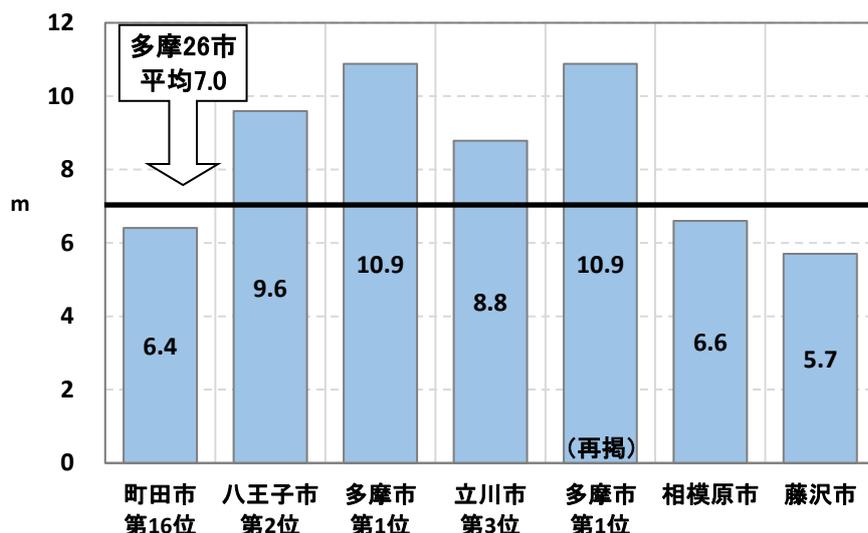
【注1】 道路率＝道路面積/市域面積×100

【注2】 藤沢市は道路率の算定なし。

【時点】 2019年4月1日現在

【出典】 「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

④道路平均幅員(No.5-1-1-4)【他市比較】



<26市平均との比較>

・8.9%狭い

<比較市との比較>

・4市の中で最も狭い

<26市ランキング>

第1位: 多摩市 10.9  
 第2位: 八王子市 9.6  
 第3位: 立川市 8.8  
 (m)

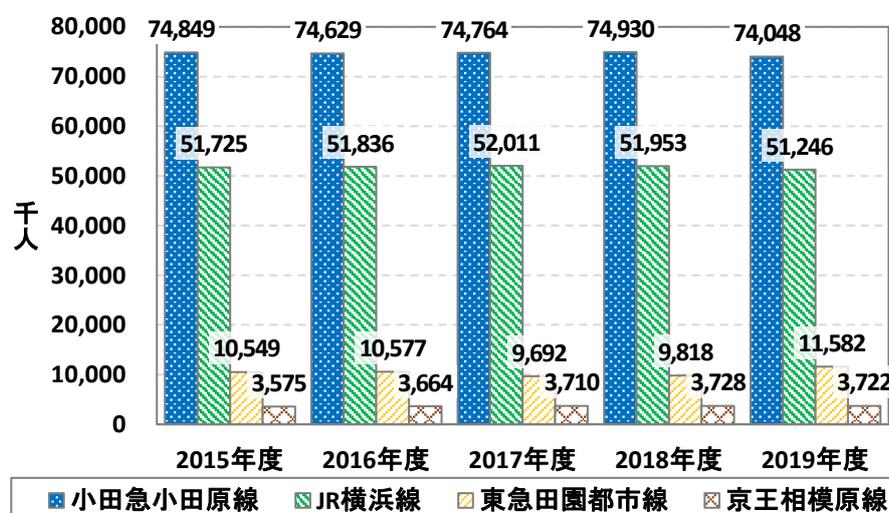
【注1】 道路平均幅員＝道路面積/道路延長

【時点】 2019年4月1日現在/相模原市は2020年4月1日現在

【出典】 「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

(2) 鉄道

①市内鉄道路線別年間乗車人員(No.5-1-2-1)



<前年度との比較>

・小田急小田原線: 1.2%減  
 ・JR横浜線: 1.4%減  
 ・東急田園都市線: 18.0%増  
 ・京王相模原線: 0.2%減

<2015年度との比較>

・小田急小田原線: 1.1%減  
 ・JR横浜線: 0.9%減  
 ・東急田園都市線: 9.8%増  
 ・京王相模原線: 4.1%増

【注1】 小田急小田原線は、町田、鶴川、玉川学園前各駅乗車人数の合計。

【注2】 JR横浜線は、町田、成瀬、相原各駅乗車人数の合計。

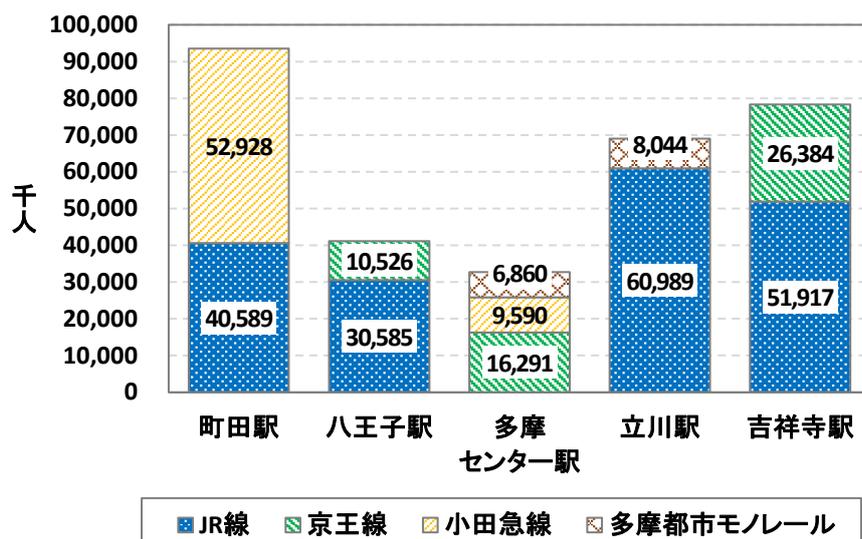
【注3】 東急田園都市線は、南町田、つくし野、すずかけ台各駅乗車人数の合計。

【注4】 京王相模原線は、多摩境駅乗車人数。

【期間】 各年度4月1日～3月31日

【出典】 「町田市統計書」

②主要駅別年間乗車人員(No.5-1-2-2)【他市比較】

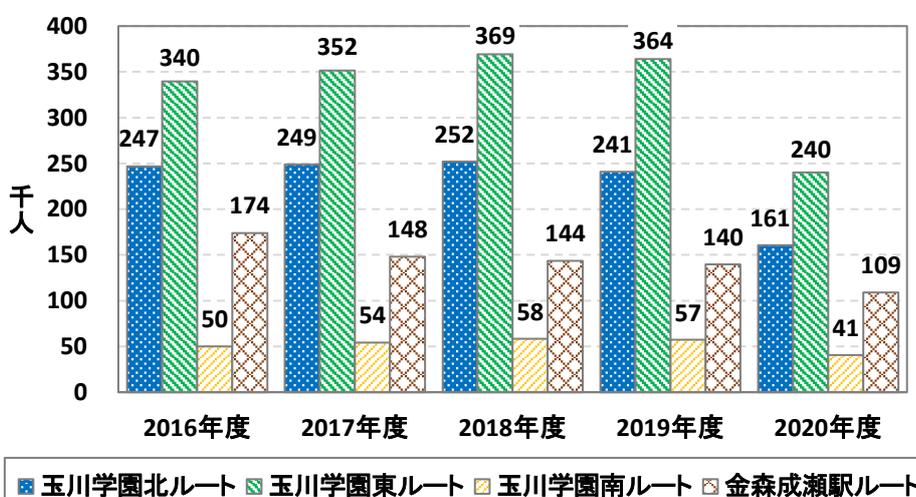


＜主要駅との比較＞  
・5主要駅の中で最も多い

- 【注 1】 町田市及び比較市における主要駅と、その他の市で最も利用者が多い吉祥寺駅を表示している。なお、同一社線内の乗り継ぎは除いている。
- 【注 2】 町田駅は、JR町田駅、小田急線町田駅の乗車人数。
- 【注 3】 八王子駅は、JR八王子駅、京王線京王八王子駅の乗車人数。
- 【注 4】 多摩センター駅は、小田急線小田急多摩センター駅、京王線京王多摩センター駅、多摩都市モノレール多摩センター駅の乗車人数。
- 【注 5】 立川駅は、JR立川駅、多摩都市モノレール立川北駅の乗車人数。
- 【注 6】 吉祥寺駅は、JR吉祥寺駅、京王線吉祥寺駅の乗車人数。
- 【時点】 2019年度 【出典】 「東京都統計年鑑」東京都総務局統計部

(3)バス

①地域コミュニティバス利用者数(No.5-1-3-1)

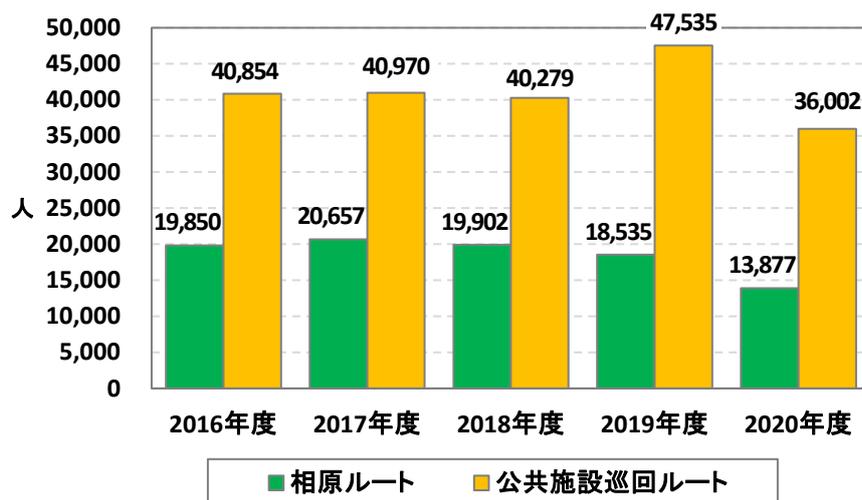


＜前年度との比較＞  
・玉川学園北ルート: 33.3%減  
・玉川学園東ルート: 34.0%減  
・金森成瀬駅ルート: 22.1%減

＜2016年度との比較＞  
・玉川学園北ルート: 34.9%減  
・玉川学園東ルート: 29.3%減  
・金森成瀬駅ルート: 37.4%減

- 【注 1】 玉川学園南ルートは、2016年2月1日から運行開始。
- 【注 2】 金森町田駅ルートは、2009年7月18日運行開始、2012年9月30日運行終了。データブック2021年度版より削除。
- 【期間】 運行開始年度を除き、各年度4月1日～3月31日 【出典】 庁内資料

②町田市民バス「まちっこ」利用者数(No.5-1-3-2)



<前年度との比較>

- ・相原ルート: 25.1%減
- ・公共施設巡回ルート: 24.3%減

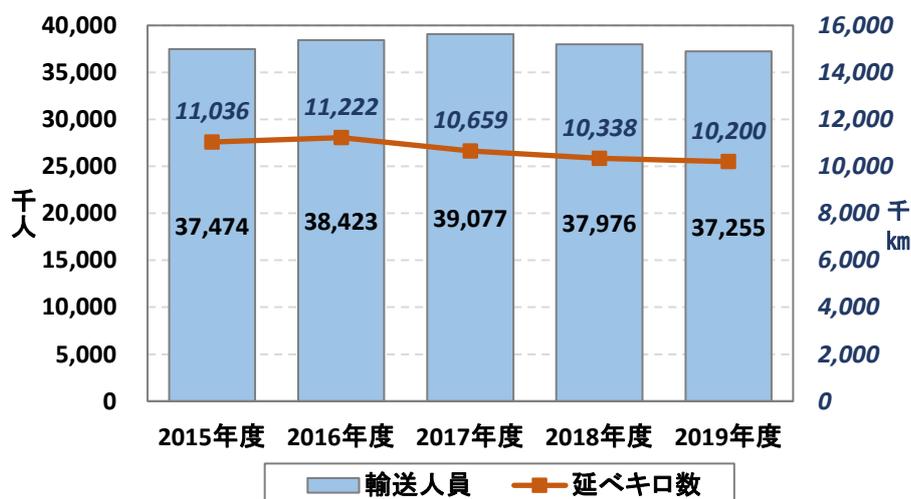
<2016年度との比較>

- ・相原ルート: 30.1%減
- ・公共施設巡回ルート: 11.9%減

【期間】 各年度4月1日～3月31日

【出典】 庁内資料

③市内民営バス路線輸送人員、延ベキ口数(No.5-1-3-3)



<前年度との比較>

- ・輸送人員: 1.9%減
- ・延ベキ口数: 1.3%減

<2015年度との比較>

- ・輸送人員: 0.6%減
- ・延ベキ口数: 7.6%減

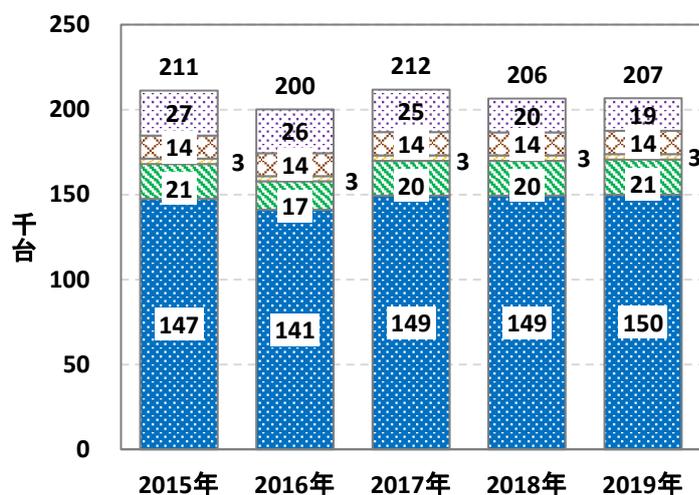
【注1】 各数値は小田急バスと神奈川中央交通の合計。

【期間】 各年度4月1日～3月31日

【出典】 「町田市統計書」

(4) 自動車

① 自動車保有台数 (No.5-1-4-1)



<前年との比較>

- ・自動車保有台数: 0.1%増
- ・「原付一種」: 3.8%減
- ・「貨物車」: 1.4%増
- ・「乗用車」: 0.3%増

<2015年との比較>

- ・自動車保有台数: 2.1%減
- ・「原付一種」: 27.8%減
- ・「貨物車」: 0.7%増
- ・「乗用車」: 1.6%増

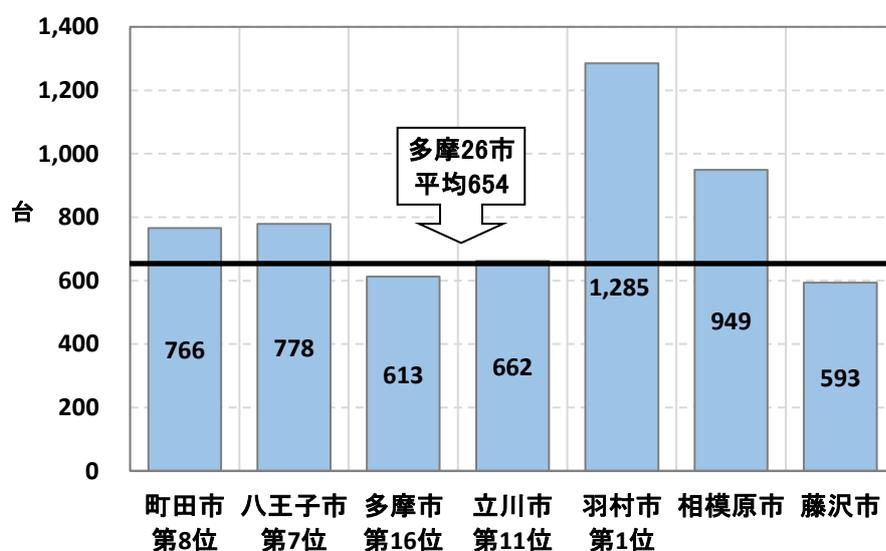
【注 1】 車種分類は道路運送車両法による。

【注 2】 特殊とは、特殊用途車、特殊車(大型・小型)の合計。

【時点】 各年3月末現在

【出典】 「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

② 1千世帯あたり乗用車保有台数 (No.5-1-4-2) 【他市比較】



<26市平均との比較>

- ・17.2%多い

<比較市との比較>

- ・4市の中で2番目に多い

<26市ランキング>

- 第1位: 羽村市 1,285
  - 第2位: あきる野市 1,161
  - 第3位: 武蔵村山市 1,070
- (台)

【時点】 2019年3月31日現在(台数)、2019年1月1日現在(世帯数)

【出典】 「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

## 2 交通安全

### <ポイント>

#### (1) 交通安全

- 交通事故発生件数は、年々減少し、特に車対車の件数が大幅に減少している。

【(1)①参照】

#### (2) 自転車対策

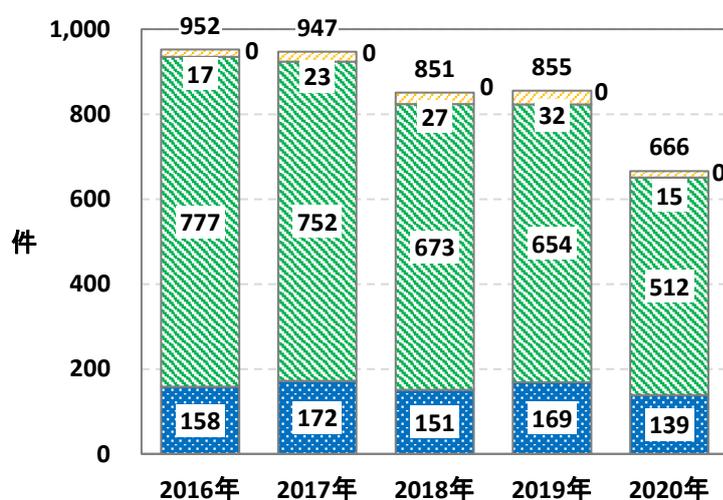
- 放置自転車撤去台数は、年々減少している。【(2)①参照】

- 2020年度の自転車駐輪場利用台数は、2016年度の約6割程度に減少している。

【(2)②参照】

### (1)交通安全

#### ①交通事故発生件数(人身事故のみ)(No.5-2-1-1)



#### <前年との比較>

- ・発生件数:22.1%減
- ・「車対車」:21.7%減
- ・「人対車」:17.8%減

#### <2016年との比較>

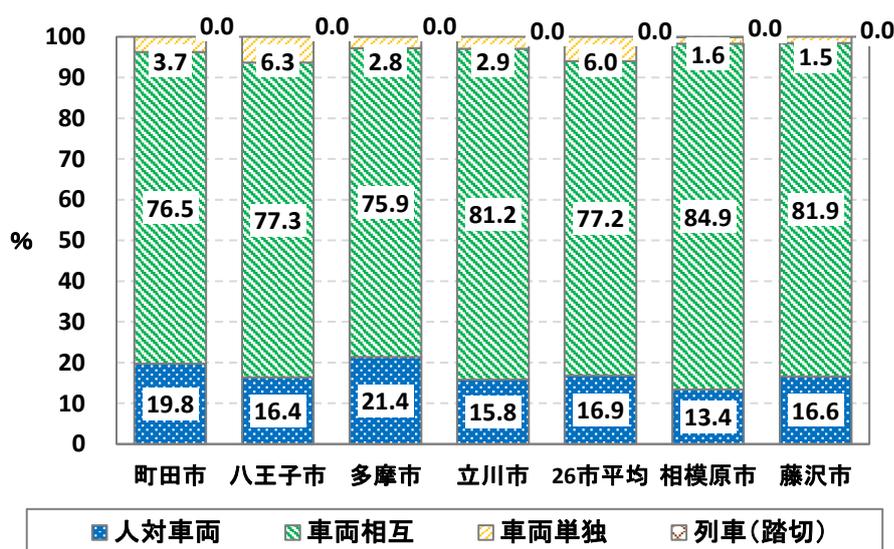
- ・発生件数:30.0%減
- ・「車対車」:34.1%減
- ・「人対車」:12.0%減

【注1】 高速隊扱いの事故は含まない。

【期間】 各年1月1日～12月31日

【出典】 「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

②交通事故類型別構成比(No.5-2-1-2)【他市比較】



＜26市平均との比較＞

- ・「車両単独」:  
2.2ポイント低い
- ・「車両相互」:  
0.7ポイント低い
- ・「人対車両」:  
2.9ポイント高い

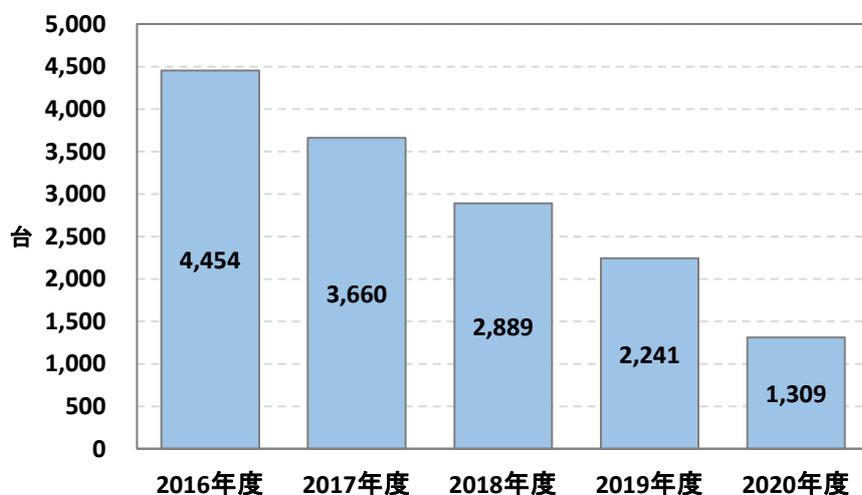
【注1】 集計方法の変更にとまない、年齢区分別交通事故当事者構成比を交通事故類型別構成比へ変更。

【時点】 2019年

【出典】 「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

(2) 自転車対策

①放置自転車撤去台数(No.5-2-2-1)



＜前年度との比較＞

- ・41.6%減

＜2016年度との比較＞

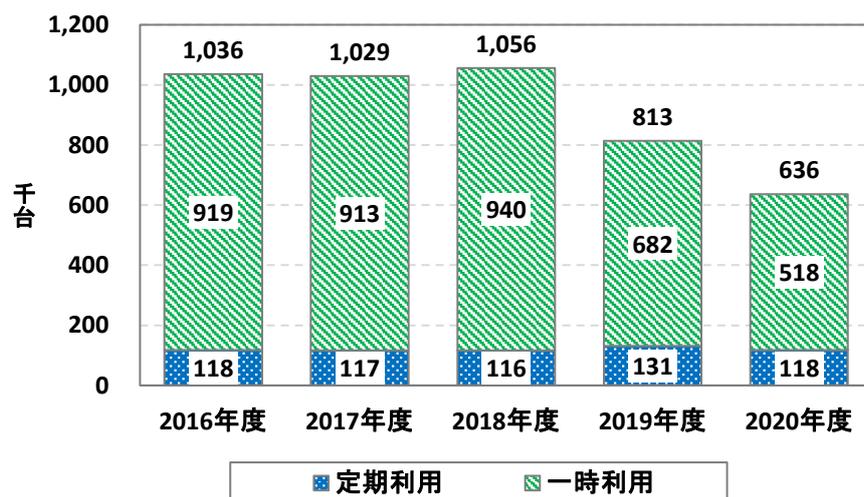
- ・70.6%減

【注1】 市内9つの駅における一斉撤去の合計台数。

【時点】 各年度末時点

【出典】 庁内資料

②自転車駐輪場利用台数(No.5-2-2-2)



<前年度との比較>  
 ・利用台数:21.8%減  
 ・「一時利用」:24.0%減  
 ・「定期利用」:10.1%減

<2016年度との比較>  
 ・利用台数:38.6%減  
 ・「一時利用」:43.6%減  
 ・「定期利用」:0.3%増

【注1】 市営・公営自転車駐輪場(無料を除く)における自転車・バイクの年間利用台数。

【注2】 定期利用は、定期利用の契約台数。

【時点】 各年度末時点

【出典】 庁内資料

### 3 公園・緑地等

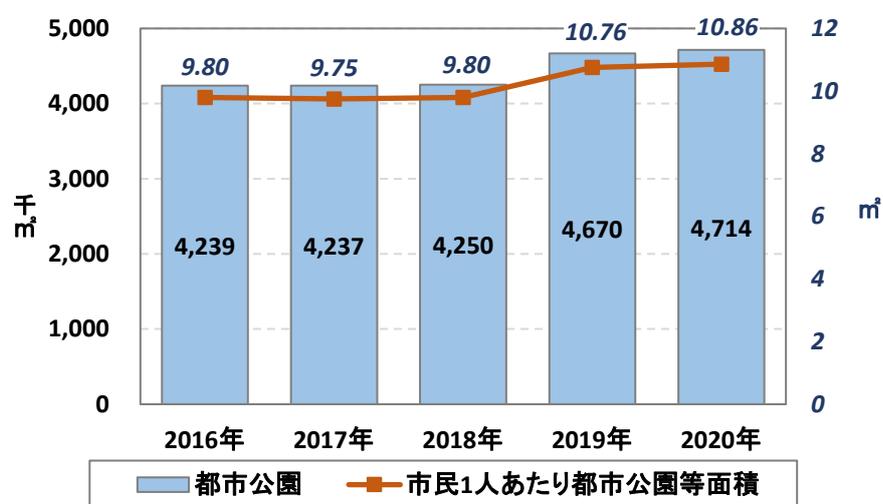
#### <ポイント>

##### (1) 公園、緑地等

- 都市公園等面積及び市民1人あたり都市公園等面積は、年々増加している。【(1)①参照】
- 市民1人あたり都市公園等面積は、多摩26市平均より広い。【(1)②参照】

#### (1)公園、緑地等

##### ①都市公園等面積、市民1人あたり都市公園等面積(No.5-3-1-1)



#### <前年との比較>

- ・都市公園:1.0%増
- ・市民1人あたり都市公園等面積:0.9%増

#### <2016年との比較>

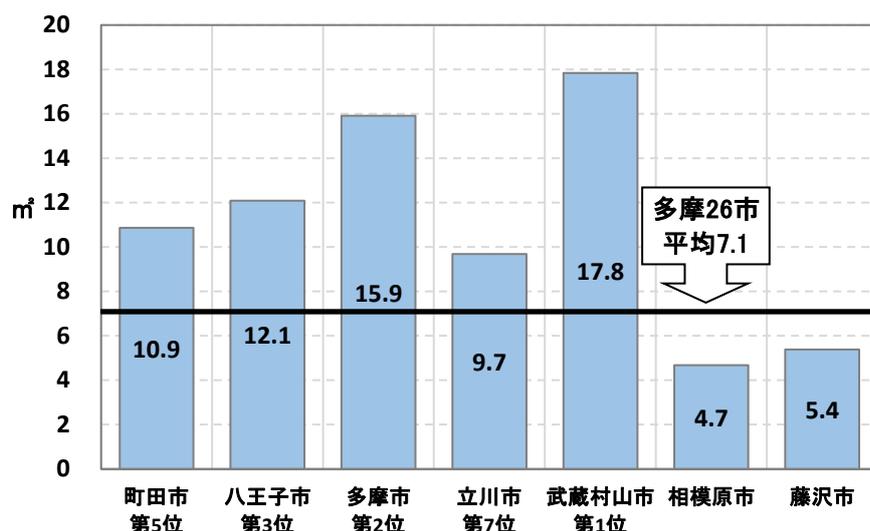
- ・都市公園:11.2%増
- ・市民1人あたり都市公園等面積:10.8%増

【注1】 都市公園は、都立、市立都市公園、市立公園の合計。

【時点】 各年4月1日現在

【出典】 「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会、「公園調書」東京都建設局

②市民1人あたり都市公園等面積(No.5-3-1-2)【他市比較】

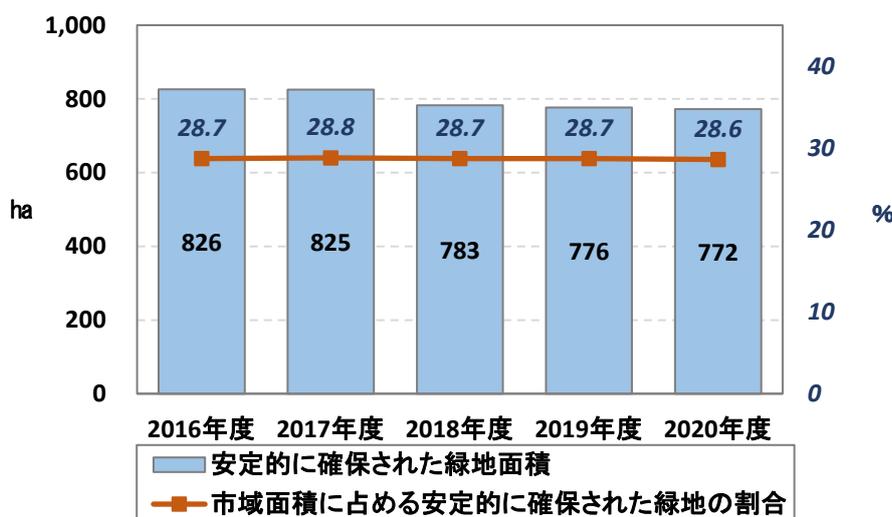


<26市平均との比較>  
 ・53.2%広い  
  
 <比較市との比較>  
 ・4市の中で2番目に狭い  
  
 <26市ランキング>  
 第1位: 武蔵村山市 17.8  
 第2位: 多摩市 15.9  
 第3位: 八王子市 12.1  
 (m²)

【時点】 2020年4月1日現在

【出典】 「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

③市域面積に占める安定的に確保された緑地の割合(No.5-3-1-3)



<前年度との比較>  
 ・安定的に確保された緑地面積:0.6%減  
 ・市域面積に占める安定的に確保された緑地の割合: 0.1ポイント低下  
  
 <2016年度との比較>  
 ・安定的に確保された緑地面積:6.5%減

【注1】 安定的に確保された緑地面積とは、特別緑地保全地区やふるさとの森、生産緑地地区など制度上安定した緑地の面積。

【注2】 市域面積に占める安定的に確保された緑地の割合とは、①公園緑地等、②制度上安定した緑地、③社会通念上安定した緑地の合計面積／町田市面積

【時点】 各年度3月31日現在

【出典】 「町田市環境白書」

## 4 住宅

## ＜ポイント＞

## (1) 新設住宅

- 2019年の新設住宅着工数は、2015年に比べ増加し、特に分譲住宅が増加している。

【(1)①参照】

## (2) 居住状況

- 1住宅あたり延べ面積は、多摩26市平均より広い。【(2)①参照】
- 住宅数は、1998年～2013年は増加しているが、2018年は減少している。【(2)②参照】
- 一戸建及び持ち家の割合は、多摩26市平均より高い。【(2)③④参照】
- 駅からの距離が2,000m以上の住宅の割合は、多摩26市平均と比べてかなり高い。

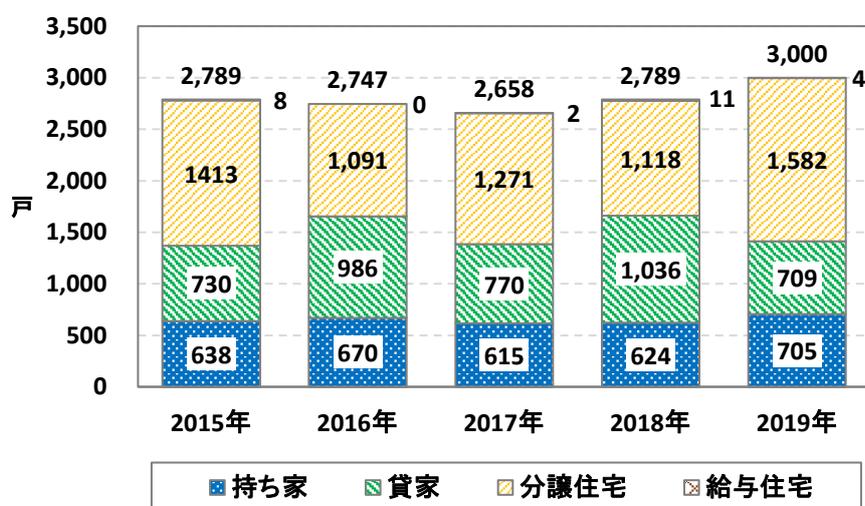
【(2)⑤参照】

## (3) 空き家状況

- 空き家率は、多摩26市平均より低い。【(3)①参照】

## (1) 新設住宅

## ① 新設住宅着工数 (No.5-4-1-1)



## ＜前年との比較＞

- ・新設住宅着工数：7.6%増
- ・「分譲住宅」：41.5%増
- ・「貸家」：31.6%減
- ・「持ち家」：13.0%増

## ＜2015年との比較＞

- ・新設住宅着工数：7.6%増
- ・「分譲住宅」：12.0%増
- ・「貸家」：2.9%減
- ・「持ち家」：10.5%増

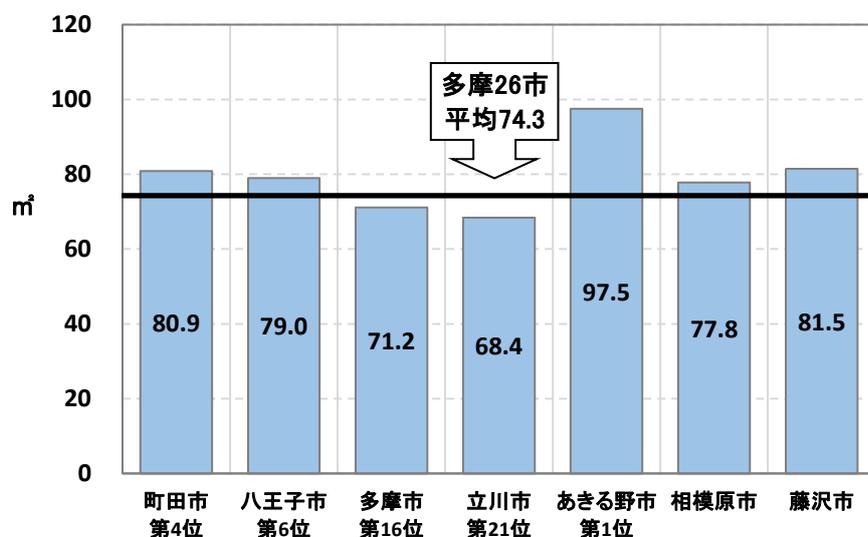
【注1】 新設とは、建築物の新設、増設または改装によって住宅の戸が新たに作られる工事をいう。

【期間】 各年1月1日～12月31日

【出典】 「建築統計年報」東京都都市整備局、「町田市統計書」

(2) 居住状況

① 1住宅あたり延べ面積 (No.5-4-2-1) 【他市比較】



<26市平均との比較>

・8.9%広い

<比較市との比較>

・4市の中で最も広い

<26市ランキング>

第1位: あきる野市 97.5

第2位: 青梅市 91.3

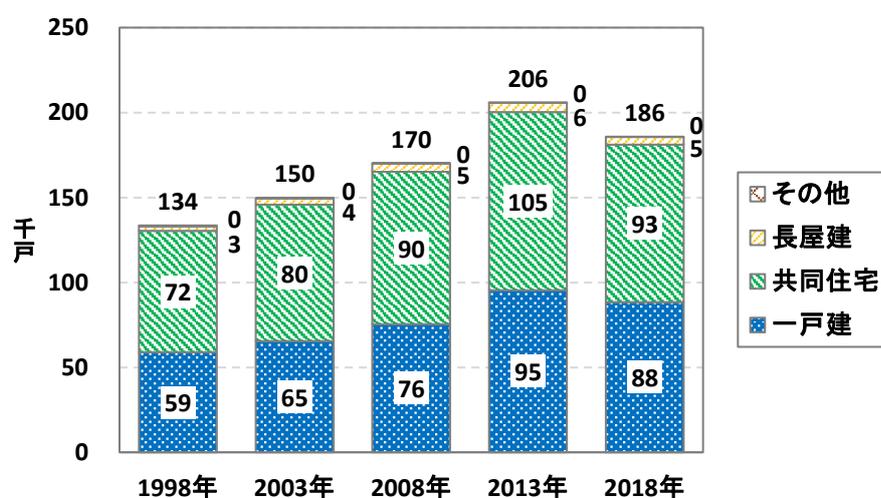
第3位: 武蔵村山市 83.2

(m²)

【時点】 2018年10月1日現在

【出典】 「東京都統計年鑑」東京都総務局統計部

② 建て方別住宅数 (No.5-4-2-2)



<2013年との比較>

・住宅数: 9.7%減

・「共同住宅」: 11.5%減

・「一戸建」: 7.3%減

<1998年との比較>

・住宅数: 39.2%増

・「共同住宅」: 29.6%増

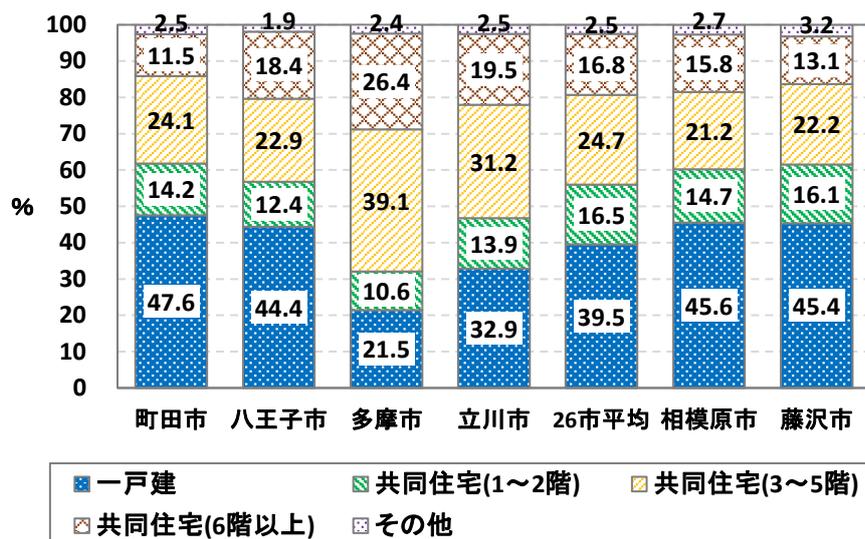
・「一戸建」: 50.3%増

【注1】 標本調査による推定結果であるため、四捨五入して10位を有効数字としたので、個々の数値の合計が必ずしも総数とは一致しない。

【時点】 各年10月1日現在

【出典】 「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

③建て方別住宅構成比(No.5-4-2-3)【他市比較】



<26市平均との比較>

- ・「共同住宅(6階以上)」:  
5.2ポイント低い
- ・「共同住宅(3~5階)」:  
0.6ポイント低い
- ・「共同住宅(1~2階)」:  
2.3ポイント低い
- ・「一戸建」:8.1ポイント高い

<比較市との比較>

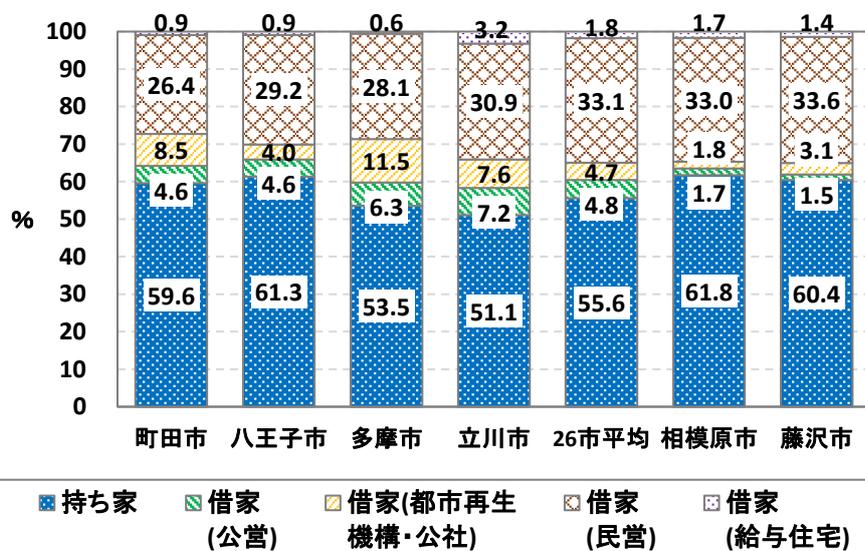
- ・4市の中で「一戸建」の割合が最も高い

【注1】 「その他」には長屋建を含む。

【時点】 2018年10月1日現在

【出典】 「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

④住宅の所有関係別住宅構成比(No.5-4-2-4)【他市比較】



<26市平均との比較>

- ・「借家(民営)」:  
6.7ポイント低い
- ・「借家(都市再生機構・公社)」: 3.8ポイント高い
- ・「持ち家」:4.0ポイント高い

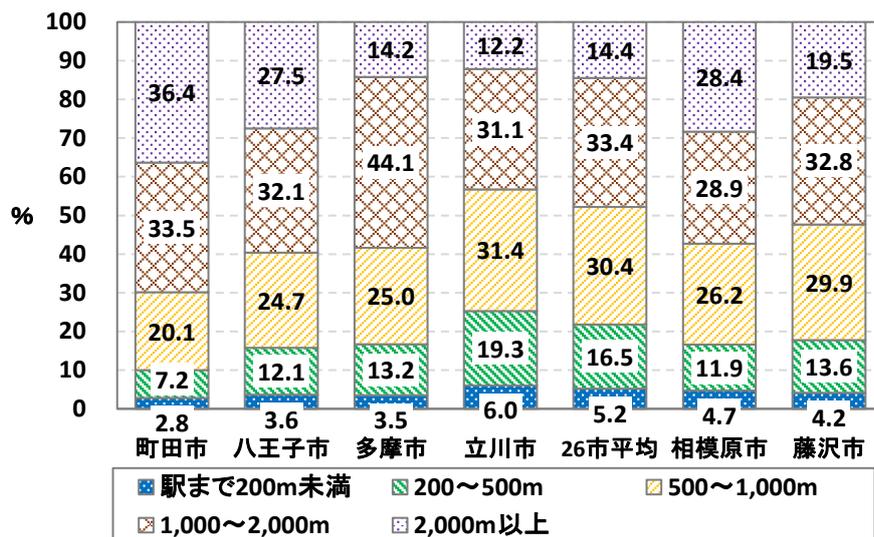
<比較市との比較>

- ・4市の中で「持ち家」の割合が2番目に高い

【時点】 2018年10月1日現在

【出典】 「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

⑤ 駅からの距離別住宅構成比 (No.5-4-2-5) 【他市比較】



＜26市平均との比較＞  
 ・「2,000m以上」:  
     21.9ポイント高い  
 ・「500～1,000m」:  
     10.3ポイント低い  
 ・「200～500m」:  
     9.3ポイント低い

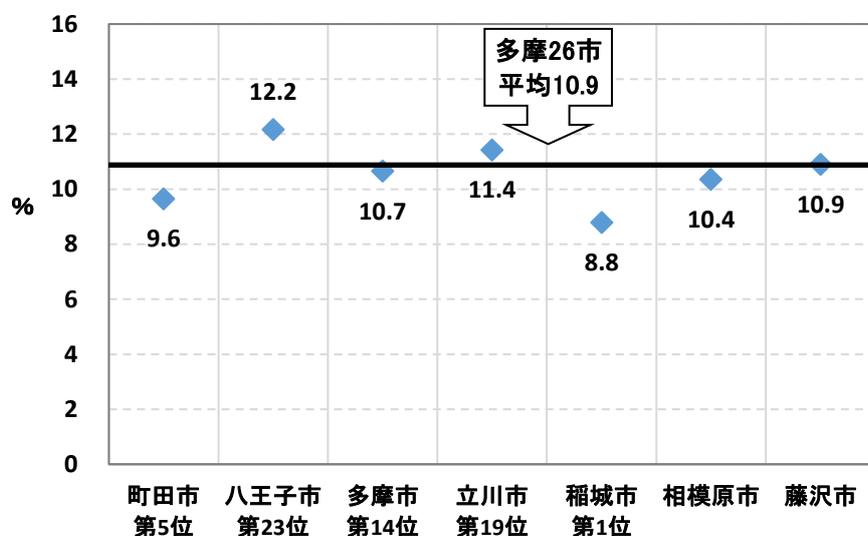
＜比較市との比較＞  
 ・4市の中で「2,000m以上」の割合が最も高い

【時点】 2018年10月1日現在

【出典】 「住宅・土地統計調査結果」総務省統計局

(3) 空き家状況

① 空き家率 (No.5-4-3-1) 【他市比較】



＜26市平均との比較＞  
 ・1.2ポイント低い

＜比較市との比較＞  
 ・4市の中で最も低い

＜26市ランキング＞  
 第1位: 稲城市 8.8  
 第2位: 西東京市 8.8  
 第3位: 狛江市 9.4  
 (%)

【注1】 このグラフの26市ランキングについては、数値の小さい市から並べている。

【注2】 空き家率 = 空き家数 / 住宅数 × 100

【時点】 2018年10月1日現在

【出典】 「住宅・土地統計調査結果」総務省統計局

## 5 下水道

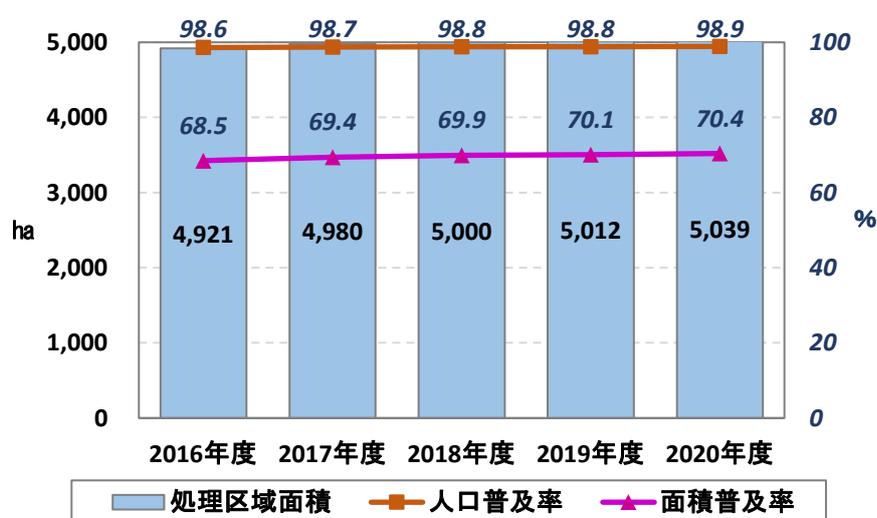
## &lt;ポイント&gt;

## (1) 下水道

- 2020年度の下水道処理区域面積、人口普及率及び面積普及率は、いずれも2016年度より上昇している。【(1)①参照】
- 公共下水道の人口普及率は、多摩26市平均より低い。【(1)②参照】
- 公共下水道人口水洗化率は、2017年度以降99%以上で推移している。【(1)④参照】

## (1) 下水道

## ① 下水道処理区域面積、人口普及率、面積普及率 (No.5-5-1-1)



## &lt;前年度との比較&gt;

- ・処理区域面積: 0.5%増
- ・人口普及率:  
0.1ポイント上昇
- ・面積普及率: 0.3ポイント上昇

## &lt;2016年度との比較&gt;

- ・処理区域面積: 2.4%増
- ・人口普及率:  
0.3ポイント上昇
- ・面積普及率:  
1.9ポイント上昇

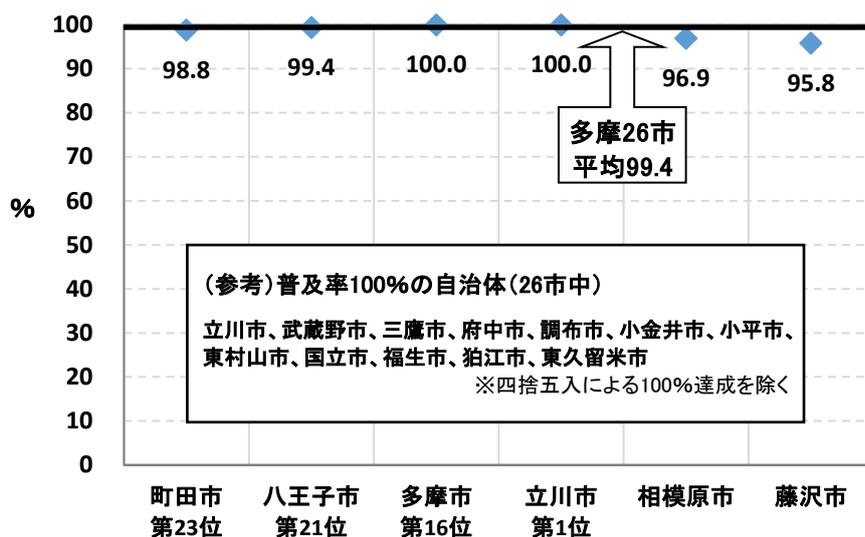
【注 1】 人口普及率とは、市の人口のうち、公共下水道が使えるようになった人口が占める割合のこと。

【注 2】 面積普及率とは、市域面積のうち、下水道処理区域面積が占める割合のこと。

【時点】 各年度末現在

【出典】 「町田市統計書」、「下水道事業概要」

②人口普及率(No.5-5-1-2)【他市比較】



<26市平均との比較>  
・0.6ポイント低い

<比較市との比較>  
・4市の中で最も低い

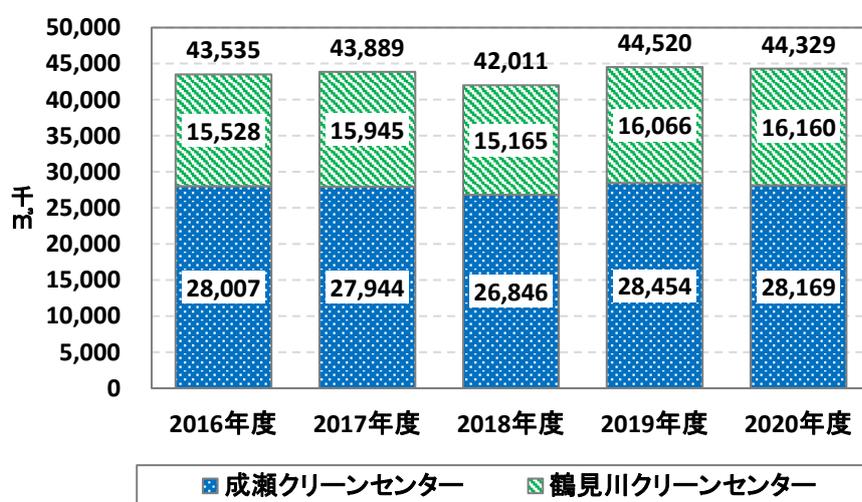
【注1】 ランキングは下水道普及率を四捨五入せずに比較。

【注2】 人口普及率とは、市の人口のうち、公共下水道が使えるようになった人口が占める割合のこと。

【時点】 2019年度末現在(下水道普及人口)、2020年4月1日現在(人口)

【出典】 「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

③下水処理量(No.5-5-1-3)



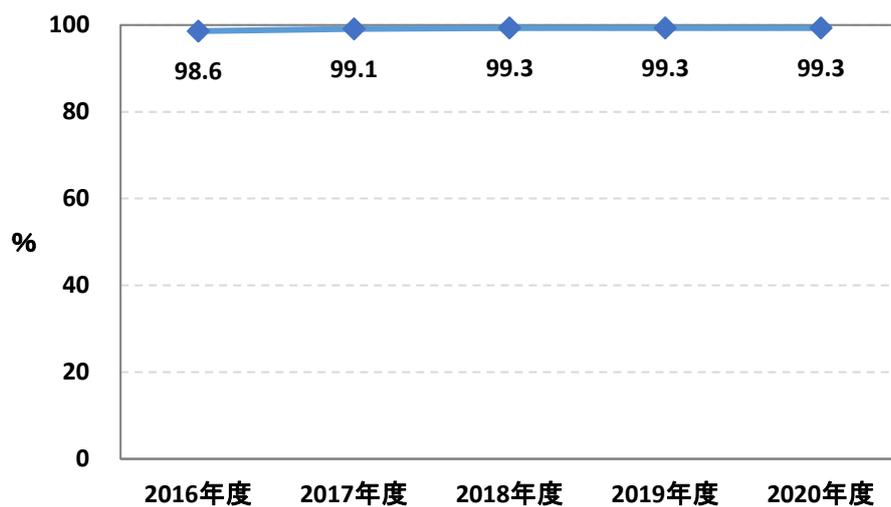
<前年度との比較>  
・下水処理量:0.4%減  
・「鶴見川クリーンセンター」:  
0.6%増  
・「成瀬クリーンセンター」:  
1.0%減

<2016年度との比較>  
・下水処理量:1.8%増  
・「鶴見川クリーンセンター」:  
4.1%増  
・「成瀬クリーンセンター」:  
0.6%増

【時点】 各年度末現在

【出典】 「町田市統計書」、庁内資料

## ④公共下水道人口水洗化率(No.5-5-1-4)



<前年度との比較>

・変化なし

<2016年度との比較>

・0.7ポイント上昇

【注 1】 公共下水道人口水洗化率とは、下水道供用開始区域内の人口のうち、公共下水道を利用している人口の割合のこと。

【時点】 各年度末現在

【出典】 「下水道事業概要」

## 6 治水・防災

### <ポイント>

#### (1) 治水

- 2020年度の調整池規模及び箇所数は、2016年度と比べて増加している。【(1)①参照】

#### (2) 火災

- 市民1万人あたりの火災発生件数は、多摩26市平均より少ない。【(2)①参照】

#### (3) 地域防災

- 2020年度の火災・風水害等出動延べ人数は、前年度より大幅に減少している。

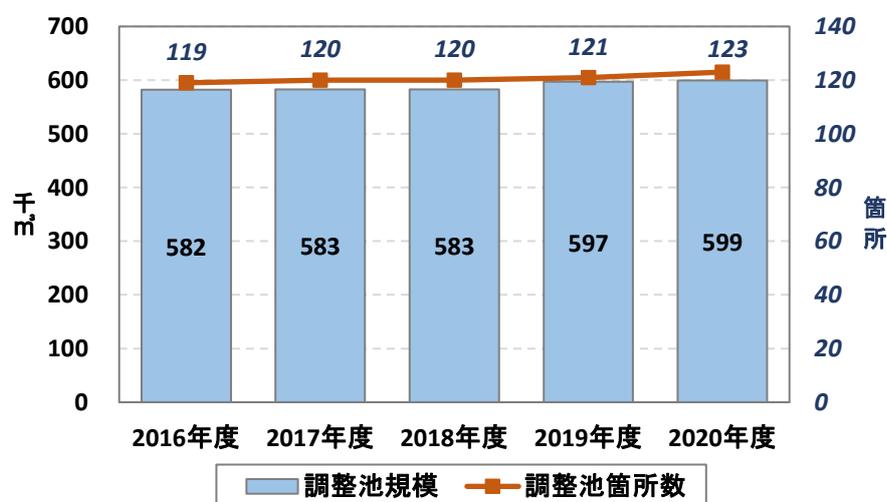
【(3)①参照】

#### (4) 防災無線

- 防災無線屋外拡声子局設置数は、年々増加している。【(4)①参照】

### (1) 治水

#### ①調整池の規模、箇所数(No.5-6-1-1)



#### <前年度との比較>

- ・調整池規模:0.4%増
- ・調整池箇所数:1.7%増

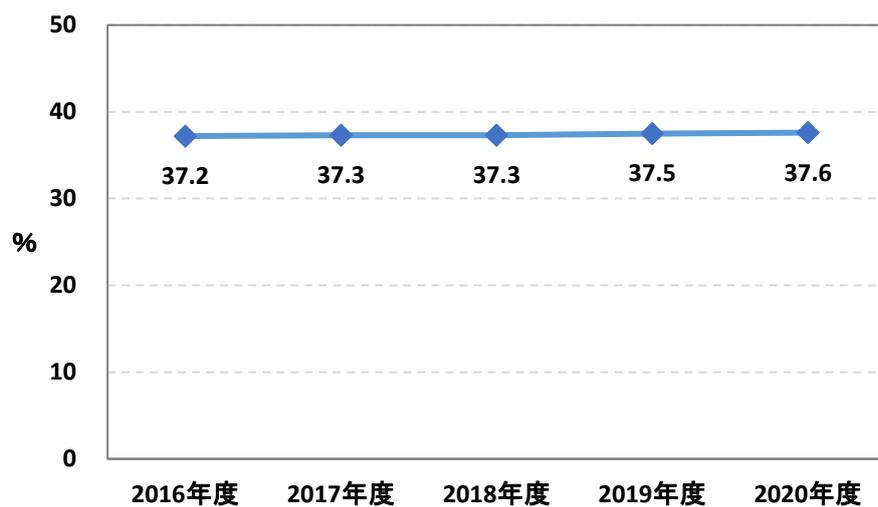
#### <2016年度との比較>

- ・調整池規模:3.0%増
- ・調整池箇所数:3.4%増

【時点】 各年度末現在

【出典】 庁内資料

②雨水管面積整備率(No.5-6-1-2)



<前年度との比較>  
 ・0.1ポイント上昇  
  
 <2016年度との比較>  
 ・0.4ポイント上昇

【注 1】 面積整備率=整備済み面積/雨水全体計画面積

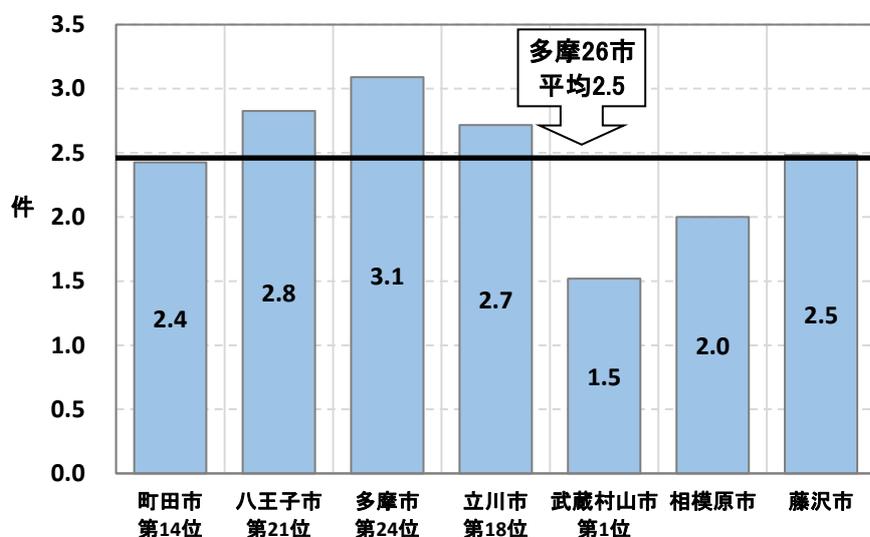
【注 2】 2017年度から、雨水管の整備率から雨水管面積整備率に名称変更。

【時点】 各年度末現在

【出典】 庁内資料

(2)火災

①市民1万人あたり火災発生件数(No.5-6-2-1)【他市比較】



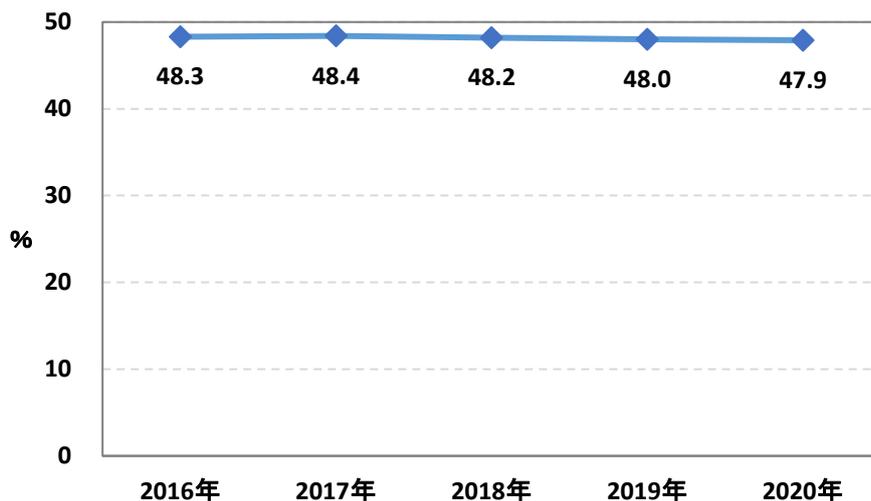
<26市平均との比較>  
 ・1.4%少ない  
  
 <比較市との比較>  
 ・4市の中で最も少ない  
  
 <26市ランキング>  
 第1位: 武蔵村山市 1.5  
 第2位: 福生市 1.7  
 第3位: 東村山市 1.8  
 (件)

【注 1】 このグラフの26市ランキングについては、数値の小さい市から並べている。

【時点】 2019年(火災件数)、2020年1月1日現在(人口)

【出典】 「東京都統計年鑑」東京都総務局統計部

②建物不燃化率(No.5-6-2-2)



<前年との比較>

・0.1ポイント低下

<2016年との比較>

・0.4ポイント低下

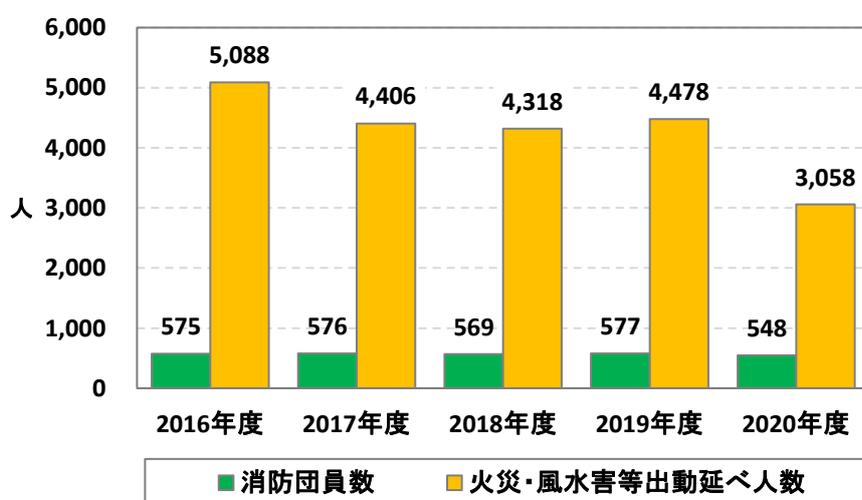
【注1】 建物不燃化率=非木造建物床面積/総建物床面積×100

【時点】 各年1月1日現在

【出典】 「東京都統計年鑑」東京都総務局統計部

(3)地域防災

①消防団員数、火災・風水害等出動延べ人数(No.5-6-3-1)



<前年度との比較>

・消防団員数:5.0%減

・火災・風水害等出動延べ人数:31.7%減

<2016年度との比較>

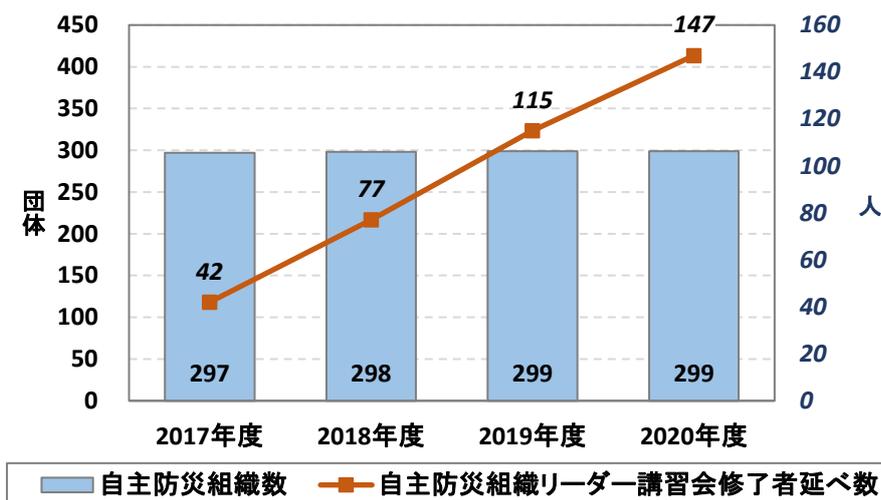
・消防団員数:4.7%減

・火災・風水害等出動延べ人数:39.9%減

【時点】 各年度当初現在(消防団員数)、各年度末現在(火災・風水害等出動延べ人数)

【出典】 庁内資料、事業別行政評価シート

②自主防災組織数、自主防災組織リーダー講習会修了者延べ数(No.5-6-3-2)



＜前年度との比較＞

- ・自主防災組織数：変化なし
- ・講習会修了者数：27.8%増

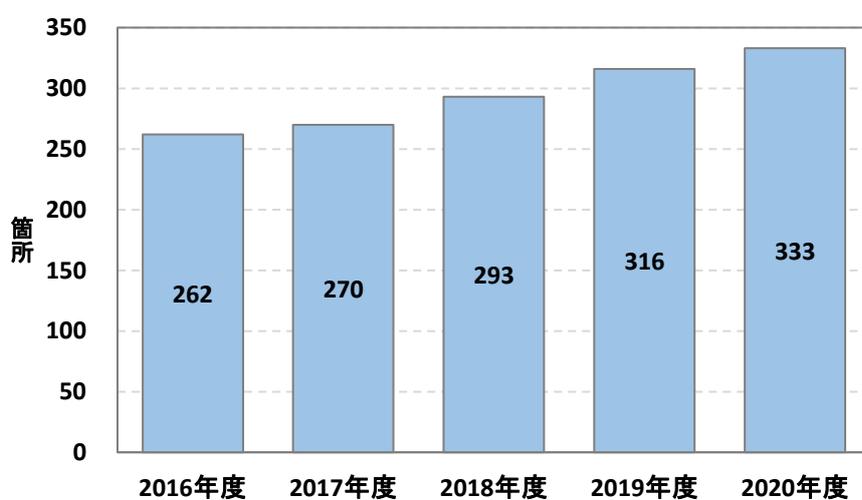
＜2017年度との比較＞

- ・自主防災組織数：0.7%増
- ・講習会修了者数：250.0%増

【注1】 5ヶ年毎の事業のため、自主防災組織リーダー講習会修了者延べ数は該当5ヶ年の延べ人数。  
 【時点】 各年度末現在  
 【出典】 庁内資料、事業別行政評価シート

(4)防災無線

①防災無線屋外拡声子局設置箇所数(No.5-6-4-1)



＜前年度との比較＞

- ・5.4%増

＜2016年度との比較＞

- ・27.1%増

【時点】 各年度末現在  
 【出典】 庁内資料

# VI 教育



# 1 学校教育

## <ポイント>

### (1) 児童、生徒数

- 市立小学校の児童数及び学級数は、年々微減している。【(1)①参照】
- 市立中学校の生徒数及び学級数は、横ばいで推移している。【(1)②参照】
- 小学校1校あたりの児童数は、多摩26市平均より多い。【(1)③参照】
- 中学校1校あたりの生徒数は、多摩26市の中で最も多い。【(1)④参照】

### (3) 情報化

- 2020年度のコンピューター1台あたりの児童数及び生徒数は、1人を下回っている。

【(3)①②参照】

### (4) 学校図書

- 2020年度の学校図書館図書標準達成校割合は、小中学校とも100%である。【(4)①参照】

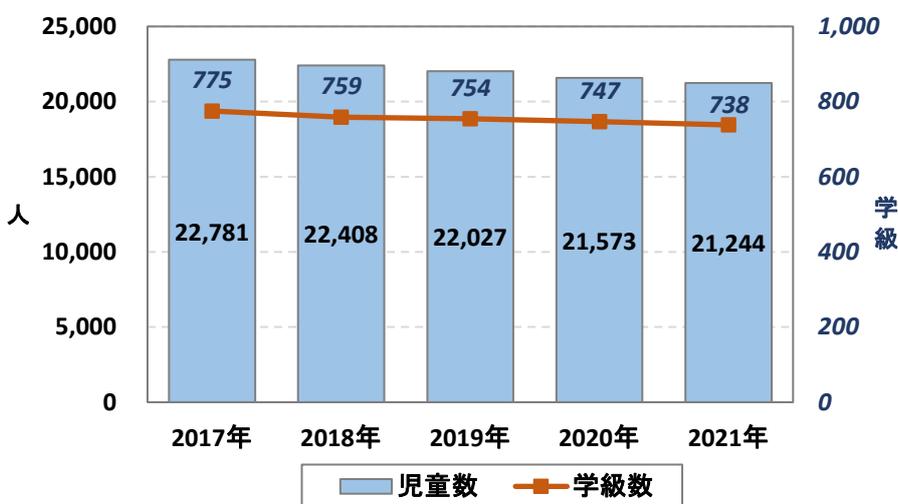
### (5) 不登校

- 不登校児童数は、年々増加している。【(5)①参照】
- 2020年度の不登校生徒数は、前年度より微減したものの、2016年度より増加している。

【(5)②参照】

## (1)児童、生徒数

### ①市立小学校児童数、学級数(No.6-1-1-1)



#### <前年との比較>

- ・児童数: 1.5%減
- ・学級数: 1.2%減

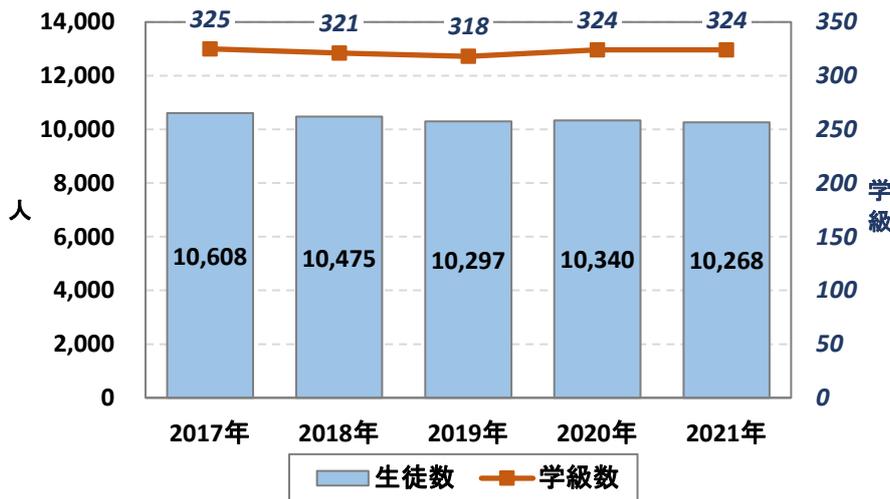
#### <2017年との比較>

- ・児童数: 6.7%減
- ・学級数: 4.8%減

【時点】 各年5月1日現在

【出典】 「町田市統計書」、庁内資料

②市立中学校生徒数、学級数(No.6-1-1-2)

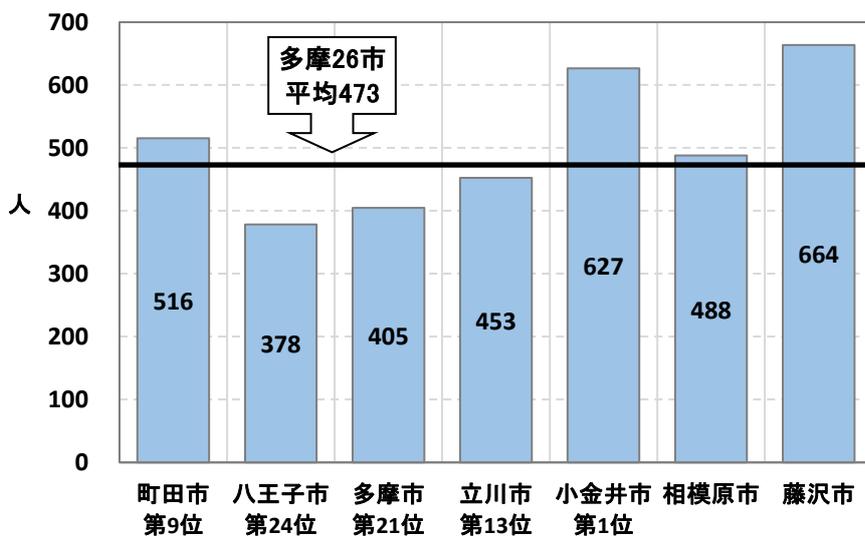


＜前年との比較＞  
 ・生徒数：0.7%減  
 ・学級数：変化なし

＜2017年との比較＞  
 ・生徒数：3.2%減  
 ・学級数：0.3%減

【時点】 各年5月1日現在  
 【出典】 「町田市統計書」、庁内資料

③小学校1校あたり児童数(No.6-1-1-3)【他市比較】



＜26市平均との比較＞  
 ・9.0%多い

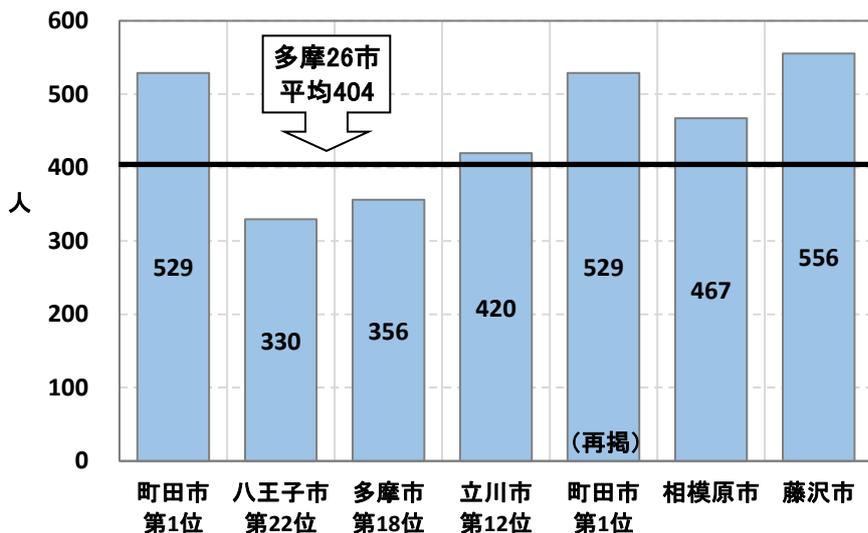
＜比較市との比較＞  
 ・4市の中で最も多い

＜26市ランキング＞  
 第1位：小金井市 627  
 第2位：狛江市 604  
 第3位：三鷹市 599  
 (人)

【注1】 このグラフの学校数、児童数については、国立、公立、私立の合計。  
 相模原市と藤沢市は市立の合計。

【時点】 2020年5月1日現在  
 【出典】 「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

④中学校1校あたり生徒数(No.6-1-1-4)【他市比較】



＜26市平均との比較＞  
 ・30.8%多い

＜比較市との比較＞  
 ・4市中で最も多い  
 また、多摩26市で最も多い

＜26市ランキング＞  
 第1位：町田市 529  
 第2位：日野市 524  
 第3位：府中市 514  
 (人)

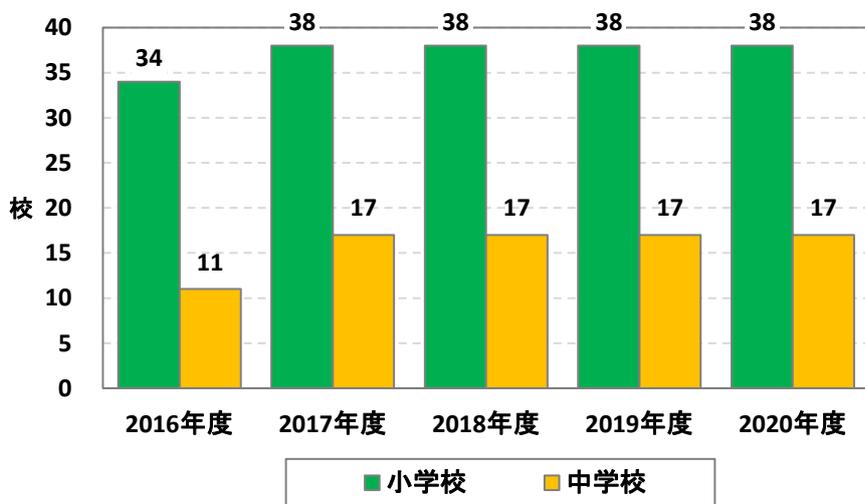
【注1】 このグラフの学校数、生徒数については、国立、公立、私立の合計。  
 相模原市と藤沢市は市立の合計。

【時点】 2020年5月1日現在

【出典】 「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

(2) 学校整備

①公立学校のトイレ改修実施延べ校数(小中学校)(No.6-1-2-1)



＜前年度との比較＞  
 ・小学校：変化なし  
 ・中学校：変化なし

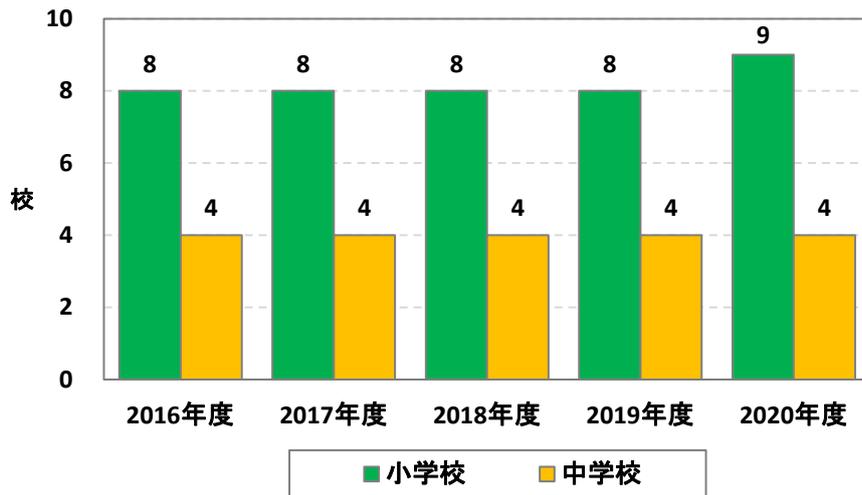
＜2016年度との比較＞  
 ・小学校：4校増加  
 ・中学校：6校増加

【注1】 工事が複数年にわたる場合、工事完了時に実施校数に加算。

【時点】 各年度3月31日現在

【出典】 庁内資料

②公立学校の防音工事实施延べ校数(小中学校)(No.6-1-2-2)



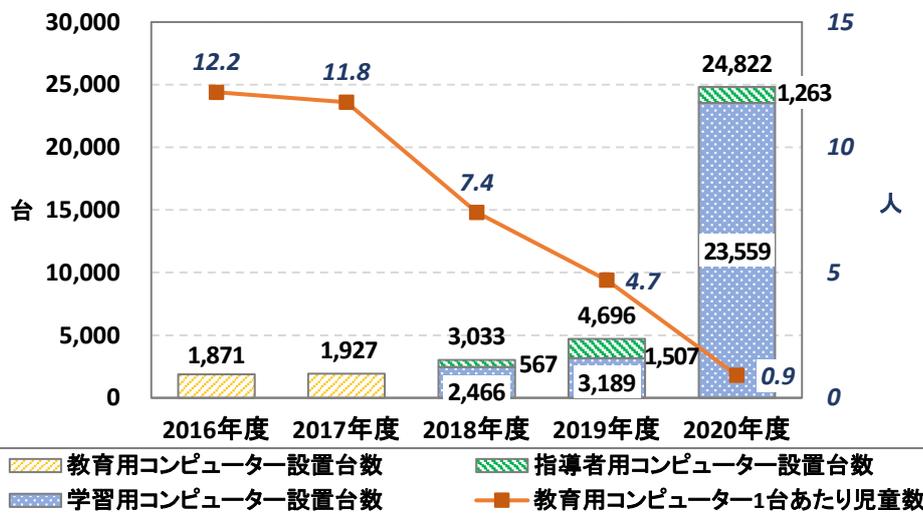
＜前年度との比較＞  
 ・小学校:1校増加  
 ・中学校:変化なし

＜2016年度との比較＞  
 ・小学校:1校増加  
 ・中学校:変化なし

【注1】 工事が複数年にわたる場合、工事完了時に実施校数に加算。  
 【時点】 各年度3月31日現在  
 【出典】 庁内資料

(3)情報化

①コンピューター設置台数、1台あたり児童数(市立小学校)(No.6-1-3-1)

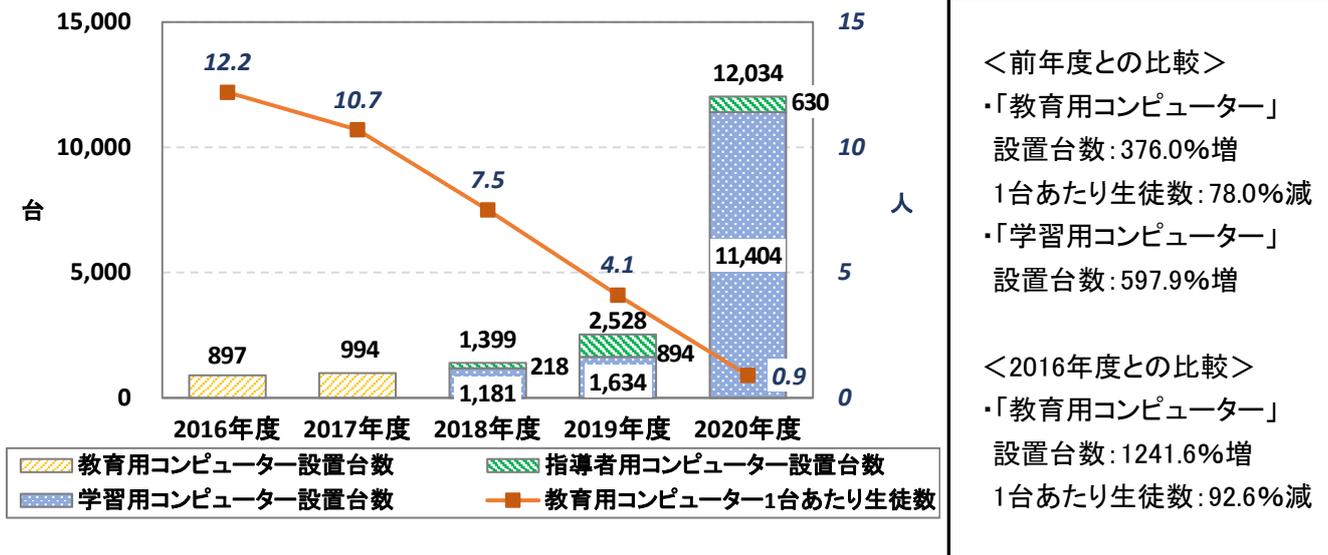


＜前年度との比較＞  
 ・「教育用コンピューター」  
 設置台数:428.6%増  
 1台あたり児童数:80.9%減  
 ・「学習用コンピューター」  
 設置台数:638.8%増

＜2016年度との比較＞  
 ・「教育用コンピューター」  
 設置台数:1226.7%増  
 1台あたり児童数:92.6%減

【注1】 2018年度から調査項目の変更により教育用コンピューターを指導者用と学習用に細分化。  
 【時点】 各年度3月1日現在  
 【出典】 「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」文部科学省

②コンピューター設置台数、1台あたり生徒数(市立中学校)(No.6-1-3-2)

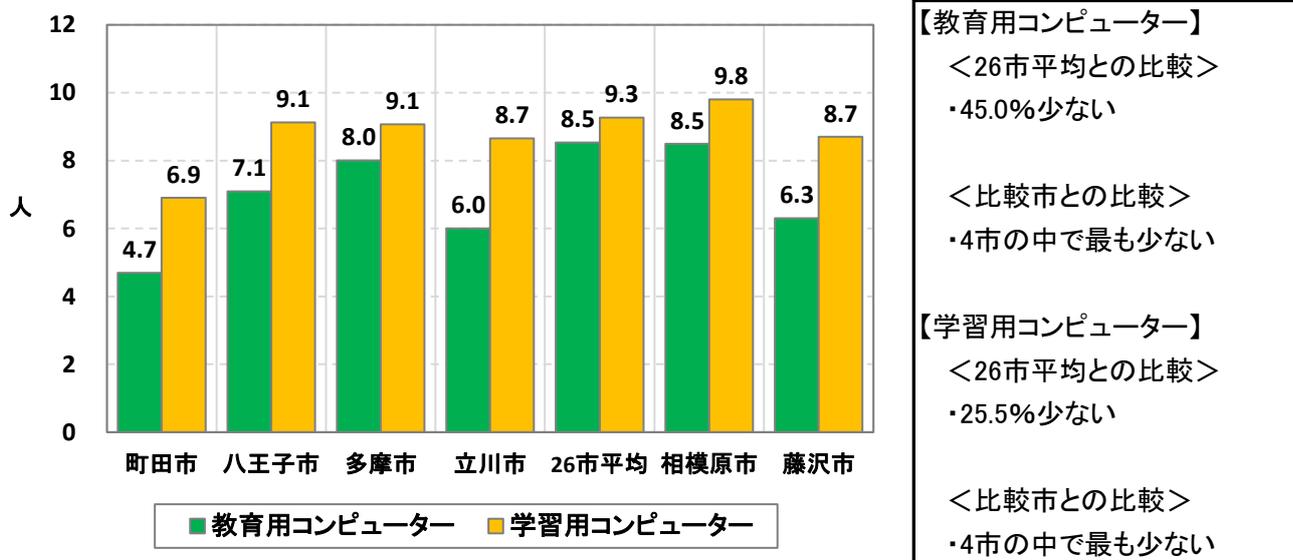


【注1】 2018年度から調査項目の変更により教育用コンピューターを指導者用と学習用に細分化。

【時点】 各年度3月1日現在

【出典】 「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」文部科学省

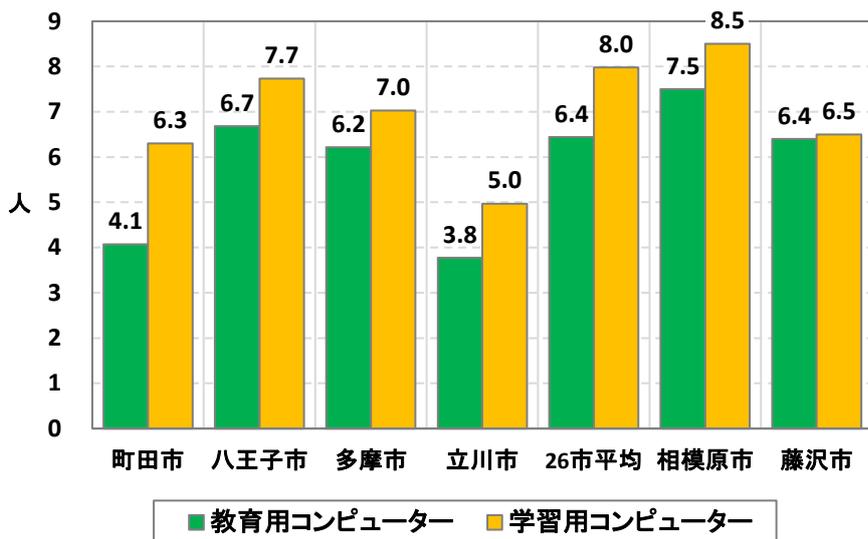
③コンピューター1台あたり児童数(市立小学校)(No.6-1-3-3)【他市比較】



【時点】 2020年3月1日現在

【出典】 「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」文部科学省

④コンピューター1台あたり生徒数(市立中学校)(No.6-1-3-4)【他市比較】



【教育用コンピューター】  
 <26市平均との比較>  
 ・36.8%少ない  
 <比較市との比較>  
 ・4市の中で2番目に少ない

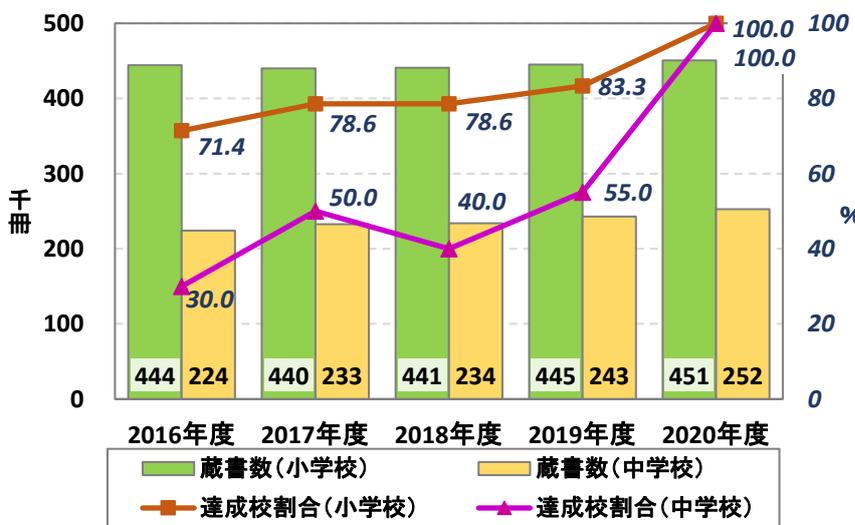
【学習用コンピューター】  
 <26市平均との比較>  
 ・21.1%少ない  
 <比較市との比較>  
 ・4市の中で2番目に少ない

【時点】 2020年3月1日現在

【出典】 「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」文部科学省

(4) 学校図書

①蔵書数、学校図書館図書標準達成校割合(市立小中学校)(No.6-1-4-1)



<前年度との比較>  
 ・蔵書数(小): 1.3%増  
 ・蔵書数(中): 4.0%増

<2016年度との比較>  
 ・蔵書数(小): 1.4%増  
 ・蔵書数(中): 12.5%増  
 ・達成校割合(小):  
 28.6ポイント上昇  
 ・達成校割合(中):  
 70.0ポイント上昇

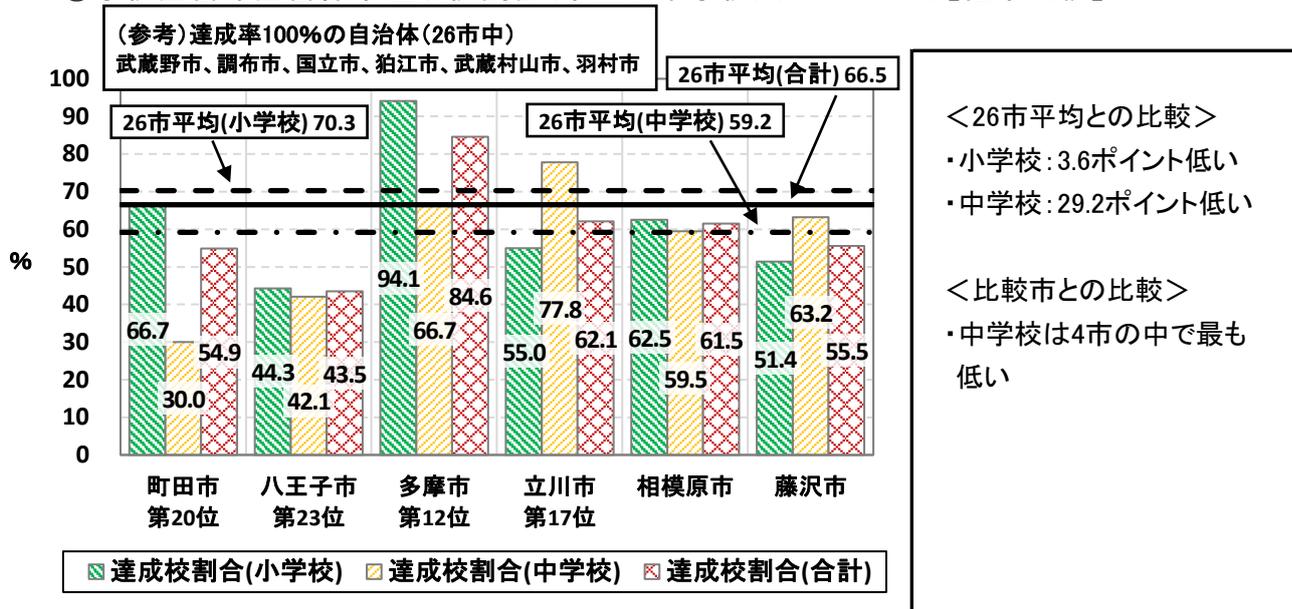
【注1】 学校図書館図書標準とは、文部科学省が公立義務教育諸学校の学校図書館に整備すべき蔵書の標準として、学級数に応じて定めている蔵書数。

【注2】 達成校割合とは、学校図書館図書標準を達成している学校数の全校数に対する割合。

【時点】 各年度3月31日現在(蔵書数、図書標準達成校数)、各年5月1日現在(校数)

【出典】 「町田市統計書」、庁内資料

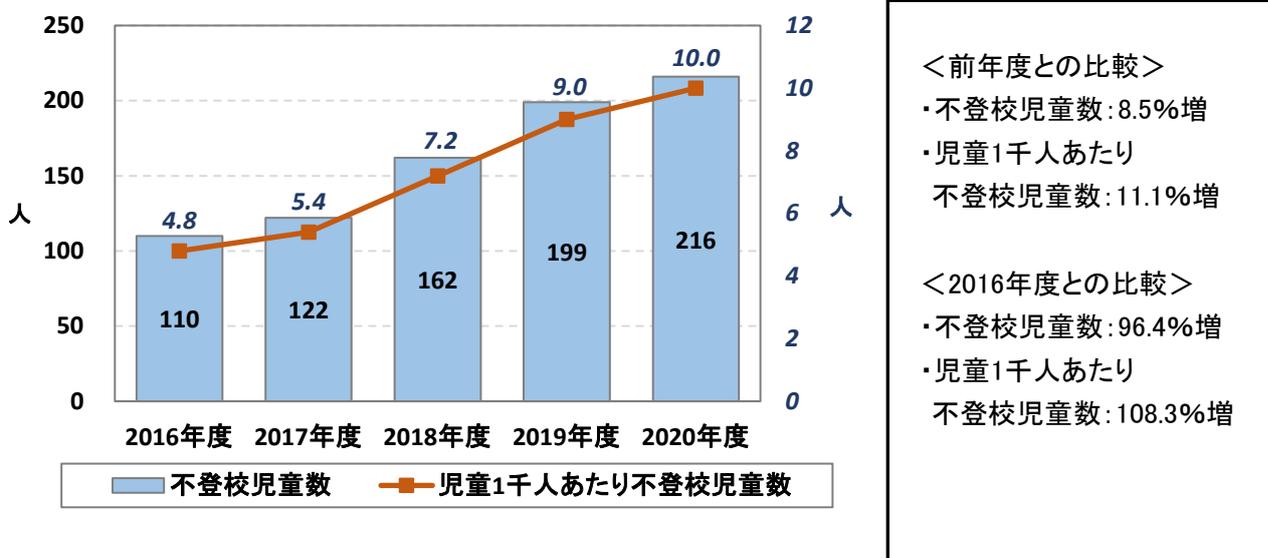
②学校図書館図書標準達成校割合(市立小中学校)(No.6-1-4-2)【他市比較】



- 【注1】 学校図書館図書標準とは、文部科学省が公立義務教育諸学校の学校図書館に整備すべき蔵書の標準として、学級数に応じて定めている蔵書数。
- 【注2】 達成校割合とは、学校図書館図書標準を達成している学校数の全校数に対する割合。
- 【注3】 このグラフの26市ランキングは、小中合計の達成校割合を示している。
- 【時点】 2015年度末現在
- 【出典】 「学校図書館の現状に関する調査」文部科学省

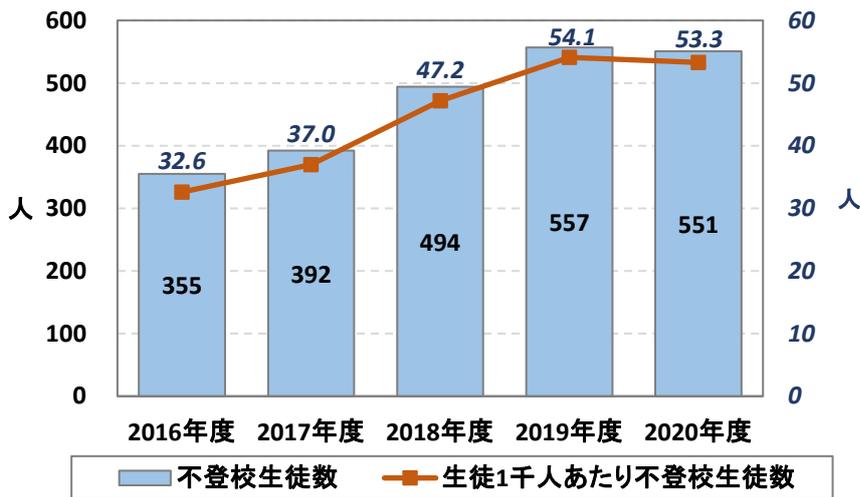
(5)不登校

①不登校児童数、児童1千人あたり不登校児童数(市立小学校)(No.6-1-5-1)



- 【注1】 不登校児童数とは、何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、登校しないあるいはしたくともできない状況にあるため年間30日以上欠席した者のうち、病気や経済的な理由による者を除いた児童数。
- 【時点】 各年度3月31日現在(不登校児童数)、各年5月1日現在(児童数)
- 【出典】 「町田市統計書」、庁内資料

②不登校生徒数、生徒1千人あたり不登校生徒数(市立中学校)(No.6-1-5-2)



<前年度との比較>

- ・不登校生徒数: 1.1%減
- ・生徒1千人あたり不登校生徒数: 1.5%減

<2016年度との比較>

- ・不登校生徒数: 55.2%増
- ・生徒1千人あたり不登校生徒数: 63.5%増

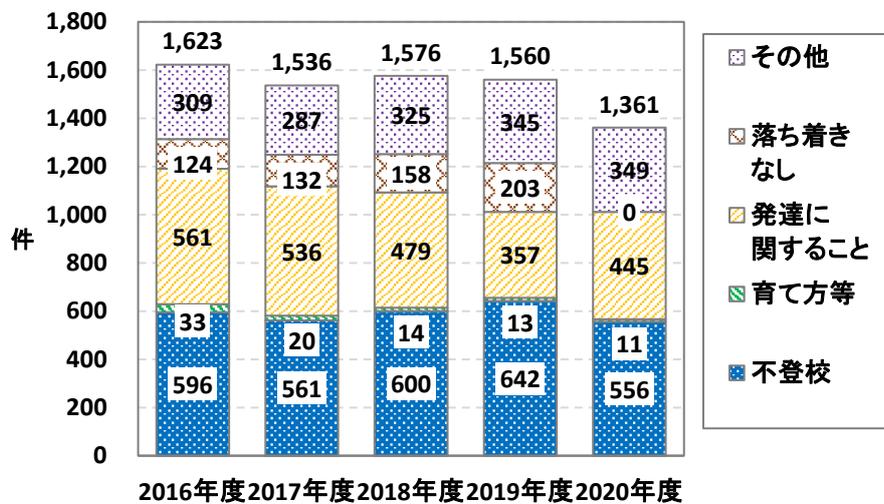
【注1】 不登校生徒数とは、何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、登校しないあるいはしたくともできない状況にあるため年間30日以上欠席した者のうち、病気や経済的な理由による者を除いた生徒数。

【時点】 各年度3月31日現在(不登校生徒数)、各年5月1日現在(生徒数)

【出典】 「町田市統計書」、庁内資料

(6)相談、援助

①教育相談件数(No.6-1-6-1)



<前年度との比較>

- ・相談件数: 12.8%減
- ・「不登校」: 13.4%減

<2016年度との比較>

- ・相談件数: 16.1%減
- ・「不登校」: 6.7%減

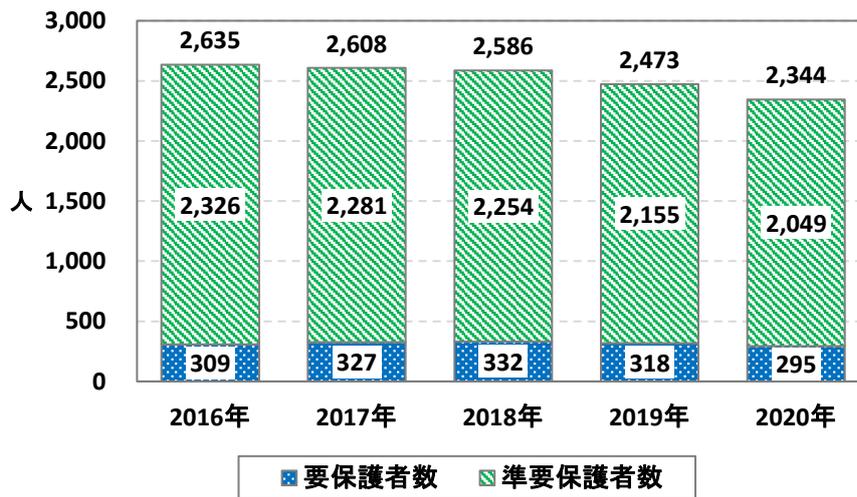
【注1】 教育相談とは、市内の児童、生徒及び幼児の様々な教育上の問題について、専門の相談員が本人、保護者、学校・保育園・幼稚園関係者の必要に応じて行う相談。教育センターで実施。

【注2】 「落ち着きなし」は、2020年度から統計指標を東京都と統一し、全て「発達に関すること」で計上。

【時点】 各年度3月31日現在

【出典】 「町田の教育」、庁内資料

## ②就学援助費認定者数(小学校)(No.6-1-6-2)



## &lt;前年との比較&gt;

- ・認定者数:5.2%減
- ・「準要保護者数」:4.9%減
- ・「要保護者数」:7.2%減

## &lt;2016年との比較&gt;

- ・認定者数:11.0%減
- ・「準要保護者数」:11.9%減
- ・「要保護者数」:4.5%減

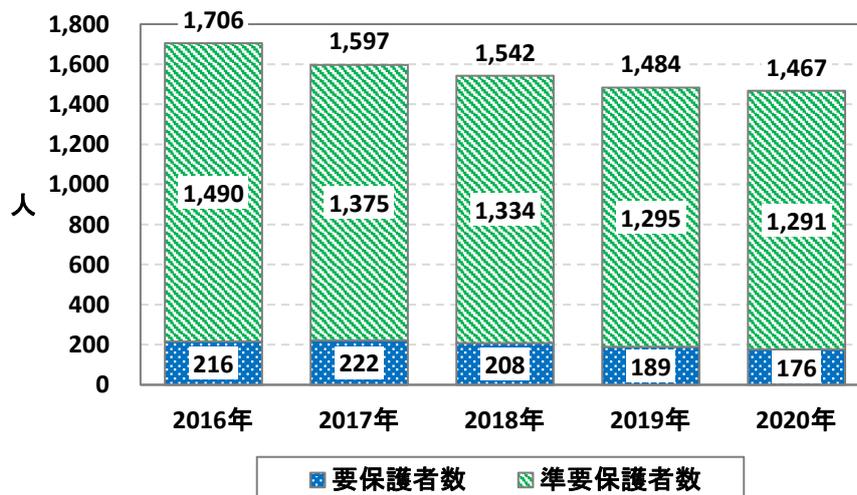
【注1】 要保護者とは、生活保護を受給している世帯の者。

【注2】 準要保護者とは、生活保護に準ずる程度に生活に困っている世帯の者。

【時点】 5月1日現在(2016年)、各年7月1日現在(2017年以降)

【出典】 「町田市統計書」

## ③就学援助費認定者数(中学校)(No.6-1-6-3)



## &lt;前年との比較&gt;

- ・認定者数:1.1%減
- ・「準要保護者数」:0.3%減
- ・「要保護者数」:6.9%減

## &lt;2016年との比較&gt;

- ・認定者数:14.0%減
- ・「準要保護者数」:13.4%減
- ・「要保護者数」:18.5%減

【注1】 要保護者とは、生活保護を受給している世帯の者。

【注2】 準要保護者とは、生活保護に準ずる程度に生活に困っている世帯の者。

【時点】 5月1日現在(2016年)、各年7月1日現在(2017年以降)

【出典】 「町田市統計書」

## 2 生涯学習

### <ポイント>

#### (1) 社会教育等

- 2020年度は、市内のホール、文化施設、レクリエーション施設等のほとんどで利用者が減少している。【(1)①②③参照】

#### (2) 図書館

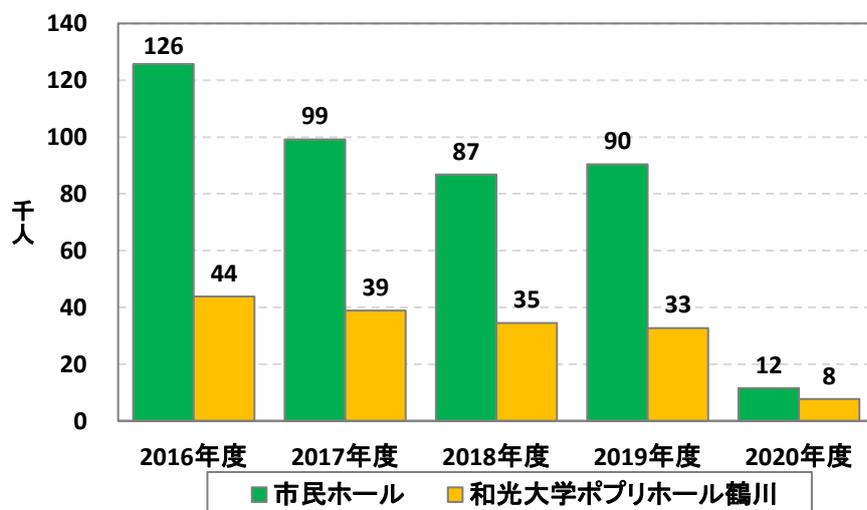
- 貸出図書数は、年々減少している。【(2)①参照】
- 市民1人あたりの蔵書数は、多摩26市平均より少ない。【(2)④参照】
- 蔵書回転数は、多摩26市の中で最も多い。【(2)⑤参照】

#### (4) スポーツ

- 2020年度の市立体育施設利用者数は、2016年度と比べて減少している。【(4)①参照】
- スポーツ教室延べ参加者数は、年々減少している。【(4)③参照】

### (1) 社会教育等

#### ① 市民ホール、和光大学ポプリホール鶴川入場者数 (No.6-2-1-1)



#### <前年度との比較>

- ・市民ホール: 87.2%減
- ・和光大学ポプリホール鶴川: 76.4%減

#### <2016年度との比較>

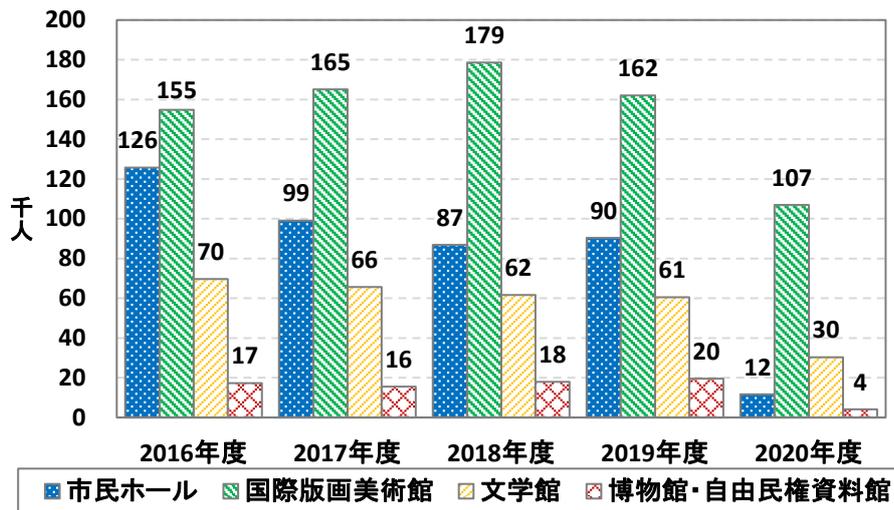
- ・市民ホール: 90.8%減
- ・和光大学ポプリホール鶴川: 82.4%減

【注1】 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため2020年3月～6月休館あり。

【期間】 各年度4月1日～3月31日

【出典】 「町田市統計書」、庁内資料

②文化施設来館者数(No.6-2-1-2)

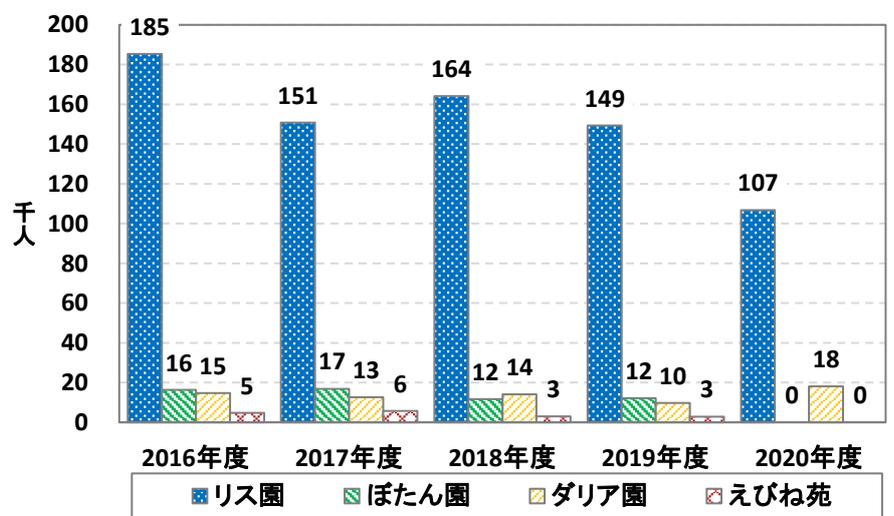


＜前年度との比較＞  
 ・市民ホール：87.2%減  
 ・国際版画美術館：  
 34.0%減

＜2016年度との比較＞  
 ・市民ホール：90.8%減  
 ・国際版画美術館：  
 30.9%減

- 【注 1】 「博物館」は、2019年6月16日閉館。
- 【注 2】 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため2020年3月～6月休館あり。
- 【期間】 各年度4月1日～3月31日(市民ホール、国際版画美術館、文学館)、  
各年3月31日現在(博物館、自由民権資料館)
- 【出典】 「町田市統計書」、庁内資料

③レクリエーション施設来園(苑)者数(No.6-2-1-3)



＜前年度との比較＞  
 ・リス園：28.5%減  
 ・ダリア園：85.5%増

＜2016年度との比較＞  
 ・リス園：42.4%減  
 ・ダリア園：22.3%増

- 【注 1】 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、「リス園」は、2020年3月～5月休園あり、「ぼたん園」と「えびね苑」は、2020年度全期間休園。
- 【期間】 各年度4月1日～3月31日(リス園、ダリア園)、各年度4月16日～5月11日(ぼたん園)、  
各年度4月18日～5月11日(えびね苑)
- 【出典】 庁内資料

## ④市民大学延べ受講者数、講座数(No.6-2-1-4)



<前年度との比較>

- ・延べ受講者数: 53.6%減
- ・講座数: 変化なし

<2016年度との比較>

- ・延べ受講者数: 61.7%減
- ・講座数: 23.5%減

- 【注 1】 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため2020年3月～6月休館あり。  
前期講座を中止し、代替として特別講座を1回開催。
- 【時点】 各年度3月31日現在
- 【出典】 庁内資料

## (2) 図書館

## ①貸出図書数、登録者数(No.6-2-2-1)



<前年度との比較>

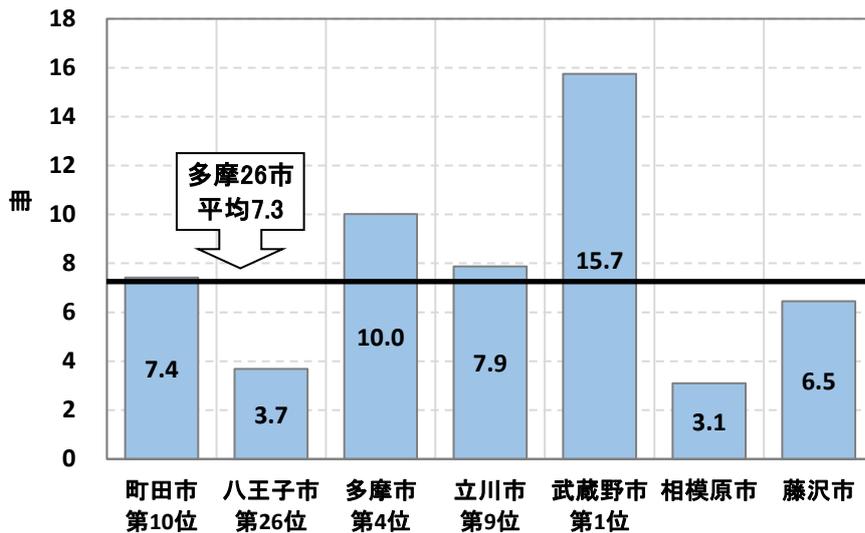
- ・貸出図書数: 17.7%減
- ・登録者数: 7.6%減

<2016年度との比較>

- ・貸出図書数: 32.9%減
- ・登録者数: 18.4%減

- 【注 1】 登録者とは、町田市民、相模原市民、八王子市民、町田市内の在勤在学者のうち利用券の発行を受けた者(3年ごとに利用券の更新をしない者は除く)。
- 【注 2】 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため2020年3月以降臨時休館あり。
- 【時点】 各年度4月1日～3月31日(貸出図書数)、各年度3月31日現在(登録者数)
- 【出典】 「町田の教育」、「町田市統計書」、庁内資料

②市民1人あたり貸出図書数(No.6-2-2-2)【他市比較】



＜26市平均との比較＞  
 ・2.2%多い

＜比較市との比較＞  
 ・4市の中で2番目に少ない

＜26市ランキング＞  
 第1位：武蔵野市 15.7  
 第2位：稲城市 11.5  
 第3位：調布市 10.1  
 (冊)

- 【注1】 貸出図書数は、視聴覚資料を除いた個人貸出数。  
 【注2】 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため3月以降臨時休館あり。  
 【時点】 2019年度(貸出総数)、2020年1月1日現在(人口)／相模原市は2020年4月1日現在(人口)  
 【出典】 「東京都公立図書館調査」東京都立中央図書館

③蔵書数、蔵書回転数(No.6-2-2-3)

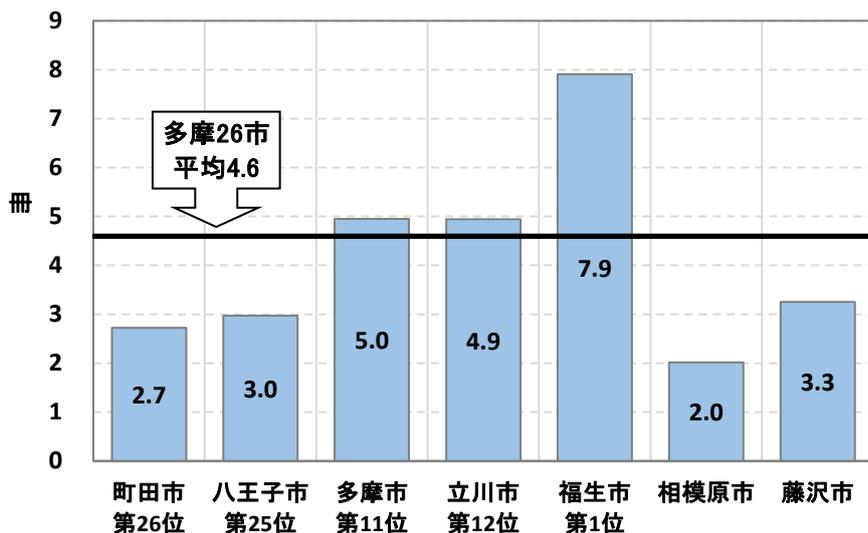


＜前年度との比較＞  
 ・蔵書数:0.3%増  
 ・蔵書回転数:18.5%減

＜2016年度との比較＞  
 ・蔵書数:0.6%増  
 ・蔵書回転数:35.3%減

- 【注1】 蔵書回転数＝貸出図書数／蔵書数  
 【注2】 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため2020年3月以降臨時休館あり。  
 【時点】 各年度4月1日～3月31日(貸出図書数)、各年度3月31日現在(蔵書数)  
 【出典】 「町田の教育」、「町田市統計書」、庁内資料

④市民1人あたり蔵書数(No.6-2-2-4)【他市比較】

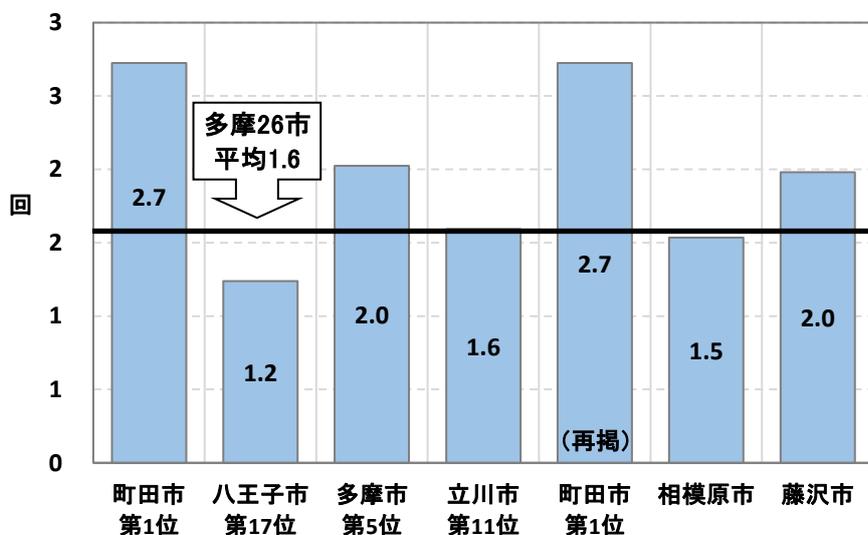


<26市平均との比較>  
 ・40.7%少ない  
  
 <比較市との比較>  
 ・4市の中で最も少ない  
  
 <26市ランキング>  
 第1位: 福生市 7.9  
 第2位: あきる野市 7.6  
 第3位: 羽村市 7.5  
 (冊)

【時点】 2020年3月31日現在(蔵書数)、2020年1月1日現在(人口)／  
相模原市は2020年4月1日現在(人口)

【出典】 「東京都公立図書館調査」東京都立中央図書館

⑤蔵書回転数(No.6-2-2-5)【他市比較】



<26市平均との比較>  
 ・72.5%多い  
  
 <比較市との比較>  
 ・4市中でも最も多い  
 また、多摩26市で最も多い  
  
 <26市ランキング>  
 第1位: 町田市 2.7  
 第2位: 武蔵野市 2.5  
 第3位: 西東京市 2.4  
 (回)

【注1】 蔵書回転数＝貸出図書数／蔵書数

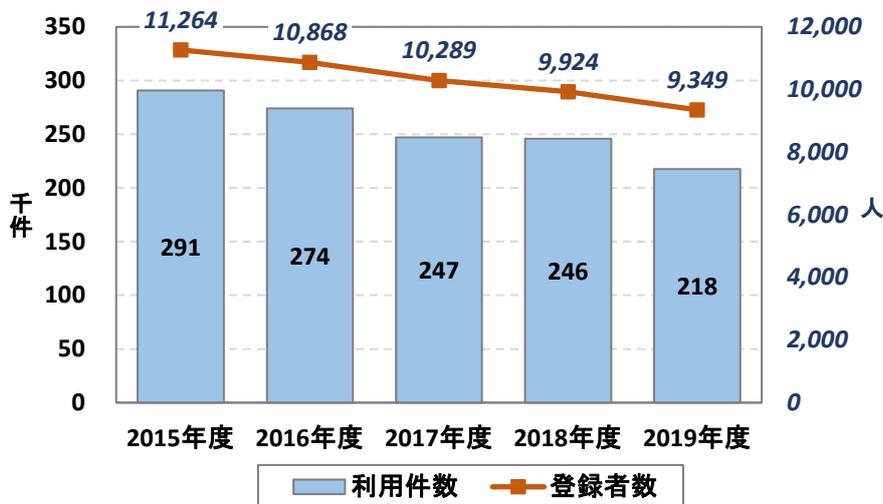
【注2】 貸出図書数は、視聴覚資料を除いた個人貸出数。

【時点】 2019年度(貸出図書数)、2020年3月31日現在(蔵書数)

【出典】 「東京都公立図書館調査」東京都立中央図書館

## (3) 図書館相互利用

## ① 相模原市民の町田市立図書館利用件数、登録者数(No.6-2-3-1)



<前年度との比較>

- ・利用件数:11.5%減
- ・登録者数:5.8%減

<2015年度との比較>

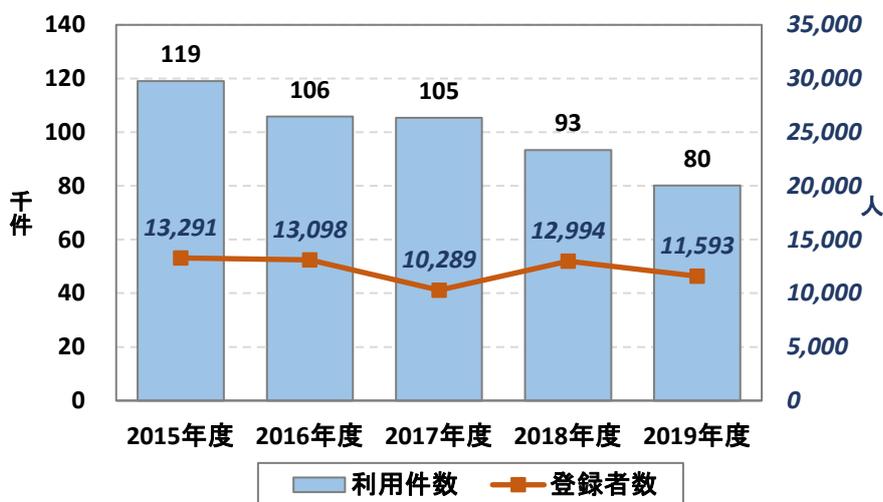
- ・利用件数:25.2%減
- ・登録者数:17.0%減

【注1】 図書館相互利用とは、図書館の相互利用協定に基づき、町田市民は相模原市立図書館を、相模原市民は町田市立図書館を相互に利用できる制度。

【時点】 各年度4月1日～3月31日(利用件数)、各年度3月31日現在(登録者数)

【出典】 庁内資料

## ② 町田市民の相模原市立図書館利用件数、登録者数(No.6-2-3-2)



<前年度との比較>

- ・利用件数:14.1%減
- ・登録者数:10.8%減

<2015年度との比較>

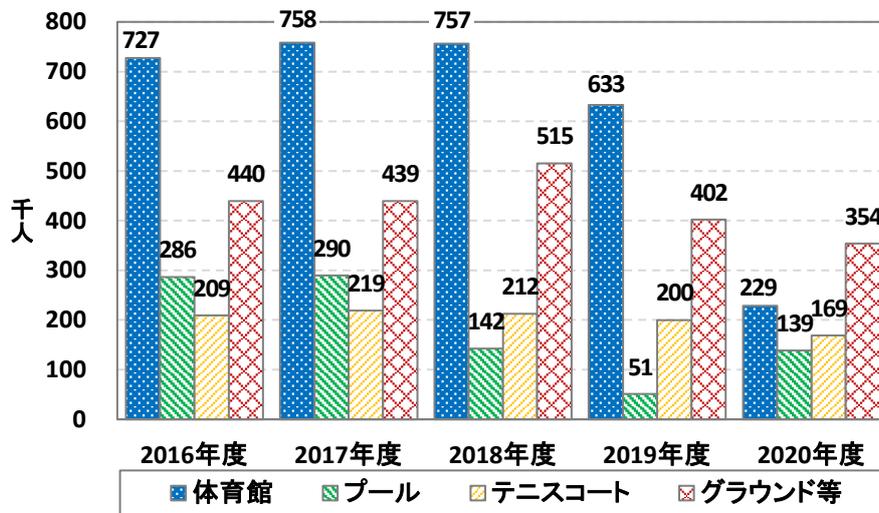
- ・利用件数:32.6%減
- ・登録者数:12.8%減

【時点】 各年度4月1日～3月31日(利用件数)、各年度3月31日現在(登録者数)

【出典】 庁内資料

## (4) スポーツ

## ①市立体育施設利用者数(No.6-2-4-1)



## &lt;前年度との比較&gt;

- ・体育館:63.9%減
- ・プール:172.1%増
- ・テニスコート:15.6%減
- ・グラウンド等:11.9%減

## &lt;2016年度との比較&gt;

- ・体育館:68.6%減
- ・プール:51.6%減
- ・テニスコート:19.4%減
- ・グラウンド等:19.4%減

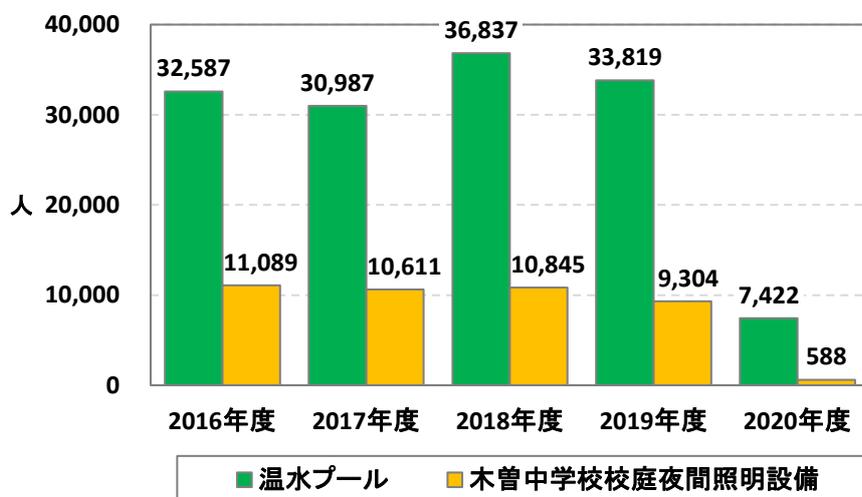
【注 1】 体育施設とは、体育施設条例に基づく体育施設と市立公園条例に基づく運動施設。

【注 2】 グラウンド等には、2018年11月から緑ヶ丘グラウンドが追加。2019年10月から芹ヶ谷公園グラウンドが追加。2019年12月から鶴間公園グラウンドが追加。

【期間】 各年度4月1日～3月31日

【出典】 「町田市統計書」、庁内資料

## ②学校開放施設利用者数(No.6-2-4-2)



## &lt;前年度との比較&gt;

- ・温水プール:78.1%減
- ・木曽中学校校庭  
夜間照明設備:93.7%減

## &lt;2016年度との比較&gt;

- ・温水プール:77.2%減
- ・木曽中学校校庭  
夜間照明設備:94.7%減

【注 1】 温水プールの利用者数は、町田第一中学校温水プール、南中学校温水プール、鶴川中学校温水プールの合計。

【注 2】 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため2020年3月～6月は学校開放中止。

【期間】 各年度4月1日～3月31日

【出典】 「町田市統計書」、庁内資料

③スポーツ教室延べ参加者数、開催回数 (No.6-2-4-3)



＜前年度との比較＞  
 ・延べ参加者数：44.4%減  
 ・開催回数：2.1%増

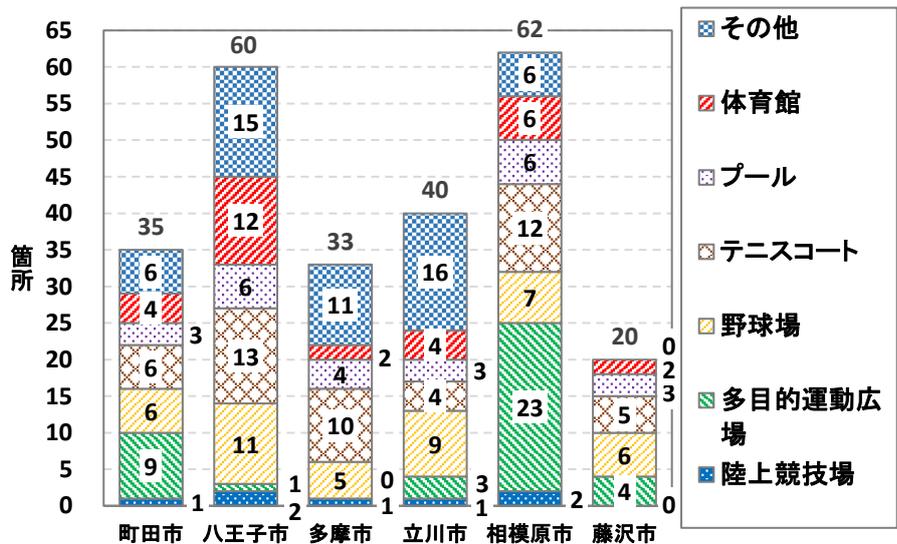
＜2016年度との比較＞  
 ・延べ参加者数：88.2%減  
 ・開催回数：83.5%減

【注 1】 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、2019年度と2020年度は開催数や参加者数の減少あり。

【期間】 各年度4月1日～3月31日

【出典】 庁内資料

④公立社会体育施設数 (No.6-2-4-4) 【他市比較】



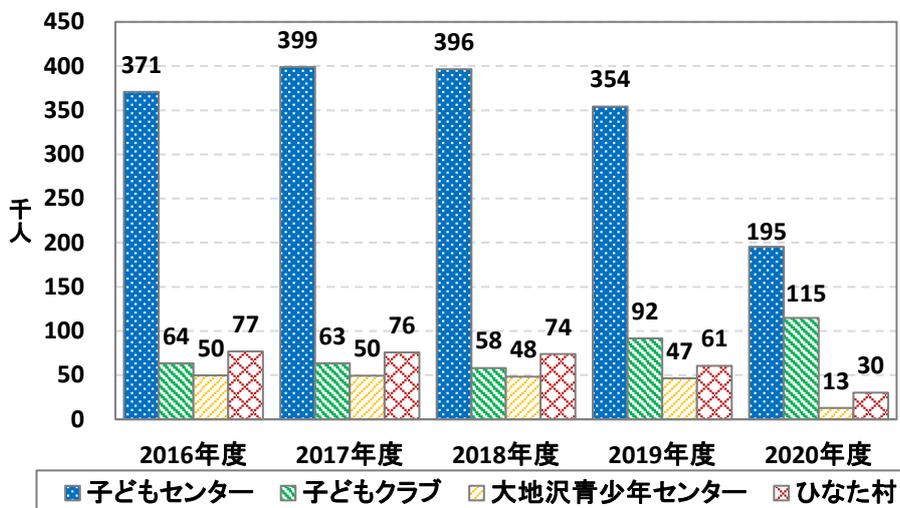
＜比較市との比較＞  
 ・八王子市が最も多い  
 ・町田市は2番目に少ない  
 ・町田市は「多目的運動広場」が比較的多い

【時点】 2019年10月1日現在

【出典】 「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

## (5) 青少年健全育成

## ① 青少年施設利用者数 (No.6-2-5-1)



<前年度との比較>

- ・子どもセンター: 44.8%減
- ・子どもクラブ: 25.3%増
- ・ひなた村: 50.1%減

<2016年度との比較>

- ・子どもセンター: 47.3%減
- ・子どもクラブ: 80.7%増
- ・ひなた村: 60.7%減

【注 1】 子どもセンターは、「子どもセンターばあん」、「子どもセンターつるっこ」、「子どもセンターぱお」、「子どもセンターただON」、「子どもセンターまあち」を合計したもの。（「子どもセンターまあち」は2016年度から）

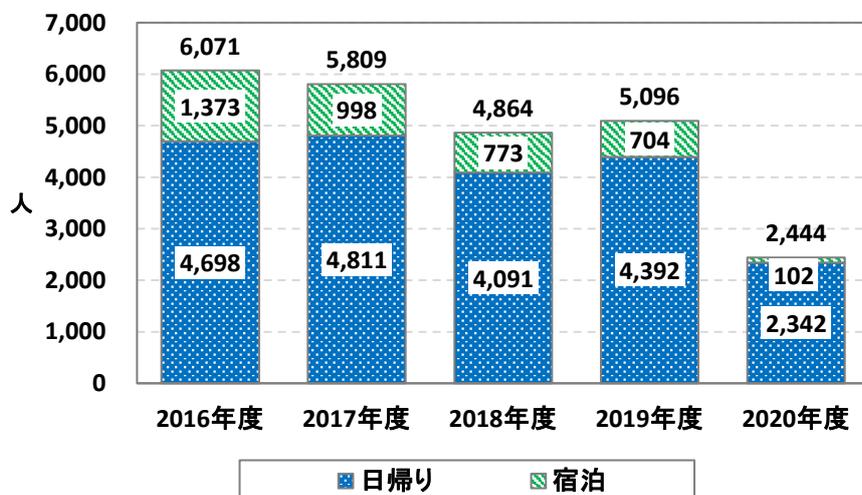
【注 2】 子どもクラブは、2016年度は「南大谷子どもクラブ」、「玉川学園子どもクラブころころ児童館」を合計したもの。2017年度「木曽子どもクラブ」、2018年度「南町田子どもクラブ」、「小山子どもクラブ」、2020年度「三輪子どもクラブ」を追加。

【注 3】 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため2020年3月～6月休館あり。

【時点】 各年度3月31日現在

【出典】 「町田市統計書」、庁内資料

## ② 相模原市民の大地沢青少年センター利用者数 (No.6-2-5-2)



<前年度との比較>

- ・利用者数: 52.0%減
- ・「宿泊」: 85.5%減
- ・「日帰り」: 46.7%減

<2016年度との比較>

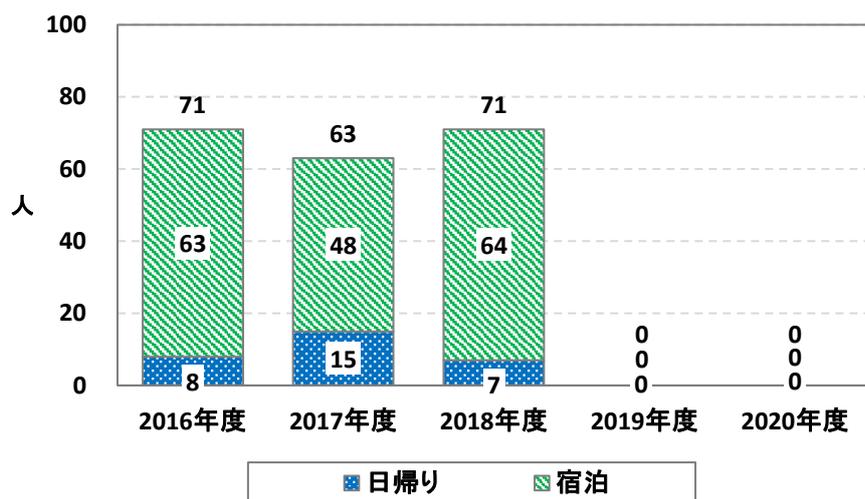
- ・利用者数: 59.7%減
- ・「宿泊」: 92.6%減
- ・「日帰り」: 50.1%減

【注 1】 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため2020年3月～6月休館あり。

【時点】 各年度3月31日現在

【出典】 庁内資料

## ③町田市民の相模原市立青少年施設「ビレッジ若あゆ」利用者数(No.6-2-5-3)



・2019年度、2020年度は  
利用者なし

【注 1】 ビレッジ若あゆは、多目的ホール、工作室、天体観測室、野外炊事場を備えた相模原市が運営する宿泊体験学習施設。

【時点】 各年度3月末現在

【出典】 庁内資料



## VII 地域生活



## 1 コミュニティ

## &lt;ポイント&gt;

## (1) 町内会自治会

- 町内会自治会加入世帯数及び加入率は、年々微減している。【(1)①参照】

## (2) 集会施設等

- 2020年度のコミュニティ施設ホール及び会議室の利用者数は、大幅に減少している。

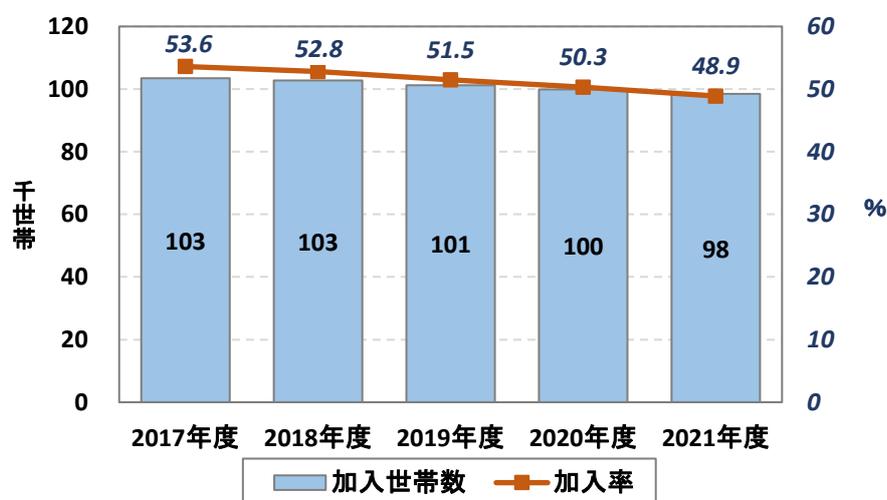
【(2)①②参照】

## (3) NPO法人

- NPO法人数は、2017年以降増加傾向にある。【(3)①参照】

## (1) 町内会自治会

## ① 町内会自治会加入世帯数、加入率 (No.7-1-1-1)



## &lt;前年度との比較&gt;

- ・加入世帯数: 1.5%減
- ・加入率: 1.4ポイント低下

## &lt;2017年度との比較&gt;

- ・加入世帯数: 4.8%減
- ・加入率: 4.7ポイント低下

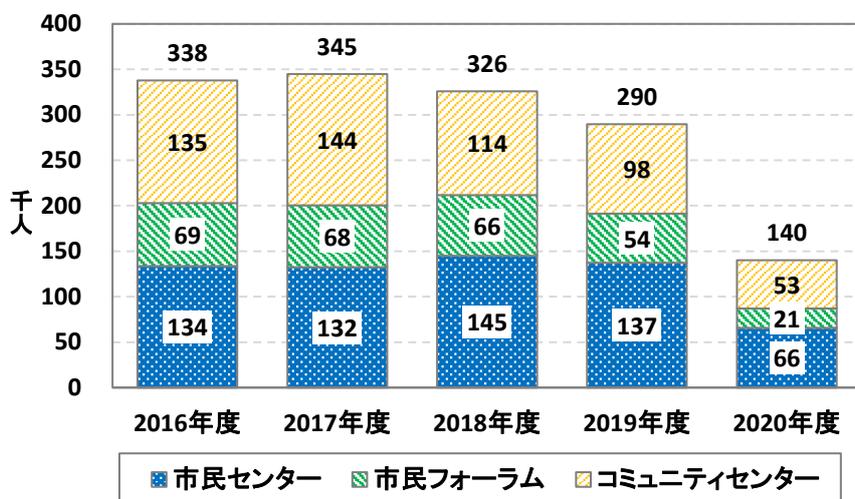
【注1】 町内会自治会加入率=町内会自治会加入世帯数/市内世帯数合計×100

【時点】 各年度4月1日現在

【出典】 「町田市統計書」、庁内資料

## (2) 集会施設等

## ① コミュニティ施設ホールの利用者数(No.7-1-2-1)



<前年度との比較>

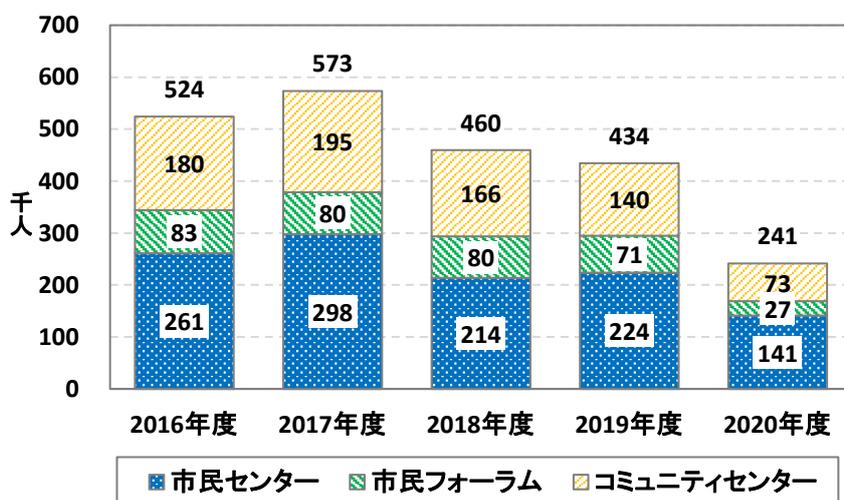
- ・利用者数: 51.6%減
- ・「コミュニティセンター」:  
45.7%減
- ・「市民センター」: 52.1%減

<2016年度との比較>

- ・利用者数: 58.5%減
- ・「コミュニティセンター」:  
60.4%減
- ・「市民センター」: 50.9%減

- 【注 1】 市民センター利用者数は、忠生市民センター、鶴川市民センター、南市民センター、なるせ駅前市民センター、堺市民センター、小山市民センターの合計をいう。
- 【注 2】 コミュニティセンター利用者数は、玉川学園コミュニティセンター、木曾山崎コミュニティセンター、成瀬コミュニティセンター、つくし野コミュニティセンター、木曾森野コミュニティセンター、三輪コミュニティセンターの合計をいう。
- 【注 3】 鶴川市民センターは、2016年2月～10月まで大規模改修工事のため休館。
- 【注 4】 堺市民センターは、2017年9月～2018年3月末まで工事のため貸出中止。
- 【注 5】 玉川学園コミュニティセンターは、2019年1月以降施設建替え工事のため休館。
- 【注 6】 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため臨時休館及び夜間閉鎖あり。
- 【期間】 各年度4月1日～3月31日 【出典】 「町田市統計書」、庁内資料

## ② コミュニティ施設会議室の利用者数(No.7-1-2-2)



<前年度との比較>

- ・利用者数: 44.5%減
- ・「コミュニティセンター」:  
48.1%減
- ・「市民センター」: 36.9%減

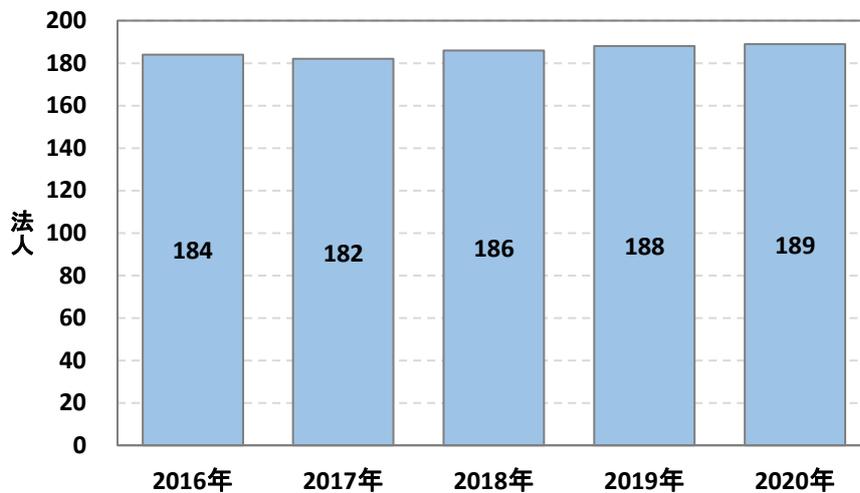
<2016年度との比較>

- ・利用者数: 54.0%減
- ・「コミュニティセンター」:  
59.7%減
- ・「市民センター」: 45.9%減

- 【期間】 各年度4月1日～3月31日 【出典】 「町田市統計書」、庁内資料

(3)NPO法人

①NPO法人数(No.7-1-3-1)



<前年との比較>

・0.5%増

<2016年との比較>

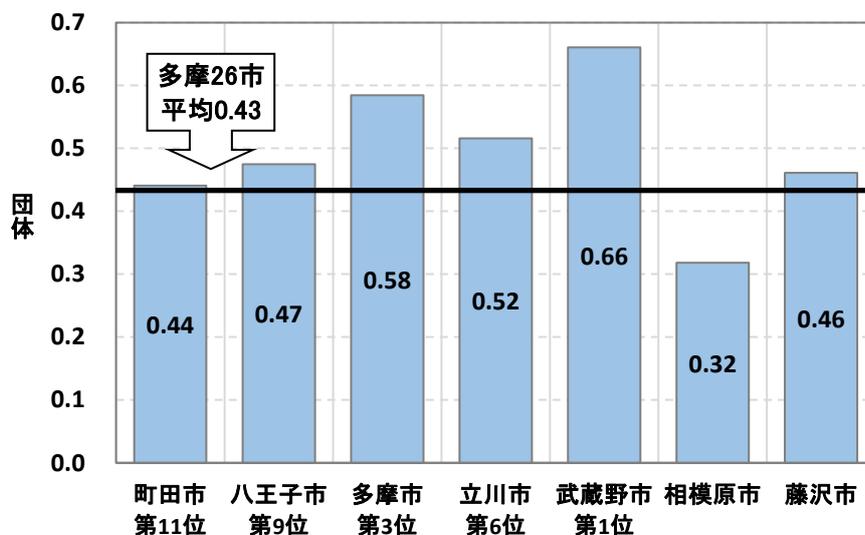
・2.7%増

【注1】 NPO法人とは、特定非営利活動法人のこと。

【時点】 11月30日現在(2016年～2019年)、12月31日現在(2020年)

【出典】 「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

②市民1千人あたりNPO法人数(No.7-1-3-2)【他市比較】



<26市平均との比較>

・1.7%多い

<比較市との比較>

・4市の中で最も少ない

<26市ランキング>

第1位: 武蔵野市 0.66

第2位: 国立市 0.66

第3位: 多摩市 0.58

(団体)

【時点】 2020年12月31日現在(NPO法人数)、2017年10月1日(相模原市NPO法人数)、2020年1月1日現在(人口)

【出典】 「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会、内閣府NPOホームページ(相模原市)

## 2 暮らし相談

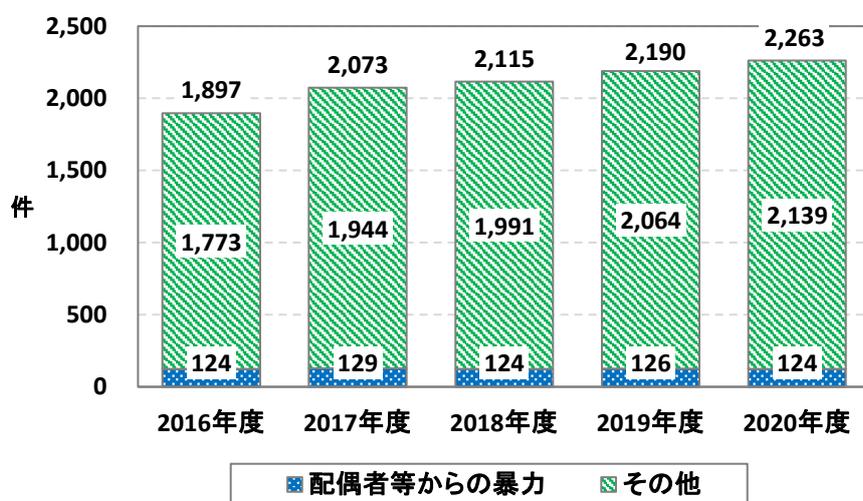
### <ポイント>

#### (1) 暮らし相談

- 女性相談件数は年々増加しているが、配偶者等からの暴力に関する相談件数は横ばいである。【(1)①参照】
- 消費相談件数は、2018年度をピークに減少傾向にある。【(1)②参照】

### (1) 暮らし相談

#### ① 女性相談件数 (No.7-2-1-1)



#### <前年度との比較>

- ・相談件数: 3.3%増
- ・「その他」: 3.6%増
- ・「配偶者等からの暴力」: 1.6%減

#### <2016年度との比較>

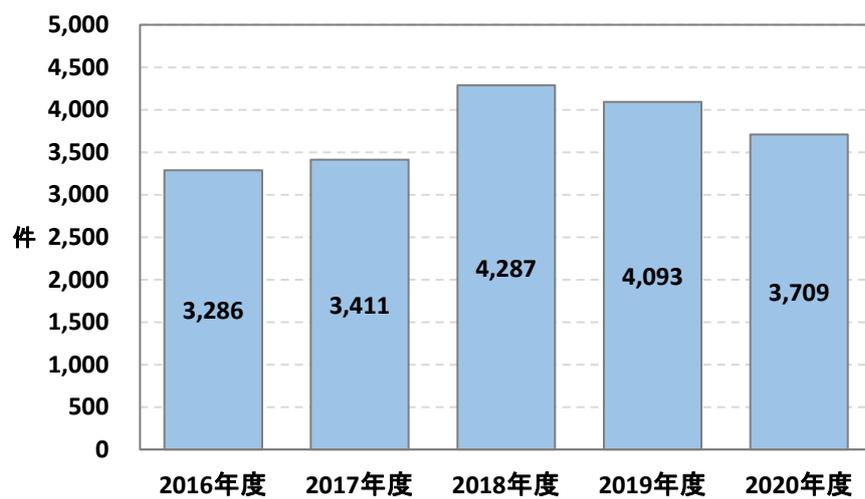
- ・相談件数: 19.3%増
- ・「その他」: 20.6%増
- ・「配偶者等からの暴力」: 変化なし

【注1】 女性相談件数は、町田市男女平等推進センターの女性悩みごと相談に寄せられた件数である。

【期間】 各年度4月1日～3月31日

【出典】 庁内資料

## ②消費相談件数(No.7-2-1-2)



<前年度との比較>

・9.4%減

<2016年度との比較>

・12.9%増

【期間】 各年度4月1日～3月31日

【出典】 東京都消費生活相談年報(相談概要)

### 3 市民参画

#### <ポイント>

##### (1) 情報公開

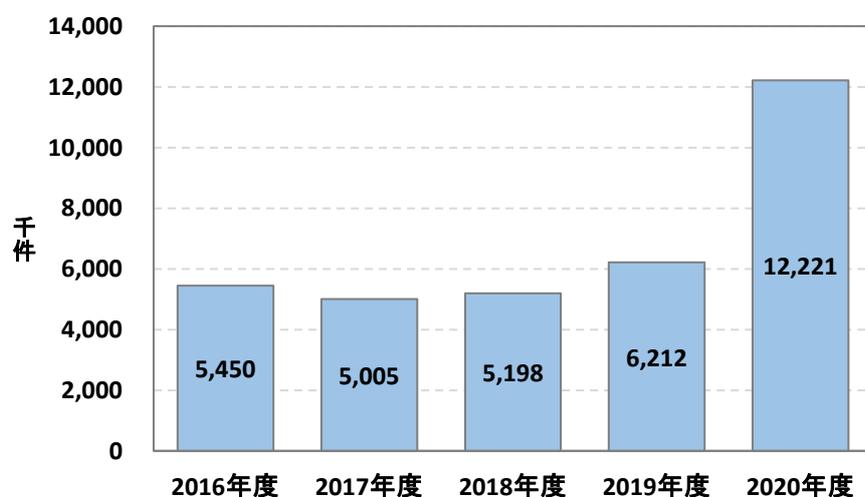
- 2020年度の町田市ホームページのアクセス件数は、前年度の2倍近く増加している。  
【(1)①参照】
- 本会議傍聴者数、委員会傍聴者数ともに減少傾向にある。【(1)②参照】

##### (2) 市政に対する要望等

- 市政に対する要望等の総件数は、2016年度から2018年度までは微減、2019年度からは増加している。【(2)①参照】

#### (1)情報公開

##### ①町田市ホームページのアクセス件数(No.7-3-1-1)



#### <前年度との比較>

・96.8%増

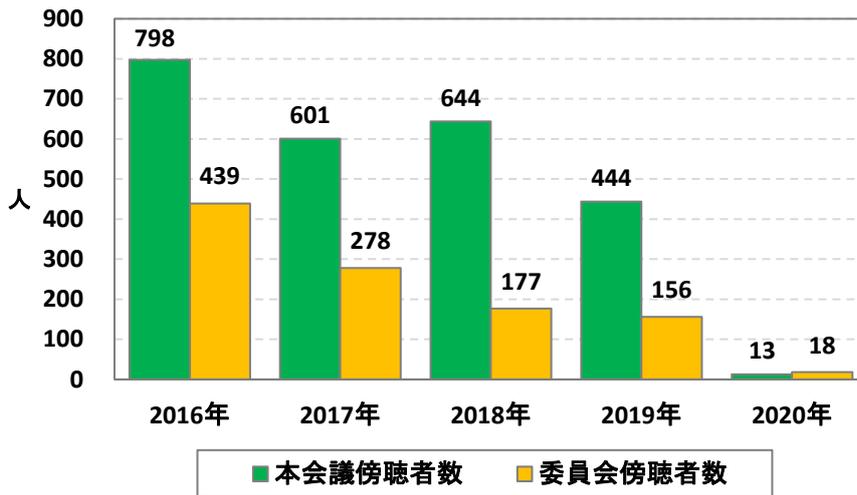
#### <2016年度との比較>

・124.2%増

【期間】 各年度4月1日～3月31日

【出典】 庁内資料

②議会傍聴者数(No.7-3-1-2)



<前年との比較>

- ・本会議傍聴者数: 97.1%減
- ・委員会傍聴者数: 88.5%減

<2016年との比較>

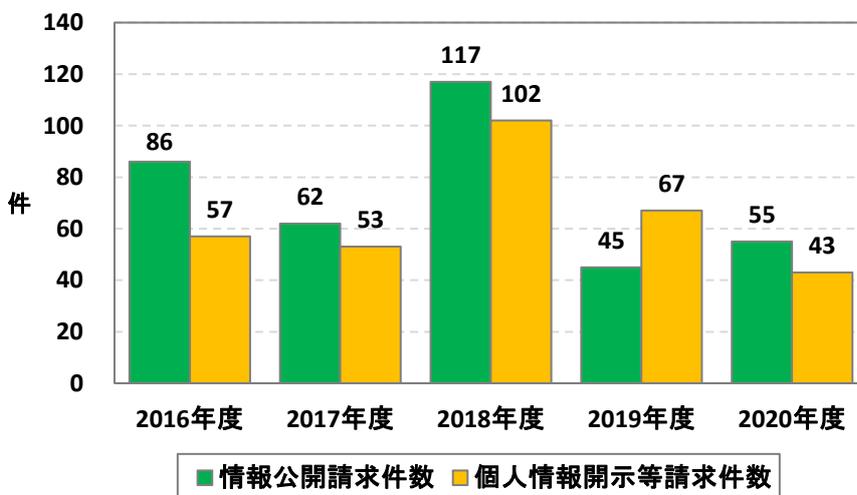
- ・本会議傍聴者数: 98.4%減
- ・委員会傍聴者数: 95.9%減

【注 1】 2020年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、傍聴の制限を実施。

【期間】 各年1月1日～12月31日

【出典】 「町田市統計書」、庁内資料

③情報公開、個人情報保護開示等請求件数(No.7-3-1-3)



<前年度との比較>

- ・情報公開請求件数:  
22.2%増
- ・個人情報開示等請求件数:  
35.8%減

<2016年度との比較>

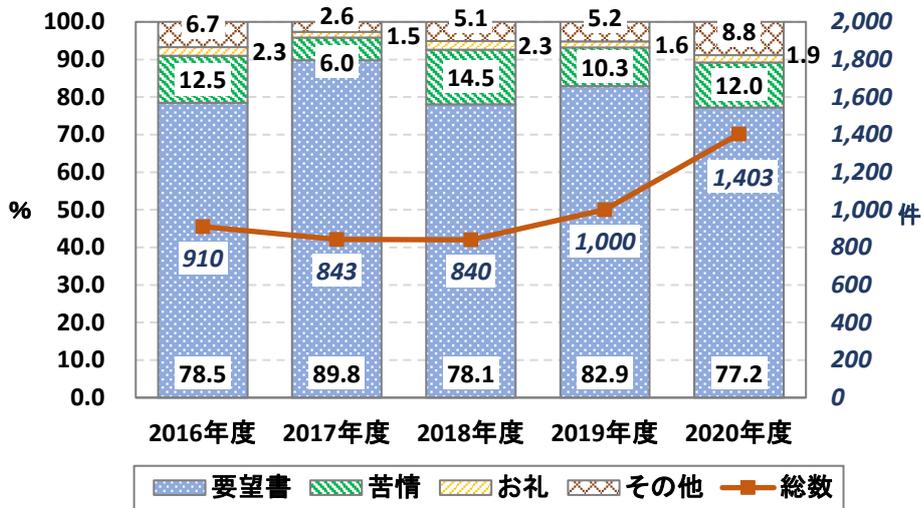
- ・情報公開請求件数:  
36.0%減
- ・個人情報開示等請求件数:  
24.6%減

【期間】 各年度4月1日～3月31日

【出典】 「町田市統計書」、庁内資料

(2) 市政に対する要望等

① 市政に対する要望等の件数(No.7-3-2-1)



<前年度との比較>

- ・総数: 40.3%増
- ・「苦情」: 1.7ポイント上昇
- ・「要望書」: 5.7ポイント低下

<2016年度との比較>

- ・総数: 54.2%増
- ・「苦情」: 0.5ポイント低下
- ・「要望書」: 1.3ポイント低下

【期間】 各年度4月1日～3月31日

【出典】 「町田市統計書」

## 4 犯罪

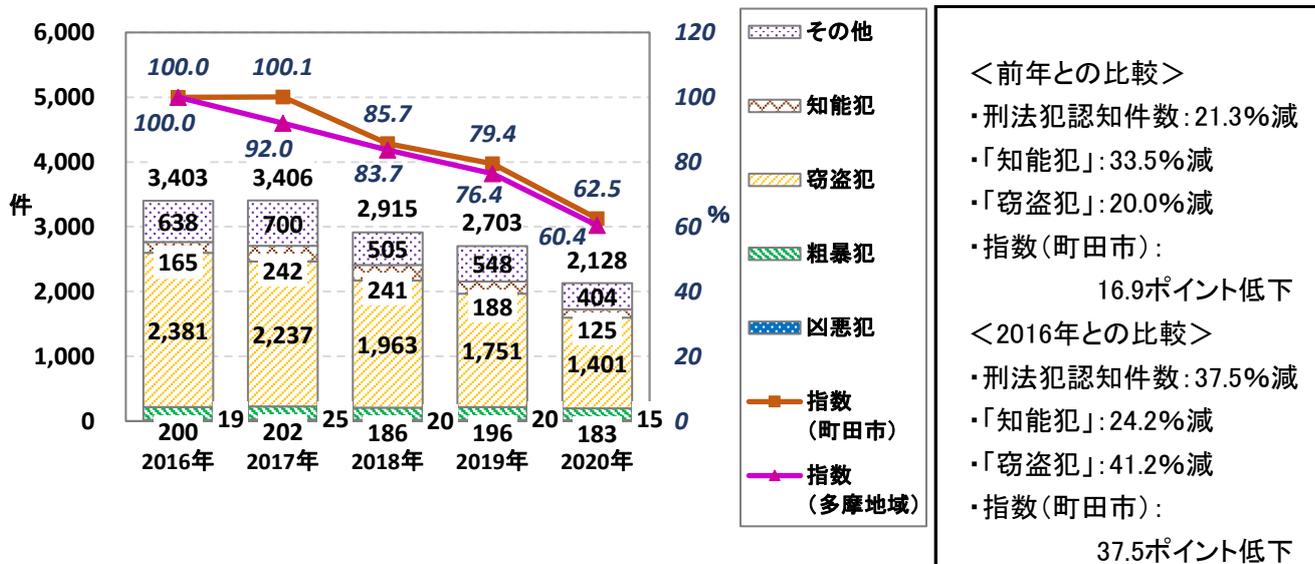
### <ポイント>

#### (1) 刑法犯罪

- 刑法犯認知件数は、減少傾向にある。【(1)①参照】
- 人口1万人あたり刑法犯認知件数は、多摩26市平均より多い。【(1)②参照】

### (1) 刑法犯罪

#### ① 刑法犯認知件数、指数 (No.7-4-1-1)



【注 1】 このグラフの多摩地域とは、多摩26市、3町、1村のことをいう。

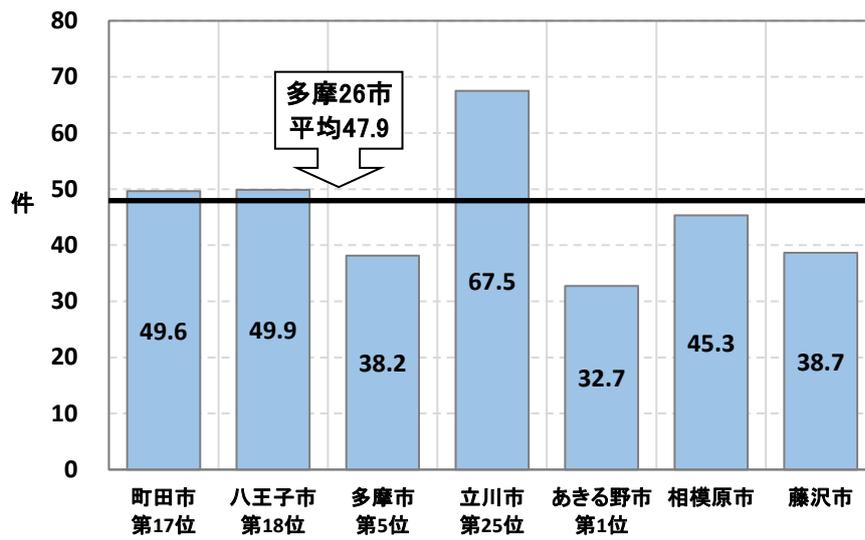
【注 2】 指数(町田市)、指数(多摩地域)は、2016年を100としたときの比率。

【注 3】 指数(多摩地域)は多摩地域を管轄する20警察署の刑法犯認知件数を元としている。

【期間】 各年1月1日～12月31日

【出典】 「町田市統計書」、「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

## ②人口1万人あたり刑法犯認知件数(No.7-4-1-2)【他市比較】



<26市平均との比較>

・3.5%多い

<比較市との比較>

・4市の中で2番目に少ない

<26市ランキング>

第1位: あきる野市	32.7
第2位: 稲城市	33.2
第3位: 日野市	37.0
	(件)

【注1】 このグラフの26市ランキングについては、数値の小さい市から並べている。

【時点】 2020年(刑法犯認知件数)、2020年1月1日現在(人口)

【出典】 「警視庁の統計」警視庁

## VIII 行政



## 1 組織

## &lt;ポイント&gt;

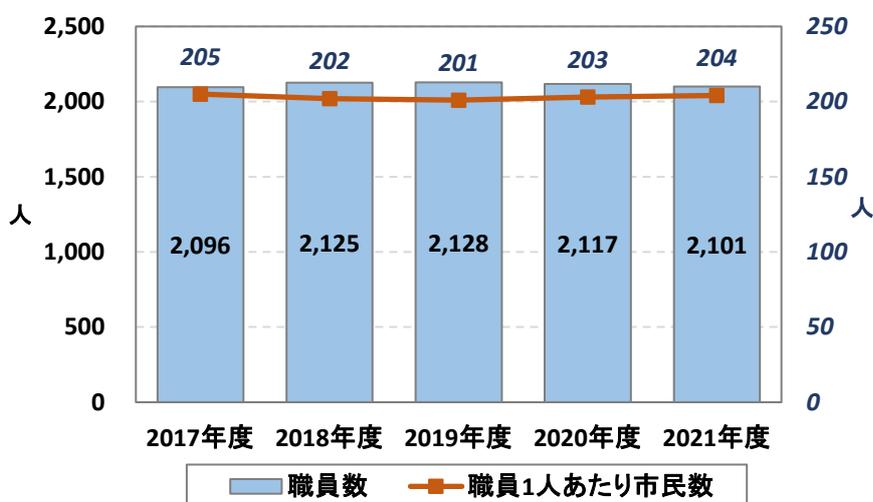
## (1) 職員

● 職員数及び職員1人あたりの市民数は、横ばいとなっている。【(1)①参照】

● ラスパイレス指数は、多摩26市平均より高い。【(1)③参照】

## (1)職員

## ①職員数、職員1人あたり市民数(No.8-1-1-1)



## &lt;前年度との比較&gt;

・職員数:0.8%減

・職員1人あたり市民数:  
0.5%増

## &lt;2017年度との比較&gt;

・職員数:0.2%増

・職員1人あたり市民数:  
0.5%減

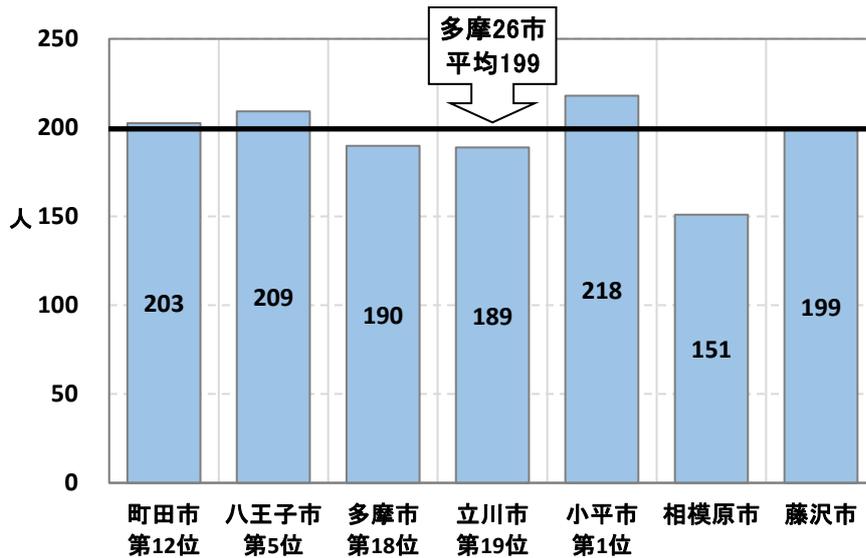
【注1】 職員数は、普通会計職員数をいう。

【注2】 普通会計職員数とは、他の市町村との比較を行うため、実施している事業にばらつきがある公営企業等会計部門(病院等)の職員を除いた数をいう。

【時点】 各年度4月1日現在

【出典】 「地方公共団体定員管理調査」総務省自治行政局

②職員1人あたり市民数(No.8-1-1-2)【他市比較】



<26市平均との比較>  
 ・1.6%多い

<比較市との比較>  
 ・4市の中で2番目に多い

<26市ランキング>  
 第1位: 小平市 218  
 第2位: 西東京市 217  
 第3位: 東久留米市 216  
 (人)

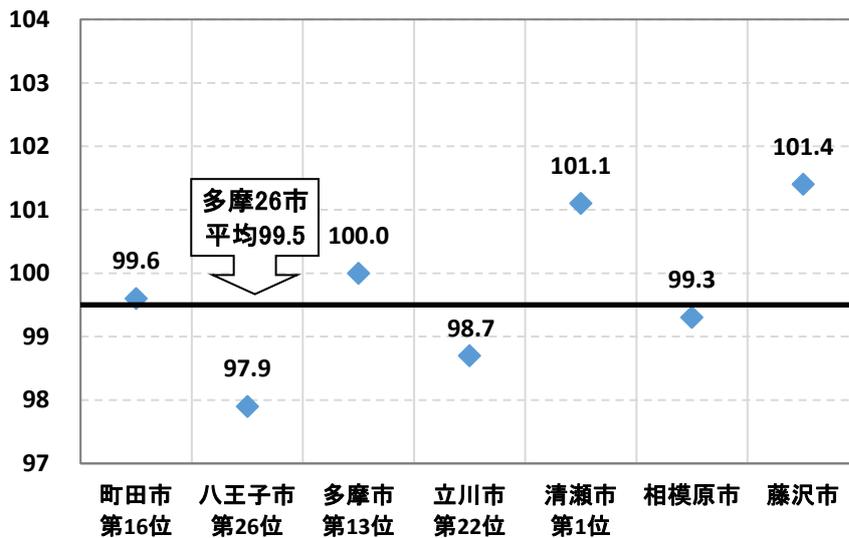
【注1】 このグラフの26市ランキングについては、普通会計職員数を比較している。

【注2】 普通会計職員数とは、他の市町村との比較を行うため、実施している事業にばらつきがある公営企業等会計部門(病院等)の職員を除いた数をいう。

【時点】 2020年4月1日現在

【出典】 「地方公共団体定員管理調査」総務省自治行政局

③ラスパイレス指数(No.8-1-1-3)【他市比較】



<26市平均との比較>  
 ・0.1高い

<比較市との比較>  
 ・4市の中で2番目に高い

<26市ランキング>  
 第1位: 清瀬市 101.1  
 第2位: 武蔵野市 101.0  
 第2位: 東村山市 101.0

【注1】 ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与水準を100とした場合の地方公務員の給与水準のことをいう。

【注2】 国家公務員においては、国家公務員の給与の改定及び臨時特例に関する法律(平成24年法律第2号)により平成24年4月1日から平成26年3月31日までの間、平均7.8%の給与削減措置を実施しているが、給与削減措置前をもとにラスパイレス指数を掲載している。

【時点】 2020年4月1日現在

【出典】 「令和2年東京都区市町村の給与水準(ラスパイレス指数)について」東京都総務局行政部

## 2 財政

### <ポイント>

#### (1) 財政規模

- 市民1人あたりの財政規模は、多摩26市平均より少なく、第23位である。【(1)②参照】

#### (3) 市税

- 市税はほぼ横ばいであるが、2020年度の市税割合は、前年度より大きく低下している。  
【(3)①参照】

#### (4) 市民税

- 納税義務者数は、年々増加しているが、2020年度の市民税は、前年度とほぼ変わらない。  
【(4)①参照】

#### (7) 国からの支出金、東京都からの支出金

- 市民1人あたりの国及び東京都からの支出金は、いずれも多摩26市平均より少ない。  
【(7)①②参照】

#### (8) 市債

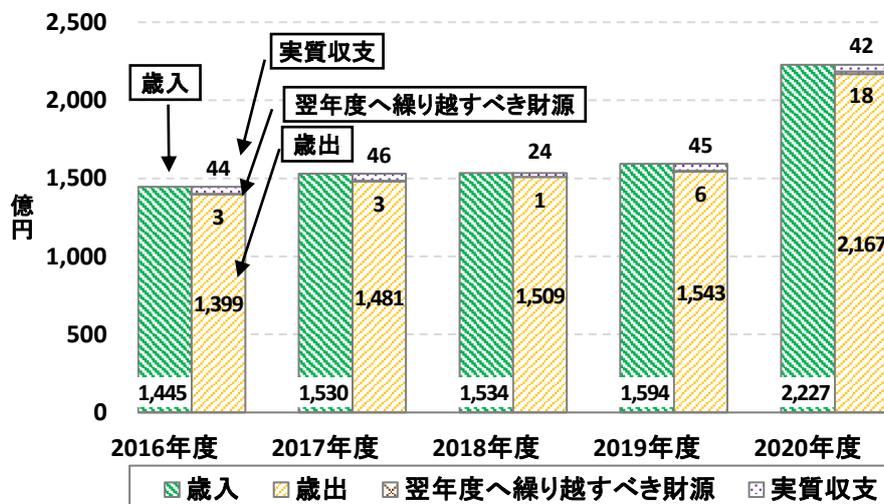
- 市債発行額、市債現在高とも年々増加している。【(8)①②参照】

#### (13) 義務的経費

- 義務的経費は、年々増加している。【(13)①参照】

### (1) 財政規模

#### ① 財政規模 (No.8-2-1-1)



#### <前年度との比較>

- ・歳入: 39.7%増
- ・歳出: 40.4%増
- ・実質収支: 7.7%減

#### <2016年度との比較>

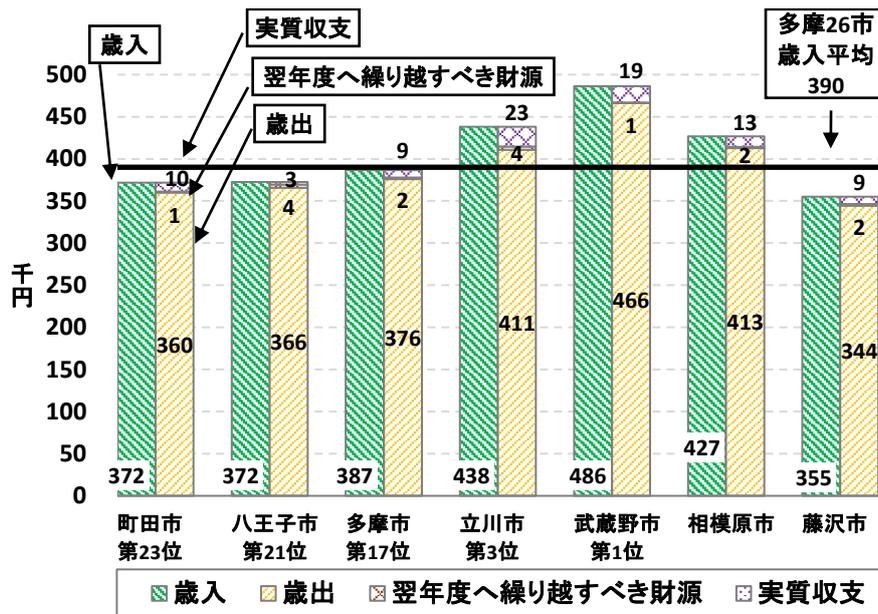
- ・歳入: 54.1%増
- ・歳出: 54.9%増
- ・実質収支: 4.7%減

【注1】 実質収支＝歳入－歳出－翌年度へ繰り越すべき財源

【時点】 各会計年度(出納整理期間中の増減含む)

【出典】 「決算カード」

②市民1人あたり財政規模(No.8-2-1-2)【他市比較】



**【歳入】**

<26市平均との比較>  
 ・4.7%少ない

<比較市との比較>  
 ・4市の中で最も少ない

<26市ランキング>

第1位: 武蔵野市	486
第2位: 福生市	440
第3位: 立川市	438

(千円)

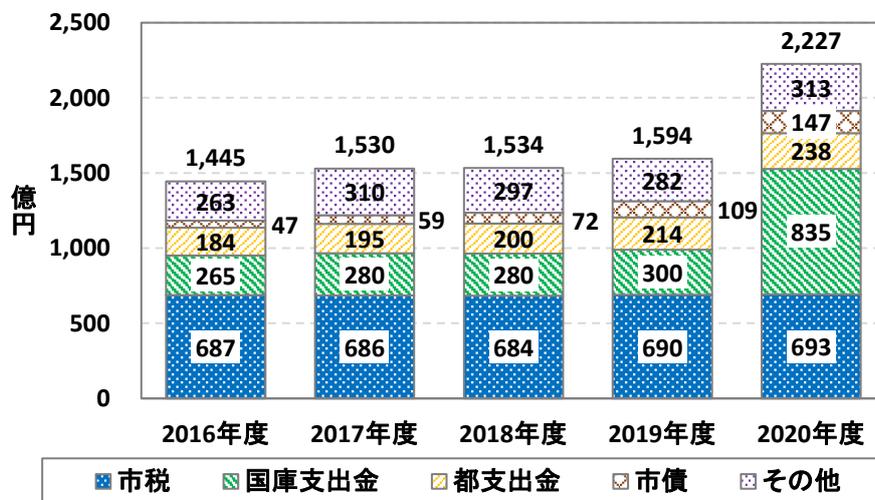
【注1】 グラフ中のランキングは、歳入を示す。

【時点】 2019年度(歳入、歳出、繰越財源)、2020年1月1日現在(人口)

【出典】 「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

(2) 歳入

①歳入(No.8-2-2-1)



<前年度との比較>

- ・歳入: 39.7%増
- ・「市債」: 35.0%増
- ・「国庫支出金」: 178.7%増

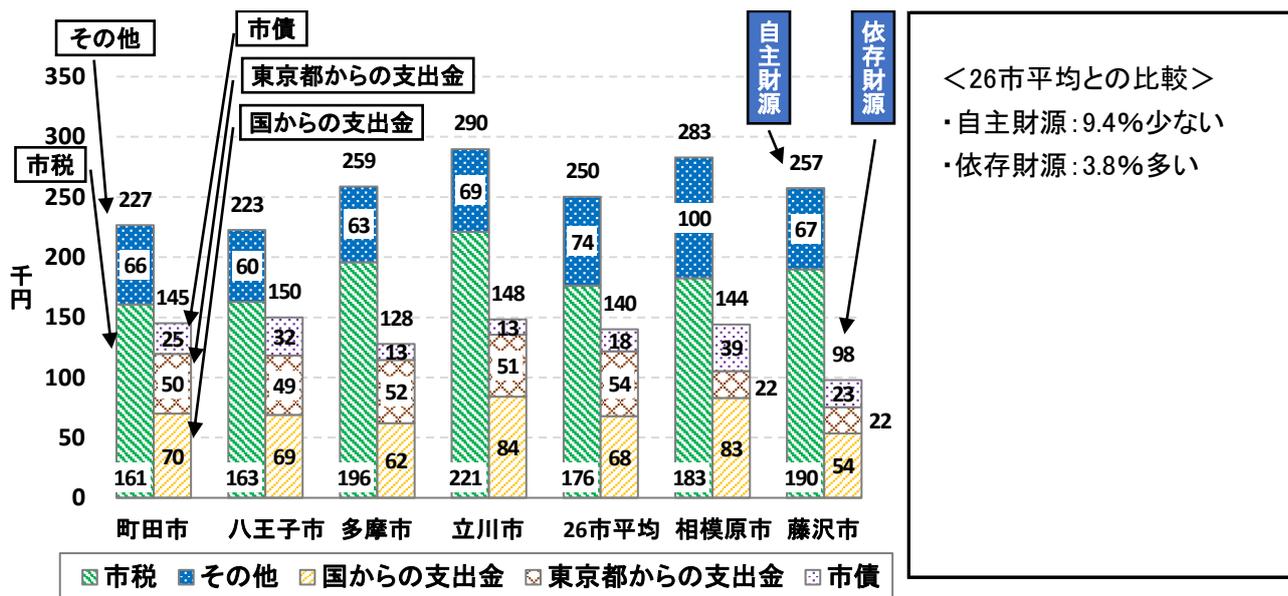
<2016年度との比較>

- ・歳入: 54.1%増
- ・「市債」: 212.4%増
- ・「国庫支出金」: 215.6%増

【時点】 各会計年度(出納整理期間中の増減含む)

【出典】 「決算カード」

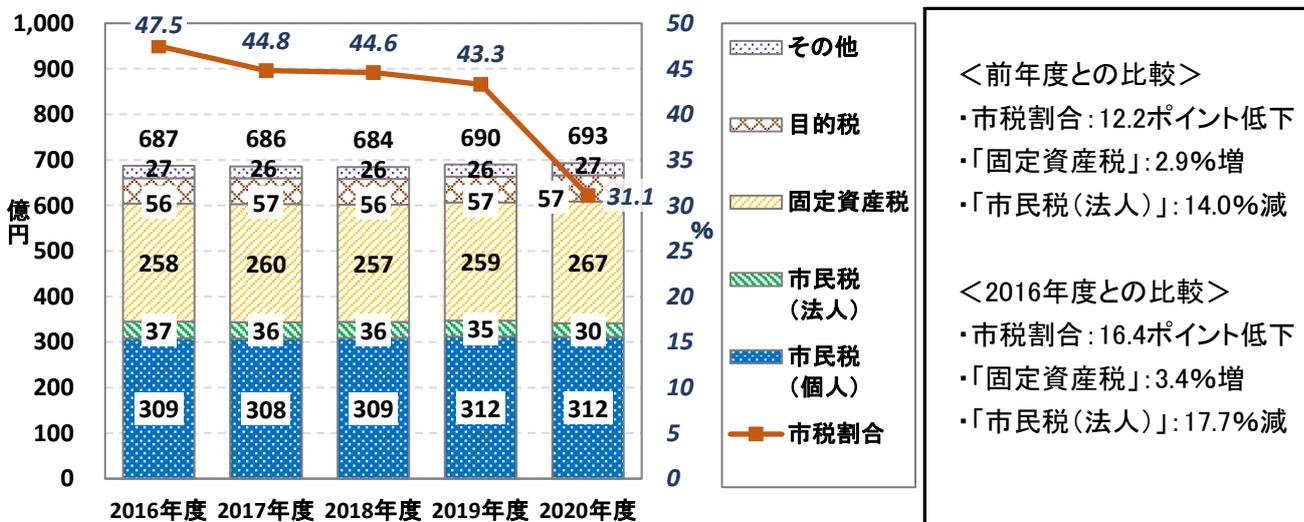
②市民1人あたり自主財源、依存財源(No.8-2-2-2)【他市比較】



【注1】 自主財源:P.189「財政用語」参照  
 【注2】 依存財源:P.189「財政用語」参照  
 【時点】 2019年度(財源)、2020年1月1日現在(人口)  
 【出典】 「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

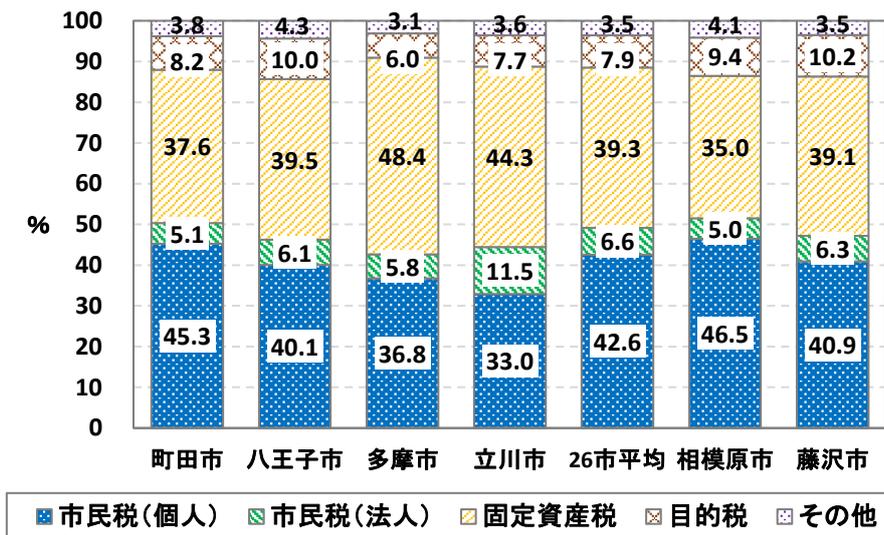
(3)市税

①市税(No.8-2-3-1)



【注1】 市税割合とは、歳入に対する市税の割合のことをいう。  
 【時点】 各会計年度(出納整理期間中の増減含む)  
 【出典】 「決算カード」

②税目別構成比(No.8-2-3-2)【他市比較】



＜26市平均との比較＞

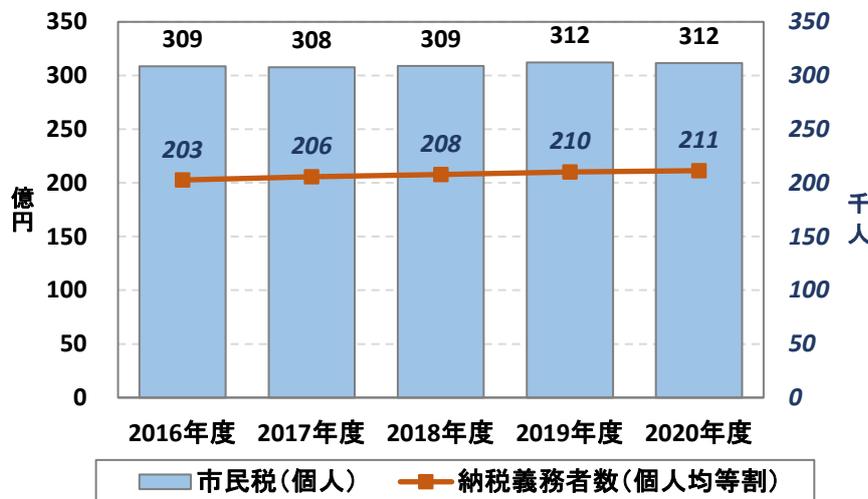
- ・「目的税」:  
0.3ポイント高い
- ・「固定資産税」:  
1.8ポイント低い
- ・「市民税(法人)」:  
1.5ポイント低い
- ・「市民税(個人)」:  
2.7ポイント高い

【時点】 2019年度

【出典】 「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

(4) 市民税

①市民税(個人)、納税義務者数(個人均等割)(No.8-2-4-1)



＜前年度との比較＞

- ・市民税(個人): 0.2%減
- ・納税義務者数  
(個人均等割): 0.5%増

＜2016年度との比較＞

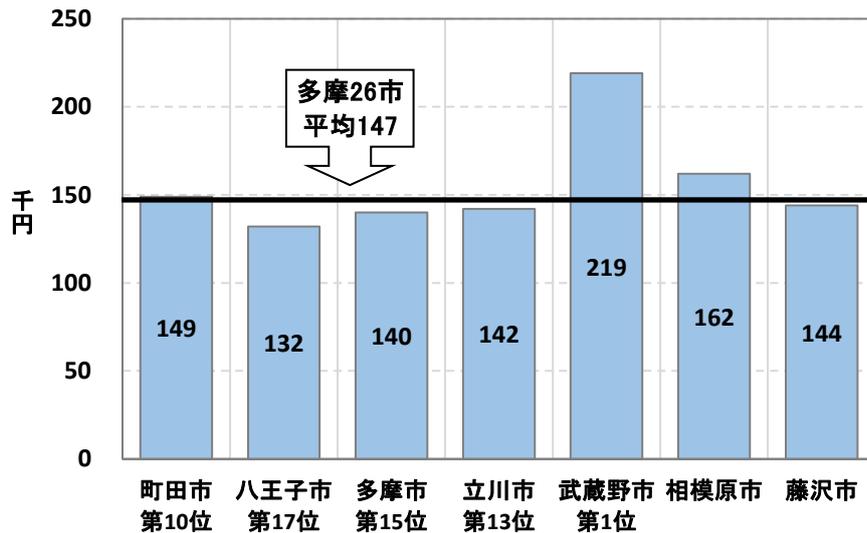
- ・市民税(個人): 1.0%増
- ・納税義務者数  
(個人均等割): 4.3%増

【注1】 個人均等割:P.189「財政用語」参照

【時点】 各会計年度(出納整理期間中の増減含む)(市民税)、各年度6月末現在(納税義務者数)

【出典】 「決算カード」、「課税状況等の調」

②納税義務者1人あたり市民税(所得割)(No.8-2-4-2)【他市比較】



＜26市平均との比較＞  
 ・1.3%多い

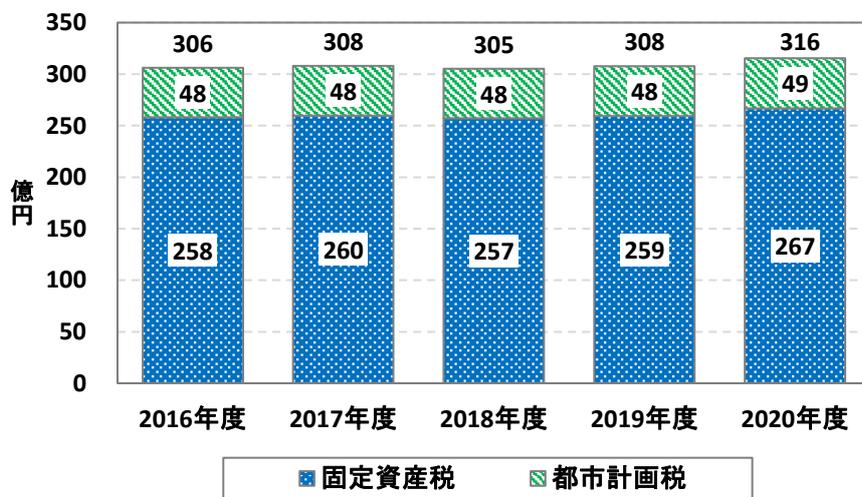
＜比較市との比較＞  
 ・4市の中で最も多い

＜26市ランキング＞  
 第1位: 武蔵野市 219  
 第2位: 三鷹市 179  
 第3位: 国立市 177  
 (千円)

【注1】 市民税(所得割)は、市が納税義務者に課税した金額を用いている。  
 【時点】 2019年7月1日現在(税)、2019年1月1日現在(人口)  
 【出典】 「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

(5)固定資産税、都市計画税

①固定資産税、都市計画税(No.8-2-5-1)

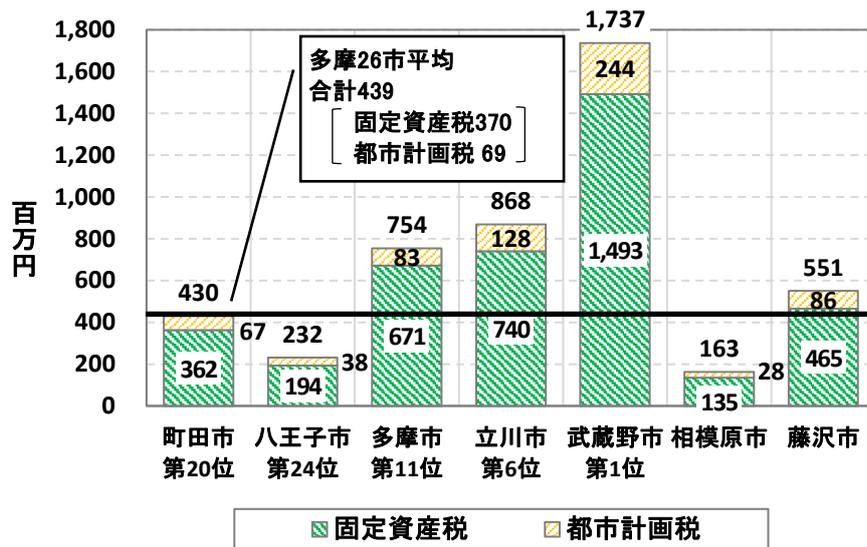


＜前年度との比較＞  
 ・固定資産税、  
 都市計画税計:2.6%増  
 ・「都市計画税」:0.7%増  
 ・「固定資産税」:2.9%増

＜2016年度との比較＞  
 ・固定資産税、  
 都市計画税計:3.0%増  
 ・「都市計画税」:1.1%増  
 ・「固定資産税」:3.4%増

【時点】 各年度3月31日現在  
 【出典】 「決算カード」、庁内資料

②市域面積1km<sup>2</sup>あたり固定資産税、都市計画税(No.8-2-5-2)【他市比較】



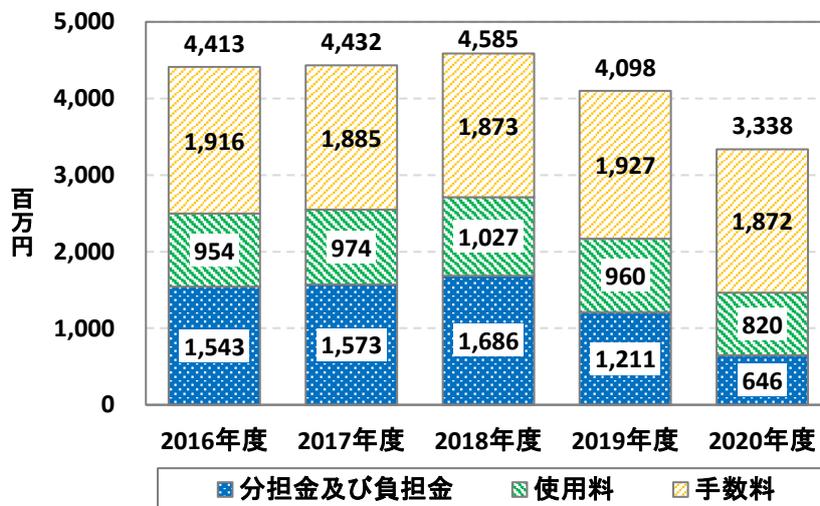
＜26市平均との比較＞  
 ・「固定資産税」:2.1%少ない  
 ・「都市計画税」:2.8%少ない

＜26市ランキング＞  
 第1位: 武蔵野市 1,737  
 第2位: 三鷹市 1,033  
 第3位: 調布市 937  
 (百万円)

- 【注1】 グラフの順位は固定資産税、都市計画税の合計  
 【時点】 2019年度(固定資産税、都市計画税)、2018年10月1日現在(市域面積)  
 【出典】 「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会、「市町村別決算状況調」総務省

(6)分担金及び負担金、使用料、手数料(分担金等)

①分担金等(No.8-2-6-1)

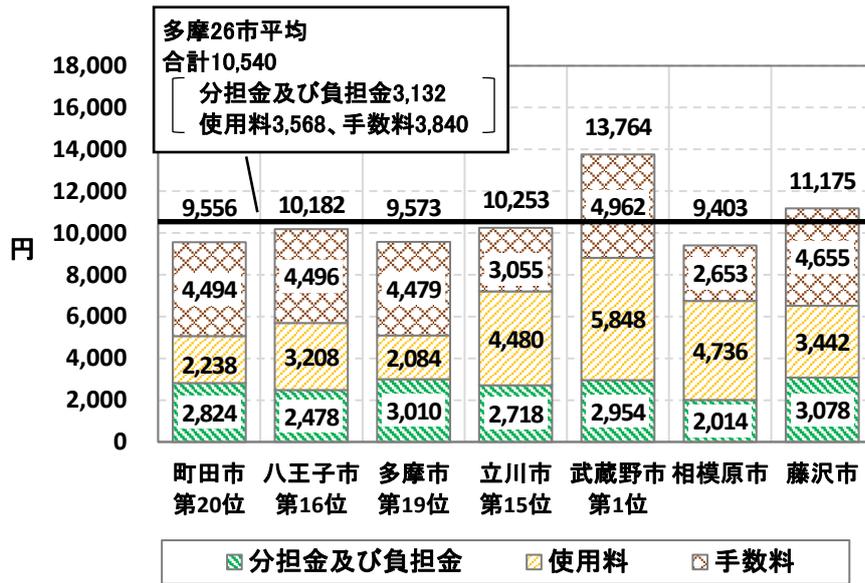


＜前年度との比較＞  
 ・分担金等:18.5%減  
 ・「使用料」:14.6%減  
 ・「分担金及び負担金」:  
 46.6%減

＜2016年度との比較＞  
 ・分担金等:24.4%減  
 ・「使用料」:14.0%減  
 ・「分担金及び負担金」:  
 58.1%減

- 【注1】 分担金等:P.189「財政用語」参照  
 【時点】 各会計年度(出納整理期間中の増減含む)  
 【出典】 「決算カード」

②市民1人あたり分担金等(No.8-2-6-2)【他市比較】



<26市平均との比較>  
 ・分担金等計: 9.3%少ない

<26市ランキング>  
 第1位: 武蔵野市 13,764  
 第2位: 国立市 13,588  
 第3位: 調布市 12,992  
 (円)

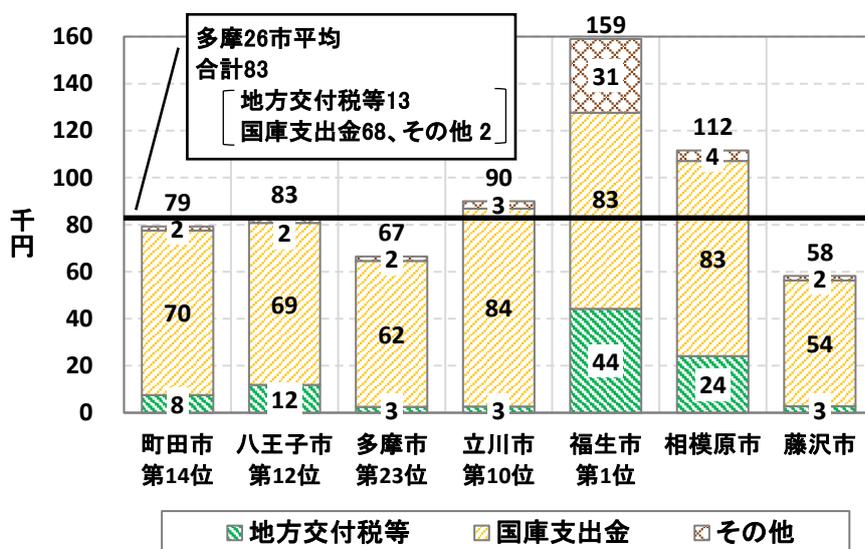
【注1】 グラフ中のランキングは分担金及び負担金、使用料、手数料の合計の大きい市から並べている。

【時点】 2019年度(分担金及び負担金、使用料、手数料)、2020年1月1日現在(人口)

【出典】 「東京都市町村普通会計決算」東京都総務局行政部

(7)国からの支出金、東京都からの支出金

①市民1人あたり国からの支出金(No.8-2-7-1)【他市比較】



<26市平均との比較>  
 ・国からの支出金計:  
 4.3%少ない

<26市ランキング>  
 第1位: 福生市 159  
 第2位: 清瀬市 142  
 第3位: 武蔵村山市 124  
 (千円)

【注1】 地方交付税等とは、地方交付税に地方特例交付金を加えたもの。

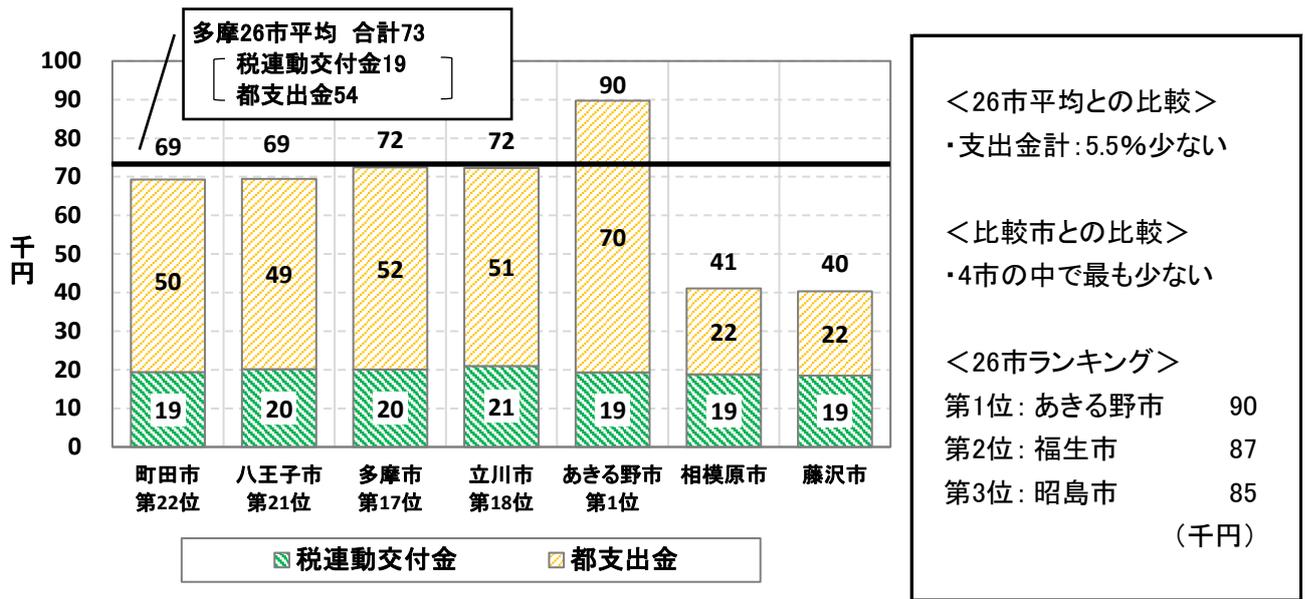
【注2】 「その他」とは、地方譲与税、交通安全特別交付金、国有提供施設等所在市町村助成交付金を加えたもの。

【注3】 グラフ中のランキングは地方交付税等、国庫支出金、その他の合計を示す。

【時点】 2019年度(地方交付税等、国庫支出金)、2020年1月1日現在(人口)

【出典】 「東京都市町村普通会計決算」東京都総務局行政部

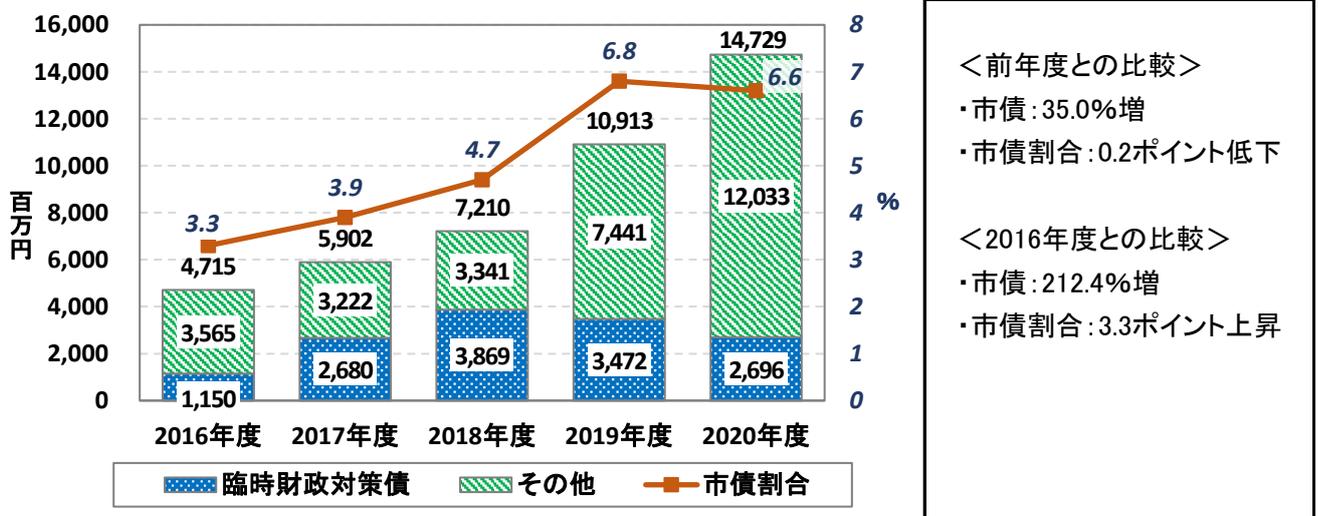
②市民1人あたり東京都からの支出金(No.8-2-7-2)【他市比較】



- 【注1】 税連動交付金:P.189「財政用語」参照
- 【注2】 相模原市と藤沢市については神奈川県からの支出金となる。
- 【注3】 グラフ中のランキングは税連動交付金、都支出金の合計を示す。
- 【時点】 2019年度(税連動交付金、都支出金)、2020年1月1日現在(人口)
- 【出典】 「東京都市町村普通会計決算」東京都総務局行政部

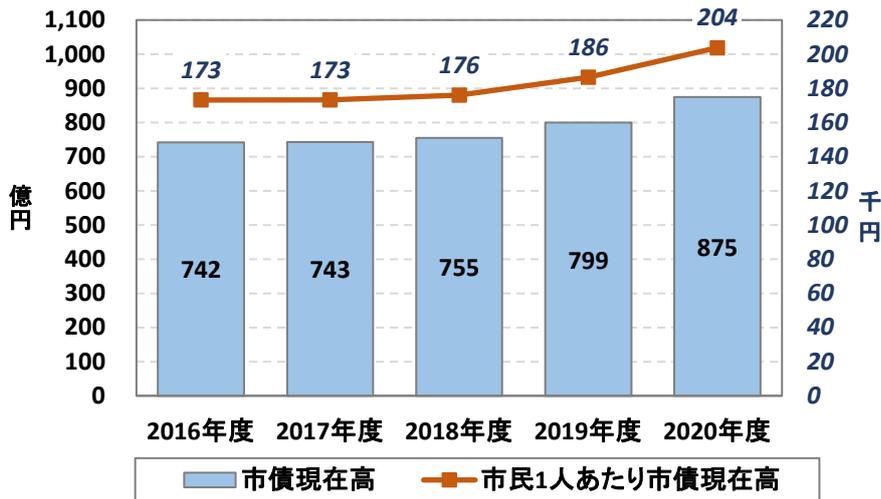
(8)市債

①市債発行額(No.8-2-8-1)



- 【注1】 市債割合とは、歳入に対する市債の割合のことをいう。
- 【注2】 臨時財政対策債とは、地方公共団体の財源不足を補てんするために、特例的に認められている市債のことをいう。
- 【時点】 各会計年度(出納整理期間中の増減含む)
- 【出典】 「決算カード」

②市債現在高、市民1人あたり市債現在高(No.8-2-8-2)



＜前年度との比較＞  
 ・市債現在高:9.4%増  
 ・市民1人あたり市債現在高:9.3%増

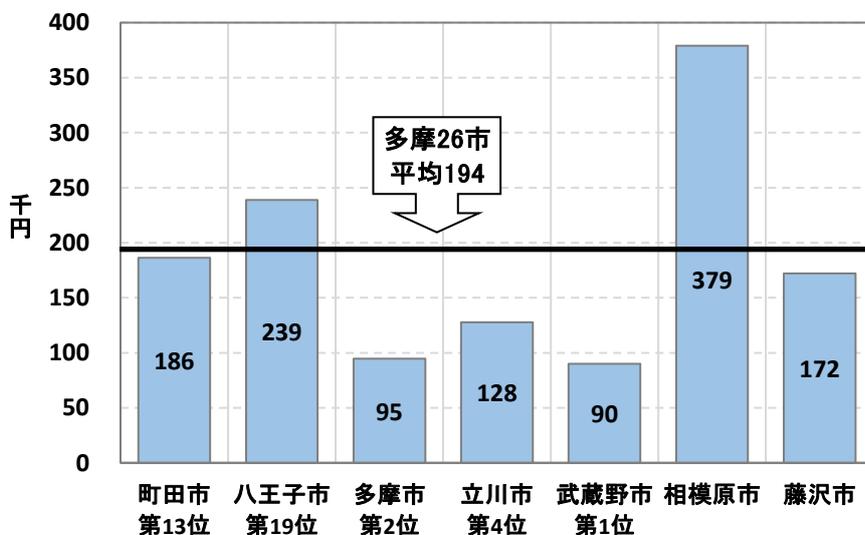
＜2016年度との比較＞  
 ・市債現在高:17.9%増  
 ・市民1人あたり市債現在高:17.7%増

【注1】 市債現在高は、下水道事業、介護保険事業、病院事業に係る市債を除く、普通会計における市債に限る。

【時点】 各年度末現在(市債現在高)、各年度1月1日現在(人口)

【出典】 「決算カード」、「町田市統計書」

③市民1人あたり市債現在高(No.8-2-8-3)【他市比較】



＜26市平均との比較＞  
 ・3.9%少ない

＜26市ランキング＞  
 第1位: 武蔵野市 90  
 第2位: 多摩市 95  
 第3位: 福生市 121  
 (千円)

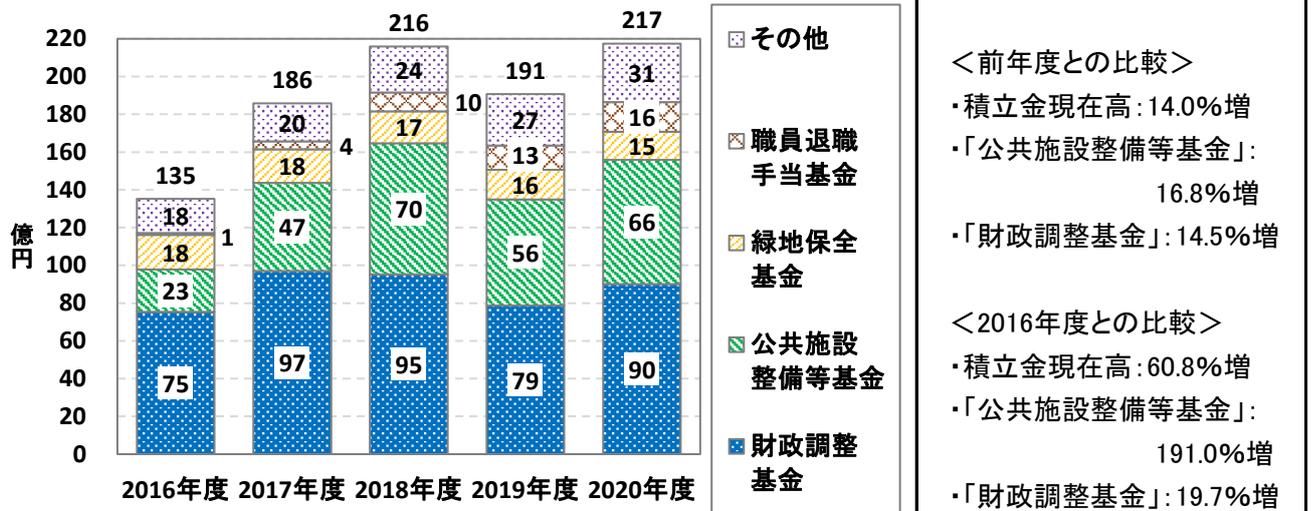
【注1】 このグラフの26市ランキングについては、数値の小さい市から並べている。

【時点】 2019年度(市債現在高)、2020年1月1日現在(人口)

【出典】 「東京都市町村普通会計決算」東京都総務局行政部

(9) 積立金

① 積立金現在高 (No.8-2-9-1)



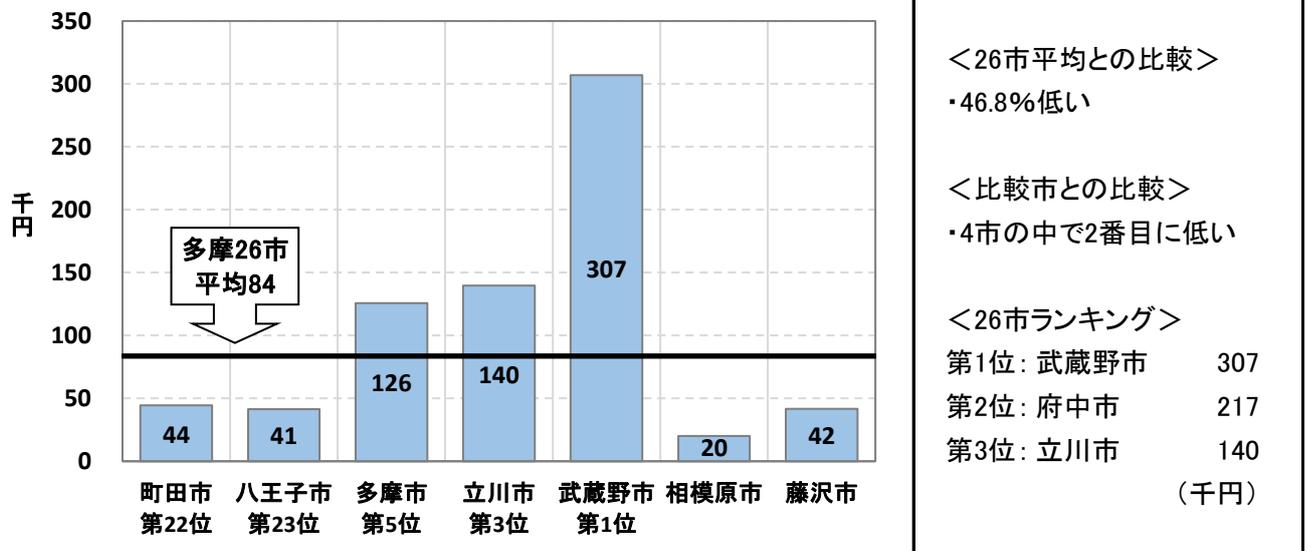
【注 1】 財政調整基金とは、決算剰余金が生じた場合などに積み立て、財源が不足する場合に取り崩すことによって、年度間の財源を調整し健全な財政運営を図ることを目的とした基金のことをいう。

【注 2】 「その他」は、福祉基金、廃棄物減量再資源化等推進整備基金、まちだ未来づくり基金の合計。

【時点】 各会計年度(出納整理期間中の増減含む)

【出典】 「決算カード」、「決算書」、庁内資料

② 市民1人あたり積立金現在高 (No.8-2-9-2) 【他市比較】

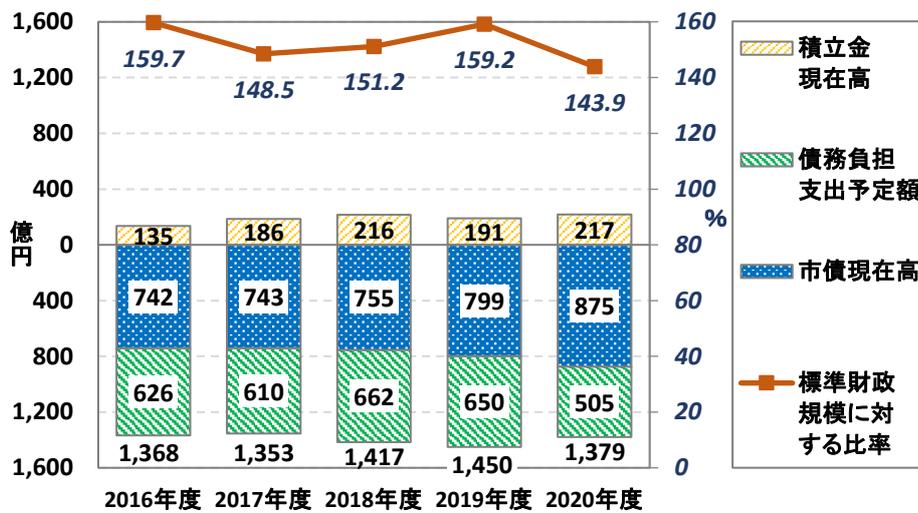


【時点】 2019年度(積立金現在高)、2020年1月1日現在(人口)

【出典】 「東京都市町村普通会計決算」東京都総務局行政部

(10) 将来にわたる実質的な財政負担

① 将来にわたる実質的な財政負担 (No.8-2-10-1)



<前年度との比較>

・将来にわたる実質的な財政負担の標準財政規模に対する比率:  
15.3ポイント低下

<2016年度との比較>

・将来にわたる実質的な財政負担の標準財政規模に対する比率:  
15.8ポイント低下

【注 1】 将来にわたる実質的な財政負担:P.189「財政用語」参照

【注 2】 将来にわたる実質的な財政負担の標準財政規模に対する比率＝

(市債現在高＋債務負担行為翌年度以降支出予定額－積立金現在高)／標準財政規模×100

【注 3】 債務負担行為翌年度以降支出予定額:P.189「財政用語」参照

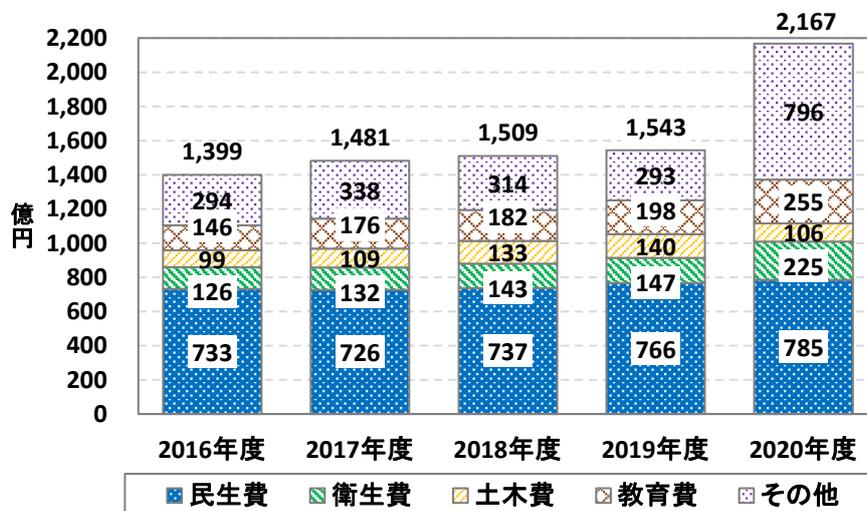
【注 4】 標準財政規模:P.189「財政用語」参照

【時点】 各会計年度(出納整理期間中の増減含む)

【出典】 「決算カード」

(11) 目的別歳出

① 目的別歳出 (No.8-2-11-1)



<前年度との比較>

・歳出:40.4%増  
・「教育費」:28.9%増  
・「土木費」:24.1%減  
・「衛生費」:52.6%増  
・「民生費」:2.5%増

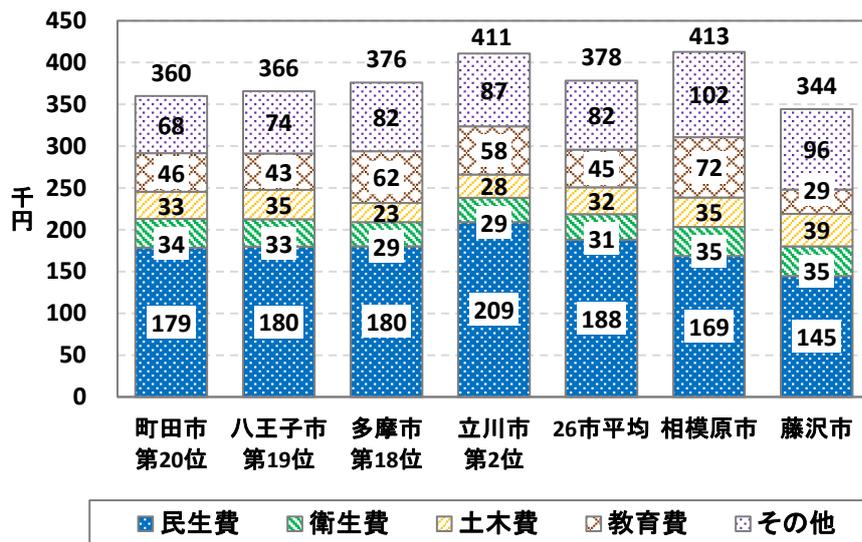
<2016年度との比較>

・歳出:54.9%増  
・「教育費」:74.3%増  
・「土木費」:7.5%増  
・「衛生費」:77.6%増  
・「民生費」:7.0%増

【時点】 各会計年度(出納整理期間中の増減含む)

【出典】 「決算カード」

②市民1人あたり目的別歳出(No.8-2-11-2)【他市比較】



**【民生費】**

<26市平均との比較>  
 ・5.1%少ない

<比較市との比較>  
 ・4市の中で最も少ない

<26市ランキング>  
 第1位: 清瀬市 220  
 第2位: 立川市 209  
 第3位: 福生市 209  
 (千円)

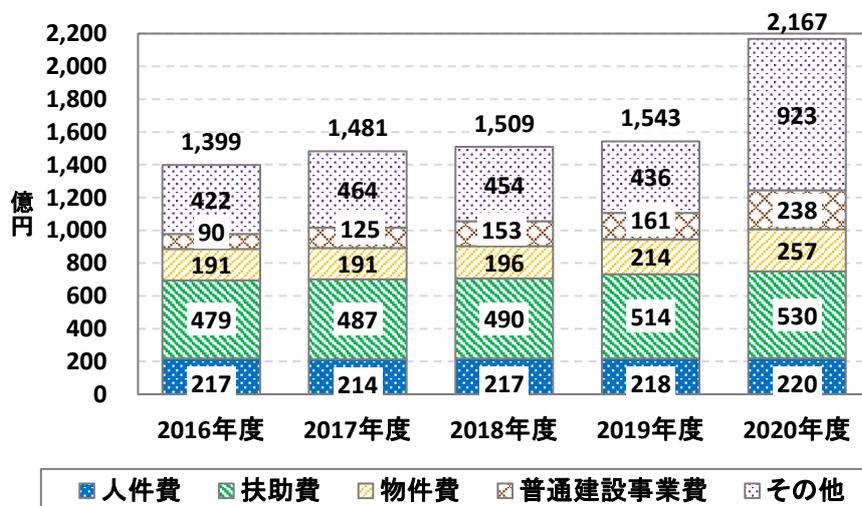
【注1】 グラフ中のランキングは、民生費を示す。

【時点】 2019年度(歳出)、2020年1月1日現在(人口)

【出典】 「東京都市町村普通会計決算」東京都総務局行政部

(12) 性質別歳出

①性質別歳出(No.8-2-12-1)



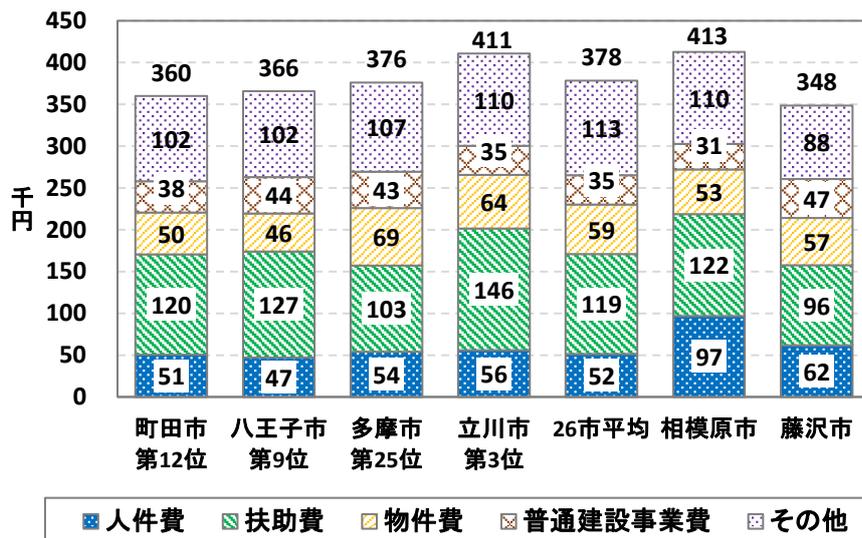
<前年度との比較>  
 ・歳出: 40.4%増  
 ・「普通建設事業費」:  
     47.4%増  
 ・「物件費」: 20.2%増  
 ・「扶助費」: 3.0%増

<2016年度との比較>  
 ・歳出: 54.9%増  
 ・「普通建設事業費」:  
     164.0%増  
 ・「物件費」: 34.6%増  
 ・「扶助費」: 10.6%増

【時点】 各会計年度(出納整理期間中の増減含む)

【出典】 「決算カード」

②市民1人あたり性質別歳出(No.8-2-12-2)【他市比較】

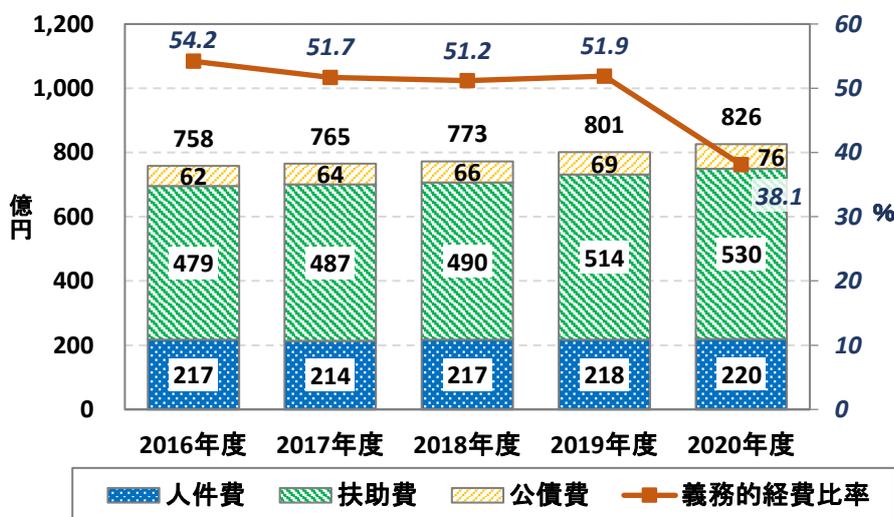


**【扶助費】**  
 <26市平均との比較>  
 ・0.5%多い  
 <26市ランキング>  
 第1位: 武蔵村山市 151  
 第2位: 清瀬市 147  
 第3位: 立川市 146  
 (千円)

【注1】 グラフ中のランキングは、扶助費を示す。  
 【時点】 2019年度(歳出)、2020年1月1日現在(人口)  
 【出典】 「東京都市町村普通会計決算」東京都総務局行政部

(13)義務的経費

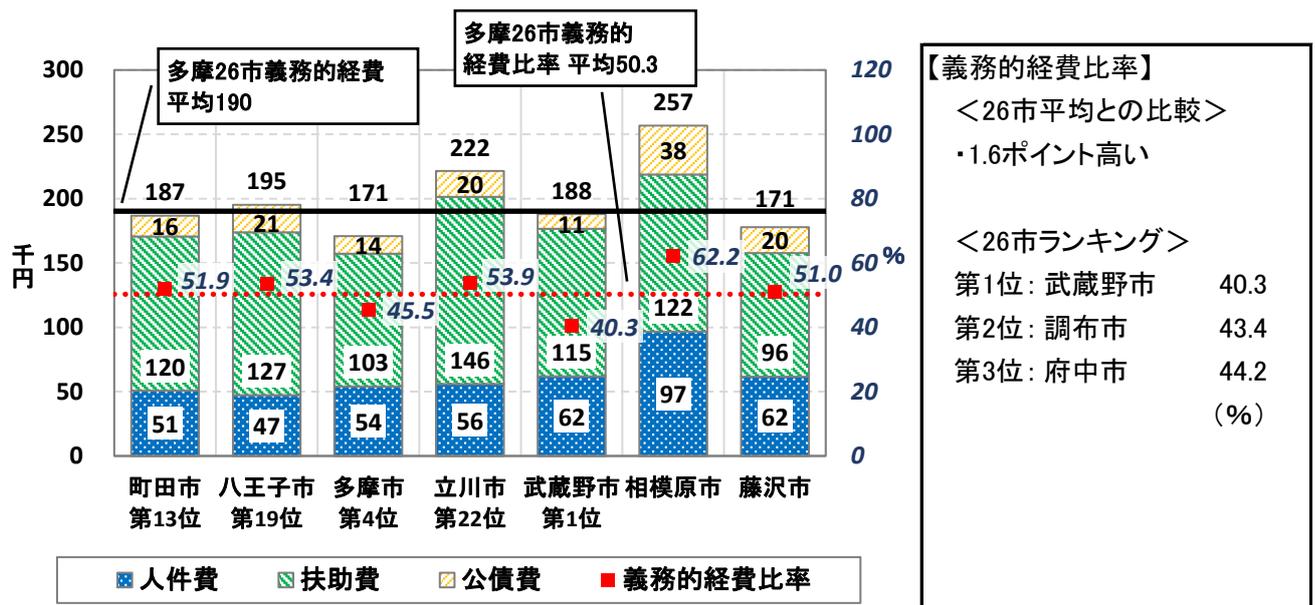
①義務的経費、義務的経費比率(No.8-2-13-1)



<前年度との比較>  
 ・義務的経費:3.1%増  
 ・「公債費」:10.2%増  
 ・義務的経費比率:  
 13.8ポイント低下  
 <2016年度との比較>  
 ・義務的経費:8.9%増  
 ・「公債費」:22.6%増  
 ・義務的経費比率:  
 16.1ポイント低下

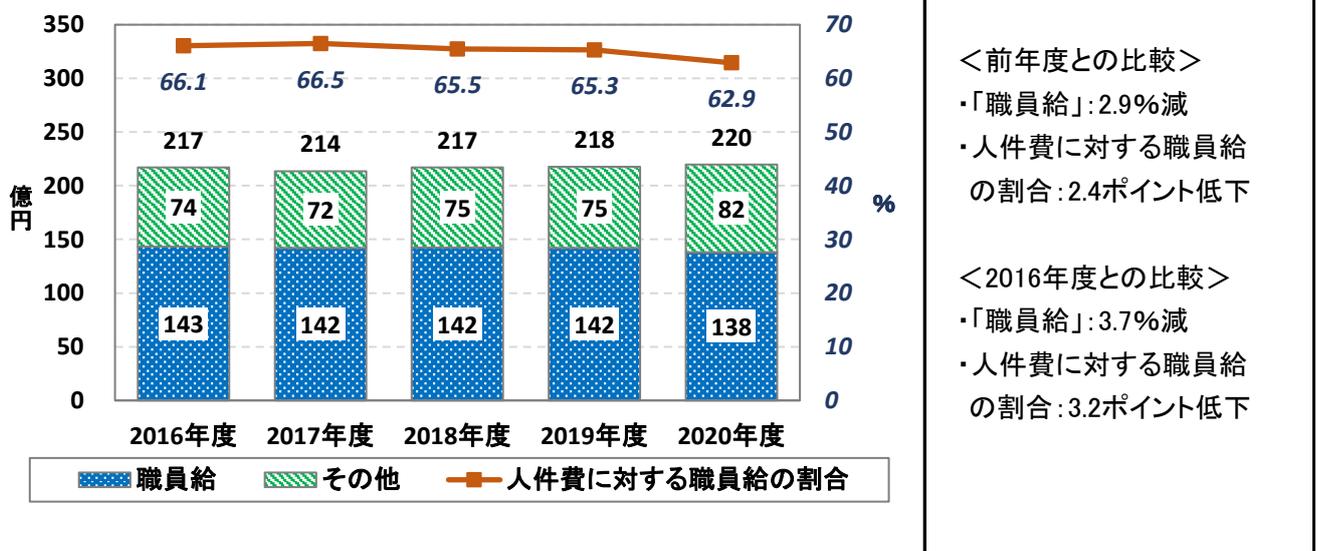
【注1】 義務的経費=人件費+扶助費+公債費  
 【注2】 義務的経費比率とは、歳出に対する義務的経費の割合のことをいう。  
 【時点】 各会計年度(出納整理期間中の増減含む)  
 【出典】 「決算カード」

②市民1人あたり義務的経費、義務的経費比率(No.8-2-13-2)【他市比較】



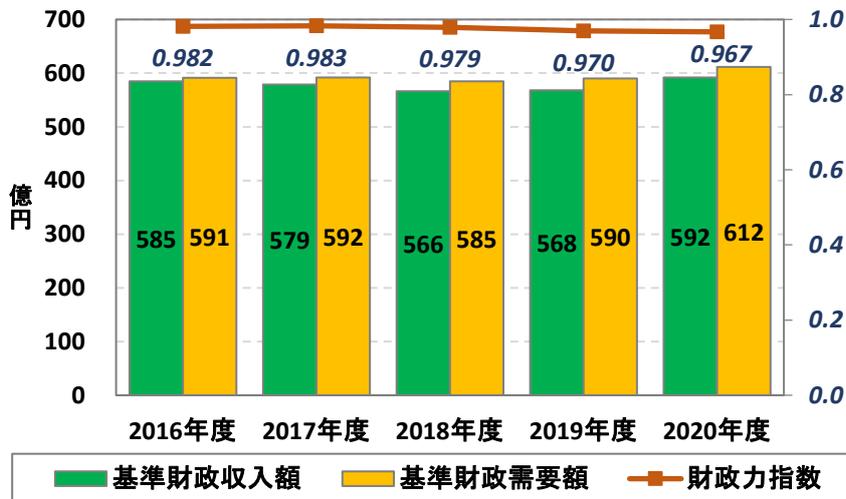
【注1】 義務的経費比率とは、歳出に対する義務的経費の割合のことをいう。  
 【注2】 このグラフの26市ランキングについては、義務的経費比率の小さい市から並べている。  
 【時点】 2019年度(義務的経費)、2020年1月1日現在(人口)  
 【出典】 「東京都市町村普通会計決算」東京都総務局行政部

③人件費のうち職員給(No.8-2-13-3)



(14) 財政力指数

① 基準財政収入額、基準財政需要額、財政力指数 (No.8-2-14-1)



<前年度との比較>

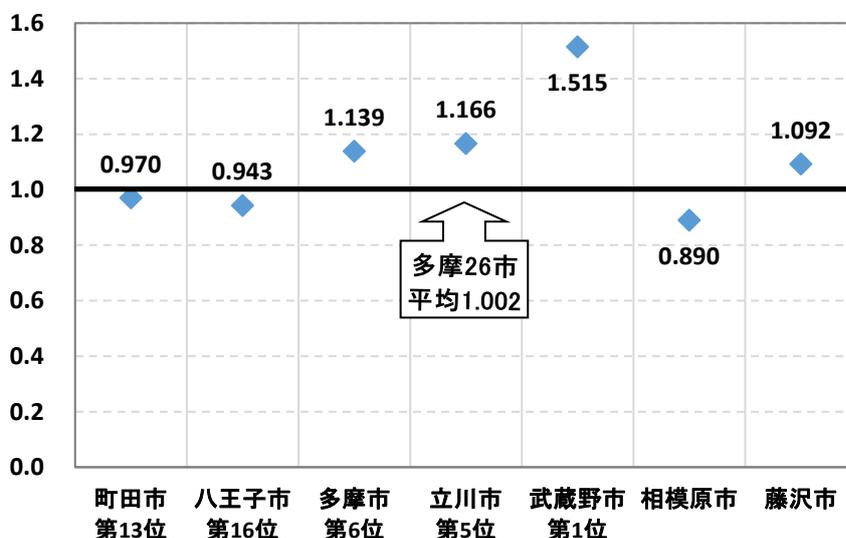
- ・基準財政収入額: 4.1%増
- ・基準財政需要額: 3.7%増
- ・財政力指数:  
0.003ポイント低下

<2016年度との比較>

- ・基準財政収入額: 1.2%増
- ・基準財政需要額: 3.4%増
- ・財政力指数:  
0.015ポイント低下

- 【注 1】 基準財政収入額とは、各地方公共団体が標準的な状態において徴収が見込まれる税収入等を、一定の方法により算出した額のことをいう。
- 【注 2】 基準財政需要額とは、各地方公共団体が合理的かつ妥当な水準における行政を行うために必要となる経費を、一定の方法により算出した額のことをいう。
- 【注 3】 財政力指数:P.189「財政用語」参照
- 【時点】 各会計年度(出納整理期間中の増減含む)
- 【出典】 「決算カード」

② 財政力指数 (No.8-2-14-2)【他市比較】



<26市平均との比較>

- ・0.032ポイント低い

<26市ランキング>

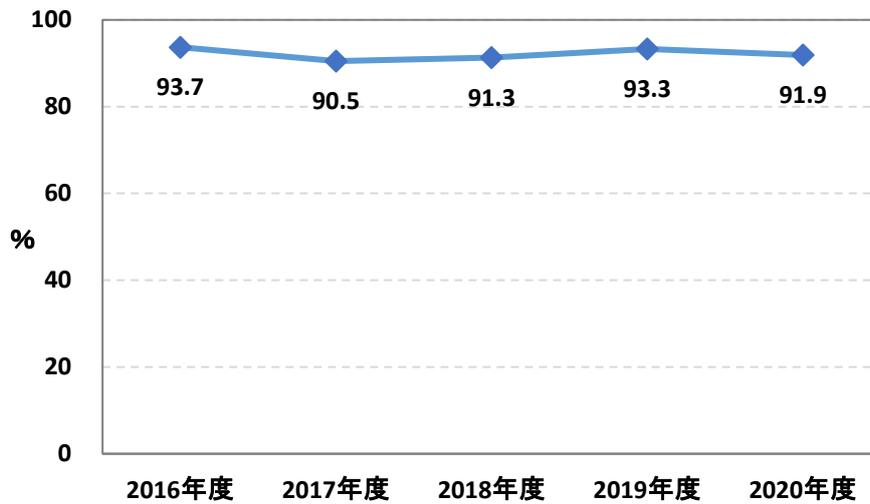
- 第1位: 武蔵野市 1.515
- 第2位: 府中市 1.213
- 第3位: 調布市 1.181

【時点】 2019年度

【出典】 「東京都市町村普通会計決算」東京都総務局行政部

(15) 経常収支比率

① 経常収支比率 (No.8-2-15-1)



<前年度との比較>

・経常収支比率:  
1.4ポイント低下

<2016年度との比較>

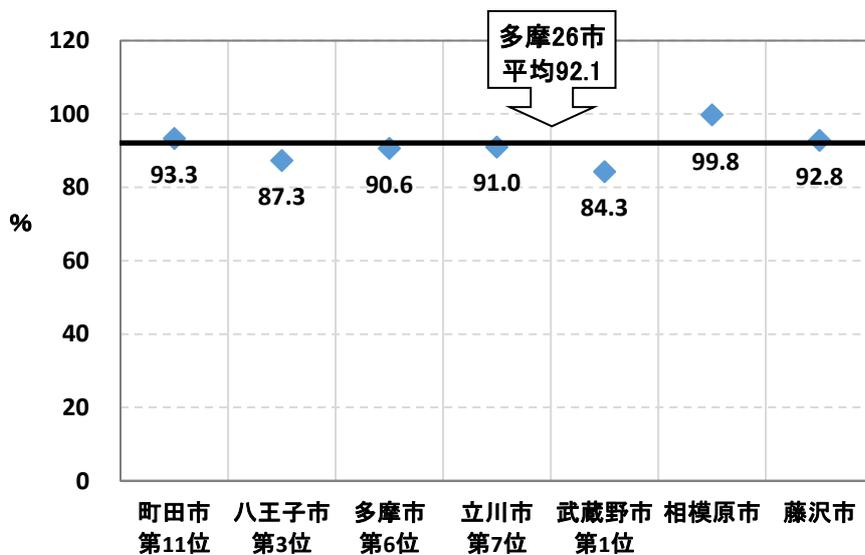
・経常収支比率:  
1.8ポイント低下

【注 1】 経常収支比率:P.189「財政用語」参照

【時点】 各会計年度(出納整理期間中の増減含む)

【出典】 「決算カード」

② 経常収支比率 (No.8-2-15-2)【他市比較】



<26市平均との比較>

・1.2ポイント高い

<比較市との比較>

・4市の中で最も高い

<26市ランキング>

第1位: 武蔵野市 84.3  
 第2位: 府中市 87.0  
 第3位: 八王子市 87.3  
 (%)

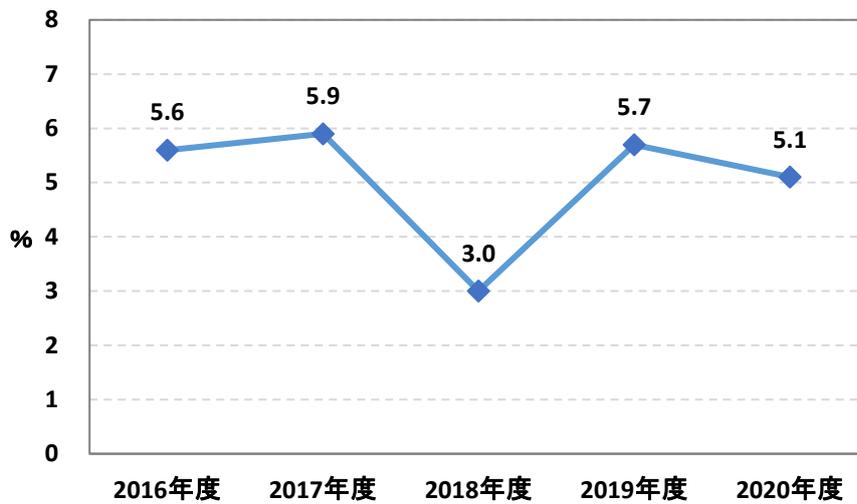
【注 1】 このグラフの26市ランキングについては、数値の小さい市から並べている。

【時点】 2019年度

【出典】 「東京都市町村普通会計決算」東京都総務局行政部

(16)実質収支比率

①実質収支比率(No.8-2-16-1)



<前年度との比較>

・実質収支比率:  
0.6ポイント低下

<2016年度との比較>

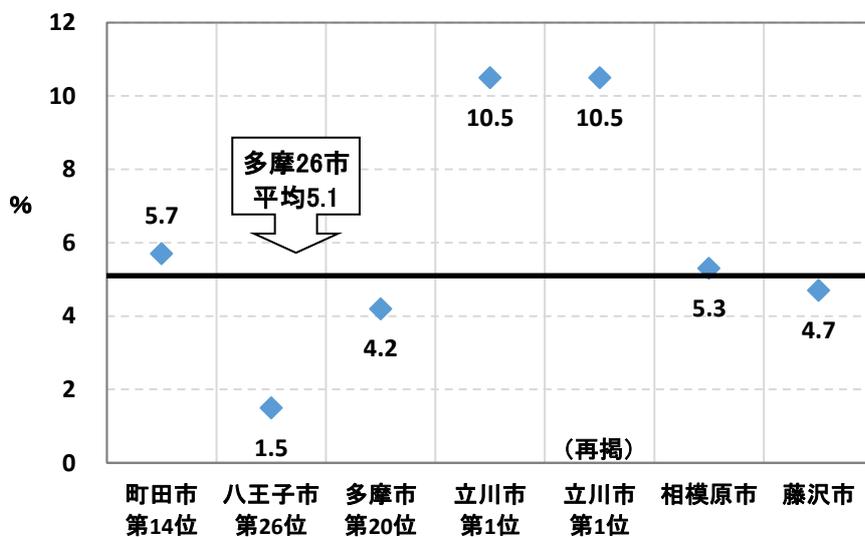
・実質収支比率:  
0.5ポイント低下

【注1】 実質収支比率:P.189「財政用語」参照

【時点】 各会計年度(出納整理期間中の増減含む)

【出典】 「決算カード」

②実質収支比率(No.8-2-16-2)【他市比較】



<26市平均との比較>

・0.6ポイント高い

<26市ランキング>

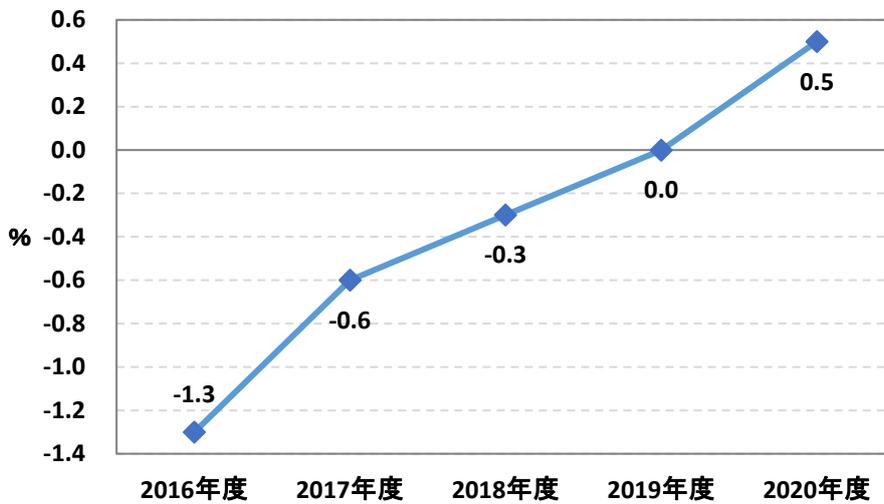
第1位: 立川市 10.5  
第2位: 小金井市 9.9  
第3位: 東大和市 8.1  
(%)

【時点】 2019年度

【出典】 「東京都市町村普通会計決算」東京都総務局行政部

(17)実質公債費比率

①実質公債費比率(No.8-2-17-1)



<前年度との比較>

・実質公債費比率:  
0.5ポイント上昇

<2016年度との比較>

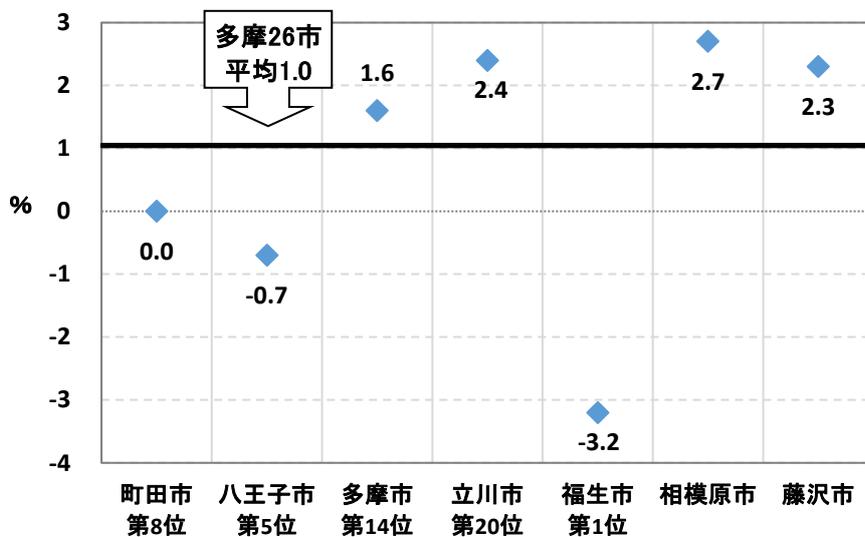
・実質公債費比率:  
1.8ポイント上昇

【注 1】 実質公債費比率:P.189「財政用語」参照

【時点】 各会計年度(出納整理期間中の増減含む)

【出典】 「決算カード」

②実質公債費比率(No.8-2-17-2)【他市比較】



<26市平均との比較>

・1.0ポイント低い

<比較市との比較>

・4市の中で2番目に低い

<26市ランキング>

第1位: 福生市 -3.2  
第2位: 東大和市 -2.7  
第3位: 日野市 -2.2  
(%)

【注 1】 このグラフの26市ランキングについては、数値の小さい市から並べている。

【時点】 2019年度

【出典】 「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

## (参考) 財政用語

い	依存財源	自主財源以外のもので、国からの支出金、東京都からの支出金、市が起債する市債のことをいう。
け	経常収支比率	財政構造の弾力性を判断するための指標。 人件費、扶助費、公債費等の毎年度支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源が、市税、普通地方交付税等の毎年度収入される一般財源（経常一般財源）、減税補てん債、臨時財政対策債の合計額に占める割合のことをいう。
こ	個人均等割	町田市内に住んでいる者、事務所や家屋敷を持っている者に対する、所得金額にかかわらず定額課税。ただし、生活保護法による生活扶助を受けている者、障がい者・未成年者等で前年中の合計所得金額が125万円以下の者等は非課税となる。
さ	財政力指数	地方公共団体の財政力を示す指数。 地方交付税の算定から導かれる基準財政収入額を、基準財政需要額で割った数値の過去3年間の平均値。財政力指数が高いほど、財源に余裕があるといえる。
	債務負担行為 翌年度以降支 出予定額	債務負担行為に基づいて翌年度以降に支払う額。 債務負担行為とは、数年にわたる建設工事等、複数年の支出義務を伴う案件について、その内容をあらかじめ予算に定めることをいう。
し	自主財源	自らの権限によって収入することができる財源。 市税、分担金及び負担金、使用料・手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金、諸収入のことをいう。
	実質収支比率	実質収支の標準財政規模に対する割合。 実質収支とは、その年度の歳入総額から歳出総額、翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いたものをいう。
	実質公債費比 率	2005年度から導入された健全化判断比率のひとつ。「起債の協議を要する団体」と「許可を要する団体」とを判定する指標としても用いる。 地方債の元利償還金（公債費）とこれに準ずる経費の合計額が、標準財政規模に占める割合。
	将来にわたる 実質的な財政 負担	市債現在高、債務負担行為翌年度以降支出予定額の合計額から、積立金現在高を差し引いたもの。 これを標準財政規模で割ると、経常的に収入される一般財源に対する負担の重さを計ることができる。
せ	税連動交付金	徴収の簡素化等の観点から、国や東京都が徴収し、交付金として市に配分されるもの。 利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、ゴルフ場利用税交付金、自動車取得税交付金のことをいう。
ひ	標準財政規模	地方交付税の算定結果によって計算される経常一般財源の規模。 このとき、市税は地方税法に定める標準税率をもって算定する。
ふ	分担金等	特定の市民が利用する行政サービスに対する負担。 分担金及び負担金（特定の事業に対するもの）、使用料（市の施設の利用に対するもの）、手数料（常に利用しない印鑑登録証明等の行政サービスに対するもの）のことをいう。

の語句は、用語解説中の別項で解説している



# 引用データ一覧

※ 表中の「多摩 26 市」は、多摩 26 市の合計値または、平均値を記載している。



## I 基礎指標

## 1 人口・世帯

## No.1-1-1-1 人口

出典:「町田市統計書」、庁内資料

時点:各年1月1日現在

単位:人

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
男	210,409	210,268	209,971	209,938	209,979
女	218,163	218,474	218,714	218,883	219,173
人口総数	428,572	428,742	428,685	428,821	429,152

## No.1-1-1-2 人口密度【他市比較】

出典:「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

時点:2020年1月1日現在(人口)、2018年10月1日現在(市域面積)

単位:人、km<sup>2</sup>、人/km<sup>2</sup>

	人口			市域面積	人口密度	人口密度 ランキング
	総数	男	女			
八王子市	562,480	281,111	281,369	186.38	3,018	24
立川市	184,090	91,632	92,458	24.36	7,557	13
武蔵野市	146,871	70,341	76,530	10.98	13,376	1
三鷹市	188,461	92,234	96,227	16.42	11,478	4
青梅市	133,032	66,794	66,238	103.31	1,288	25
府中市	260,232	130,731	129,501	29.43	8,842	11
昭島市	113,397	56,435	56,962	17.34	6,540	17
調布市	237,054	115,566	121,488	21.58	10,985	5
<b>町田市</b>	<b>428,821</b>	<b>209,938</b>	<b>218,883</b>	<b>71.55</b>	<b>5,993</b>	<b>19</b>
小金井市	122,306	60,338	61,968	11.30	10,824	7
小平市	194,869	95,860	99,009	20.51	9,501	8
日野市	186,346	93,399	92,947	27.55	6,764	16
東村山市	151,255	73,751	77,504	17.14	8,825	12
国分寺市	125,170	61,484	63,686	11.46	10,922	6
国立市	76,280	37,250	39,030	8.15	9,360	9
福生市	57,617	28,785	28,832	10.16	5,671	20
狛江市	83,257	40,386	42,871	6.39	13,029	2
東大和市	85,301	42,006	43,295	13.42	6,356	18
清瀬市	74,636	36,023	38,613	10.23	7,296	14
東久留米市	116,916	57,002	59,914	12.88	9,077	10
武蔵村山市	72,382	36,086	36,296	15.32	4,725	23
多摩市	148,823	72,907	75,916	21.01	7,083	15
稲城市	91,540	46,049	45,491	17.97	5,094	22
羽村市	55,354	28,111	27,243	9.90	5,591	21
あきる野市	80,667	40,231	40,436	73.47	1,098	26
西東京市	205,125	99,835	105,290	15.75	13,024	3
多摩26市	4,182,282	2,064,285	2,117,997	783.96	5,335	

【注1】多摩26市の人口密度は、26市の合計人口÷26市の合計面積

## No.1-1-2-1 世帯数、1世帯あたり人員

出典:「町田市統計書」、庁内資料

時点:各年1月1日現在

単位:世帯、人

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
世帯数	192,320	194,121	195,643	197,711	200,182
1世帯あたり人員	2.23	2.21	2.19	2.17	2.14

## No.1-1-2-2 1世帯あたり人員【他市比較】

出典:「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会 時点:2020年1月1日現在 単位:人、世帯

	人口	世帯	1世帯あたり 人員	1世帯あたり 人員 ランキング
八王子市	562,480	270,386	2.08	12
立川市	184,090	92,288	1.99	20
武蔵野市	146,871	77,313	1.90	25
三鷹市	188,461	94,834	1.99	22
青梅市	133,032	63,432	2.10	9
府中市	260,232	126,160	2.06	15
昭島市	113,397	54,324	2.09	11
調布市	237,054	120,286	1.97	23
<b>町田市</b>	<b>428,821</b>	<b>197,711</b>	<b>2.17</b>	<b>5</b>
小金井市	122,306	61,070	2.00	19
小平市	194,869	92,815	2.10	8
日野市	186,346	89,585	2.08	13
東村山市	151,255	73,418	2.06	16
国分寺市	125,170	61,163	2.05	18
国立市	76,280	38,241	1.99	21
福生市	57,617	30,415	1.89	26
狛江市	83,257	42,682	1.95	24
東大和市	85,301	39,117	2.18	4
清瀬市	74,636	35,745	2.09	10
東久留米市	116,916	54,784	2.13	7
武蔵村山市	72,382	31,938	2.27	1
多摩市	148,823	72,469	2.05	17
稲城市	91,540	40,643	2.25	2
羽村市	55,354	25,810	2.14	6
あきる野市	80,667	35,859	2.25	3
西東京市	205,125	99,258	2.07	14
多摩26市	4,182,282	2,021,746	2.07	

【注1】多摩26市の1世帯あたり人員は、26市の合計人口/26市の合計世帯

## No.1-1-2-3 世帯構成比【他市比較】

出典:「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会 時点:2020年10月1日現在 単位:世帯、%

	総数	単独世帯		親族世帯		非親族世帯	
			構成比		構成比		構成比
八王子市	252,985	97,692	38.6	151,931	60.1	1,702	0.7
立川市	83,188	36,519	43.9	42,901	51.6	638	0.8
武蔵野市	73,960	36,642	49.5	36,526	49.4	732	1.0
三鷹市	90,093	41,490	46.1	47,744	53.0	828	0.9
青梅市	54,196	16,166	29.8	37,469	69.1	557	1.0
府中市	119,435	50,657	42.4	67,852	56.8	870	0.7
昭島市	48,208	16,672	34.6	30,906	64.1	566	1.2
調布市	110,450	49,815	45.1	59,675	54.0	950	0.9
<b>町田市</b>	<b>186,454</b>	<b>65,506</b>	<b>35.1</b>	<b>119,613</b>	<b>64.2</b>	<b>1,280</b>	<b>0.7</b>
小金井市	59,692	28,111	47.1	31,000	51.9	455	0.8
小平市	82,768	31,095	37.6	50,938	61.5	666	0.8
日野市	84,823	34,270	40.4	49,696	58.6	766	0.9
東村山市	64,521	22,478	34.8	41,398	64.2	504	0.8
国分寺市	59,089	26,469	44.8	32,001	54.2	570	1.0
国立市	34,019	13,906	40.9	19,835	58.3	266	0.8
福生市	27,220	11,247	41.3	13,667	50.2	196	0.7
狛江市	39,434	17,943	45.5	21,098	53.5	388	1.0
東大和市	35,524	10,556	29.7	24,567	69.2	345	1.0
清瀬市	32,290	11,627	36.0	20,338	63.0	290	0.9
東久留米市	49,859	16,281	32.7	32,931	66.0	562	1.1
武蔵村山市	28,277	7,913	28.0	19,962	70.6	342	1.2
多摩市	65,406	23,104	35.3	41,829	64.0	371	0.6
稲城市	36,510	11,964	32.8	24,203	66.3	336	0.9
羽村市	23,435	7,683	32.8	15,453	65.9	281	1.2
あきる野市	30,758	7,551	24.5	22,870	74.4	290	0.9
西東京市	89,605	34,280	38.3	54,190	60.5	1,095	1.2
多摩26市	1,862,199	727,637	39.1	1,110,593	59.6	15,846	0.9

【注1】総数は「不詳」を含むため、構成比の合計が100%にならない場合もある。

**No.1-1-3-1 年齢(3区分)別人口構成比**

出典:「町田市統計書」、庁内資料

時点:各年1月1日現在

単位:人、%

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
年少人口	55,743	54,912	53,989	53,072	52,142
構成比	13.0	12.8	12.6	12.4	12.2
生産年齢人口	261,849	260,936	260,406	260,524	260,815
構成比	61.1	60.9	60.8	60.8	60.8
老年人口	110,979	112,893	114,289	115,225	116,195
構成比	25.9	26.3	26.7	26.9	27.1

【注1】年少人口は、0～14歳の人口。生産年齢人口は、15～64歳の人口。老年人口は、65歳以上の人口。

【注2】年齢不詳者を含まない。

**No.1-1-3-2 年齢(3区分)別人口構成比【他市比較】**

出典:「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

時点:2020年1月1日現在

単位:人、%

	年少人口		生産年齢人口		老年人口	
		構成比		構成比		構成比
八王子市	64,972	11.6	346,239	61.6	151,269	26.9
立川市	22,154	12.0	116,768	63.4	45,168	24.5
武蔵野市	17,428	11.9	96,856	65.9	32,587	22.2
三鷹市	23,687	12.6	123,643	65.6	41,131	21.8
青梅市	14,146	10.6	78,658	59.1	40,227	30.2
府中市	34,082	13.1	169,156	65.0	56,994	21.9
昭島市	14,061	12.4	69,702	61.5	29,634	26.1
調布市	29,740	12.5	156,428	66.0	50,885	21.5
<b>町田市</b>	<b>53,072</b>	<b>12.4</b>	<b>260,524</b>	<b>60.8</b>	<b>115,225</b>	<b>26.9</b>
小金井市	15,011	12.3	81,435	66.6	25,860	21.1
小平市	25,505	13.1	124,313	63.8	45,051	23.1
日野市	23,458	12.6	116,745	62.6	46,143	24.8
東村山市	18,060	11.9	92,791	61.3	40,404	26.7
国分寺市	15,413	12.3	82,400	65.8	27,357	21.9
国立市	8,682	11.4	49,842	65.3	17,756	23.3
福生市	5,941	10.3	36,614	63.5	15,062	26.1
狛江市	9,883	11.9	53,447	64.2	19,927	23.9
東大和市	10,962	12.9	51,320	60.2	23,019	27.0
清瀬市	8,970	12.0	44,607	59.8	21,059	28.2
東久留米市	14,122	12.1	69,622	59.5	33,172	28.4
武蔵村山市	9,965	13.8	43,438	60.0	18,979	26.2
多摩市	17,258	11.6	89,222	60.0	42,343	28.5
稲城市	13,384	14.6	58,683	64.1	19,473	21.3
羽村市	6,804	12.3	34,105	61.6	14,445	26.1
あきる野市	9,998	12.4	46,652	57.8	24,017	29.8
西東京市	25,118	12.2	131,273	64.0	48,734	23.8
多摩26市	511,876	12.2	2,624,483	62.8	1,045,921	25.0

【注1】年少人口は、0～14歳の人口。生産年齢人口は、15～64歳の人口。老年人口は、65歳以上の人口。

【注2】年齢不詳者を含まない。

## No.1-1-3-3 人口ピラミッド

出典:「町田市統計書」

時点:各年1月1日現在

単位:人

2016年				2020年				2016年				2020年			
年齢	男	女	総数	年齢	男	女	総数	年齢	男	女	総数	年齢	男	女	総数
0	1,527	1,325	2,852	0	1,305	1,248	2,553	50	3,374	3,282	6,656	50	3,842	3,592	7,434
1	1,617	1,494	3,111	1	1,455	1,399	2,854	51	3,074	2,873	5,947	51	3,730	3,543	7,273
2	1,675	1,544	3,219	2	1,588	1,460	3,048	52	2,892	2,618	5,510	52	3,808	3,453	7,261
3	1,793	1,590	3,383	3	1,554	1,615	3,169	53	2,719	2,639	5,358	53	2,635	2,468	5,103
4	1,812	1,711	3,523	4	1,776	1,596	3,372	54	2,486	2,503	4,989	54	3,372	3,260	6,632
5	1,930	1,865	3,795	5	1,771	1,639	3,410	55	2,498	2,455	4,953	55	3,044	2,900	5,944
6	1,980	1,862	3,842	6	1,794	1,650	3,444	56	2,324	2,409	4,733	56	2,871	2,606	5,477
7	1,991	1,934	3,925	7	1,886	1,709	3,595	57	2,409	2,376	4,785	57	2,709	2,625	5,334
8	2,002	1,931	3,933	8	1,887	1,767	3,654	58	2,193	2,242	4,435	58	2,452	2,497	4,949
9	2,051	1,982	4,033	9	1,985	1,934	3,919	59	2,262	2,305	4,567	59	2,459	2,421	4,880
10	2,076	1,931	4,007	10	2,019	1,879	3,898	60	2,249	2,399	4,648	60	2,260	2,418	4,678
11	2,096	1,937	4,033	11	2,032	1,978	4,010	61	2,226	2,375	4,601	61	2,384	2,355	4,739
12	2,209	1,991	4,200	12	2,011	1,980	3,991	62	2,341	2,431	4,772	62	2,137	2,217	4,354
13	2,182	2,084	4,266	13	2,100	2,018	4,118	63	2,490	2,635	5,125	63	2,205	2,265	4,470
14	2,211	2,126	4,337	14	2,084	1,953	4,037	64	2,558	2,781	5,339	64	2,213	2,365	4,578
15	2,225	2,082	4,307	15	2,147	1,988	4,135	65	2,774	3,072	5,846	65	2,177	2,347	4,524
16	2,180	2,063	4,243	16	2,242	2,040	4,282	66	3,118	3,685	6,803	66	2,261	2,408	4,669
17	2,124	2,021	4,145	17	2,207	2,111	4,318	67	3,084	3,511	6,595	67	2,404	2,606	5,010
18	2,124	2,046	4,170	18	2,284	2,182	4,466	68	3,187	3,714	6,901	68	2,461	2,714	5,175
19	2,201	2,117	4,318	19	2,400	2,280	4,680	69	2,186	2,496	4,682	69	2,660	3,072	5,732
20	2,255	2,200	4,455	20	2,397	2,316	4,713	70	2,008	2,505	4,513	70	2,991	3,582	6,573
21	2,291	2,139	4,430	21	2,372	2,248	4,620	71	2,443	2,909	5,352	71	2,949	3,448	6,397
22	2,148	2,096	4,244	22	2,422	2,297	4,719	72	2,630	3,209	5,839	72	3,041	3,654	6,695
23	2,106	1,917	4,023	23	2,219	2,184	4,403	73	2,510	3,148	5,658	73	2,066	2,440	4,506
24	2,105	2,006	4,111	24	2,135	2,125	4,260	74	2,564	3,068	5,632	74	1,894	2,448	4,342
25	2,045	1,911	3,956	25	2,119	2,001	4,120	75	2,330	2,828	5,158	75	2,259	2,832	5,091
26	2,011	1,963	3,974	26	1,958	1,872	3,830	76	2,070	2,421	4,491	76	2,357	3,118	5,475
27	2,094	2,015	4,109	27	1,885	1,807	3,692	77	1,930	2,274	4,204	77	2,303	3,021	5,324
28	2,162	2,018	4,180	28	1,887	1,783	3,670	78	2,065	2,306	4,371	78	2,315	2,935	5,250
29	2,117	2,024	4,141	29	1,888	1,781	3,669	79	1,887	2,157	4,044	79	2,061	2,694	4,755
30	2,167	2,089	4,256	30	1,860	1,844	3,704	80	1,671	2,084	3,755	80	1,833	2,267	4,100
31	2,366	2,282	4,648	31	2,050	1,974	4,024	81	1,476	1,858	3,334	81	1,689	2,115	3,804
32	2,328	2,335	4,663	32	2,202	1,975	4,177	82	1,340	1,799	3,139	82	1,731	2,151	3,882
33	2,511	2,288	4,799	33	2,132	2,105	4,237	83	1,253	1,571	2,824	83	1,558	1,986	3,544
34	2,507	2,381	4,888	34	2,217	2,163	4,380	84	1,021	1,419	2,440	84	1,329	1,872	3,201
35	2,629	2,466	5,095	35	2,427	2,337	4,764	85	832	1,286	2,118	85	1,139	1,643	2,782
36	2,687	2,671	5,358	36	2,441	2,422	4,863	86	717	1,155	1,872	86	1,043	1,570	2,613
37	2,829	2,807	5,636	37	2,602	2,397	4,999	87	559	1,102	1,661	87	893	1,318	2,211
38	3,042	2,957	5,999	38	2,573	2,485	5,058	88	475	909	1,384	88	736	1,177	1,913
39	3,177	3,123	6,300	39	2,672	2,580	5,252	89	418	778	1,196	89	580	1,018	1,598
40	3,289	3,299	6,588	40	2,794	2,815	5,609	90	364	787	1,151	90	432	880	1,312
41	3,635	3,483	7,118	41	2,871	2,865	5,736	91	228	571	799	91	307	762	1,069
42	3,834	3,746	7,580	42	3,090	3,036	6,126	92	179	491	670	92	266	624	890
43	3,947	3,714	7,661	43	3,241	3,204	6,445	93	109	402	511	93	212	487	699
44	3,912	3,849	7,761	44	3,297	3,370	6,667	94	100	330	430	94	182	455	637
45	3,781	3,658	7,439	45	3,644	3,519	7,163	95	58	246	304	95	87	315	402
46	3,836	3,562	7,398	46	3,835	3,786	7,621	96	45	201	246	96	64	284	348
47	3,703	3,509	7,212	47	3,922	3,793	7,715	97	33	137	170	97	38	177	215
48	3,796	3,491	7,287	48	3,928	3,876	7,804	98	17	103	120	98	31	128	159
49	2,668	2,438	5,106	49	3,815	3,682	7,497	99	19	63	82	99	18	98	116
								100	9	66	75	100	13	70	83
								101	5	30	35	101	9	43	52
								102	1	29	30	102	0	25	25
								103歳以上	2	24	26	103歳以上	6	46	52
								年齢不詳	1	0	1	年齢不詳	0	0	0
								計	209,797	217,140	426,937	計	209,938	218,883	428,821

**No.1-1-4-1 老年化指数**

出典:「町田市統計書」、庁内資料

時点:各年1月1日現在

単位:人

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
年少人口	55,743	54,912	53,989	53,072	52,142
老年人口	110,979	112,893	114,289	115,225	116,195
老年化指数	199.1	205.6	211.7	217.1	222.8

【注1】老年化指数=老年人口/年少人口×100

**No.1-1-4-2 老年化指数【他市比較】**

出典:「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

時点:2020年1月1日現在

単位:人

	年少人口	老年人口	老年化指数	老年化指数 ランキング
八王子市	64,972	151,269	232.8	7
立川市	22,154	45,168	203.9	14
武蔵野市	17,428	32,587	187.0	19
三鷹市	23,687	41,131	173.6	22
青梅市	14,146	40,227	284.4	1
府中市	34,082	56,994	167.2	25
昭島市	14,061	29,634	210.8	11
調布市	29,740	50,885	171.1	24
<b>町田市</b>	<b>53,072</b>	<b>115,225</b>	<b>217.1</b>	<b>9</b>
小金井市	15,011	25,860	172.3	23
小平市	25,505	45,051	176.6	21
日野市	23,458	46,143	196.7	16
東村山市	18,060	40,404	223.7	8
国分寺市	15,413	27,357	177.5	20
国立市	8,682	17,756	204.5	13
福生市	5,941	15,062	253.5	2
狛江市	9,883	19,927	201.6	15
東大和市	10,962	23,019	210.0	12
清瀬市	8,970	21,059	234.8	6
東久留米市	14,122	33,172	234.9	5
武蔵村山市	9,965	18,979	190.5	18
多摩市	17,258	42,343	245.4	3
稲城市	13,384	19,473	145.5	26
羽村市	6,804	14,445	212.3	10
あきる野市	9,998	24,017	240.2	4
西東京市	25,118	48,734	194.0	17
多摩26市	511,876	1,045,921	204.3	

【注1】老年化指数=老年人口/年少人口×100

【注2】多摩26市の老年化指数は、26市の合計老年人口/26市の合計年少人口×100

**No.1-1-5-1 人口動態**

出典:「町田市統計書」、庁内資料

期間:各年1月1日～12月31日

単位:人

	人口増		人口減		増減
	転入	出生	転出	死亡	
2016年	20,658	17,828	2,830	19,238	1,420
2017年	19,853	17,070	2,783	19,878	-25
2018年	19,327	16,669	2,658	19,623	-296
2019年	19,711	17,164	2,547	19,828	-117
2020年	19,465	17,001	2,464	19,383	82

【注1】職権による記載削除、帰化、国外転出入等を除く。

【注2】増減は、転入と出生の合計値から、転出と死亡の合計値を差し引いた数値。

**No.1-1-6-1 外国人登録人口**

出典:「町田市統計書」、庁内資料

時点:各年1月1日現在

単位:人

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
中国	2,044	2,245	2,421	2,692	2,725
韓国・朝鮮	1,033	1,026	1,042	1,069	1,084
フィリピン	543	558	572	613	614
アメリカ	197	208	221	231	252
その他	1,688	1,815	1,972	2,257	2,415
計	5,505	5,852	6,228	6,862	7,090

**No.1-1-6-2 外国人登録人口構成比【他市比較】**

出典:「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

時点:2020年1月1日現在

単位:人、%

&lt;実数&gt;

	総数					
	中国	韓国	フィリピン	アメリカ	その他	
八王子市	13,210	5,157	1,860	1,339	315	4,539
立川市	4,598	2,016	759	404	139	1,280
武蔵野市	3,364	1,188	529	108	302	1,237
三鷹市	3,943	1,227	716	188	336	1,476
青梅市	1,955	355	206	427	63	904
府中市	5,604	1,858	854	555	268	2,069
昭島市	2,784	744	488	387	66	1,099
調布市	4,824	1,702	1,059	316	161	1,586
<b>町田市</b>	<b>6,862</b>	<b>2,692</b>	<b>968</b>	<b>613</b>	<b>231</b>	<b>2,358</b>
小金井市	2,985	1,262	294	138	208	1,083
小平市	5,451	1,994	1,066	271	122	1,998
日野市	3,343	1,292	503	322	93	1,133
東村山市	3,008	1,227	461	270	44	1,006
国分寺市	2,572	1,173	387	106	76	830
国立市	1,839	730	353	75	68	613
福生市	3,809	700	213	389	101	2,406
狛江市	1,408	502	214	116	56	520
東大和市	1,185	404	192	240	32	317
清瀬市	1,308	470	153	215	33	437
東久留米市	2,221	733	320	250	221	697
武蔵村山市	1,732	599	144	368	29	592
多摩市	2,838	1,211	520	232	70	805
稲城市	1,448	440	267	165	37	539
羽村市	1,444	211	92	279	52	810
あきる野市	973	146	114	147	59	507
西東京市	5,384	2,438	922	300	159	1,565
多摩26市	90,092	32,471	13,654	8,220	3,341	32,406

## &lt;構成比&gt;

	中国	韓国	フィリピン	アメリカ	その他
八王子市	39.0	14.1	10.1	2.4	34.4
立川市	43.8	16.5	8.8	3.0	27.8
武蔵野市	35.3	15.7	3.2	9.0	36.8
三鷹市	31.1	18.2	4.8	8.5	37.4
青梅市	18.2	10.5	21.8	3.2	46.2
府中市	33.2	15.2	9.9	4.8	36.9
昭島市	26.7	17.5	13.9	2.4	39.5
調布市	35.3	22.0	6.6	3.3	32.9
<b>町田市</b>	<b>39.2</b>	<b>14.1</b>	<b>8.9</b>	<b>3.4</b>	<b>34.4</b>
小金井市	42.3	9.8	4.6	7.0	36.3
小平市	36.6	19.6	5.0	2.2	36.7
日野市	38.6	15.0	9.6	2.8	33.9
東村山市	40.8	15.3	9.0	1.5	33.4
国分寺市	45.6	15.0	4.1	3.0	32.3
国立市	39.7	19.2	4.1	3.7	33.3
福生市	18.4	5.6	10.2	2.7	63.2
狛江市	35.7	15.2	8.2	4.0	36.9
東大和市	34.1	16.2	20.3	2.7	26.8
清瀬市	35.9	11.7	16.4	2.5	33.4
東久留米市	33.0	14.4	11.3	10.0	31.4
武蔵村山市	34.6	8.3	21.2	1.7	34.2
多摩市	42.7	18.3	8.2	2.5	28.4
稲城市	30.4	18.4	11.4	2.6	37.2
羽村市	14.6	6.4	19.3	3.6	56.1
あきる野市	15.0	11.7	15.1	6.1	52.1
西東京市	45.3	17.1	5.6	3.0	29.1
多摩26市	36.0	15.2	9.1	3.7	36.0

**No.1-1-6-3 市民1万人あたり外国人登録人口【他市比較】**

出典:「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

時点:2020年1月1日現在

単位:人

	外国人 登録人口	人口総数	市民1万人 あたり外国人 登録人口	市民1万人 あたり外国人 登録人口 ランキング
八王子市	13,210	562,480	234.9	10
立川市	4,598	184,090	249.8	5
武蔵野市	3,364	146,871	229.0	11
三鷹市	3,943	188,461	209.2	13
青梅市	1,955	133,032	147.0	24
府中市	5,604	260,232	215.3	12
昭島市	2,784	113,397	245.5	6
調布市	4,824	237,054	203.5	15
<b>町田市</b>	<b>6,862</b>	<b>428,821</b>	<b>160.0</b>	<b>22</b>
小金井市	2,985	122,306	244.1	7
小平市	5,451	194,869	279.7	2
日野市	3,343	186,346	179.4	19
東村山市	3,008	151,255	198.9	16
国分寺市	2,572	125,170	205.5	14
国立市	1,839	76,280	241.1	8
福生市	3,809	57,617	661.1	1
狛江市	1,408	83,257	169.1	21
東大和市	1,185	85,301	138.9	25
清瀬市	1,308	74,636	175.3	20
東久留米市	2,221	116,916	190.0	18
武蔵村山市	1,732	72,382	239.3	9
多摩市	2,838	148,823	190.7	17
稲城市	1,448	91,540	158.2	23
羽村市	1,444	55,354	260.9	4
あきる野市	973	80,667	120.6	26
西東京市	5,384	205,125	262.5	3
多摩26市	90,092	4,182,282	215.4	

【注1】多摩26市の市民1万人あたり外国人登録人口は、26市の合計外国人登録人口/26市の合計人口

## 2 土地利用

## No.1-2-1-1 地目別土地面積構成比

出典:「町田市統計書」、庁内資料

時点:各年1月1日現在

単位:ha、%

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
宅地	3,029	3,044	3,044	3,069	3,076
構成比	47.3	47.5	47.5	47.8	47.9
田・畑・山林	1,504	1,491	1,490	1,468	1,457
構成比	23.5	23.3	23.3	22.9	22.7
その他	1,870	1,872	1,873	1,877	1,887
構成比	29.2	29.2	29.2	29.3	29.4
計	6,403	6,407	6,407	6,414	6,420

## No.1-2-1-2 地目別土地面積構成比【他市比較】

出典:「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

時点:2019年1月1日現在

単位:ha、%

	総数	宅地		田・畑・山林		その他	
			構成比		構成比		構成比
八王子市	9,061	3,840	42.4	3,678	40.6	1,543	17.0
立川市	1,388	1,082	77.9	250	18.0	56	4.1
武蔵野市	678	635	93.6	27	4.0	16	2.4
三鷹市	1,031	867	84.1	150	14.5	14	1.4
青梅市	6,036	1,261	20.9	3,660	60.6	1,114	18.5
府中市	1,513	1,301	86.0	117	7.8	95	6.3
昭島市	916	763	83.3	78	8.5	76	8.3
調布市	1,197	1,023	85.4	134	11.2	41	3.4
<b>町田市</b>	<b>4,191</b>	<b>2,836</b>	<b>67.7</b>	<b>969</b>	<b>23.1</b>	<b>386</b>	<b>9.2</b>
小金井市	668	576	86.3	68	10.1	24	3.6
小平市	1,313	1,030	78.5	176	13.4	107	8.1
日野市	1,441	1,129	78.3	188	13.0	125	8.7
東村山市	993	775	78.0	155	15.6	64	6.5
国分寺市	806	641	79.5	138	17.2	27	3.3
国立市	478	414	86.5	52	11.0	12	2.5
福生市	390	362	92.9	13	3.4	15	3.7
狛江市	399	344	86.2	38	9.6	17	4.2
東大和市	605	518	85.6	75	12.3	13	2.1
清瀬市	589	363	61.6	188	31.9	38	6.5
東久留米市	845	673	79.6	148	17.5	25	2.9
武蔵村山市	888	545	61.3	194	21.9	149	16.8
多摩市	1,011	813	80.4	68	6.8	129	12.8
稲城市	939	491	52.3	240	25.6	208	22.1
羽村市	608	544	89.6	41	6.7	22	3.7
あきる野市	3,775	835	22.1	2,197	58.2	744	19.7
西東京市	1,043	887	85.1	126	12.1	30	2.9
多摩26市	42,803	24,547	57.3	13,167	30.8	5,089	11.9

【注1】固定資産税が非課税とされている土地(国・公有地、公共用地、墓地、道路、用水路、溜池、保安林、私立学校用地、宗教法人の境内など)は除かれている。

## No.1-2-2-1 住宅地・商業地の平均公示価格

出典:「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

時点:各年1月1日現在

単位:千円/㎡

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
住宅地平均公示価格	153	156	156	156	156
商業地平均公示価格	650	665	682	698	716

**No.1-2-2-2 住宅地の平均公示価格【他市比較】****No.1-2-2-3 商業地の平均公示価格【他市比較】**

出典:「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

時点:2019年1月1日現在

単位:千円/m<sup>2</sup>

	住宅地	住宅地 ランキング	商業地	商業地 ランキング
八王子市	116	24	451	11
立川市	246	10	1,291	2
武蔵野市	551	1	1,793	1
三鷹市	405	2	799	3
青梅市	95	26	193	23
府中市	289	7	541	9
昭島市	185	16	312	17
調布市	331	4	733	4
<b>町田市</b>	<b>156</b>	<b>21</b>	<b>716</b>	<b>5</b>
小金井市	327	5	663	6
小平市	228	11	321	16
日野市	190	14	415	13
東村山市	186	15	303	18
国分寺市	285	8	594	8
国立市	336	3	621	7
福生市	164	20	293	19
狛江市	303	6	467	10
東大和市	169	19	198	22
清瀬市	185	17	351	15
東久留米市	214	13	284	20
武蔵村山市	122	23	149	26
多摩市	184	18	397	14
稲城市	220	12	250	21
羽村市	140	22	179	24
あきる野市	99	25	171	25
西東京市	284	9	416	12
多摩26市(平均)	231		496	

## II 福祉

## 1 子ども

## No.2-1-1-1 保育サービス定員

出典:庁内資料

時点:各年度4月1日現在

単位:人

		2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
認可保育所	0歳児	565	578	582	585	585
	1歳児	1,004	1,037	1,056	1,059	1,083
	2歳児	1,226	1,261	1,280	1,282	1,276
	3歳児	1,246	1,266	1,297	1,291	1,283
	4歳児	1,269	1,286	1,308	1,314	1,296
	5歳児	1,281	1,286	1,316	1,322	1,305
	計	6,591	6,714	6,839	6,853	6,828
認証保育所		244	254	205	207	202
家庭的保育者		76	76	76	78	63
認定こども園		841	885	922	1,175	1,434
小規模保育事業所		36	93	283	283	340
計		7,788	8,022	8,325	8,596	8,867

## No.2-1-1-2 保育サービス提供率

出典:庁内資料

時点:各年度4月1日現在

単位:%

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
保育サービス提供率	40.0	42.0	44.4	47.0	50.0

【注】保育サービス提供率=(認可保育所+認証保育所+家庭的保育者+認定こども園+小規模保育事業所の定員数)÷未就学児童数×100

## No.2-1-1-3 保育所等の入所児童数

出典:「町田市統計書」、庁内資料

時点:各年度5月1日現在(認可保育所)、各年度4月1日現在(認可保育所以外)

単位:人

		2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
認可保育所	0歳児	562	554	569	561	529
	1歳児	1,097	1,057	1,070	1,097	1,053
	2歳児	1,281	1,271	1,266	1,272	1,245
	3歳児	1,238	1,225	1,219	1,213	1,212
	4歳児	1,225	1,229	1,233	1,228	1,195
	5歳児	1,240	1,204	1,250	1,250	1,215
	計	6,643	6,540	6,607	6,621	6,449
認証保育所		208	221	165	159	154
家庭的保育者		68	74	67	72	60
認定こども園		712	818	901	1,122	1,344
小規模保育事業所		32	81	255	267	313
計		7,663	7,734	7,995	8,241	8,320

## No.2-1-1-4 延長保育実施保育所数

出典:庁内資料

時点:各年度4月1日現在

単位:所

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
1時間実施	27	28	28	28	28
2時間実施	41	41	42	42	42
3~4時間実施	2	2	2	2	2
計	70	71	72	72	72

**No.2-1-2-1 待機児童数**

出典:庁内資料

時点:各年度4月1日現在

単位:人

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
0歳児	51	27	24	19	2
1歳児	126	93	84	81	63
2歳児	40	23	16	28	11
3歳児	11	3	2	2	0
4歳児	0	0	0	0	0
5歳児	1	0	1	0	0
計	229	146	127	130	76

【注1】待機児童数=(認可保育所に申し込んだが入所できなかった児童数)－

(第1希望しか希望しなかった人+第2・3希望なら入所できたが断った人+何らかの保育施設に入所した人)

**No.2-1-2-2 待機児童数の就学前児童人口比率【他市比較】**

出典:「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

時点:2020年4月1日現在(待機児童数)、2020年1月1日現在(就学前児童人口)

単位:人、%

	就学前 児童人口	待機 児童数	就学前 児童人口 比率	就学前 児童人口 比率 ランキング
八王子市	22,118	25	0.11	4
立川市	8,543	47	0.55	12
武蔵野市	7,165	0	0.00	1
三鷹市	9,204	92	1.00	19
青梅市	4,725	4	0.08	3
府中市	12,784	86	0.67	14
昭島市	5,345	27	0.51	11
調布市	12,122	149	1.23	23
<b>町田市</b>	<b>18,073</b>	<b>130</b>	<b>0.72</b>	<b>15</b>
小金井市	6,286	97	1.54	25
小平市	9,998	159	1.59	26
日野市	8,908	38	0.43	8
東村山市	6,415	58	0.90	18
国分寺市	6,176	94	1.52	24
国立市	3,325	27	0.81	17
福生市	2,140	0	0.00	1
狛江市	4,236	49	1.16	22
東大和市	4,027	19	0.47	10
清瀬市	3,148	19	0.60	13
東久留米市	5,324	24	0.45	9
武蔵村山市	3,322	37	1.11	21
多摩市	6,179	50	0.81	16
稲城市	5,023	8	0.16	6
羽村市	2,289	4	0.17	7
あきる野市	3,400	4	0.12	5
西東京市	9,533	97	1.02	20
多摩26市	189,808	1,344	0.71	

【注1】就学前児童人口は、外国人人口を含まない。

【注2】この表の26市ランキングについては、数値の小さい市から並べている。

【注3】多摩26市の就学前児童人口比率は、26市の合計待機児童数/26市の合計就学前児童人口×100

**No.2-1-2-3 待機率**

出典:庁内資料

時点:各年度4月1日現在(待機児童数)、各年度5月1日現在(入所児童数)

単位:%

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
0歳児	9.1	4.9	4.2	3.4	0.4
1歳児	11.5	8.8	7.9	7.4	6.0
2歳児	3.1	1.8	1.3	2.2	0.9
3歳児	0.9	0.2	0.2	0.2	0.0
4歳児	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5歳児	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0
計	3.4	2.2	1.9	2.0	1.2

【注1】待機率=待機児童数/認可保育所の入所児童数×100

**No.2-1-2-4 待機率【他市比較】**

出典:「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

時点:2020年4月1日現在

単位:人、%

	入所児童数	待機児童数	待機率	待機率 ランキング
八王子市	10,288	25	0.2	5
立川市	3,799	47	1.2	12
武蔵野市	2,680	0	0.0	1
三鷹市	3,826	92	2.4	19
青梅市	2,942	4	0.1	3
府中市	5,407	86	1.6	14
昭島市	2,652	27	1.0	9
調布市	5,768	149	2.6	21
<b>町田市</b>	<b>6,645</b>	<b>130</b>	<b>2.0</b>	<b>16</b>
小金井市	2,583	97	3.8	25
小平市	3,648	159	4.4	26
日野市	3,908	38	1.0	8
東村山市	2,378	58	2.4	20
国分寺市	2,921	94	3.2	24
国立市	1,565	27	1.7	15
福生市	1,318	0	0.0	1
狛江市	1,871	49	2.6	23
東大和市	1,862	19	1.0	10
清瀬市	1,294	19	1.5	13
東久留米市	2,167	24	1.1	11
武蔵村山市	1,891	37	2.0	17
多摩市	2,422	50	2.1	18
稲城市	2,003	8	0.4	7
羽村市	1,160	4	0.3	6
あきる野市	1,715	4	0.2	4
西東京市	3,733	97	2.6	22
多摩26市	82,446	1,344	1.6	

【注1】待機率＝待機児童数／認可保育所の入所児童数×100

【注2】この表の26市ランキングについては、数値の小さい市から並べている。

【注3】多摩26市の待機率は、26市の合計待機児童数／26市の合計入所児童数×100

**No.2-1-3-1 学童保育クラブ入会児童数**

出典:庁内資料

時点:各年度4月1日現在

単位:人

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
入会児童数	3,752	3,667	3,729	3,756	4,124

【注1】町田市では、年度当初において学童保育の利用希望があった者全員の受け入れを行っている。

【注2】2021年度からは高学年(4年～6年)の受け入れを開始。

**No.2-1-3-2 1～3年生児童に占める学童保育クラブ入会児童の割合**

出典:「町田市統計書」、庁内資料

時点:各年度4月1日現在(入会児童数)、各年度5月1日現在(1～3年生児童数)

単位:人、%

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
入会児童数	3,752	3,667	3,729	3,756	3,658	
市立小学校 児童数	1年生	3,661	3,433	3,444	3,328	3,318
	2年生	3,770	3,680	3,456	3,448	3,358
	3年生	3,718	3,781	3,701	3,487	3,485
計	11,149	10,894	10,601	10,263	10,161	
入会児童数の割合	33.7	33.7	35.2	36.6	36.0	

**No.2-1-3-3 1クラブあたり入会児童数【他市比較】**

出典:「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

時点:2019年3月31日現在

単位:人、クラブ

	入会 児童数	クラブ数	入会児童 数/クラブ 数	入会児童 数/クラブ 数 ランキング
八王子市	6,123	126	48.6	8
立川市	1,735	36	48.2	5
武蔵野市	1,083	15	72.2	26
三鷹市	1,668	29	57.5	18
青梅市	1,433	35	40.9	3
府中市	2,029	42	48.3	6
昭島市	1,203	21	57.3	17
調布市	1,938	37	52.4	10
<b>町田市</b>	<b>3,651</b>	<b>65</b>	<b>56.2</b>	<b>14</b>
小金井市	987	18	54.8	13
小平市	1,735	33	52.6	11
日野市	1,946	41	47.5	4
東村山市	1,559	25	62.4	25
国分寺市	1,205	20	60.3	21
国立市	673	18	37.4	2
福生市	746	12	62.2	23
狛江市	582	12	48.5	7
東大和市	756	13	58.2	20
清瀬市	681	19	35.8	1
東久留米市	1,158	20	57.9	19
武蔵村山市	739	13	56.8	15
多摩市	1,599	28	57.1	16
稲城市	749	15	49.9	9
羽村市	631	12	52.6	12
あきる野市	986	16	61.6	22
西東京市	2,114	34	62.2	24
多摩26市	39,709	755	52.6	

【注1】この表の26市ランキングについては、数値の小さい市から並べている。

【注2】多摩26市の入会児童数/クラブ数は、26市の合計入会児童数/26市の合計クラブ数

**No.2-1-4-1 児童手当受給者数、支給額**

出典:「町田市統計書」、庁内資料

時点:各年度2月末現在(受給者数) 期間:各年度4月1日～3月31日(支給額)

単位:人、千円

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
新児童手当 受給者数	34,199	33,614	32,989	32,452	31,808
新児童手当 支給額	6,697,220	6,585,160	6,464,155	6,322,400	6,194,375

【注1】2012年4月から制度開始(旧児童手当法の改正による)

**No.2-1-4-2 児童育成手当受給者数、支給額**

出典:「町田市統計書」、庁内資料

時点:各年度3月31日現在(受給者数) 期間:各年度4月1日～3月31日(支給額)

単位:人、千円

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
受給者数	6,071	6,088	6,004	5,881	5,748
支給額	1,062,385	1,044,729	1,036,830	1,025,707	1,005,406

**No.2-1-5-1 乳幼児医療対象者数**

出典:庁内資料

時点:各年度3月31日現在

単位:人

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
医療対象者	22,707	22,209	21,721	21,297	20,792

**No.2-1-5-2 乳幼児医療助成金額、助成件数**

出典: 庁内資料

期間: 各年度4月1日～3月31日

単位: 件、千円

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
医療費助成件数	396,815	392,665	385,179	369,383	264,560
現物給付	390,267	386,333	378,361	363,496	260,164
現金給付	6,548	6,332	6,818	5,887	4,396
助成金額	668,459	649,120	642,040	625,158	474,554
現物給付	601,956	584,125	568,380	550,285	415,697
現金給付	66,503	64,995	73,660	74,873	58,857

【注1】現物給付とは、医療証を医療機関の窓口に掲示し医療給付を受けることをいう。

【注2】現金給付とは、支払った医療費を市に申請し給付を受けることをいう。

**No.2-1-6-1 ひとり親家庭医療費助成医療証交付世帯数**

出典: 庁内資料

時点: 各年度3月31日現在

単位: 世帯

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
ひとり親家庭医療費助成医療証交付世帯数	2,795	2,718	2,734	2,685	2,602

**No.2-1-6-2 ひとり親家庭医療費助成金額、助成件数**

出典: 庁内資料

期間: 各年度4月1日～3月31日

単位: 件、千円

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
助成件数	60,288	60,813	61,898	60,965	52,993
現物給付	56,562	57,220	58,489	57,831	50,280
現金給付	3,726	3,593	3,409	3,134	2,713
助成金額	163,159	157,235	159,377	153,762	141,456
現物給付	142,496	138,334	142,033	138,019	125,778
現金給付	20,663	18,901	17,344	15,743	15,678

【注1】現物給付とは、医療証を医療機関の窓口に掲示し医療給付を受けることをいう。

【注2】現金給付とは、支払った医療費を市に申請し給付を受けることをいう。

**2 高齢者****No.2-2-1-1 高齢者生活支援事業利用延べ回数**

出典: 庁内資料

時点: 各年度末現在

単位: 回

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
食事サービス	39,467	44,186	48,594	50,245	53,407
紙おむつ支給	962	919	910	984	1,038
火災安全単品給付	19	17	23	14	20
寝具乾燥	467	262	249	222	232
計	40,915	45,384	49,776	51,465	54,697

【注1】「緊急通報システム」は、集計方法変更のため「町田市データブック2021年度」では削除。

**No.2-2-1-2 地域包括支援センター数、相談件数**

出典: 庁内資料

時点: 各年度4月1日現在(地域包括支援センター数)、各年度末現在(相談件数)

単位: 箇所、件

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
地域包括支援センター数	12	12	12	12	13
相談件数	59,827	81,826	86,792	82,716	84,063

【注1】相談対象者は、要支援1、要支援2認定者。

【注2】地域包括支援センター数とは、「高齢者支援センター」と「医療と介護の連携支援センター」(2020年4月1日設置)の合計。  
地域包括支援センターへの名称変更に伴い、グラフタイトル等の名称を変更。**No.2-2-1-3 成年後見制度相談新規受付者数(高齢者)**

出典: 庁内資料

期間: 各年度4月1日～3月31日

単位: 人

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
相談新規受付者数	550	520	557	535	421

【注1】高齢者とは、65歳以上の者のことをいう。

**No.2-2-2-1 高齢者住宅(シルバーピア)入居戸数**

出典:庁内資料

時点:各年度10月1日現在

単位:戸

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
公営住宅型	386	366	374	380	383
借り上げ型	30	26	32	33	32
計	416	392	406	413	415

**No.2-2-2-2 老人ホーム等入所者数**

出典:「町田市統計書」、庁内資料

時点:各年度末現在

単位:人

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
養護老人ホーム	60	57	56	56	56
介護老人福祉施設	24,063	24,426	25,122	25,760	25,675
介護老人保健施設	7,910	7,720	7,666	7,528	7,445
介護療養型医療施設	2,096	2,121	1,832	1,820	1,484
計	34,129	34,324	34,676	35,164	34,660

【注1】介護療養型医療施設とは、介護が必要な方で、長期にわたって療養が必要な方や認知症のある方などに対し、療養上の管理、看護、介護及び機能訓練などを行う施設。

【注2】介護老人保健施設とは、病状が安定して入院する必要のない方で、在宅生活に向けてリハビリや介護が必要な方に対し、機能訓練や日常生活への支援を行う施設。

【注3】介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)とは、介護が必要な方で、寝たきりや認知症等で在宅での生活が困難な方に対し、入浴、排泄、食事などの介護を行う施設。

【注4】養護老人ホームとは、身体の衰えや、家族の事情により居宅において生活することが困難で、かつ、経済的にも他の施設に入所することが困難な方が市の措置によって入所する施設。

**No.2-2-2-3 住宅設備改修給付・住宅改修予防給付利用件数**

出典:庁内資料

時点:各年度末現在

単位:件

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
住宅改修予防給付	4	0	12	5	5
住宅設備改修給付	100	88	71	69	47
計	104	88	83	74	52

【注1】住宅改修予防給付は、介護保険非該当の方のうち、援助が必要な方が対象。

【注2】住宅設備改修給付は、介護保険とは異なる制度。

**No.2-2-2-4 住宅改修支援事業(住宅改修アドバイザー)延べ利用回数**

出典:庁内資料

時点:各年度末現在

単位:回

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
延べ利用回数	344	228	210	226	181

**No.2-2-3-1 第1号被保険者数、人口に占める第1号被保険者の割合**

出典:「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

時点:各年1月末現在(第1号被保険者数)、各年2月1日現在(人口)

単位:人、%

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
第1号被保険者数	108,448	112,568	113,795	114,777	115,712
人口に占める第1号被保険者の割合	25.4	26.3	26.5	26.8	27.0

【注1】第1号被保険者とは、65歳以上の方をいう。

**No.2-2-3-2 人口に占める第1号被保険者の割合【他市比較】**

出典:「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

時点:2020年1月末現在(第1号被保険者数)、2020年1月1日現在(人口) 単位:人、%

	第1号被保険者数	第1号被保険者数／人口	第1号被保険者数／人口 ランキング
八王子市	150,421	26.7	8
立川市	44,722	24.3	15
武蔵野市	32,835	22.4	20
三鷹市	41,113	21.8	23
青梅市	38,678	29.1	1
府中市	57,297	22.0	22
昭島市	29,408	25.9	11
調布市	51,158	21.6	24
<b>町田市</b>	<b>114,777</b>	<b>26.8</b>	<b>7</b>
小金井市	26,204	21.4	25
小平市	45,129	23.2	19
日野市	46,272	24.8	14
東村山市	39,971	26.4	9
国分寺市	27,625	22.1	21
国立市	17,871	23.4	18
福生市	14,864	25.8	13
狛江市	20,105	24.1	16
東大和市	23,157	27.1	6
清瀬市	20,876	28.0	5
東久留米市	33,268	28.5	3
武蔵村山市	18,950	26.2	10
多摩市	42,301	28.4	4
稲城市	19,427	21.2	26
羽村市	14,311	25.9	12
あきる野市	23,230	28.8	2
西東京市	49,027	23.9	17
多摩26市	1,042,997	24.9	

【注1】多摩26市の第1号被保険者数／人口は、26市の合計第1号被保険者数／26市の合計人口×100

**No.2-2-3-3 第1号被保険者に占める要介護(要支援)認定者(第1号)の割合【他市比較】**

出典:「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会 時点:2020年1月末現在 単位:人、%

	第1号被保険者数	要介護(要支援)認定者数	認定者数／第1号被保険者数	認定者数／第1号被保険者数 ランキング
八王子市	150,421	27,992	18.6	12
立川市	44,722	8,414	18.8	14
武蔵野市	32,835	6,414	19.5	16
三鷹市	41,113	7,632	18.6	10
青梅市	38,678	5,898	15.2	5
府中市	57,297	11,067	19.3	15
昭島市	29,408	5,397	18.4	8
調布市	51,158	10,226	20.0	19
<b>町田市</b>	<b>114,777</b>	<b>21,448</b>	<b>18.7</b>	<b>13</b>
小金井市	26,204	5,251	20.0	20
小平市	45,129	9,171	20.3	23
日野市	46,272	9,079	19.6	17
東村山市	39,971	8,116	20.3	22
国分寺市	27,625	5,436	19.7	18
国立市	17,871	3,590	20.1	21
福生市	14,864	2,269	15.3	6
狛江市	20,105	4,197	20.9	25
東大和市	23,157	4,303	18.6	11
清瀬市	20,876	4,369	20.9	26
東久留米市	33,268	6,134	18.4	9
武蔵村山市	18,950	2,807	14.8	3
多摩市	42,301	5,756	13.6	1
稲城市	19,427	2,792	14.4	2
羽村市	14,311	2,160	15.1	4
あきる野市	23,230	3,575	15.4	7
西東京市	49,027	10,209	20.8	24
多摩26市	1,042,997	193,702	18.6	

【注1】この表の26市ランキングについては、数値の小さい市から並べている。

【注2】多摩26市の認定者数／第1号被保険者数は、26市の合計要介護(要支援)認定者数／26市の合計第1号被保険者数×100

**No.2-2-3-4 介護保険認定者数(第1号、第2号)**

出典:「町田市統計書」、庁内資料

時点:各年度末現在

単位:人

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
要支援1	3,250	3,393	3,890	4,027	4,093
要支援2	1,964	1,942	2,230	2,382	2,444
要介護1	4,654	4,917	4,997	5,113	5,251
要介護2	3,258	3,356	3,379	3,427	3,356
要介護3	2,310	2,328	2,387	2,486	2,594
要介護4	2,210	2,166	2,247	2,389	2,553
要介護5	2,002	2,152	2,136	2,088	2,016
計	19,648	20,254	21,266	21,912	22,307

**No.2-2-4-1 サービス受給割合(第1号)【他市比較】**

出典:「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

時点:2020年1月末現在

単位:人、%

	要介護(要支援)認定者数	居宅介護(支援)サービス		地域密着型サービス		施設介護サービス	
		受給者数	受給割合	受給者数	受給割合	受給者数	受給割合
八王子市	27,992	14,809	67.5	3,473	15.8	3,645	16.6
立川市	8,414	4,823	67.9	1,023	14.4	1,258	17.7
武蔵野市	6,414	3,880	71.5	553	10.2	993	18.3
三鷹市	7,632	4,695	72.2	860	13.2	950	14.6
青梅市	5,898	2,785	60.7	500	10.9	1,301	28.4
府中市	11,067	6,212	71.4	1,064	12.2	1,425	16.4
昭島市	5,397	3,089	64.9	681	14.3	987	20.7
調布市	10,226	5,984	74.3	864	10.7	1,208	15.0
<b>町田市</b>	<b>21,448</b>	<b>12,782</b>	<b>70.5</b>	<b>2,498</b>	<b>13.8</b>	<b>2,858</b>	<b>15.8</b>
小金井市	5,251	3,100	69.4	675	15.1	689	15.4
小平市	9,171	5,052	72.1	884	12.6	1,072	15.3
日野市	9,079	4,995	70.4	865	12.2	1,236	17.4
東村山市	8,116	4,728	68.3	925	13.4	1,267	18.3
国分寺市	5,436	3,225	69.6	751	16.2	655	14.1
国立市	3,590	2,044	70.8	394	13.6	449	15.6
福生市	2,269	1,310	66.7	172	8.8	483	24.6
狛江市	4,197	2,664	74.3	438	12.2	483	13.5
東大和市	4,303	2,389	72.8	281	8.6	611	18.6
清瀬市	4,369	2,621	71.8	372	10.2	655	18.0
東久留米市	6,134	3,622	71.7	617	12.2	813	16.1
武蔵村山市	2,807	1,663	66.5	337	13.5	500	20.0
多摩市	5,756	3,843	72.0	695	13.0	797	14.9
稲城市	2,792	1,637	67.2	373	15.3	427	17.5
羽村市	2,160	1,122	66.7	145	8.6	414	24.6
あきる野市	3,575	1,839	60.0	342	11.2	885	28.9
西東京市	10,209	6,606	70.6	1,418	15.1	1,337	14.3
多摩26市	193,702	111,519	69.6	21,200	13.2	27,398	17.1

【注1】多摩26市の受給割合は、26市の合計受給者数/26市の合計受給者数の3サービス計×100

**No.2-2-5-1 受給者1人あたり後期高齢者医療費給付額、件数**

出典:東京都後期高齢者医療広域連合資料

時点:各年度平均(受給者数)、期間:各年度4月1日～3月31日(給付額、給付件数)

単位:人、千円、件

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
受給者数	51,783	54,570	57,195	59,459	60,762
医療費給付額	40,270,120	42,393,367	44,785,818	47,413,227	45,969,860
医療費給付件数	1,755,343	1,864,792	1,959,642	2,045,005	1,910,486
受給者1人あたり給付額	778	777	783	797	757
受給者1人あたり給付件数	34	34	34	34	31

**No.2-2-6-1 老人クラブ数、会員数**

出典:「町田市統計書」、庁内資料

時点:各年度末現在

単位:クラブ、人

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
クラブ数	124	122	122	120	111
会員数	8,412	8,204	8,028	7,656	6,775

**No.2-2-6-2 シルバー人材センター会員数、受託件数**

出典:「町田市シルバー人材センター事業実施状況報告書」、庁内資料

時点:各年度末現在

単位:人、件

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
会員数	2,865	2,764	2,804	2,866	2,719
受託件数	15,303	15,615	15,175	14,759	12,534

**No.2-2-7-1 高齢者福祉センター利用者数**

出典:「町田市統計書」、庁内資料

時点:各年度末現在

単位:人

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
ふれあい桜館	31,685	19,751	29,054	25,769	7,063
ふれあいもみじ館	26,102	24,832	22,582	19,615	6,599
ふれあいいちよう館	34,664	34,050	33,414	22,328	6,631
ふれあいまつこく館	32,314	33,968	32,670	29,578	5,727
ふれあいくぬぎ館	55,124	53,981	52,967	44,761	8,319
ふれあいやき館	16,992	7,204	14,023	12,922	3,809
計	196,881	173,786	184,710	154,973	38,148

**No.2-2-7-2 町田市、相模原市の高齢者福祉センター相互利用数**

出典:庁内資料

時点:各年度3月末現在

単位:人

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
町田市の高齢者福祉センターを利用した60歳以上の相模原市民数	11,214	10,336	6,065	8,559	7,361
相模原市の高齢者福祉センターを利用した60歳以上の町田市民数	2,703	2,568	2,238	2,648	2,911

**3 障がい者****No.2-3-1-1 知的障がい者「愛の手帳」、身体障害者手帳所持者数**

出典:「町田市統計書」、庁内資料

時点:各年1月1日現在

単位:人

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
知的障がい者「愛の手帳」所持者数	3,137	3,258	3,337	3,411	3,475
身体障害者手帳所持者数	11,773	11,947	11,958	11,998	11,962

**No.2-3-1-2 成年後見制度相談新規受付者数(障がい者)**

出典:庁内資料

期間:各年度4月1日～3月31日

単位:人

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
成年後見制度相談 新規受付者数(障がい者)	79	94	69	80	59

【注1】障がい者とは、知的障がいまたは精神障がい者の内、64歳以下の者のことをいう。

**No.2-3-2-1 障がい者雇用率**

出典:「町田市統計書」、庁内資料

時点:各年6月1日現在

単位:%

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
障がい者雇用率	1.81	1.82	1.83	1.84	1.80

## 4 保健・医療

## No.2-4-1-1 医療施設数

出典:「町田市統計書」、庁内資料

時点:各年度末現在

単位:施設

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
病院	21	20	20	20	20
一般診療所	318	328	329	341	338
歯科診療所	232	231	235	233	237
助産所	3	3	4	4	6
施術所	352	364	353	355	362
薬局	166	172	172	174	178
計	1,092	1,118	1,113	1,127	1,141

## No.2-4-1-2 病院病床数(総病床、一般病床)

出典:「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

時点:各年10月1日現在

単位:床

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
総病床数	4,050	4,190	4,190	4,190	4,100
一般病床数	1,559	1,579	1,530	1,533	1,533

## No.2-4-1-3 市民1千人あたり病院病床数(総病床、一般病床)

出典:「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

時点:各年10月1日現在

単位:床

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
市民1千人あたり総病床数	9.5	9.8	9.8	9.8	9.6
市民1千人あたり一般病床数	3.7	3.7	3.6	3.6	3.6

## No.2-4-1-4 市民1千人あたり病院病床数(総病床、一般病床)【他市比較】

出典:「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

時点:2018年10月1日現在(病床数)、2019年1月1日現在(人口)

単位:床

	総病床数	一般病床数	市民1千人あたり総病床数	市民1千人あたり総病床数 ランキング	市民1千人あたり一般病床数	市民1千人あたり一般病床数 ランキング
八王子市	8,563	2,625	15.2	6	4.7	15
立川市	1,590	1,380	8.6	16	7.5	8
武蔵野市	1,125	977	7.7	17	6.7	10
三鷹市	2,910	1,460	15.5	5	7.8	7
青梅市	4,588	712	34.2	1	5.3	13
府中市	3,619	2,388	13.9	8	9.2	3
昭島市	1,782	1,005	15.7	4	8.9	4
調布市	1,601	501	6.8	19	2.1	21
<b>町田市</b>	<b>4,100</b>	<b>1,533</b>	<b>9.6</b>	<b>13</b>	<b>3.6</b>	<b>18</b>
小金井市	1,140	248	9.4	14	2.0	22
小平市	2,342	1,076	12.1	9	5.6	12
日野市	1,210	448	6.5	20	2.4	20
東村山市	2,431	1,321	16.1	3	8.8	5
国分寺市	251	42	2.0	25	0.3	26
国立市	66	66	0.9	26	0.9	25
福生市	688	592	11.8	10	10.2	2
狛江市	717	534	8.7	15	6.5	11
東大和市	412	412	4.8	22	4.8	14
清瀬市	2,052	914	27.5	2	12.2	1
東久留米市	330	147	2.8	24	1.3	23
武蔵村山市	839	623	11.6	11	8.6	6
多摩市	2,217	1,115	14.9	7	7.5	9
稲城市	911	290	10.1	12	3.2	19
羽村市	246	60	4.4	23	1.1	24
あきる野市	578	365	7.1	18	4.5	16
西東京市	1,316	877	6.5	21	4.3	17
多摩26市	47,624	21,711	11.4		5.2	

【注】多摩26市の市民1千人あたり総病床数は、26市の合計総病床数÷26市の合計人口

**No.2-4-2-1 医療従事者数**

出典:「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

時点:各年12月末現在

単位:人

	2010年	2012年	2014年	2016年	2018年
医師	576	576	584	611	625
歯科医師	347	347	296	313	290
薬剤師	911	911	942	975	1,033
看護師、准看護師	2,734	2,563	2,853	2,934	2,750
保健師、助産師	144	125	113	150	135
計	4,712	4,522	4,788	4,983	4,833

**No.2-4-2-2 市民1千人あたり医師数**

出典:庁内資料

時点:各年12月31日現在(医師数)、翌年1月1日現在(人口)

単位:人

	2010年	2012年	2014年	2016年	2018年
1千人あたり医師数	1.36	1.35	1.37	1.43	1.46

**No.2-4-2-3 市民1千人あたり医師数【他市比較】**

出典:「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

時点:2018年12月31日現在(医師数)、2019年1月1日現在(人口)

単位:人

	医師数	市民1千人あたり医師数	市民1千人あたり医師数 ランキング
八王子市	1,066	1.90	11
立川市	608	3.31	5
武蔵野市	507	3.46	3
三鷹市	1,021	5.45	1
青梅市	344	2.57	8
府中市	973	3.74	2
昭島市	172	1.52	15
調布市	301	1.28	21
<b>町田市</b>	<b>625</b>	<b>1.46</b>	<b>17</b>
小金井市	155	1.28	22
小平市	473	2.44	9
日野市	240	1.29	20
東村山市	251	1.66	13
国分寺市	126	1.02	24
国立市	100	1.32	19
福生市	123	2.11	10
狛江市	275	3.33	4
東大和市	133	1.55	14
清瀬市	230	3.08	6
東久留米市	73	0.62	26
武蔵村山市	125	1.72	12
多摩市	432	2.90	7
稲城市	133	1.47	16
羽村市	44	0.79	25
あきる野市	117	1.45	18
西東京市	241	1.19	23
多摩26市	8,888	2.13	

【注1】多摩26市の市民1千人あたり医師数は、26市の合計医師数/26市の合計人口

**No.2-4-3-1 市民病院の外来患者数、入院患者数**

出典:「町田市統計書」、病院年報、庁内資料

期間:各年度4月1日～3月31日

単位:人

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
外来患者	299,773	281,386	274,809	261,405	226,469
入院患者	132,207	128,914	128,002	127,406	111,994

**No.2-4-4-1 救急診療延べ病院数、受診患者数**

出典:「町田市統計書」、庁内資料

期間:各年度4月1日～3月31日

単位:施設、人

	2016年度		2017年度		2018年度		2019年度		2020年度	
	病院数	患者数	病院数	患者数	病院数	患者数	病院数	患者数	病院数	患者数
平日・土曜日の時間外及び夜間における救急患者診療	293	3,692	290	3,465	292	3,432	290	3,297	293	2,242
休祝日における救急患者診療	216	7,769	216	7,496	219	8,370	228	7,583	216	4,668
休祝日における急病患者診療(初診)	218	6,909	216	6,472	219	6,432	228	6,262	216	2,442
計	727	18,370	722	17,433	730	18,234	746	17,142	725	9,352

【注1】救急診療延べ病院数とは、平日・土曜日の時間外及び夜間における救急患者診療、休祝日における救急患者診療、休祝日における急病患者診療(初診)の1年度の実施病院数の合計をいう。

**No.2-4-4-2 小児準夜急病診療患者数、休日歯科応急診療患者数**

出典:「町田市統計書」、庁内資料

期間:各年度4月1日～3月31日

単位:人

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
小児準夜急病診療患者数	11,309	11,058	10,007	9,360	2,477
休日歯科応急診療患者数	500	482	470	519	325

【注1】小児準夜急病診療と休日歯科応急診療は、健康福祉会館内で実施。

【注2】2016年4月24日から日中帯診療が開始。

**No.2-4-5-1 特定健診受診者数、受診率**

出典:特定健診・特定保健指導実施結果報告

期間:各年度4月1日～3月31日

単位:人、%

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
対象者数	72,822	68,889	65,824	62,736	60,779
受診者数	34,163	31,359	29,776	28,531	27,354
受診率	46.9	45.5	45.2	45.5	45.0

【注1】40歳から74歳以下の町田市国民健康保険被保険者が対象。

**No.2-4-5-2 がん検診受診者数**

出典:「町田市統計書」、庁内資料

単位:人

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
胃がんリスク	8,482	6,575	5,812	3,461	3,178
子宮頸がん	11,198	11,145	11,788	8,074	9,409
乳がん	7,556	7,609	7,845	7,413	7,732
大腸がん	21,674	21,817	22,038	21,794	22,453
前立腺がん	3,199	3,074	2,874	2,728	2,206
計	52,109	50,220	50,357	43,470	44,978

【注1】胃がんリスク健診は、2013年度は10月～2月の期間で、55～64歳の方を対象に実施、

2014～2018年度は5月～2月の期間で、35歳以上の方を対象に実施。2019年度以降は5月～2月の期間で、30歳以上の方を対象に実施。

【注2】胃がん検診は、2014年度から胃がんリスク検診に移行したため胃がん検診としては廃止。

【注3】子宮頸がん検診は、2005～2018年度は20歳以上の女性、2019年度以降は20歳以上の偶数年齢の女性の方を対象に実施。

【注4】乳がん検診は、2004年度から対象年齢が40～70歳に変更。2010年度から70歳までの年齢制限廃止。

【注5】肺がん検診は、2014年度から特定健診の胸部エックス線検査に統合したため肺がん検診としては廃止。

【注6】大腸がん検診は、40歳以上の方を対象に実施。

【注7】前立腺がん検診は、2009年度から対象年齢が50～70歳の男性の方へ変更。2020年度をもって検診を終了。

【注8】胃がん検診、肺がん検診は、廃止のためデータブック2021年度版から削除。

**No.2-4-5-3 妊産婦、新生児、乳幼児訪問指導実施件数**

出典:庁内資料

期間:各年度4月1日～3月31日

単位:件

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
訪問指導実施件数	5,709	5,788	5,361	5,368	4,056

**No.2-4-5-4 予防接種の接種者数**

出典:「町田市統計書」、庁内資料

期間:各年度4月1日～3月31日

単位:人

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
三種混合	1	0	1	2	14
二種混合	2,834	2,847	3,193	3,032	3,154
ポリオ	356	225	50	9	0
その他	67,330	62,766	66,011	62,368	64,796
総数	70,521	65,838	69,255	65,411	67,964

【注1】「その他」は、麻しん(はしか)、風しん、MR混合、日本脳炎、BCG、四種混合、HIB、小児用肺炎球菌、子宮頸がん、水痘、B型肝炎の合計。

【注2】四種混合ワクチン(三種混合ワクチン+ポリオワクチン)への移行に伴い、三種混合ワクチンとポリオワクチンの接種本数が減少、市場での取り扱いも2016年度中に終了。

**No.2-4-6-1 主要死因別死亡数**

出典:「町田市統計書」、庁内資料

期間:各年1月1日～12月31日

単位:人

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
悪性新生物	1,141	1,087	1,111	1,131	1,159
心疾患	554	549	592	627	698
脳血管疾患	270	267	300	289	322
肺炎	340	355	285	263	258
その他	1,218	1,308	1,495	1,555	1,634
計	3,523	3,566	3,783	3,865	4,071

**5 生活保護****No.2-5-1-1 被保護人員、保護率(人員)****No.2-5-1-2 被保護世帯数、保護率(世帯)**

出典:「町田市統計書」、庁内資料

時点:各年度月平均

単位:人、%、世帯

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
被保護人員	7,747	7,834	7,857	7,788	7,728
保護率(人員)	18.1	18.3	18.3	18.2	18.0
月平均人口	428,273	428,950	428,668	428,960	429,237
被保護世帯	5,454	5,605	5,666	5,695	5,794
保護率(世帯)	28.4	28.9	29.0	28.8	29.0
月平均世帯数	192,042	193,989	195,485	197,557	199,935

【注1】保護率(人員)＝被保護人員(月平均)／町田市人口(月平均)×1,000

【注2】保護率(世帯)＝被保護世帯数(月平均)／町田市世帯数(月平均)×1,000

**No.2-5-1-3 年齢区分別被保護人員構成比**

出典:「町田市統計書」、庁内資料

時点:2021年3月末現在(被保護人員)、2021年4月1日現在(人口)

単位:人、%

	被保護人員		(参考)町田市人口	
	人数	割合	人数	割合
0～19歳	984	12.7	73,675	17.1
20～59歳	2,862	37.0	216,568	50.4
60歳～	3,894	50.3	139,402	32.4
計	7,740	100.0	429,645	100.0

**No.2-5-1-4 保護率(人員)【他市比較】**

出典:「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

時点:2019年度平均

単位:人、‰

	被保護人員	被保護率	被保護率 ランキング
八王子市	9,398	16.3	14
立川市	4,982	27.5	2
武蔵野市	1,897	12.8	23
三鷹市	3,133	16.3	14
青梅市	2,927	21.9	5
府中市	5,264	19.9	7
昭島市	2,180	19.5	9
調布市	3,085	12.9	22
<b>町田市</b>	<b>7,788</b>	<b>17.9</b>	<b>12</b>
小金井市	1,760	14.0	20
小平市	3,205	16.3	14
日野市	2,678	14.1	19
東村山市	3,294	21.9	5
国分寺市	1,185	9.3	26
国立市	1,146	15.2	17
福生市	1,113	19.3	10
狛江市	1,157	13.8	21
東大和市	1,913	22.7	4
清瀬市	2,182	29.0	1
東久留米市	2,244	19.3	10
武蔵村山市	1,716	24.0	3
多摩市	2,478	16.8	13
稲城市	1,111	12.1	25
羽村市	827	15.1	18
あきる野市	986	12.3	24
西東京市	4,033	19.6	8
多摩26市	73,682	17.6	

【注1】保護率算定の基礎人口は、東京都総務局「東京都の人口(推計)」(2019年10月1日)による。

【注2】多摩26市の被保護率は、26市の合計被保護人員/26市の合計人口×1000

**6 国民健康保険・国民年金****No.2-6-1-1 国民健康保険被保険者数、加入割合**

出典:国民健康保険事業譲許報告書(事業年報)

時点:各年度末現在(被保険者数)、翌年度4月1日現在(人口)

単位:人、%

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
一般被保険者	99,655	95,177	90,985	88,289	87,140
退職被保険者等	1,431	607	121	5	0
計	101,086	95,784	91,106	88,294	87,140
加入割合	23.6	22.3	21.3	20.6	20.3

**No.2-6-1-2 国民健康保険加入割合【他市比較】**

出典:「福祉・衛生統計年報」東京都福祉保健局

時点:2020年3月31日現在(被保険者数)、2020年4月1日現在(人口)

単位:人、%

	被保険者数	加入割合	加入割合 ランキング
八王子市	125,899	22.4	5
立川市	37,919	20.6	14
武蔵野市	29,283	19.9	19
三鷹市	37,914	20.0	18
青梅市	31,052	23.4	4
府中市	51,470	19.8	20
昭島市	24,465	21.5	10
調布市	45,732	19.3	22
<b>町田市</b>	<b>88,294</b>	<b>20.6</b>	<b>14</b>
小金井市	22,673	18.5	25
小平市	38,350	19.7	21
日野市	35,478	19.0	23
東村山市	32,229	21.3	12
国分寺市	23,420	18.6	24
国立市	16,108	21.1	13
福生市	15,365	26.8	1
狛江市	17,100	20.5	16
東大和市	18,493	21.7	9
清瀬市	16,333	21.9	8
東久留米市	25,028	21.4	11
武蔵村山市	17,014	23.5	3
多摩市	32,667	22.0	7
稲城市	16,901	18.4	26
羽村市	12,220	22.2	6
あきる野市	19,151	23.8	2
西東京市	41,648	20.3	17
多摩26市	872,206	20.9	

【注1】多摩26市の加入割合は、26市の合計被保険者数/26市の合計人口×100

**No.2-6-1-3 被保険者1人あたり医療費(一般被保険者、退職被保険者等)**

出典:国民健康保険事業譲許報告書(事業年報)

時点:各年度末現在

単位:人、千円

		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
一般被保険者	被保険者数	99,655	95,177	90,985	88,289	87,140
	医療費総額	28,043,209	27,545,405	27,167,989	26,904,571	26,125,395
	1人あたり医療費	281	289	299	305	300
退職被保険者等	被保険者数	1,431	607	121	5	0
	医療費総額	694,871	335,903	93,745	8,871	-
	1人あたり医療費	486	553	775	1,774	-

【注1】75歳以上の一般被保険者は、後期高齢者医療制度からの受給となるため、一般被保険者1人あたり医療費には含まない。

【注2】2020年度の退職被保険者等の被保険者数は0人のため、1人あたり医療費は算出不可。

**No.2-6-2-1 国民年金被保険者数、免除者数、受給者数**

出典:「町田市統計書」、庁内資料

時点:各年度末現在

単位:人

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
被保険者数	91,512	89,134	87,109	86,183	85,990
免除者数	21,396	21,580	21,807	22,271	23,495
受給者数	110,511	114,026	115,612	116,879	118,117

## III 環境

## 1 ごみ

## No.3-1-1-1 総ごみ量

出典:「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

単位:t

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
可燃	85,037	83,356	81,992	83,685	83,212
不燃	6,050	6,528	6,817	7,258	8,070
資源	16,669	16,262	15,811	15,593	16,650
粗大他	3,793	3,010	2,980	3,366	3,437
計	111,549	109,156	107,600	109,902	111,369

## No.3-1-1-2 市民1人1日あたり総ごみ量【他市比較】

出典:「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会、多摩地域ごみ実態調査

時点:2019年度(ごみ排出量)、2019年10月1日現在(人口)

単位:t、g(1人あたり)

	総ごみ量	可燃	不燃	資源	粗大他	市民1人あたりごみ量	市民1人あたりごみ量 ランキング	有料化 実施時期
八王子市	151,712	111,750	5,226	31,783	2,953	736.5	21	2004年10月
立川市	40,748	25,505	2,179	11,756	1,308	604.6	2	2013年11月
武蔵野市	40,286	27,206	1,120	10,319	1,641	749.6	22	2004年10月
三鷹市	45,330	28,435	1,543	13,506	1,846	657.3	11	2009年10月
青梅市	36,950	27,265	2,614	5,493	1,578	757.5	23	1998年10月
府中市	58,355	37,878	3,414	14,879	2,184	611.5	3	2010年2月
昭島市	30,135	21,114	1,291	6,461	1,269	726.4	19	2002年4月
調布市	57,738	34,560	3,377	17,863	1,938	666.0	14	2004年4月
町田市	109,902	83,685	7,258	15,593	3,366	699.9	16	2005年10月
小金井市	25,769	12,327	3,693	8,696	1,053	575.8	1	2005年8月
小平市	44,467	30,922	1,467	10,819	1,259	624.4	4	2019年4月
日野市	42,642	27,020	4,369	9,790	1,463	625.4	5	2000年10月
東村山市	35,904	23,612	1,994	8,655	1,643	649.6	10	2002年10月
国分寺市	28,746	17,269	1,710	8,773	994	628.5	6	2013年6月
国立市	19,654	13,402	694	4,840	718	704.1	18	2017年9月
福生市	15,479	10,770	527	3,541	641	733.0	20	2002年4月
狛江市	19,443	13,633	879	4,366	565	638.4	8	2005年10月
東大和市	20,008	14,647	715	4,225	421	641.0	9	2014年10月
清瀬市	18,000	12,468	1,419	3,931	182	658.7	12	2001年6月
東久留米市	29,419	20,365	1,858	6,900	296	687.3	15	2017年10月
武蔵村山市	20,345	14,592	1,015	4,274	464	767.6	24	未実施
多摩市	38,185	29,414	892	6,447	1,432	700.8	17	2008年4月
稲城市	22,102	17,107	1,147	3,293	555	661.1	13	2004年10月
羽村市	16,170	11,150	393	3,946	681	795.8	26	2002年10月
あきる野市	23,153	17,922	377	3,903	951	784.0	25	2004年4月
西東京市	47,343	30,094	3,469	13,296	484	632.0	7	2008年1月
多摩26市	1,037,985	714,112	54,640	237,348	31,885	678.1		

【注1】この表の26市ランキングについては、数値の小さい市から並べている。

【注2】多摩26市の市民1人あたりごみ量は、26市の合計総ごみ量/26市の合計人口/年間日数

## No.3-1-2-1 総資源化量、総資源化率

出典:「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

単位:t、%

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
集団回収量	11,572	11,384	10,942	10,692	9,994
資源ごみ量	16,640	16,229	15,769	15,551	16,575
収集後資源化量	11,894	11,291	11,143	11,421	12,096
総資源化量	40,106	38,904	37,854	37,664	38,665
総資源化率	32.6	32.3	31.9	31.2	31.9

【注1】資源ごみ量とは、資源ごみからの資源化量で、拠点回収による資源化量を含む。

【注2】収集後資源化量とは、中間処理施設において不燃ごみや粗大ごみ等から人手や機械等によって選別された資源物の量である。

【注3】総資源化率=(集団回収量+資源ごみ量+収集後資源化量)/(総ごみ量+集団回収量)×100

## No.3-1-2-2 市民1人あたり総資源化量【他市比較】

出典:「多摩地域ごみ実態調査」東京市町村自治調査会

時点:2019年度(資源化量)、2020年1月1日現在(人口)

単位:t、kg(1人あたり)

	総資源化量		集団回収量		資源ごみ量		収集後資源化量	
		市民1人あたり		市民1人あたり		市民1人あたり		市民1人あたり
八王子市	53,699	95.5	6,926	12.3	30,221	53.7	16,552	29.4
立川市	18,291	99.4	2,949	16.0	10,629	57.7	4,713	25.6
武蔵野市	16,742	114.0	2,697	18.4	10,034	68.3	4,011	27.3
三鷹市	18,724	99.4	2,430	12.9	11,835	62.8	4,459	23.7
青梅市	13,692	102.9	3,363	25.3	5,110	38.4	5,219	39.2
府中市	25,111	96.5	5,477	21.0	13,218	50.8	6,416	24.7
昭島市	11,107	97.9	1,207	10.6	5,865	51.7	4,035	35.6
調布市	26,021	109.8	3,655	15.4	16,313	68.8	6,052	25.5
<b>町田市</b>	<b>37,664</b>	<b>87.8</b>	<b>10,692</b>	<b>24.9</b>	<b>15,551</b>	<b>36.3</b>	<b>11,421</b>	<b>26.6</b>
小金井市	14,785	120.9	1,500	12.3	8,662	70.8	4,623	37.8
小平市	17,726	91.0	2,179	11.2	10,819	55.5	4,728	24.3
日野市	15,171	81.4	1,425	7.6	9,350	50.2	4,396	23.6
東村山市	16,123	106.6	2,191	14.5	8,143	53.8	5,789	38.3
国分寺市	13,916	111.2	3,063	24.5	8,251	65.9	2,602	20.8
国立市	7,561	99.1	1,128	14.8	4,204	55.1	2,229	29.2
福生市	5,617	97.5	886	15.4	3,541	61.5	1,190	20.7
狛江市	7,542	90.6	1,220	14.7	4,366	52.4	1,956	23.5
東大和市	7,439	87.2	1,026	12.0	4,225	49.5	2,188	25.7
清瀬市	6,752	90.5	949	12.7	3,823	51.2	1,980	26.5
東久留米市	12,577	107.6	2,675	22.9	6,748	57.7	3,154	27.0
武蔵村山市	6,740	93.1	420	5.8	3,906	54.0	2,414	33.4
多摩市	14,155	95.1	3,562	23.9	6,447	43.3	4,146	27.9
稲城市	7,367	80.5	1,732	18.9	3,293	36.0	2,342	25.6
羽村市	5,941	107.3	845	15.3	3,721	67.2	1,375	24.8
あきる野市	8,324	103.2	1,960	24.3	3,744	46.4	2,620	32.5
西東京市	20,651	100.7	2,879	14.0	12,974	63.2	4,798	23.4
多摩26市	409,438	97.9	69,036	16.5	224,993	53.8	115,408	27.6

【注1】多摩26市の市民1人あたりの量は、26市の合計量÷26市の合計人口

**No.3-1-2-3 総資源化率、可燃ごみの組成(乾ベース)【他市比較】**

出典:「多摩地域ごみ実態調査」東京市町村自治調査会

時点:2019年度

単位:%

	総資源化率	総資源化率 ランキング	可燃ごみの組成					
			紙類	厨芥	繊維	木・草	プラスチック	その他
八王子市	33.9	22	37.4	23.5	4.3	1.2	25.5	8.1
立川市	41.9	5	40.7	19.3	7.7	9.1	16.7	6.5
武蔵野市	39.0	10	-	-	-	-	-	-
三鷹市	39.2	8	44.6	13.0	8.3	8.6	19.2	6.3
青梅市	34.0	20	32.3	7.6	6.5	14.0	37.4	2.2
府中市	39.3	7	22.9	24.7	4.1	2.5	10.6	35.2
昭島市	35.4	15	34.4	10.9	14.6	7.9	20.3	11.9
調布市	42.4	3	46.2	21.9	2.7	3.3	11.8	14.1
<b>町田市</b>	<b>31.2</b>	<b>25</b>	<b>37.5</b>	<b>7.8</b>	<b>4.3</b>	<b>11.4</b>	<b>21.4</b>	<b>17.6</b>
小金井市	54.2	1	46.3	20.1	6.4	9.7	13.4	4.1
小平市	38.0	11	48.5	11.2	6.3	10.5	18.6	4.9
日野市	34.4	18	29.2	10.6	4.0	7.2	38.7	10.3
東村山市	42.3	4	50.2	10.5	10.1	7.9	16.7	4.6
国分寺市	43.7	2	50.8	13.2	7.6	9.0	14.8	4.6
国立市	36.4	13	-	-	-	-	-	-
福生市	34.3	19	32.3	7.6	6.5	14.0	37.4	2.2
狛江市	36.5	12	25.4	12.7	3.1	3.4	40.3	15.1
東大和市	35.4	16	48.5	11.2	6.3	10.5	18.6	4.9
清瀬市	35.6	14	42.1	9.2	7.8	8.4	22.0	10.5
東久留米市	39.2	9	42.1	9.2	7.8	8.4	22.0	10.5
武蔵村山市	32.5	24	48.5	11.2	6.3	10.5	18.6	4.9
多摩市	33.9	21	25.1	10.0	6.0	0.2	27.8	30.9
稲城市	30.9	26	39.4	16.7	6.7	3.0	32.9	1.3
羽村市	34.9	17	32.3	7.6	6.5	14.0	37.4	2.2
あきる野市	33.1	23	24.7	17.9	5.8	11.4	24.6	15.6
西東京市	41.1	6	42.1	9.2	7.8	8.4	22.0	10.5
多摩26市	37.0		38.5	13.2	6.6	8.1	23.7	10.0

【注1】総資源化率=(集団回収量+資源ごみ量+収集後資源化量)/(総ごみ量+集団回収量)×100

【注2】可燃ごみの組成の多摩26市は、各市の数値の平均。

【注3】多摩26市の総資源化率は、26市の合計総資源化量/26市の合計(総ごみ量+集団回収量)×100

**No.3-1-3-1 ごみ処理経費**

出典:「清掃事業概要」

単位:円

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
ごみ1tあたりごみ処理経費	62,155	67,667	66,190	68,138	65,643
市民1人あたりごみ処理経費	16,640	17,628	16,839	17,107	16,814

【注1】ごみ処理に関する歳出のみを計算している。(歳入控除前)

**2 水質****No.3-2-1-1 主要河川的环境基準点における水質の状況(BOD75%値)**

出典:町田市環境白書、庁内資料

期間:各年度4月1日~3月31日 年12回平均値

単位:mg/ℓ

	BOD 環境基準	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
鶴見川(麻生橋)	8.0以下	4.9	4.3	4.6	4.5	2.3
恩田川(都橋)	5.0以下	1.2	1.0	1.0	1.3	0.9
境川(鶴間一号橋)	8.0以下	1.3	1.0	0.8	1.1	1.0

【注1】BODとは、水中の有機物が微生物のはたらきによって分解されるときに消費される酸素の量で、河川の水質汚濁を測定する指標の一つ。数値が大きいほど有機物の量が多く、汚れていることを示す。

【注2】( )内は観測基準点。

## 3 公害

## No.3-3-1-1 公害関係苦情受付件数

出典:町田市環境白書、庁内資料

期間:各年度4月1日～3月31日

単位:件

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
大気汚染	92	77	71	59	80
悪臭	33	31	32	20	32
騒音	77	49	56	60	81
その他	27	25	20	17	18
計	229	182	179	156	211

## No.3-3-1-2 公害関係苦情受付構成比【他市比較】

出典:「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

時点:2018年度

単位:件、%

	総数	大気汚染		悪臭		騒音		その他	
		構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比		
八王子市	195	93	47.7	15	7.7	83	42.6	4	2.1
立川市	79	24	30.4	11	13.9	29	36.7	15	19.0
武蔵野市	77	6	7.8	5	6.5	57	74.0	9	11.7
三鷹市	98	20	20.4	27	27.6	36	36.7	15	15.3
青梅市	133	75	56.4	19	14.3	34	25.6	5	3.8
府中市	101	11	10.9	52	51.5	34	33.7	4	4.0
昭島市	40	0	0.0	0	0.0	3	7.5	37	92.5
調布市	91	15	16.5	18	19.8	54	59.3	4	4.4
<b>町田市</b>	<b>179</b>	<b>71</b>	<b>39.7</b>	<b>32</b>	<b>17.9</b>	<b>61</b>	<b>34.1</b>	<b>15</b>	<b>8.4</b>
小金井市	47	5	10.6	6	12.8	8	17.0	28	59.6
小平市	80	1	1.3	29	36.3	47	58.8	3	3.8
日野市	87	32	36.8	11	12.6	39	44.8	5	5.7
東村山市	40	14	35.0	3	7.5	18	45.0	5	12.5
国分寺市	69	23	33.3	7	10.1	36	52.2	3	4.3
国立市	58	4	6.9	26	44.8	27	46.6	1	1.7
福生市	40	4	10.0	3	7.5	10	25.0	23	57.5
狛江市	82	2	2.4	4	4.9	14	17.1	62	75.6
東大和市	53	6	11.3	8	15.1	14	26.4	25	47.2
清瀬市	45	12	26.7	4	8.9	11	24.4	18	40.0
東久留米市	98	38	38.8	3	3.1	32	32.7	25	25.5
武蔵村山市	92	14	15.2	9	9.8	15	16.3	54	58.7
多摩市	70	19	27.1	9	12.9	32	45.7	10	14.3
稲城市	172	1	0.6	56	32.6	14	8.1	101	58.7
羽村市	14	3	21.4	2	14.3	8	57.1	1	7.1
あきる野市	127	33	26.0	6	4.7	16	12.6	72	56.7
西東京市	72	18	25.0	10	13.9	35	48.6	9	12.5
多摩26市	2,239	544	24.3	375	16.7	767	34.3	553	24.7

【注1】「騒音」は低周波騒音を含む。(No.3-3-1-1 公害関係苦情受付件数の「騒音」は低周波騒音を含まない)

## No.3-3-2-1 航空機騒音測定回数

出典:庁内資料

期間:各年度4月1日～3月31日

単位:回

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
町田第一小	4,061	4,592	3,482	1,877	1,832
本町田東小	2,148	2,774	2,380	1,142	1,128
町田第五小	3,455	3,885	2,861	1,753	1,680
忠生第三小	2,760	3,033	2,065	794	910
小山小	4,249	4,289	3,461	3,201	3,447
南中	2,367	2,877	1,990	615	489
計	19,040	21,450	16,239	9,382	9,486

【注1】航空機騒音測定回数は、70デシベル以上で、5秒以上続く騒音の回数である。

## No.3-3-2-2 航空機騒音苦情受付件数

出典:庁内資料

期間:各年度4月1日～3月31日

単位:件

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
航空機騒音苦情受付件数	1,902	931	249	101	113

## IV 経済

## 1 労働

## No.4-1-1-1 労働力人口、人口に占める労働力人口の割合

出典:「町田市統計書」、「国勢調査」

時点:各年10月1日現在

単位:人、%

	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年
労働力人口	186,384	190,409	196,618	195,791	184,842
人口に占める労働力人口の割合	51.7	50.4	48.5	45.9	42.8

【注1】人口は、国勢調査人口。

【注2】労働力人口は、15歳以上人口のうち、労働の意思と能力をもつ者の人口。就業者(休業者も含む)と完全失業者の合計。

## No.4-1-1-2 人口に占める労働力人口の割合【他市比較】

出典:「国勢調査」

時点:2015年10月1日現在

単位:人、%

	労働力人口	人口	人口に占める労働力人口の割合	人口に占める労働力人口の割合 ランキング
八王子市	259,121	577,513	44.9	19
立川市	78,021	176,295	44.3	22
武蔵野市	68,434	144,730	47.3	8
三鷹市	97,424	186,936	52.1	1
青梅市	62,559	137,381	45.5	16
府中市	128,317	260,274	49.3	3
昭島市	54,651	111,539	49.0	4
調布市	111,962	229,061	48.9	5
<b>町田市</b>	<b>184,842</b>	<b>432,348</b>	<b>42.8</b>	<b>26</b>
小金井市	57,575	121,396	47.4	7
小平市	86,082	190,005	45.3	17
日野市	83,763	186,283	45.0	18
東村山市	69,310	149,956	46.2	13
国分寺市	56,463	122,742	46.0	14
国立市	34,108	73,655	46.3	12
福生市	26,074	58,395	44.7	21
狛江市	37,688	80,249	47.0	10
東大和市	38,783	85,157	45.5	15
清瀬市	32,466	74,864	43.4	25
東久留米市	54,015	116,632	46.3	11
武蔵村山市	31,168	71,229	43.8	24
多摩市	64,761	146,631	44.2	23
稲城市	42,237	87,636	48.2	6
羽村市	27,841	55,833	49.9	2
あきる野市	36,227	80,954	44.8	20
西東京市	94,275	200,012	47.1	9
多摩26市	1,918,167	4,157,706	46.1	

【注1】人口は、国勢調査人口。

【注2】多摩26市の人口に占める労働力人口の割合は、26市の合計労働力人口/26市の合計人口×100

## No.4-1-2-1 産業大分類別15歳以上就業者数

出典:「町田市統計書」、「国勢調査」

時点:各年10月1日現在

単位:人

	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年
第1次産業	1,796	1,580	1,638	1,331	1,301
第2次産業	47,928	41,107	38,150	31,698	30,831
第3次産業	124,424	134,056	139,655	132,201	129,828
その他	3,259	3,057	6,500	19,048	15,339
計	177,407	179,800	185,943	184,278	177,299

【注1】「その他」は分類不能なもの。

**No.4-1-2-2 産業大分類別15歳以上就業者構成比【他市比較】**

出典:「国勢調査」

時点:2015年10月1日現在

単位:人、%

	総数	第1次産業		第2次産業		第3次産業		分類不能	
			構成比		構成比		構成比		構成比
八王子市	247,855	1,576	0.6	48,616	19.6	179,322	72.3	18,341	7.4
立川市	74,695	673	0.9	12,981	17.4	55,127	73.8	5,914	7.9
武蔵野市	66,129	231	0.3	8,087	12.2	51,979	78.6	5,832	8.8
三鷹市	94,138	645	0.7	11,060	11.7	61,132	64.9	21,301	22.6
青梅市	59,533	636	1.1	15,629	26.3	39,469	66.3	3,799	6.4
府中市	123,572	770	0.6	21,118	17.1	92,522	74.9	9,162	7.4
昭島市	51,949	310	0.6	11,294	21.7	37,034	71.3	3,311	6.4
調布市	106,263	665	0.6	14,912	14.0	80,115	75.4	10,571	9.9
<b>町田市</b>	<b>177,299</b>	<b>1,301</b>	<b>0.7</b>	<b>30,831</b>	<b>17.4</b>	<b>129,828</b>	<b>73.2</b>	<b>15,339</b>	<b>8.7</b>
小金井市	55,350	359	0.6	7,140	12.9	43,064	77.8	4,787	8.6
小平市	82,716	645	0.8	13,913	16.8	61,760	74.7	6,398	7.7
日野市	80,597	564	0.7	16,007	19.9	58,053	72.0	5,973	7.4
東村山市	66,448	569	0.9	11,295	17.0	49,533	74.5	5,051	7.6
国分寺市	54,565	440	0.8	7,818	14.3	41,364	75.8	4,943	9.1
国立市	32,761	217	0.7	4,840	14.8	24,821	75.8	2,883	8.8
福生市	24,773	126	0.5	5,703	23.0	17,282	69.8	1,662	6.7
狛江市	36,320	327	0.9	5,094	14.0	27,591	76.0	3,308	9.1
東大和市	36,999	292	0.8	7,439	20.1	26,949	72.8	2,319	6.3
清瀬市	30,900	471	1.5	5,184	16.8	22,898	74.1	2,347	7.6
東久留米市	51,694	596	1.2	9,004	17.4	37,978	73.5	4,116	8.0
武蔵村山市	29,711	354	1.2	7,232	24.3	19,164	64.5	2,961	10.0
多摩市	61,709	277	0.4	8,619	14.0	47,656	77.2	5,157	8.4
稲城市	40,622	483	1.2	7,363	18.1	29,788	73.3	2,988	7.4
羽村市	26,392	194	0.7	7,789	29.5	17,082	64.7	1,327	5.0
あきる野市	34,702	628	1.8	7,906	22.8	23,449	67.6	2,719	7.8
西東京市	90,489	615	0.7	12,981	14.3	69,372	76.7	7,521	8.3
多摩26市	1,838,181	13,964	0.8	319,855	17.4	1,344,332	73.1	160,030	8.7

**No.4-1-3-1 完全失業者数、失業率**

出典:「町田市統計書」、「国勢調査」

時点:各年10月1日現在

単位:人、%

	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年
完全失業者数	8,977	10,609	10,675	11,513	7,543
失業率	4.8	5.6	5.4	5.9	4.1

【注1】完全失業者は、収入になる仕事を少しもしなかった人のうち、仕事に就くことが可能であって、かつ公共職業安定所に申し込むなどして積極的に仕事を探した人をいう。

【注2】失業率＝完全失業者数／労働力人口×100

## No.4-1-3-2 失業率【他市比較】

出典:「国勢調査」 時点:2015年10月1日現在 単位:人、%

	労働力人口	完全失業者数	失業率	失業率 ランキング
八王子市	259,121	11,266	4.3	17
立川市	78,021	3,326	4.3	15
武蔵野市	68,434	2,305	3.4	2
三鷹市	97,424	3,286	3.4	3
青梅市	62,559	3,026	4.8	22
府中市	128,317	4,745	3.7	5
昭島市	54,651	2,702	4.9	23
調布市	111,962	5,699	5.1	25
<b>町田市</b>	<b>184,842</b>	<b>7,543</b>	<b>4.1</b>	<b>12</b>
小金井市	57,575	2,225	3.9	8
小平市	86,082	3,366	3.9	9
日野市	83,763	3,166	3.8	6
東村山市	69,310	2,862	4.1	13
国分寺市	56,463	1,898	3.4	1
国立市	34,108	1,347	3.9	10
福生市	26,074	1,301	5.0	24
狛江市	37,688	1,368	3.6	4
東大和市	38,783	1,784	4.6	18
清瀬市	32,466	1,566	4.8	21
東久留米市	54,015	2,321	4.3	16
武蔵村山市	31,168	1,457	4.7	19
多摩市	64,761	3,052	4.7	20
稲城市	42,237	1,615	3.8	7
羽村市	27,841	1,449	5.2	26
あきる野市	36,227	1,525	4.2	14
西東京市	94,275	3,786	4.0	11
多摩26市	1,918,167	79,986	4.2	

【注1】失業率=完全失業者数/労働力人口×100

【注2】この表の26市ランキングについては、数値の小さい市から並べている。

【注3】多摩26市の失業率は、26市の合計完全失業者数/26市の合計労働力人口×100

## No.4-1-4-1 産業大分類別事業所構成比【他市比較】

出典:「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会 時点:2014年7月1日現在 単位:事業所、%

	総数	第1次産業		第2次産業		第3次産業	
		構成比	構成比	構成比	構成比		
八王子市	19,264	29	0.2	3,377	17.5	15,858	82.3
立川市	7,794	10	0.1	923	11.8	6,861	88.0
武蔵野市	7,995	4	0.1	419	5.2	7,572	94.7
三鷹市	5,411	11	0.2	714	13.2	4,686	86.6
青梅市	4,791	7	0.1	1,168	24.4	3,616	75.5
府中市	7,862	13	0.2	1,164	14.8	6,685	85.0
昭島市	3,803	6	0.2	612	16.1	3,185	83.7
調布市	6,890	10	0.1	865	12.6	6,015	87.3
<b>町田市</b>	<b>12,663</b>	<b>26</b>	<b>0.2</b>	<b>1,663</b>	<b>13.1</b>	<b>10,974</b>	<b>86.7</b>
小金井市	3,027	2	0.1	273	9.0	2,752	90.9
小平市	4,947	11	0.2	698	14.1	4,238	85.7
日野市	4,604	6	0.1	574	12.5	4,024	87.4
東村山市	3,986	7	0.2	633	15.9	3,346	83.9
国分寺市	3,674	7	0.2	354	9.6	3,313	90.2
国立市	2,804	1	0.0	246	8.8	2,557	91.2
福生市	2,179	3	0.1	300	13.8	1,876	86.1
狛江市	2,081	5	0.2	370	17.8	1,706	82.0
東大和市	2,662	1	0.0	502	18.9	2,159	81.1
清瀬市	1,944	5	0.3	258	13.3	1,681	86.5
東久留米市	3,104	12	0.4	536	17.3	2,556	82.3
武蔵村山市	2,535	3	0.1	719	28.4	1,813	71.5
多摩市	4,009	5	0.1	343	8.6	3,661	91.3
稲城市	2,228	10	0.4	464	20.8	1,754	78.7
羽村市	2,058	1	0.0	321	15.6	1,736	84.4
あきる野市	2,529	8	0.3	636	25.1	1,885	74.5
西東京市	5,435	5	0.1	668	12.3	4,762	87.6
多摩26市	130,279	208	0.2	18,800	14.4	111,271	85.4

**No.4-1-4-2 産業大分類別従業者構成比【他市比較】**

出典:「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

時点:2014年7月1日現在

単位:人、%

	総数	第1次産業		第2次産業		第3次産業	
			構成比		構成比		構成比
八王子市	231,984	262	0.1	37,659	16.2	194,063	83.7
立川市	119,144	62	0.1	12,044	10.1	107,038	89.8
武蔵野市	87,949	20	0.0	5,925	6.7	82,004	93.2
三鷹市	61,109	60	0.1	7,965	13.0	53,084	86.9
青梅市	55,506	55	0.1	14,266	25.7	41,185	74.2
府中市	118,033	196	0.2	23,917	20.3	93,920	79.6
昭島市	51,066	51	0.1	15,523	30.4	35,492	69.5
調布市	78,827	48	0.1	7,023	8.9	71,756	91.0
<b>町田市</b>	<b>143,349</b>	<b>169</b>	<b>0.1</b>	<b>15,662</b>	<b>10.9</b>	<b>127,518</b>	<b>89.0</b>
小金井市	30,955	20	0.1	2,024	6.5	28,911	93.4
小平市	62,094	99	0.2	12,289	19.8	49,706	80.0
日野市	61,188	21	0.0	16,605	27.1	44,562	72.8
東村山市	41,358	33	0.1	6,157	14.9	35,168	85.0
国分寺市	37,146	55	0.1	2,960	8.0	34,131	91.9
国立市	28,784	3	0.0	2,065	7.2	26,716	92.8
福生市	19,748	14	0.1	3,145	15.9	16,589	84.0
狛江市	16,838	17	0.1	2,285	13.6	14,536	86.3
東大和市	24,973	10	0.0	3,748	15.0	21,215	85.0
清瀬市	20,076	23	0.1	2,423	12.1	17,630	87.8
東久留米市	30,758	79	0.3	5,424	17.6	25,255	82.1
武蔵村山市	27,242	24	0.1	7,827	28.7	19,391	71.2
多摩市	65,632	45	0.1	3,817	5.8	61,770	94.1
稲城市	24,299	91	0.4	5,321	21.9	18,887	77.7
羽村市	27,018	33	0.1	9,577	35.4	17,408	64.4
あきる野市	24,907	55	0.2	5,265	21.1	19,587	78.6
西東京市	52,016	25	0.0	5,742	11.0	46,249	88.9
多摩26市	1,541,999	1,570	0.1	236,658	15.3	1,303,771	84.6

**2 中小企業融資****No.4-2-1-1 中小企業融資利用件数****No.4-2-1-2 中小企業融資額**

出典:庁内資料

期間:各年度4月1日～3月31日(実行日/実際に銀行により融資が行われた日)

単位:件、千円

	2016年度		2017年度		2018年度		2019年度		2020年度	
	利用件数	融資額								
運転資金・設備資金	310	3,124,610	275	2,791,960	215	2,179,250	174	1,898,530	39	403,150
緊急資金	19	87,700	21	94,200	18	74,500	21	86,400	114	543,200
小規模企業特別資金	244	1,171,910	209	1,058,770	260	1,220,370	321	1,845,370	116	681,046
開業資金	29	194,400	23	131,300	45	329,100	77	444,600	79	599,100
その他	0	0	0	0	0	0	21	283,000	3	38,500
計	602	4,578,620	528	4,076,230	538	3,803,220	614	4,557,900	351	2,264,996

**3 商業****No.4-3-1-1 卸売業、小売業事業所数**

出典:「商業統計調査報告(卸売・小売業)」東京都総務局統計部、「経済センサス」

時点:各年6月1日現在(2007年以前)、7月1日現在(2014年)、6月1日現在(2016年)

単位:事業所

	2002年	2004年	2007年	2014年	2016年
卸売業	469	498	392	369	354
小売業	2,483	2,605	2,450	1,755	1,907
計	2,952	3,103	2,842	2,124	2,261

【注1】商業統計調査が2014年を最後に廃止されたため、2016年は経済センサスのデータをもとに作成。

**No.4-3-1-2 卸売業事業所数【他市比較】****No.4-3-1-3 小売業事業所数【他市比較】**

出典:「経済センサス」

時点:2016年6月1日現在

単位:事業所

	総数	卸売業	卸売業 ランキング	小売業	小売業 ランキング
八王子市	3,302	803	1	2,499	1
立川市	1,434	369	2	1,065	4
武蔵野市	1,450	172	6	1,278	3
三鷹市	728	149	8	579	11
青梅市	756	134	11	622	9
府中市	1,256	308	4	948	5
昭島市	702	165	7	537	13
調布市	1,104	196	5	908	6
<b>町田市</b>	<b>2,261</b>	<b>354</b>	<b>3</b>	<b>1,907</b>	<b>2</b>
小金井市	494	89	18	405	19
小平市	837	136	10	701	8
日野市	675	130	12	545	12
東村山市	630	104	17	526	14
国分寺市	561	106	16	455	16
国立市	441	77	19	364	21
福生市	376	60	25	316	22
狛江市	342	66	23	276	23
東大和市	472	76	20	396	20
清瀬市	341	66	23	275	24
東久留米市	583	115	13	468	15
武蔵村山市	517	107	15	410	18
多摩市	706	109	14	597	10
稲城市	324	68	21	256	26
羽村市	335	68	21	267	25
あきる野市	479	49	26	430	17
西東京市	917	145	9	772	7
多摩26市(平均)	847	162		685	

**No.4-3-1-4 卸売業、小売業事業所構成比【他市比較】**

出典:「経済センサス」

時点:2016年6月1日現在

単位:事業所、%

	総数	卸売業事業所数		小売業事業所数	
			構成比		構成比
八王子市	3,302	803	24.3	2,499	75.7
立川市	1,434	369	25.7	1,065	74.3
武蔵野市	1,450	172	11.9	1,278	88.1
三鷹市	728	149	20.5	579	79.5
青梅市	756	134	17.7	622	82.3
府中市	1,256	308	24.5	948	75.5
昭島市	702	165	23.5	537	76.5
調布市	1,104	196	17.8	908	82.2
<b>町田市</b>	<b>2,261</b>	<b>354</b>	<b>15.7</b>	<b>1,907</b>	<b>84.3</b>
小金井市	494	89	18.0	405	82.0
小平市	837	136	16.2	701	83.8
日野市	675	130	19.3	545	80.7
東村山市	630	104	16.5	526	83.5
国分寺市	561	106	18.9	455	81.1
国立市	441	77	17.5	364	82.5
福生市	376	60	16.0	316	84.0
狛江市	342	66	19.3	276	80.7
東大和市	472	76	16.1	396	83.9
清瀬市	341	66	19.4	275	80.6
東久留米市	583	115	19.7	468	80.3
武蔵村山市	517	107	20.7	410	79.3
多摩市	706	109	15.4	597	84.6
稲城市	324	68	21.0	256	79.0
羽村市	335	68	20.3	267	79.7
あきる野市	479	49	10.2	430	89.8
西東京市	917	145	15.8	772	84.2
多摩26市	22,023	4,221	19.2	17,802	80.8

**No.4-3-2-1 卸売業、小売業従業者数**

出典:「商業統計調査報告(卸売・小売業)」東京都総務局統計部、「経済センサス」  
 時点:各年6月1日現在(2007年以前)、7月1日現在(2014年)、6月1日現在(2016年)  
 単位:人

	2002年	2004年	2007年	2014年	2016年
卸売業	3,879	4,326	3,271	2,594	2,638
小売業	24,458	29,691	23,626	18,600	21,303
計	28,337	34,017	26,897	21,194	23,941

**No.4-3-2-2 卸売業従業者数【他市比較】****No.4-3-2-3 小売業従業者数【他市比較】****No.4-3-2-4 卸売業、小売業従業者構成比【他市比較】**

出典:「経済センサス」  
 時点:2016年6月1日現在  
 単位:人、%

	総数	卸売業		小売業			
		構成比	卸売業 従業者数 ランキング	構成比	小売業 従業者数 ランキング		
八王子市	35,613	7,869	22.1	1	27,744	77.9	1
立川市	16,799	4,422	26.3	2	12,377	73.7	3
武蔵野市	14,580	2,668	18.3	5	11,912	81.7	4
三鷹市	7,255	1,037	14.3	14	6,218	85.7	10
青梅市	7,026	1,475	21.0	10	5,551	79.0	13
府中市	13,999	3,839	27.4	3	10,160	72.6	5
昭島市	7,115	1,525	21.4	9	5,590	78.6	12
調布市	11,127	2,022	18.2	7	9,105	81.8	6
<b>町田市</b>	<b>23,941</b>	<b>2,638</b>	<b>11.0</b>	<b>6</b>	<b>21,303</b>	<b>89.0</b>	<b>2</b>
小金井市	4,955	596	12.0	20	4,359	88.0	17
小平市	7,735	1,187	15.3	12	6,548	84.7	9
日野市	7,231	1,609	22.3	8	5,622	77.7	11
東村山市	6,160	876	14.2	17	5,284	85.8	14
国分寺市	5,414	715	13.2	18	4,699	86.8	16
国立市	4,531	1,245	27.5	11	3,286	72.5	21
福生市	2,731	364	13.3	23	2,367	86.7	24
狛江市	2,616	354	13.5	24	2,262	86.5	25
東大和市	4,591	490	10.7	22	4,101	89.3	18
清瀬市	2,517	307	12.2	25	2,210	87.8	26
東久留米市	6,034	957	15.9	15	5,077	84.1	15
武蔵村山市	4,948	939	19.0	16	4,009	81.0	19
多摩市	10,770	3,003	27.9	4	7,767	72.1	7
稲城市	3,976	619	15.6	19	3,357	84.4	20
羽村市	2,980	543	18.2	21	2,437	81.8	23
あきる野市	3,395	274	8.1	26	3,121	91.9	22
西東京市	8,020	1,063	13.3	13	6,957	86.7	8
多摩26市(平均)	8,695	1,640	18.9		7,055	81.1	

【注】多摩26市の構成比は、26市の平均従業者数/26市の平均総数×100

**No.4-3-3-1 卸売業、小売業年間販売額**

出典:「商業統計調査報告(卸売・小売業)」東京都総務局統計部、「経済センサス」  
 時点:各年6月1日現在(2007年以前)、7月1日現在(2014年)、6月1日現在(2016年)  
 単位:百万円

	2002年	2004年	2007年	2014年	2016年
卸売業	169,241	215,869	304,816	143,776	167,049
小売業	520,597	534,270	504,840	430,117	493,106
計	689,838	750,139	809,656	573,893	660,155

**No.4-3-3-2 卸売業年間販売額【他市比較】****No.4-3-3-3 小売業年間販売額【他市比較】****No.4-3-3-4 卸売業従業者1人あたり年間販売額【他市比較】****No.4-3-3-5 小売業従業者1人あたり年間販売額【他市比較】**

出典:「経済センサス」

時点:2016年6月1日現在

単位:百万円

	総額	卸売業				小売業			
		年間販売額	年間販売額 ランキング	1人あたり 年間 販売額	1人あたり 年間 販売額 ランキング	年間販売額	年間販売額 ランキング	1人あたり 年間 販売額	1人あたり 年間 販売額 ランキング
八王子市	1,238,457	669,280	1	85	10	569,177	1	21	15
立川市	798,879	497,628	2	113	3	301,251	3	24	2
武蔵野市	405,971	115,538	10	43	24	290,433	4	24	1
三鷹市	218,458	78,551	14	76	12	139,907	8	23	6
青梅市	427,793	313,195	5	212	1	114,599	12	21	13
府中市	529,677	313,265	4	82	11	216,411	5	21	10
昭島市	253,472	132,128	9	87	9	121,344	11	22	8
調布市	381,430	188,555	6	93	8	192,875	6	21	11
<b>町田市</b>	<b>660,155</b>	<b>167,049</b>	<b>7</b>	<b>63</b>	<b>16</b>	<b>493,106</b>	<b>2</b>	<b>23</b>	<b>3</b>
小金井市	122,171	36,157	20	61	18	86,014	17	20	18
小平市	198,504	74,872	15	63	17	123,632	10	19	19
日野市	209,390	109,575	11	68	14	99,815	14	18	25
東村山市	144,774	45,771	19	52	21	99,003	15	19	22
国分寺市	143,589	47,537	18	66	15	96,052	16	20	16
国立市	219,341	157,363	8	126	2	61,978	21	19	20
福生市	80,054	25,859	23	71	13	54,195	24	23	4
狛江市	63,152	18,149	24	51	22	45,003	25	20	17
東大和市	111,232	26,794	22	55	19	84,438	19	21	14
清瀬市	48,351	9,325	26	30	26	39,026	26	18	26
東久留米市	208,786	98,593	13	103	6	110,193	13	22	9
武蔵村山市	134,956	50,367	17	54	20	84,590	18	21	12
多摩市	503,759	333,325	3	111	5	170,434	7	22	7
稲城市	90,194	27,161	21	44	23	63,032	20	19	21
羽村市	115,744	60,834	16	112	4	54,910	23	23	5
あきる野市	67,483	11,337	25	41	25	56,146	22	18	24
西東京市	231,114	101,663	12	96	7	129,452	9	19	23
多摩26市(平均)	292,573	142,687		79		149,885		21	

**No.4-3-4-1 町田駅周辺事業所数、従業者数**

出典:「商業統計調査報告(卸売・小売業)」東京都総務局統計部、「経済センサス」

時点:各年6月1日現在(2007年以前)、7月1日現在(2014年)、6月1日現在(2016年)

単位:事業所、人

	2002年		2004年		2007年		2014年		2016年	
	事業所	従業者数								
卸売業	92	795	86	802	73	764	67	441	99	805
原町田1丁目~6丁目	50	426	46	394	39	278	37	195	49	297
森野1丁目・2丁目	14	196	13	255	17	293	16	191	26	366
中町1丁目・2丁目	28	173	27	153	17	193	14	55	24	142
小売業	728	7,945	797	8,003	796	7,669	606	6,085	843	8,253
原町田1丁目~6丁目	511	6,106	573	6,300	600	6,096	482	4,968	655	6,648
森野1丁目・2丁目	122	1,200	127	1,104	114	969	77	613	101	888
中町1丁目・2丁目	95	639	97	599	82	604	47	504	87	717
計	820	8,740	883	8,805	869	8,433	673	6,526	942	9,058

**No.4-3-4-2 町田駅周辺年間販売額**

出典:「商業統計調査報告(卸売・小売業)」東京都総務局統計部

時点:各年6月1日現在(2007年以前)、7月1日現在(2014年)

単位:百万円

	2002年	2004年	2007年	2014年
卸売業	22,124	47,103	35,121	21,223
原町田1丁目～6丁目	11,514	14,136	16,230	9,079
森野1丁目・2丁目	3,672	18,413	16,177	9,107
中町1丁目・2丁目	6,938	14,554	2,714	3,037
小売業	238,308	190,510	210,375	165,141
原町田1丁目～6丁目	202,717	164,794	188,838	147,015
森野1丁目・2丁目	17,000	17,297	13,534	10,827
中町1丁目・2丁目	18,591	8,419	8,003	7,299
計	260,432	237,613	245,496	186,364

【注1】商業統計調査は2014年を最後に廃止。

**4 工業**

※「4 工業」については、従業者4人以上の事業所のデータを掲載している。

**No.4-4-1-1 事業所数****No.4-4-2-1 従業者数**

出典:「町田市統計書」

時点:各年12月31日現在

単位:事業所、人

	2017年	2018年	2019年
事業所数	129	130	131
従業者数	4,482	4,603	4,616

**No.4-4-1-2 事業所数【他市比較】****No.4-4-2-2 従業者数【他市比較】**

出典:「東京の工業 工業統計調査報告」東京都総務局統計部

時点:2020年6月1日現在

単位:事業所、人

	事業所数	事業所数 ランキング	従業者数	従業者数 ランキング
八王子市	511	1	16,148	1
立川市	76	9	3,765	9
武蔵野市	25	20	333	25
三鷹市	65	13	1,318	16
青梅市	219	2	7,053	6
府中市	114	5	13,100	2
昭島市	113	6	9,801	4
調布市	77	8	2,006	14
<b>町田市</b>	<b>133</b>	<b>3</b>	<b>4,797</b>	<b>7</b>
小金井市	15	26	335	24
小平市	66	12	3,165	11
日野市	58	15	11,496	3
東村山市	79	7	3,079	12
国分寺市	21	23	917	22
国立市	18	25	275	26
福生市	39	17	1,103	18
狛江市	24	21	421	23
東大和市	35	18	1,254	17
清瀬市	19	24	1,027	20
東久留米市	49	16	3,524	10
武蔵村山市	123	4	4,125	8
多摩市	22	22	925	21
稲城市	61	14	1,699	15
羽村市	69	11	7,580	5
あきる野市	73	10	2,020	13
西東京市	33	19	1,075	19
多摩26市(平均)	82		3,936	

**No.4-4-3-1 製造品出荷額等**

出典:「町田市統計書」

時点:各年12月31日現在

単位:百万円

	2017年	2018年	2019年
製造品出荷額等	94,192	95,159	112,472

【注1】「製造品出荷額等」は、1年間における製造品出荷額、加工費収入額、修理料収入額、製造工程からでたくず及び廃物の出荷額並びにその他の収入額の合計であり、消費税及び内国消費税を含んだ額である。

**No.4-4-3-2 製造品出荷額等【他市比較】****No.4-4-3-3 従業者1人あたり製造品出荷額等【他市比較】**

出典:「東京の工業 工業統計調査報告」東京都総務局統計部

時点:2019年(製造品出荷額等)、2020年6月1日現在(従業者数)

単位:万円

	製造品出荷額等	製造品出荷額等 ランキング	従業者1人 あたり製造 品出荷額 等	従業者1人 あたり製造 品出荷額 等 ランキング
八王子市	39,255,955	4	2,431	13
立川市	10,820,995	8	2,874	7
武蔵野市	486,286	24	1,460	24
三鷹市	2,862,974	17	2,172	17
青梅市	17,164,493	6	2,434	12
府中市	72,759,743	1	5,554	3
昭島市	45,310,874	3	4,623	4
調布市	4,702,536	14	2,344	14
<b>町田市</b>	<b>10,459,094</b>	<b>10</b>	<b>2,180</b>	<b>16</b>
小金井市	412,710	25	1,232	25
小平市	10,809,646	9	3,415	6
日野市	32,334,530	5	2,813	9
東村山市	7,704,058	13	2,502	11
国分寺市	1,809,644	22	1,973	19
国立市	319,013	26	1,160	26
福生市	2,065,062	20	1,872	21
狛江市	843,800	23	2,004	18
東大和市	8,062,770	12	6,430	2
清瀬市	1,987,526	21	1,935	20
東久留米市	13,949,013	7	3,958	5
武蔵村山市	9,508,947	11	2,305	15
多摩市	2,530,027	19	2,735	10
稲城市	2,638,535	18	1,553	23
羽村市	60,269,199	2	7,951	1
あきる野市	3,677,418	15	1,821	22
西東京市	3,071,847	16	2,858	8
多摩26市(平均)	14,069,873		2,869	

**5 農業****No.4-5-1-1 農家戸数**

出典:「町田市統計書」

時点:各年2月1日現在

単位:戸

	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年
販売農家	608	509	460	374	319
主業農家	106	83	88	92	32
準主業農家	186	130	114	91	95
副業的農家	316	296	258	191	192
自給的農家	551	563	528	475	338
計	1,159	1,072	988	849	657

【注1】自給的農家は、経営耕地面積が30a(アール)未満かつ農産物販売金額が50万円未満の農家をいう。

【注2】販売農家は、経営耕地面積が30a以上または農産物販売金額が50万円以上の農家をいう。

主副業別分類では、主業農家・準主業農家・副業的農家に分けられる。

【注3】主業農家は、農業所得が主(農家所得の50%以上が農業所得)で、65歳未満の農業従事60日以上の方がいる農家をいう。

【注4】準主業農家は、農外所得が主で、65歳未満の農業従事60日以上の方がいる農家をいう。

【注5】副業的農家は、65歳未満の農業従事60日以上の方がいない農家をいう。

## No.4-5-1-2 農家構成比【他市比較】

出典:「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

時点:2015年2月1日現在

単位:戸、%

〈実数〉

	総数	自給的農家	販売農家	専業農家			
				兼業農家		第1種	第2種
				専業農家	兼業農家		
八王子市	1,197	805	392	168	224	44	180
立川市	341	72	269	108	161	38	123
武蔵野市	68	7	61	26	35	3	32
三鷹市	265	61	204	79	125	18	107
青梅市	697	506	191	68	123	26	97
府中市	326	164	162	77	85	9	76
昭島市	142	79	63	25	38	5	33
調布市	231	78	153	82	71	17	54
<b>町田市</b>	<b>849</b>	<b>475</b>	<b>374</b>	<b>145</b>	<b>229</b>	<b>33</b>	<b>196</b>
小金井市	149	56	93	40	53	3	50
小平市	312	97	215	106	109	17	92
日野市	301	151	150	75	75	9	66
東村山市	284	107	177	74	103	17	86
国分寺市	205	47	158	77	81	8	73
国立市	109	55	54	35	19	1	18
福生市	45	28	17	8	9	0	9
狛江市	118	55	63	33	30	1	29
東大和市	170	83	87	40	47	5	42
清瀬市	225	51	174	99	75	18	57
東久留米市	274	88	186	84	102	11	91
武蔵村山市	327	160	167	76	91	12	79
多摩市	83	60	23	11	12	0	12
稲城市	251	76	175	80	95	18	77
羽村市	104	46	58	28	30	3	27
あきる野市	711	514	197	84	113	16	97
西東京市	234	71	163	78	85	14	71
多摩26市	8,018	3,992	4,026	1,806	2,220	346	1,874

〈構成比〉

	自給的農家	販売農家	専業農家			
			兼業農家		第1種	第2種
			専業農家	兼業農家		
八王子市	67.3	32.7	14.0	18.7	3.7	15.0
立川市	21.1	78.9	31.7	47.2	11.1	36.1
武蔵野市	10.3	89.7	38.2	51.5	4.4	47.1
三鷹市	23.0	77.0	29.8	47.2	6.8	40.4
青梅市	72.6	27.4	9.8	17.6	3.7	13.9
府中市	50.3	49.7	23.6	26.1	2.8	23.3
昭島市	55.6	44.4	17.6	26.8	3.5	23.2
調布市	33.8	66.2	35.5	30.7	7.4	23.4
<b>町田市</b>	<b>55.9</b>	<b>44.1</b>	<b>17.1</b>	<b>27.0</b>	<b>3.9</b>	<b>23.1</b>
小金井市	37.6	62.4	26.8	35.6	2.0	33.6
小平市	31.1	68.9	34.0	34.9	5.4	29.5
日野市	50.2	49.8	24.9	24.9	3.0	21.9
東村山市	37.7	62.3	26.1	36.3	6.0	30.3
国分寺市	22.9	77.1	37.6	39.5	3.9	35.6
国立市	50.5	49.5	32.1	17.4	0.9	16.5
福生市	62.2	37.8	17.8	20.0	0.0	20.0
狛江市	46.6	53.4	28.0	25.4	0.8	24.6
東大和市	48.8	51.2	23.5	27.6	2.9	24.7
清瀬市	22.7	77.3	44.0	33.3	8.0	25.3
東久留米市	32.1	67.9	30.7	37.2	4.0	33.2
武蔵村山市	48.9	51.1	23.2	27.8	3.7	24.2
多摩市	72.3	27.7	13.3	14.5	0.0	14.5
稲城市	30.3	69.7	31.9	37.8	7.2	30.7
羽村市	44.2	55.8	26.9	28.8	2.9	26.0
あきる野市	72.3	27.7	11.8	15.9	2.3	13.6
西東京市	30.3	69.7	33.3	36.3	6.0	30.3
多摩26市	49.8	50.2	22.5	27.7	4.3	23.4

【注1】「農家」とは、経営耕地面積が10a以上の農業を営む世帯または農産物販売金額が年間15万円以上ある世帯。

【注2】「自給的農家」とは、経営耕地面積が30a未満かつ農産物販売金額が年間50万円未満の農家。

【注3】「販売農家」とは、経営耕地面積30a以上または農産物販売金額が年間50万円以上の農家。

【注4】「専業農家」とは、世帯員の中に兼業従事者(1年間に30日以上他に雇用されて仕事に従事した者または農業以外の自営業に従事した者)が1人もいない農家。

【注5】「兼業農家」とは、世帯員の中に兼業従事者が1人以上いる農家。

【注6】第1種兼業農家は、農業所得の方が兼業所得よりも多い兼業農家。第2種兼業農家は、兼業所得の方が農業所得よりも多い兼業農家。

**No.4-5-1-3 1千世帯あたり農家戸数【他市比較】**

出典:「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

時点:2015年2月1日現在(農家戸数)、2015年1月1日現在(世帯)

単位:戸、世帯

	農家戸数	世帯数	1千世帯 当たり 農家戸数	1千世帯 当たり 農家戸数 ランキング
八王子市	1,197	257,337	4.7	7
立川市	341	86,162	4.0	12
武蔵野市	68	73,913	0.9	26
三鷹市	265	90,283	2.9	18
青梅市	697	61,130	11.4	2
府中市	326	119,640	2.7	20
昭島市	142	51,878	2.7	19
調布市	231	111,273	2.1	23
<b>町田市</b>	<b>849</b>	<b>188,406</b>	<b>4.5</b>	<b>8</b>
小金井市	149	57,356	2.6	21
小平市	312	86,611	3.6	13
日野市	301	84,008	3.6	15
東村山市	284	70,446	4.0	11
国分寺市	205	56,960	3.6	14
国立市	109	35,771	3.0	16
福生市	45	29,353	1.5	24
狛江市	118	39,591	3.0	17
東大和市	170	37,742	4.5	9
清瀬市	225	34,162	6.6	5
東久留米市	274	52,279	5.2	6
武蔵村山市	327	30,256	10.8	3
多摩市	83	68,528	1.2	25
稲城市	251	37,184	6.8	4
羽村市	104	25,181	4.1	10
あきる野市	711	34,287	20.7	1
西東京市	234	92,610	2.5	22
多摩26市	8,018	1,912,347	4.2	

【注1】多摩26市の1千世帯あたり農家戸数は、26市の合計農家戸数/26市の合計世帯数

**No.4-5-2-1 農家人口**

出典:「町田市統計書」

時点:各年2月1日現在

単位:人

	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年
0～14歳	784	622	215	156	97
15～29歳	1,077	861	347	256	171
30～59歳	2,293	1,759	719	605	419
60歳以上	2,028	1,835	846	774	656
計	6,182	5,077	2,127	1,791	1,343

【注1】2005年、2010年、2015年のデータは、販売農家のみ的人口。

【注2】2020年農林業センサスから集計方法が変更されたため、次回の町田市データブックでは本項目は削除する予定。

**No.4-5-2-2 人口1千人あたり販売農家人口【他市比較】**

出典:「農林業センサス」

時点:2015年2月1日現在(農家世帯員数)、2015年1月1日現在(人口)

単位:人

	総数	人口	人口1千人 あたり 農家人口	人口1千人 あたり 農家人口 ランキング
八王子市	1,388	562,572	2.5	22
立川市	1,155	179,090	6.4	6
武蔵野市	251	142,138	1.8	24
三鷹市	881	182,092	4.8	9
青梅市	628	137,052	4.6	10
府中市	657	254,551	2.6	21
昭島市	241	112,727	2.1	23
調布市	618	224,191	2.8	19
<b>町田市</b>	<b>1,343</b>	<b>426,648</b>	<b>3.1</b>	<b>16</b>
小金井市	358	117,427	3.0	17
小平市	820	186,958	4.4	11
日野市	527	180,975	2.9	18
東村山市	769	151,412	5.1	8
国分寺市	678	119,379	5.7	7
国立市	193	74,558	2.6	20
福生市	48	58,553	0.8	25
狛江市	263	79,096	3.3	15
東大和市	334	86,162	3.9	13
清瀬市	756	74,374	10.2	1
東久留米市	752	116,494	6.5	5
武蔵村山市	624	72,092	8.7	2
多摩市	84	147,486	0.6	26
稲城市	655	86,594	7.6	4
羽村市	222	56,604	3.9	12
あきる野市	697	81,697	8.5	3
西東京市	696	198,267	3.5	14
多摩26市	15,638	4,109,189	3.8	

【注1】多摩26市の人口1千人あたり農家人口は、26市の合計農家総数/26市の合計人口

**No.4-5-3-1 経営耕地面積**

出典:「町田市統計書」

時点:各年2月1日現在

単位:ha

	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年
田	32	23	29	16	11
畑	266	241	249	188	141
樹園地	84	67	56	48	34
総経営耕地面積	382	331	334	252	186

【注1】経営耕地面積は、農林業経営体が経営する耕地(田、畑及び樹園地の計)の面積をいい、経営体が所有している耕地のうち貸し付けている耕地と耕作放棄地を除いたもの(自作地)に借りている耕地(借入耕地)を加えたもの。

## No.4-5-3-2 経営耕地構成比【他市比較】

出典:「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

時点:2015年2月1日現在

単位:a、%

	総数	田		畑		樹園地	
			構成比		構成比		構成比
八王子市	27,532	2,846	10.3	19,875	72.2	4,811	17.5
立川市	27,011	115	0.4	19,859	73.5	7,037	26.1
武蔵野市	4,014	413	10.3	2,712	67.6	889	22.1
三鷹市	13,994	40	0.3	9,929	71.0	4,025	28.8
青梅市	15,464	1,248	8.1	11,409	73.8	2,807	18.2
府中市	10,694	2,228	20.8	7,112	66.5	1,354	12.7
昭島市	3,691	564	15.3	2,430	65.8	697	18.9
調布市	9,808	346	3.5	7,746	79.0	1,716	17.5
<b>町田市</b>	<b>25,200</b>	<b>1,565</b>	<b>6.2</b>	<b>18,842</b>	<b>74.8</b>	<b>4,793</b>	<b>19.0</b>
小金井市	7,076	141	2.0	5,543	78.3	1,392	19.7
小平市	14,692	2	0.0	11,152	75.9	3,538	24.1
日野市	7,712	969	12.6	4,785	62.0	1,958	25.4
東村山市	12,879	56	0.4	8,799	68.3	4,024	31.2
国分寺市	14,720	25	0.2	12,373	84.1	2,322	15.8
国立市	3,411	694	20.3	2,362	69.2	355	10.4
福生市	769	20	2.6	613	79.7	136	17.7
狛江市	2,884	0	0.0	2,259	78.3	625	21.7
東大和市	4,680	0	0.0	3,252	69.5	1,428	30.5
清瀬市	16,832	0	0.0	15,707	93.3	1,125	6.7
東久留米市	14,430	33	0.2	11,751	81.4	2,646	18.3
武蔵村山市	12,881	114	0.9	10,309	80.0	2,458	19.1
多摩市	2,425	163	6.7	1,158	47.8	1,104	45.5
稲城市	9,611	606	6.3	3,461	36.0	5,544	57.7
羽村市	3,226	373	11.6	2,586	80.2	267	8.3
あきる野市	13,456	1,740	12.9	9,144	68.0	2,572	19.1
西東京市	15,161	140	0.9	12,717	83.9	2,304	15.2
多摩26市	294,253	14,441	4.9	217,885	74.0	61,927	21.0

## No.4-5-3-3 市域面積に占める経営耕地面積の割合【他市比較】

出典:「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

時点:2015年2月1日現在(経営耕地面積)、2015年1月1日現在(市域面積)

単位:a、km<sup>2</sup>、%

	経営耕地 面積 (a)	市域面積 (km <sup>2</sup> )	市域に占 める経営 耕地面積 の割合(%)	市域に占 める経営 耕地面積 の割合 ランキング
八王子市	27,532	186.31	1.5	24
立川市	27,011	24.38	11.1	4
武蔵野市	4,014	10.73	3.7	15
三鷹市	13,994	16.50	8.5	6
青梅市	15,464	103.26	1.5	23
府中市	10,694	29.34	3.6	16
昭島市	3,691	17.33	2.1	21
調布市	9,808	21.53	4.6	12
<b>町田市</b>	<b>25,200</b>	<b>71.64</b>	<b>3.5</b>	<b>17</b>
小金井市	7,076	11.33	6.2	10
小平市	14,692	20.46	7.2	9
日野市	7,712	27.53	2.8	20
東村山市	12,879	17.17	7.5	8
国分寺市	14,720	11.48	12.8	2
国立市	3,411	8.15	4.2	14
福生市	769	10.24	0.8	26
狛江市	2,884	6.39	4.5	13
東大和市	4,680	13.54	3.5	18
清瀬市	16,832	10.19	16.5	1
東久留米市	14,430	12.92	11.2	3
武蔵村山市	12,881	15.37	8.4	7
多摩市	2,425	21.08	1.2	25
稲城市	9,611	17.97	5.3	11
羽村市	3,226	9.91	3.3	19
あきる野市	13,456	73.34	1.8	22
西東京市	15,161	15.85	9.6	5
多摩26市	294,253	783.94	3.8	

【注】多摩26市の市域に占める経営耕地面積の割合は、26市の合計経営耕地面積/26市の合計市域面積×100

**No.4-5-4-1 市民農園区画数、面積**

出典:庁内資料

時点:各年度3月31日現在

単位:区画、ha

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
総区画数	146	146	145	152	152
総面積	0.44	0.44	0.44	0.44	0.44

## V 都市基盤

## 1 交通

## No.5-1-1-1 道路延長

出典:「町田市統計書」、庁内資料

時点:各年4月1日現在

単位:m

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
市道	1,262,777	1,265,484	1,267,429	1,268,856	1,270,990
その他	84,219	84,277	84,253	84,157	84,120
計	1,346,996	1,349,761	1,351,682	1,353,013	1,355,110

【注1】「その他」は、国道、主要地方道、一般都道の合計。

## No.5-1-1-2 道路構成比【他市比較】

出典:「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

時点:2019年4月1日現在

単位:m、%

	総数	市道		その他	
			構成比		構成比
八王子市	1,545,762	1,328,715	86.0	217,047	14.0
立川市	296,220	259,291	87.5	36,929	12.5
武蔵野市	148,942	127,757	85.8	21,185	14.2
三鷹市	295,387	265,559	89.9	29,828	10.1
青梅市	934,867	814,491	87.1	120,376	12.9
府中市	484,520	433,886	89.5	50,634	10.5
昭島市	256,166	227,254	88.7	28,912	11.3
調布市	442,215	406,602	91.9	35,613	8.1
<b>町田市</b>	<b>1,353,013</b>	<b>1,268,856</b>	<b>93.8</b>	<b>84,157</b>	<b>6.2</b>
小金井市	178,184	160,969	90.3	17,215	9.7
小平市	272,723	236,238	86.6	36,485	13.4
日野市	496,692	454,769	91.6	41,923	8.4
東村山市	302,676	277,227	91.6	25,449	8.4
国分寺市	239,800	226,251	94.3	13,549	5.7
国立市	153,928	139,362	90.5	14,566	9.5
福生市	150,932	130,080	86.2	20,852	13.8
狛江市	128,340	117,767	91.8	10,573	8.2
東大和市	235,185	209,365	89.0	25,820	11.0
清瀬市	188,557	174,524	92.6	14,033	7.4
東久留米市	255,698	235,149	92.0	20,549	8.0
武蔵村山市	272,400	253,429	93.0	18,971	7.0
多摩市	292,655	255,113	87.2	37,542	12.8
稲城市	265,056	242,326	91.4	22,730	8.6
羽村市	164,579	147,513	89.6	17,066	10.4
あきる野市	741,503	672,575	90.7	68,928	9.3
西東京市	274,753	240,716	87.6	34,037	12.4
多摩26市	10,370,753	9,305,784	89.7	1,064,969	10.3

**No.5-1-1-3 道路率【他市比較】**

出典:「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

時点:2019年4月1日現在

単位:m、%

	総面積		道路率	道路率 ランキング	
	市道	その他			
八王子市	14,823,335	9,355,170	8.0	24	
立川市	2,601,646	1,888,535	10.7	17	
武蔵野市	1,152,292	838,745	10.5	19	
三鷹市	1,948,842	1,448,153	11.9	10	
青梅市	4,743,893	3,146,750	4.6	26	
府中市	3,835,985	2,699,720	13.0	4	
昭島市	1,854,800	1,350,759	10.7	17	
調布市	2,740,131	2,061,022	12.7	6	
<b>町田市</b>	<b>8,669,523</b>	<b>7,149,514</b>	<b>12.1</b>	<b>9</b>	
小金井市	1,073,251	792,407	9.5	23	
小平市	2,045,495	1,563,179	10.0	22	
日野市	3,360,700	2,453,195	12.2	8	
東村山市	1,798,634	1,507,728	290,906	10.5	19
国分寺市	1,313,979	1,142,057	171,922	11.5	12
国立市	1,295,086	894,670	400,416	15.9	1
福生市	1,128,454	782,225	346,229	11.1	15
狛江市	821,370	654,727	166,643	12.9	5
東大和市	1,548,520	1,264,112	284,408	11.5	12
清瀬市	1,115,548	884,021	231,527	10.9	16
東久留米市	1,637,667	1,368,022	269,645	12.7	6
武蔵村山市	1,559,633	1,280,530	279,103	10.2	21
多摩市	3,185,692	2,178,901	1,006,791	15.2	2
稲城市	2,071,898	1,526,592	545,306	11.5	12
羽村市	1,328,117	1,037,254	290,863	13.4	3
あきる野市	3,481,243	2,332,057	1,149,186	4.7	25
西東京市	1,826,700	1,365,599	461,101	11.6	11
多摩26市	72,962,434	52,965,644	19,996,790	9.3	

【注1】道路率＝道路面積/市域面積×100

【注2】多摩26市の道路率は、26市の合計道路面積/26市の合計市域面積×100

**No.5-1-1-4 道路平均幅員【他市比較】**

出典:「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

時点:2019年4月1日現在

単位:m

	道路平均幅員		道路平均幅員 ランキング
		うち市道 平均幅員	
八王子市	9.6	7.0	2
立川市	8.8	7.3	3
武蔵野市	7.7	6.6	8
三鷹市	6.6	5.5	14
青梅市	5.1	3.9	25
府中市	7.9	6.2	6
昭島市	7.2	5.9	11
調布市	6.2	5.1	19
<b>町田市</b>	<b>6.4</b>	<b>5.6</b>	<b>16</b>
小金井市	6.0	4.9	20
小平市	7.5	6.6	9
日野市	6.8	5.4	12
東村山市	5.9	5.4	21
国分寺市	5.5	5.0	24
国立市	8.4	6.4	4
福生市	7.5	6.0	10
狛江市	6.4	5.6	18
東大和市	6.6	6.0	15
清瀬市	5.9	5.1	22
東久留米市	6.4	5.8	17
武蔵村山市	5.7	5.1	23
多摩市	10.9	8.5	1
稲城市	7.8	6.3	7
羽村市	8.1	7.0	5
あきる野市	4.7	3.5	26
西東京市	6.6	5.7	13
多摩26市	7.0	5.7	

【注1】道路平均幅員＝道路面積/道路延長

【注2】多摩26市の平均幅員は、26市の合計道路面積/26市の合計道路延長

**No.5-1-2-1 市内鉄道路線別年間乗車人員**

出典:「町田市統計書」

期間:各年度4月1日～3月31日

単位:千人

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
小田急小田原線	74,849	74,629	74,764	74,930	74,048
町田駅	53,364	53,217	53,354	53,559	52,929
鶴川駅	12,704	12,654	12,637	12,657	12,635
玉川学園前駅	8,781	8,758	8,773	8,714	8,484
JR横浜線	51,725	51,836	52,011	51,953	51,246
町田駅	40,938	41,043	41,139	41,077	40,478
成瀬駅	7,020	6,920	6,986	7,001	6,970
相原駅	3,767	3,873	3,886	3,875	3,798
東急田園都市線	10,549	10,577	9,692	9,818	11,582
南町田駅	6,216	6,245	5,373	5,519	7,327
つくし野駅	2,227	2,231	2,187	2,159	2,117
すずかけ台駅	2,106	2,101	2,132	2,140	2,138
京王相模原線 (多摩境駅)	3,575	3,664	3,710	3,728	3,722

【注1】小田急小田原線は、町田、鶴川、玉川学園前各駅乗車人数の合計。

【注2】JR横浜線は、町田、成瀬、相原各駅乗車人数の合計。

【注3】東急田園都市線は、南町田、つくし野、すずかけ台各駅乗車人数の合計。

【注4】京王相模原線は、多摩境駅乗車人数。

**No.5-1-2-2 主要駅別年間乗車人員【他市比較】**

出典:「東京都統計年鑑」東京都総務局統計部

時点:2019年度

単位:千人

	JR線	小田急線	京王線	多摩都市モノレール
町田駅	40,589	52,928	-	-
八王子駅	30,585	-	10,526	-
多摩センター駅	-	9,590	16,291	6,860
立川駅	60,989	-	-	8,044
吉祥寺駅	51,917	-	26,384	-

【注1】町田市及び比較市における主要駅と、その他の市で最も利用者が多い吉祥寺駅を表示している。

なお、同一社線内の乗り継ぎは除いている。

【注2】町田駅は、JR町田駅、小田急線町田駅の乗車人数。

【注3】八王子駅は、JR八王子駅、京王線京王八王子駅の乗車人数。

【注4】多摩センター駅は、小田急線小田急多摩センター駅、京王線京王多摩センター駅、多摩都市モノレール多摩センター駅の乗車人数。

【注5】立川駅は、JR立川駅、多摩都市モノレール立川北駅の乗車人数。

【注6】吉祥寺駅は、JR吉祥寺駅、京王線吉祥寺駅の乗車人数。

**No.5-1-3-1 地域コミュニティバス利用者数**

出典:庁内資料

期間:運行開始年度を除き、各年度4月1日～3月31日

単位:人

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
玉川学園北ルート	246,886	248,841	252,092	240,831	160,662
玉川学園東ルート	339,534	351,636	369,423	364,057	240,140
玉川学園南ルート	50,127	54,262	58,367	57,350	40,667
金森成瀬駅ルート	174,061	147,927	143,524	139,798	108,924

【注1】玉川学園南ルートは、2016年2月1日から運行開始。

【注2】金森町田駅ルートは、2009年7月18日運行開始、2012年9月30日運行終了。データブック2021年度版より削除。

**No.5-1-3-2 町田市民バス「まちっこ」利用者数**

出典:庁内資料

期間:各年度4月1日～3月31日

単位:人

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
相原ルート	19,850	20,657	19,902	18,535	13,877
公共施設巡回ルート	40,854	40,970	40,279	47,535	36,002

**No.5-1-3-3 市内民営バス路線輸送人員、延べキロ数**

出典:「町田市統計書」

期間:各年度4月1日～3月31日

単位:千人、千km

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
輸送人員	37,474	38,423	39,077	37,976	37,255
延べキロ数	11,036	11,222	10,659	10,338	10,200

【注1】各数値は小田急バスと神奈川中央交通の合計。

**No.5-1-4-1 自動車保有台数**

出典:「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

時点:各年3月末現在

単位:台

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
乗用車	147,423	141,096	149,323	149,333	149,833
貨物車	20,611	16,663	20,475	20,472	20,758
特殊	3,079	3,064	3,146	3,141	3,155
自動二輪	13,525	13,596	13,878	13,577	13,787
原付一種	26,513	25,678	24,855	19,894	19,135
計	211,151	200,097	211,677	206,417	206,668

【注1】車種分類は道路運送車両法による。

【注2】特殊とは、特殊用途車、特殊車(大型・小型)の合計。

**No.5-1-4-2 1千世帯あたり乗用車保有台数【他市比較】**

出典:「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

時点:2019年3月31日現在(台数)、2019年1月1日現在(世帯数)

単位:台

	乗用車保有台数	1千世帯あたり乗用車保有台数	1千世帯あたり乗用車保有台数ランキング
八王子市	208,375	778	7
立川市	60,396	662	11
武蔵野市	27,514	358	26
三鷹市	42,776	457	22
青梅市	64,389	1,020	4
府中市	68,372	547	18
昭島市	39,382	732	9
調布市	53,473	450	23
<b>町田市</b>	<b>149,833</b>	<b>766</b>	<b>8</b>
小金井市	26,878	445	24
小平市	53,543	585	17
日野市	57,286	648	12
東村山市	45,878	631	14
国分寺市	30,311	504	21
国立市	19,494	517	19
福生市	24,902	816	5
狛江市	17,599	417	25
東大和市	31,276	805	6
清瀬市	22,128	624	15
東久留米市	34,984	645	13
武蔵村山市	33,860	1,070	3
多摩市	44,049	613	16
稲城市	27,295	683	10
羽村市	33,053	1,285	1
あきる野市	41,220	1,161	2
西東京市	49,126	505	20
多摩26市	1,307,392	654	

【注1】多摩26市の1千世帯あたり乗用車保有台数は、26市の合計乗用車保有台数/26市の合計世帯数

**2 交通安全****No.5-2-1-1 交通事故発生件数(人身事故のみ)**

出典:「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

期間:各年1月1日～12月31日

単位:件

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
人対車	158	172	151	169	139
車対車	777	752	673	654	512
車単独	17	23	27	32	15
踏切	0	0	0	0	0
計	952	947	851	855	666

【注1】高速隊扱いの事故は含まない。

## No.5-2-1-2 交通事故類型別構成比【他市比較】

出典:「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

時点:2019年

単位:件、%

	総数	人対車両		車両相互		車両単独		列車(踏切)	
			構成比		構成比		構成比		構成比
八王子市	1,435	235	16.4	1,109	77.3	91	6.3	0	0.0
立川市	682	108	15.8	554	81.2	20	2.9	0	0.0
武蔵野市	224	48	21.4	169	75.4	7	3.1	0	0.0
三鷹市	350	58	16.6	278	79.4	14	4.0	0	0.0
青梅市	335	53	15.8	277	82.7	5	1.5	0	0.0
府中市	315	48	15.2	260	82.5	7	2.2	0	0.0
昭島市	511	74	14.5	356	69.7	81	15.9	0	0.0
調布市	424	51	12.0	271	63.9	102	24.1	0	0.0
<b>町田市</b>	<b>855</b>	<b>169</b>	<b>19.8</b>	<b>654</b>	<b>76.5</b>	<b>32</b>	<b>3.7</b>	<b>0</b>	<b>0.0</b>
小金井市	158	23	14.6	129	81.6	6	3.8	0	0.0
小平市	367	65	17.7	298	81.2	4	1.1	0	0.0
日野市	441	82	18.6	288	65.3	71	16.1	0	0.0
東村山市	220	38	17.3	181	82.3	1	0.5	0	0.0
国分寺市	152	30	19.7	121	79.6	1	0.7	0	0.0
国立市	244	48	19.7	195	79.9	1	0.4	0	0.0
福生市	161	37	23.0	122	75.8	2	1.2	0	0.0
狛江市	99	12	12.1	63	63.6	24	24.2	0	0.0
東大和市	240	35	14.6	200	83.3	5	2.1	0	0.0
清瀬市	88	17	19.3	68	77.3	3	3.4	0	0.0
東久留米市	266	46	17.3	215	80.8	5	1.9	0	0.0
武蔵村山市	254	31	12.2	216	85.0	7	2.8	0	0.0
多摩市	290	62	21.4	220	75.9	8	2.8	0	0.0
稲城市	181	24	13.3	154	85.1	3	1.7	0	0.0
羽村市	126	25	19.8	97	77.0	4	3.2	0	0.0
あきる野市	192	24	12.5	150	78.1	18	9.4	0	0.0
西東京市	344	67	19.5	265	77.0	12	3.5	0	0.0
多摩26市	8,954	1,510	16.9	6,910	77.2	534	6.0	0	0.0

【注1】集計方法の変更にとまない、年齢区分別交通事故当事者構成比を交通事故類型別構成比へ変更。

## No.5-2-2-1 放置自転車撤去台数

出典:庁内資料

時点:各年度末時点

単位:台

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
放置自転車撤去台数	4,454	3,660	2,889	2,241	1,309

【注1】市内9つの駅における一斉撤去の合計台数。

## No.5-2-2-2 自転車駐輪場利用台数

出典:庁内資料

時点:各年度末現在

単位:台

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
定期利用	117,770	116,508	116,340	131,425	118,111
一時利用	918,616	912,607	939,985	681,862	518,031
計	1,036,386	1,029,115	1,056,325	813,287	636,142

【注1】市営・公営自転車駐輪場(無料を除く)における自転車・バイクの年間利用台数。

【注2】定期利用は、定期利用の契約台数。

## 3 公園・緑地等

## No.5-3-1-1 都市公園等面積、市民1人あたり都市公園等面積

出典:「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会、「公園調書」東京都建設局

時点:各年4月1日現在

単位:m<sup>2</sup>

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
都市公園	4,238,926	4,237,348	4,250,473	4,669,804	4,714,374
市民1人あたり都市公園等面積	9.80	9.75	9.80	10.76	10.86

【注1】都市公園は、都立、市立都市公園、市立公園の合計。

**No.5-3-1-2 市民1人あたり都市公園等面積【他市比較】**

出典:「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

時点:2020年4月1日現在

単位:m

	都市公園	都市公園以外の都区市町村立公園	市民1人あたり面積	市民1人あたり面積ランキング
八王子市	6,898,432	70,273	12.1	3
立川市	1,695,830	55,217	9.7	7
武蔵野市	618,532	33,575	4.4	18
三鷹市	599,101	87,256	3.6	19
青梅市	603,643	262,559	6.5	13
府中市	1,799,146	55,683	7.0	11
昭島市	1,111,291	32,758	10.2	6
調布市	1,238,003	57,327	5.4	17
<b>町田市</b>	<b>4,267,556</b>	<b>446,818</b>	<b>10.9</b>	<b>5</b>
小金井市	796,334	72,237	6.9	12
小平市	517,777	0	2.6	22
日野市	1,323,366	30,681	7.1	10
東村山市	786,504	67,513	5.7	15
国分寺市	223,576	91,295	2.5	23
国立市	153,917	48,326	2.7	21
福生市	402,601	5,743	7.1	9
狛江市	106,614	16,740	1.5	26
東大和市	694,371	22,080	8.5	8
清瀬市	50,685	193,733	3.3	20
東久留米市	258,612	2,485	2.2	24
武蔵村山市	1,245,134	29,233	17.8	1
多摩市	2,351,819	0	15.9	2
稲城市	1,008,552	0	11.0	4
羽村市	337,385	16,196	6.5	14
あきる野市	299,487	143,807	5.5	16
西東京市	264,176	84,126	1.7	25
多摩26市	29,652,446	1,925,661	7.1	

【注1】多摩26市の市民1人あたり面積は、26市の合計都市公園面積÷26市の合計人口

**No.5-3-1-3 市域面積に占める安定的に確保された緑地の割合**

出典:「町田市環境白書」

時点:各年度3月31日現在

単位:ha、%

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
安定的に確保された緑地面積	826	825	783	776	772
市域面積に占める安定的に確保された緑地の割合	28.7	28.8	28.7	28.7	28.6

【注1】安定的に確保された緑地面積とは、特別緑地保全地区やふるさとの森、生産緑地地区など制度上安定した緑地の面積。

【注2】市域面積に占める安定的に確保された緑地の割合とは、

①公園緑地等、②制度上安定した緑地、③社会通念上安定した緑地の合計面積÷町田市面積

**4 住宅****No.5-4-1-1 新設住宅着工数**

出典:「建築統計年報」東京都都市整備局、「町田市統計書」

期間:各年1月1日～12月31日

単位:戸

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
持ち家	638	670	615	624	705
貸家	730	986	770	1,036	709
分譲住宅	1413	1,091	1,271	1,118	1,582
給与住宅	8	0	2	11	4
総数	2789	2,747	2,658	2,789	3,000

【注1】新設とは、建築物の新設、増設または改装によって住宅の戸が新たに作られる工事をいう。

**No.5-4-2-1 1住宅あたり延べ面積【他市比較】**

出典:「東京都統計年鑑」東京都総務局統計部

時点:2018年10月1日現在

単位:戸、㎡

	住宅数	1住宅あたり 延べ面積	1住宅あたり 延べ面積 ランキング
八王子市	253,120	79.0	6
立川市	85,830	68.4	21
武蔵野市	73,580	63.6	26
三鷹市	89,360	69.2	20
青梅市	50,670	91.3	2
府中市	115,350	67.7	23
昭島市	49,160	72.6	15
調布市	114,250	66.5	25
<b>町田市</b>	<b>185,920</b>	<b>80.9</b>	<b>4</b>
小金井市	60,860	67.7	24
小平市	83,970	72.9	14
日野市	85,380	74.8	11
東村山市	64,760	77.2	9
国分寺市	60,910	70.7	17
国立市	33,810	70.2	19
福生市	27,890	73.1	13
狛江市	40,130	67.8	22
東大和市	35,520	77.3	8
清瀬市	34,550	70.4	18
東久留米市	49,920	78.2	7
武蔵村山市	29,230	83.2	3
多摩市	65,750	71.2	16
稲城市	36,950	77.1	10
羽村市	22,190	80.6	5
あきる野市	31,020	97.5	1
西東京市	89,320	73.8	12
多摩26市	1,869,400	74.3	

【注1】多摩26市の1住宅あたり延べ面積は、26市の住宅数加重平均

**No.5-4-2-2 建て方別住宅数**

出典:「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

時点:各年10月1日現在

単位:戸

	1998年	2003年	2008年	2013年	2018年
一戸建	58,890	65,470	75,510	95,450	88,490
共同住宅	71,500	80,280	89,600	104,780	92,680
長屋建	2,660	3,750	4,920	5,510	4,530
その他	460	230	130	210	210
計	133,520	149,730	170,170	205,950	185,920

【注1】標本調査による推定結果であるため、四捨五入して10位を有効数字としたので、個々の数値の合計が必ずしも総数とは一致しない。

## No.5-4-2-3 建て方別住宅構成比【他市比較】

出典:「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

時点:2018年10月1日現在

単位:戸、%

〈実数〉

	総数	一戸建	共同住宅	共同住宅			その他	長屋建
				1~2階	3~5階	6階以上		
八王子市	253,120	112,360	136,000	31,410	57,920	46,670	4,750	4,540
立川市	85,830	28,210	55,450	11,910	26,810	16,730	2,170	2,020
武蔵野市	73,580	15,410	54,760	17,100	23,180	14,470	3,410	3,220
三鷹市	89,360	28,840	57,110	22,290	19,760	15,060	3,410	3,020
青梅市	50,670	31,400	18,280	4,670	8,510	5,100	990	850
府中市	115,350	36,540	75,530	21,840	28,750	24,940	3,280	2,990
昭島市	49,160	18,680	28,860	7,100	9,990	11,770	1,610	1,560
調布市	114,250	32,300	79,620	25,380	30,830	23,420	2,330	2,100
<b>町田市</b>	<b>185,920</b>	<b>88,490</b>	<b>92,680</b>	<b>26,420</b>	<b>44,840</b>	<b>21,430</b>	<b>4,740</b>	<b>4,530</b>
小金井市	60,860	21,720	37,120	16,630	12,040	8,450	2,020	1,930
小平市	83,970	34,020	48,530	15,570	23,160	9,800	1,430	1,260
日野市	85,380	36,080	47,700	16,170	20,880	10,650	1,600	1,480
東村山市	64,760	29,490	33,800	7,150	15,460	11,180	1,470	1,160
国分寺市	60,910	24,000	35,720	13,430	12,580	9,710	1,200	1,180
国立市	33,810	10,550	22,110	5,870	9,910	6,330	1,150	1,020
福生市	27,890	11,300	16,440	4,200	8,650	3,590	140	130
狛江市	40,130	13,520	25,510	11,090	10,020	4,390	1,090	1,050
東大和市	35,520	15,360	19,690	4,010	7,350	8,330	470	440
清瀬市	34,550	13,530	19,850	5,060	10,430	4,360	1,170	1,120
東久留米市	49,920	24,970	23,950	5,850	11,750	6,340	1,010	870
武蔵村山市	29,230	18,050	10,510	2,890	4,930	2,690	660	460
多摩市	65,750	14,120	50,040	6,980	25,710	17,360	1,600	1,580
稲城市	36,950	11,460	24,320	4,160	11,100	9,060	1,170	1,140
羽村市	22,190	10,950	10,390	2,900	5,260	2,230	860	750
あきる野市	31,020	23,940	6,310	4,110	1,930	270	780	590
西東京市	89,320	33,570	53,160	14,370	19,960	18,820	2,580	2,270
多摩26市	1,869,400	738,860	1,083,440	308,560	461,710	313,150	47,090	43,260

〈構成〉

	一戸建	共同住宅	共同住宅			その他	長屋建
			1~2階	3~5階	6階以上		
八王子市	44.4	53.7	12.4	22.9	18.4	1.9	1.8
立川市	32.9	64.6	13.9	31.2	19.5	2.5	2.4
武蔵野市	20.9	74.4	23.2	31.5	19.7	4.6	4.4
三鷹市	32.3	63.9	24.9	22.1	16.9	3.8	3.4
青梅市	62.0	36.1	9.2	16.8	10.1	2.0	1.7
府中市	31.7	65.5	18.9	24.9	21.6	2.8	2.6
昭島市	38.0	58.7	14.4	20.3	23.9	3.3	3.2
調布市	28.3	69.7	22.2	27.0	20.5	2.0	1.8
<b>町田市</b>	<b>47.6</b>	<b>49.8</b>	<b>14.2</b>	<b>24.1</b>	<b>11.5</b>	<b>2.5</b>	<b>2.4</b>
小金井市	35.7	61.0	27.3	19.8	13.9	3.3	3.2
小平市	40.5	57.8	18.5	27.6	11.7	1.7	1.5
日野市	42.3	55.9	18.9	24.5	12.5	1.9	1.7
東村山市	45.5	52.2	11.0	23.9	17.3	2.3	1.8
国分寺市	39.4	58.6	22.0	20.7	15.9	2.0	1.9
国立市	31.2	65.4	17.4	29.3	18.7	3.4	3.0
福生市	40.5	58.9	15.1	31.0	12.9	0.5	0.5
狛江市	33.7	63.6	27.6	25.0	10.9	2.7	2.6
東大和市	43.2	55.4	11.3	20.7	23.5	1.3	1.2
清瀬市	39.2	57.5	14.6	30.2	12.6	3.4	3.2
東久留米市	50.0	48.0	11.7	23.5	12.7	2.0	1.7
武蔵村山市	61.8	36.0	9.9	16.9	9.2	2.3	1.6
多摩市	21.5	76.1	10.6	39.1	26.4	2.4	2.4
稲城市	31.0	65.8	11.3	30.0	24.5	3.2	3.1
羽村市	49.3	46.8	13.1	23.7	10.0	3.9	3.4
あきる野市	77.2	20.3	13.2	6.2	0.9	2.5	1.9
西東京市	37.6	59.5	16.1	22.3	21.1	2.9	2.5
多摩26市	39.5	58.0	16.5	24.7	16.8	2.5	2.3

【注1】「その他」には長屋建を含む。

## No.5-4-2-4 住宅の所有関係別住宅構成比【他市比較】

出典:「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

時点:2018年10月1日現在

単位:戸、%

〈実数〉

	総数	持ち家	借家			
			公営	都市再生機構・公社	民営	給与住宅
八王子市	239,470	146,820	11,110	9,530	69,880	2,130
立川市	77,420	39,560	5,600	5,850	23,920	2,490
武蔵野市	70,150	29,220	2,110	1,950	34,260	2,610
三鷹市	83,710	41,860	3,800	2,120	34,460	1,470
青梅市	46,860	35,030	630	910	10,070	220
府中市	109,860	59,000	4,010	870	44,430	1,550
昭島市	46,740	25,150	3,320	2,310	14,840	1,120
調布市	106,300	50,710	3,810	3,000	46,680	2,100
<b>町田市</b>	<b>177,600</b>	<b>105,900</b>	<b>8,160</b>	<b>15,070</b>	<b>46,930</b>	<b>1,540</b>
小金井市	56,420	27,220	520	1,400	25,010	2,270
小平市	79,250	41,020	5,770	1,850	26,720	3,890
日野市	82,240	45,030	3,020	4,270	28,420	1,500
東村山市	61,720	38,070	5,290	2,280	15,580	500
国分寺市	57,180	28,910	1,670	930	23,610	2,060
国立市	31,570	15,390	2,010	1,800	11,820	550
福生市	26,700	13,370	1,070	2,420	9,410	430
狛江市	37,070	18,310	1,690	880	15,940	250
東大和市	33,920	20,540	2,610	1,980	8,180	610
清瀬市	33,790	16,540	3,620	3,410	9,830	390
東久留米市	47,820	30,010	1,610	5,230	10,420	550
武蔵村山市	27,320	17,450	3,660	240	5,510	460
多摩市	62,620	33,520	3,920	7,220	17,600	360
稲城市	35,380	20,420	1,290	2,420	10,880	370
羽村市	21,080	12,990	520	610	6,650	310
あきる野市	28,970	22,740	100	0	6,020	110
西東京市	85,030	46,940	4,710	3,820	28,230	1,330
多摩26市	1,766,190	981,720	85,630	82,370	585,300	31,170

〈構成比〉

	持ち家	借家			
		公営	都市再生機構・公社	民営	給与住宅
八王子市	61.3	4.6	4.0	29.2	0.9
立川市	51.1	7.2	7.6	30.9	3.2
武蔵野市	41.7	3.0	2.8	48.8	3.7
三鷹市	50.0	4.5	2.5	41.2	1.8
青梅市	74.8	1.3	1.9	21.5	0.5
府中市	53.7	3.7	0.8	40.4	1.4
昭島市	53.8	7.1	4.9	31.8	2.4
調布市	47.7	3.6	2.8	43.9	2.0
<b>町田市</b>	<b>59.6</b>	<b>4.6</b>	<b>8.5</b>	<b>26.4</b>	<b>0.9</b>
小金井市	48.2	0.9	2.5	44.3	4.0
小平市	51.8	7.3	2.3	33.7	4.9
日野市	54.8	3.7	5.2	34.6	1.8
東村山市	61.7	8.6	3.7	25.2	0.8
国分寺市	50.6	2.9	1.6	41.3	3.6
国立市	48.7	6.4	5.7	37.4	1.7
福生市	50.1	4.0	9.1	35.2	1.6
狛江市	49.4	4.6	2.4	43.0	0.7
東大和市	60.6	7.7	5.8	24.1	1.8
清瀬市	48.9	10.7	10.1	29.1	1.2
東久留米市	62.8	3.4	10.9	21.8	1.2
武蔵村山市	63.9	13.4	0.9	20.2	1.7
多摩市	53.5	6.3	11.5	28.1	0.6
稲城市	57.7	3.6	6.8	30.8	1.0
羽村市	61.6	2.5	2.9	31.5	1.5
あきる野市	78.5	0.3	0.0	20.8	0.4
西東京市	55.2	5.5	4.5	33.2	1.6
多摩26市	55.6	4.8	4.7	33.1	1.8

## No.5-4-2-5 駅からの距離別住宅構成比【他市比較】

出典:「住宅・土地統計調査結果」総務省統計局

時点:2018年10月1日現在

単位:戸、%

〈実数〉

	総数	駅まで 200m未満	200～ 500m	500～ 1,000m	1,000～ 2,000m	2,000m以上
八王子市	253,950	9,200	30,790	62,640	81,530	69,790
立川市	86,010	5,190	16,580	27,050	26,720	10,470
武蔵野市	73,990	2,850	14,090	28,510	27,480	1,060
三鷹市	89,730	1,390	10,370	23,690	43,940	10,340
青梅市	50,800	1,140	4,490	14,360	16,480	14,330
府中市	115,730	12,790	38,680	45,380	18,460	420
昭島市	49,440	3,770	8,610	15,330	19,570	2,160
調布市	114,600	9,410	29,820	43,360	20,930	11,080
<b>町田市</b>	<b>186,260</b>	<b>5,210</b>	<b>13,460</b>	<b>37,520</b>	<b>62,350</b>	<b>67,720</b>
小金井市	61,160	3,680	8,110	20,100	26,580	2,690
小平市	84,300	4,880	16,410	28,130	32,850	2,030
日野市	85,620	4,500	14,020	36,860	25,660	4,580
東村山市	64,930	5,890	16,330	19,030	22,120	1,560
国分寺市	61,080	3,710	12,600	20,930	21,140	2,700
国立市	33,870	2,360	8,080	11,130	12,140	160
福生市	27,900	1,900	9,810	10,870	5,320	-
狛江市	40,270	2,720	6,790	12,630	14,950	3,180
東大和市	35,620	2,130	5,890	12,490	11,290	3,820
清瀬市	34,660	1,190	4,820	7,190	14,770	6,690
東久留米市	50,100	770	3,500	9,240	17,060	19,530
武蔵村山市	29,510	-	-	4,670	10,280	14,560
多摩市	65,910	2,320	8,670	16,460	29,090	9,370
稲城市	37,100	3,090	6,110	13,930	11,780	2,190
羽村市	22,290	1,410	3,660	9,200	7,850	170
あきる野市	31,080	1,890	3,440	8,310	12,820	4,620
西東京市	89,750	4,870	15,070	31,590	32,580	5,640
多摩26市	1,875,660	98,260	310,200	570,600	625,740	270,860

〈構成比〉

	駅まで 200m未満	200～ 500m	500～ 1,000m	1,000～ 2,000m	2,000m以上
八王子市	3.6	12.1	24.7	32.1	27.5
立川市	6.0	19.3	31.4	31.1	12.2
武蔵野市	3.9	19.0	38.5	37.1	1.4
三鷹市	1.5	11.6	26.4	49.0	11.5
青梅市	2.2	8.8	28.3	32.4	28.2
府中市	11.1	33.4	39.2	16.0	0.4
昭島市	7.6	17.4	31.0	39.6	4.4
調布市	8.2	26.0	37.8	18.3	9.7
<b>町田市</b>	<b>2.8</b>	<b>7.2</b>	<b>20.1</b>	<b>33.5</b>	<b>36.4</b>
小金井市	6.0	13.3	32.9	43.5	4.4
小平市	5.8	19.5	33.4	39.0	2.4
日野市	5.3	16.4	43.1	30.0	5.3
東村山市	9.1	25.2	29.3	34.1	2.4
国分寺市	6.1	20.6	34.3	34.6	4.4
国立市	7.0	23.9	32.9	35.8	0.5
福生市	6.8	35.2	39.0	19.1	-
狛江市	6.8	16.9	31.4	37.1	7.9
東大和市	6.0	16.5	35.1	31.7	10.7
清瀬市	3.4	13.9	20.7	42.6	19.3
東久留米市	1.5	7.0	18.4	34.1	39.0
武蔵村山市	-	-	15.8	34.8	49.3
多摩市	3.5	13.2	25.0	44.1	14.2
稲城市	8.3	16.5	37.5	31.8	5.9
羽村市	6.3	16.4	41.3	35.2	0.8
あきる野市	6.1	11.1	26.7	41.2	14.9
西東京市	5.4	16.8	35.2	36.3	6.3
多摩26市	5.2	16.5	30.4	33.4	14.4

**No.5-4-3-1 空き家率【他市比較】**

出典:「住宅・土地統計調査結果」総務省統計局

時点:2018年10月1日現在

単位:戸、%

	空家数	空家率	空家率 ランキング
八王子市	35,170	12.2	23
立川市	11,090	11.4	19
武蔵野市	9,080	10.9	17
三鷹市	10,730	10.6	13
青梅市	6,900	11.9	22
府中市	15,030	11.4	20
昭島市	7,530	13.3	24
調布市	12,690	9.9	8
<b>町田市</b>	<b>20,010</b>	<b>9.6</b>	<b>5</b>
小金井市	6,940	10.2	10
小平市	12,960	13.3	25
日野市	9,760	10.2	11
東村山市	7,090	9.8	7
国分寺市	6,970	10.3	12
国立市	5,950	14.8	26
福生市	3,410	10.8	16
狛江市	4,190	9.4	3
東大和市	3,780	9.5	4
清瀬市	3,710	9.7	6
東久留米市	6,050	10.8	15
武蔵村山市	3,650	11.1	18
多摩市	7,900	10.7	14
稲城市	3,570	8.8	1
羽村市	3,010	11.9	21
あきる野市	3,520	10.1	9
西東京市	8,690	8.8	2
多摩26市	229,380	10.9	

【注1】この表の26市ランキングについては、数値の小さい市から並べている。

【注2】空家率＝空家数／住宅数×100

【注3】多摩26市の空家率は、26市の合計空家数／26市の合計住宅数×100

**5 下水道****No.5-5-1-1 下水道処理区域面積、人口普及率、面積普及率**

出典:「町田市統計書」、「下水道事業概要」

時点:各年度末現在

単位:ha、%

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
処理区域面積	4,921	4,980	5,000	5,012	5,039
人口普及率	98.6	98.7	98.8	98.8	98.9
面積普及率	68.5	69.4	69.9	70.1	70.4

【注1】人口普及率とは、市の人口のうち、公共下水道が使えるようになった人口が占める割合のこと。

【注2】面積普及率とは、市域面積のうち、下水道処理区域面積が占める割合のこと。

**No.5-5-1-2 人口普及率【他市比較】**

出典:「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

時点:2019年度末現在(下水道普及人口)、2020年4月1日現在(人口)

単位:人、%

	下水道普及人口	人口	人口普及率	人口普及率 ランキング
八王子市	558,049	561,622	99.4	21
立川市	184,195	184,195	100.0	1
武蔵野市	147,519	147,519	100.0	1
三鷹市	189,478	189,478	100.0	1
青梅市	129,996	132,593	98.0	24
府中市	260,382	260,382	100.0	1
昭島市	113,530	113,610	99.9	19
調布市	237,506	237,506	100.0	1
<b>町田市</b>	<b>423,750</b>	<b>428,851</b>	<b>98.8</b>	<b>23</b>
小金井市	122,542	122,542	100.0	1
小平市	194,941	194,941	100.0	1
日野市	179,555	186,731	96.2	25
東村山市	151,233	151,233	100.0	1
国分寺市	125,878	125,881	100.0	14
国立市	76,282	76,282	100.0	1
福生市	57,378	57,378	100.0	1
狛江市	83,503	83,503	100.0	1
東大和市	85,257	85,266	100.0	17
清瀬市	74,628	74,633	100.0	15
東久留米市	116,807	116,807	100.0	1
武蔵村山市	72,269	72,277	100.0	18
多摩市	148,822	148,835	100.0	16
稲城市	91,018	91,706	99.2	22
羽村市	54,888	55,091	99.6	20
あきる野市	75,444	80,575	93.6	26
西東京市	205,652	205,653	100.0	13
多摩26市	4,160,502	4,185,090	99.4	

【注1】下水道普及率ランキングは下水道普及率を四捨五入せずに比較。

【注2】人口普及率とは、市の人口のうち、公共下水道が使えるようになった人口が占める割合のこと。

【注3】多摩26市の人口普及率は、26市の合計下水道普及人口÷26市の合計人口×100

**No.5-5-1-3 下水処理量**

出典:「町田市統計書」、庁内資料

時点:各年度末現在

単位:千m<sup>3</sup>

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
成瀬クリーンセンター	28,007	27,944	26,846	28,454	28,169
鶴見川クリーンセンター	15,528	15,945	15,165	16,066	16,160
計	43,535	43,889	42,011	44,520	44,329

**No.5-5-1-4 公共下水道人口水洗化率**

出典:「下水道事業概要」

時点:各年度末現在

単位:%

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
公共下水道人口水洗化率	98.6	99.1	99.3	99.3	99.3

【注1】公共下水道人口水洗化率とは、下水道供用開始区域内の人口のうち、公共下水道を利用している人口の割合のこと。

**6 治水・防災****No.5-6-1-1 調整池の規模、箇所数**

出典:庁内資料

時点:各年度末現在

単位:m<sup>3</sup>、箇所

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
調整池規模	582,048	582,506	582,506	597,005	599,305
調整池箇所数	119	120	120	121	123

**No.5-6-1-2 雨水管面積整備率**

出典:庁内資料

時点:各年度末現在

単位:%

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
公共下水道雨水幹線整備率	37.2	37.3	37.3	37.5	37.6

【注1】面積整備率=整備済み面積/雨水全体計画面積

【注2】2017年度から、雨水管の整備率から雨水管面積整備率に名称変更。

**No.5-6-2-1 市民1万人あたり火災発生件数【他市比較】**

出典:「東京都統計年鑑」東京都総務局統計部

時点:2019年(火災件数)、2020年1月1日現在(人口)

単位:件

	火災件数	市民1万人あたり火災発生件数	市民1万人あたり火災発生件数 ランキング
八王子市	159	2.8	21
立川市	50	2.7	18
武蔵野市	46	3.1	25
三鷹市	53	2.8	19
青梅市	26	2.0	5
府中市	59	2.3	11
昭島市	32	2.8	20
調布市	59	2.5	15
<b>町田市</b>	<b>104</b>	<b>2.4</b>	<b>14</b>
小金井市	35	2.9	22
小平市	39	2.0	7
日野市	47	2.5	16
東村山市	27	1.8	3
国分寺市	25	2.0	6
国立市	18	2.4	13
福生市	10	1.7	2
狛江市	19	2.3	12
東大和市	18	2.1	8
清瀬市	19	2.5	17
東久留米市	26	2.2	10
武蔵村山市	11	1.5	1
多摩市	46	3.1	24
稲城市	20	2.2	9
羽村市	17	3.1	23
あきる野市	27	3.3	26
西東京市	37	1.8	4
多摩26市	1,029	2.5	

【注1】この表の26市ランキングについては、数値の小さい市から並べている。

【注2】多摩26市の市民1万人あたり火災発生件数は、26市の合計火災件数/26市の合計人口

**No.5-6-2-2 建物不燃化率**

出典:「東京都統計年鑑」東京都総務局統計部

時点:各年1月1日現在

単位:m<sup>2</sup>、%

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
非木造建物床面積	8,929,449	9,057,861	9,081,043	9,103,364	9,144,494
木造建物床面積	9,548,280	9,666,322	9,758,924	9,859,373	9,965,657
総建物床面積	18,477,729	18,724,183	18,839,967	18,962,737	19,110,151
建物不燃化率	48.3	48.4	48.2	48.0	47.9

【注1】建物不燃化率=非木造建物床面積/総建物床面積×100

**No.5-6-3-1 消防団員数、火災・風水害等出動延べ人数**

出典:庁内資料、事業別行政評価シート

時点:各年度当初現在(消防団員数)、各年度末現在(火災・風水害等出動延べ人数)

単位:人

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
消防団員数	575	576	569	577	548
火災・風水害等出動延べ人数	5,088	4,406	4,318	4,478	3,058

**No.5-6-3-2 自主防災組織数、自主防災組織リーダー講習会修了者延べ数**

出典:庁内資料、事業別行政評価シート

時点:各年度末現在

単位:団体、人

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
自主防災組織数	297	298	299	299
自主防災組織リーダー講習会修了者延べ数	42	77	115	147

【注1】5ヶ年毎の事業のため、自主防災組織リーダー講習会修了者延べ数は該当5ヶ年の延べ人数。

**No.5-6-4-1 防災無線屋外拡声子局設置箇所数**

出典:庁内資料

時点:各年度末現在

単位:箇所

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
防災無線屋外拡声子局設置箇所	262	270	293	316	333

## VI 教育

## 1 学校教育

## No.6-1-1-1 市立小学校児童数、学級数

出典:「町田市統計書」、庁内資料

時点:各年5月1日現在

単位:人、学級

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
児童数	22,781	22,408	22,027	21,573	21,244
学級数	775	759	754	747	738

## No.6-1-1-2 市立中学校生徒数、学級数

出典:「町田市統計書」、庁内資料

時点:各年5月1日現在

単位:人、学級

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
生徒数	10,608	10,475	10,297	10,340	10,268
学級数	325	321	318	324	324

## No.6-1-1-3 小学校1校あたり児童数【他市比較】

## No.6-1-1-4 中学校1校あたり生徒数【他市比較】

出典:「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

時点:2020年5月1日現在

単位:校、人

	小学校				中学校			
	学校数	児童数	1校あたり児童数	1校あたり児童数 ランキング	学校数	生徒数	1校あたり生徒数	1校あたり生徒数 ランキング
八王子市	69	26,109	378	24	46	15,166	330	22
立川市	19	8,599	453	13	9	3,776	420	12
武蔵野市	15	7,731	515	10	11	4,257	387	15
三鷹市	16	9,586	599	3	9	4,214	468	6
青梅市	17	5,853	344	25	11	3,126	284	26
府中市	24	14,275	595	4	12	6,171	514	3
昭島市	14	5,835	417	18	7	2,675	382	16
調布市	22	12,121	551	6	12	5,920	493	5
<b>町田市</b>	<b>44</b>	<b>22,689</b>	<b>516</b>	<b>9</b>	<b>24</b>	<b>12,689</b>	<b>529</b>	<b>1</b>
小金井市	10	6,267	627	1	9	3,777	420	11
小平市	21	10,756	512	11	11	4,852	441	9
日野市	17	9,366	551	7	8	4,194	524	2
東村山市	15	7,332	489	12	11	4,068	370	17
国分寺市	11	6,366	579	5	6	3,031	505	4
国立市	11	4,465	406	20	5	2,324	465	7
福生市	7	2,346	335	26	3	1,045	348	19
狛江市	6	3,622	604	2	4	1,289	322	23
東大和市	10	4,431	443	15	5	2,047	409	13
清瀬市	10	3,835	384	23	6	1,866	311	24
東久留米市	13	5,723	440	17	9	2,750	306	25
武蔵村山市	9	4,058	451	14	5	2,188	438	10
多摩市	18	7,284	405	21	11	3,917	356	18
稲城市	12	5,303	442	16	7	2,422	346	20
羽村市	7	2,843	406	19	3	1,361	454	8
あきる野市	11	4,280	389	22	7	2,365	338	21
西東京市	18	9,909	551	8	11	4,425	402	14
多摩26市	446	210,984	473		262	105,915	404	

【注1】この表の学校数、児童数・生徒数については、国立、公立、私立の合計。

【注2】多摩26市の1校あたり児童数(生徒数)は、26市の合計児童数(生徒数)÷26市の合計学校数

## No.6-1-2-1 公立学校のトイレ改修実施延べ校数(小中学校)

出典:庁内資料

時点:各年度3月31日現在

単位:校

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
小学校	34	38	38	38	38
中学校	11	17	17	17	17

【注1】工事が複数年にわたる場合、工事完了時に実施校数に加算。

**No.6-1-2-2 公立学校の防音工事实施延べ校数(小中学校)**

出典:庁内資料

時点:各年度3月31日現在

単位:校

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
小学校	8	8	8	8	9
中学校	4	4	4	4	4

【注1】工事が複数年にわたる場合、工事完了時に実施校数に加算。

**No.6-1-3-1 コンピューター設置台数、1台あたり児童数(市立小学校)****No.6-1-3-2 コンピューター設置台数、1台あたり生徒数(市立中学校)**

出典:「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」文部科学省

時点:各年度3月1日現在

単位:台、人

		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
小学校	教育用コンピューター設置台数	1,871	1,927	3,033	4,696	24,822
	学習用コンピューター	-	-	2,466	3,189	23,559
	指導者用コンピューター	-	-	567	1,507	1,263
	教育用コンピューター1台あたり児童数	12.2	11.8	7.4	4.7	0.9
中学校	教育用コンピューター設置台数	897	994	1,399	2,528	12,034
	学習用コンピューター	-	-	1,181	1,634	11,404
	指導者用コンピューター	-	-	218	894	630
	教育用コンピューター1台あたり生徒数	12.2	10.7	7.5	4.1	0.9

【注1】2018年度から調査項目の変更により教育用コンピューターを指導者用と学習用に細分化。

**No.6-1-3-3 コンピューター1台あたり児童数(市立小学校)【他市比較】****No.6-1-3-4 コンピューター1台あたり生徒数(市立中学校)【他市比較】**

出典:「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」文部科学省

時点:2020年3月1日現在

単位:台、人

	小学校						中学校					
	教育用コンピューター			学習用コンピューター			教育用コンピューター			学習用コンピューター		
	設置台数	1台あたり児童数	1台あたり児童数ランキング	設置台数	1台あたり児童数	1台あたり児童数ランキング	設置台数	1台あたり生徒数	1台あたり生徒数ランキング	設置台数	1台あたり生徒数	1台あたり生徒数ランキング
八王子市	7	7.1	9	2,992	9.1	11	1,943	6.7	11	1,679	7.7	9
立川市	6	6.0	6	998	8.7	8	992	3.8	2	753	5.0	3
武蔵野市	7	7.1	8	580	10.2	16	431	4.3	5	327	5.6	4
三鷹市	7	7.2	10	798	11.3	20	391	8.4	17	308	10.6	20
青梅市	9	9.5	19	626	9.7	12	411	7.8	16	400	8.0	10
府中市	6	5.9	5	1,760	7.7	6	564	10.2	24	480	12.0	25
昭島市	7	7.5	11	677	8.3	7	271	9.2	21	253	9.9	18
調布市	9	8.8	15	782	14.2	24	546	7.3	13	326	12.3	26
<b>町田市</b>	<b>5</b>	<b>4.7</b>	<b>3</b>	<b>3,189</b>	<b>6.9</b>	<b>5</b>	<b>2,528</b>	<b>4.1</b>	<b>3</b>	<b>1,634</b>	<b>6.3</b>	<b>5</b>
小金井市	9	9.0	17	362	15.1	25	371	5.5	7	280	7.3	8
小平市	12	11.8	25	558	17.7	26	528	7.6	15	482	8.4	12
日野市	12	11.9	26	765	12.2	21	368	11.5	26	360	11.7	24
東村山市	10	9.6	21	757	10.0	13	345	9.9	23	329	10.4	19
国分寺市	8	8.4	14	400	14.0	23	340	6.5	10	200	11.1	23
国立市	4	4.4	2	684	4.6	2	263	5.0	6	193	6.8	6
福生市	3	2.8	1	727	3.2	1	164	6.5	9	120	8.9	14
狛江市	6	5.5	4	573	6.1	3	398	3.2	1	358	3.6	1
東大和市	9	9.1	18	423	10.6	18	232	8.8	19	212	9.7	17
清瀬市	8	7.7	12	412	8.8	9	247	7.5	14	232	8.0	11
東久留米市	9	9.5	20	544	10.2	15	351	7.2	12	293	8.7	13
武蔵村山市	6	6.0	7	663	6.3	4	520	4.1	4	486	4.4	2
多摩市	8	8.0	13	774	9.1	10	477	6.2	8	422	7.0	7
稲城市	10	10.1	24	490	11.0	19	263	8.9	20	241	9.7	16
羽村市	10	9.9	23	276	10.5	17	132	10.3	25	123	11.1	22
あきる野市	10	9.8	22	424	10.0	14	247	8.8	18	240	9.0	15
西東京市	9	8.8	16	721	13.7	22	423	9.4	22	361	11.0	21
多摩26市	206	8.5		21,955	9.3		13,746	6.4		11,092	8.0	

【注1】この表の26市ランキングについては、数値の小さい市から並べている。

【注2】多摩26市の1台あたり児童数(生徒数)は、26市の合計児童数(生徒数)÷26市の合計設置台数

**No.6-1-4-1 蔵書数、学校図書館図書標準達成校割合(市立小中学校)**

出典:「町田市統計書」、庁内資料

時点:各年度3月31日現在(蔵書数、図書標準達成校数)、各年5月1日現在(校数)

単位:冊、%

		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
小学校	蔵書数	444,471	440,209	440,839	445,031	450,780
	達成校割合	71.4	78.6	78.6	83.3	100.0
中学校	蔵書数	224,370	232,775	233,770	242,738	252,471
	達成校割合	30.0	50.0	40.0	55.0	100.0

【注1】学校図書館図書標準とは、文部科学省が公立義務教育諸学校の学校図書館に整備すべき蔵書の標準として、学級数に応じて定めている蔵書数。

【注2】達成校割合とは、学校図書館図書標準を達成している学校数の全校数に対する割合。

**No.6-1-4-2 学校図書館図書標準達成校割合(市立小中学校)【他市比較】**

出典:「学校図書館の現状に関する調査」文部科学省

時点:2015年度末現在

単位:校、%

	小学校			中学校			合計		
	達成校数	達成校割合	達成校割合 ランキング	達成校数	達成校割合	達成校割合 ランキング	達成校数	達成校割合	達成校割合 ランキング
八王子市	31	44.3	24	16	42.1	19	47	43.5	23
立川市	11	55.0	21	7	77.8	13	18	62.1	17
武蔵野市	12	100.0	1	6	100.0	1	18	100.0	1
三鷹市	12	80.0	15	6	85.7	9	18	81.8	13
青梅市	8	47.1	22	7	63.6	16	15	53.6	21
府中市	21	95.5	10	11	100.0	1	32	97.0	7
昭島市	13	100.0	1	4	66.7	14	17	89.5	10
調布市	20	100.0	1	8	100.0	1	28	100.0	1
<b>町田市</b>	<b>28</b>	<b>66.7</b>	<b>18</b>	<b>6</b>	<b>30.0</b>	<b>23</b>	<b>34</b>	<b>54.9</b>	<b>20</b>
小金井市	6	66.7	18	4	80.0	11	10	71.5	15
小平市	13	68.4	17	3	37.5	21	16	59.2	18
日野市	8	47.1	22	2	25.0	24	10	40.0	24
東村山市	2	13.3	26	0	0.0	26	2	7.7	26
国分寺市	10	100.0	1	4	80.0	11	14	93.3	9
国立市	8	100.0	1	3	100.0	1	11	100.0	1
福生市	6	85.7	14	1	33.3	22	7	70.0	16
狛江市	6	100.0	1	4	100.0	1	10	100.0	1
東大和市	7	70.0	16	1	20.0	25	8	53.3	22
清瀬市	9	100.0	1	2	40.0	20	11	78.6	14
東久留米市	8	61.5	20	3	42.9	18	11	55.0	19
武蔵村山市	9	100.0	1	5	100.0	1	14	100.0	1
多摩市	16	94.1	12	6	66.7	14	22	84.6	12
稲城市	3	25.0	25	3	50.0	17	6	33.3	25
羽村市	7	100.0	1	3	100.0	1	10	100.0	1
あきる野市	9	90.0	13	5	83.3	10	14	87.5	11
西東京市	17	94.4	11	9	100.0	1	26	96.3	8
多摩26市	300	70.3		129	59.2		429	66.5	

【注1】学校図書館図書標準とは、文部科学省が公立義務教育諸学校の学校図書館に整備すべき蔵書の標準として、学級数に応じて定めている蔵書数。

【注2】達成校割合とは、学校図書館図書標準を達成している学校数の全校数に対する割合。

【注3】多摩26市の達成校割合は、26市の合計達成校数/26市の合計学校数×100

**No.6-1-5-1 不登校児童数、児童1千人あたり不登校児童数(市立小学校)****No.6-1-5-2 不登校生徒数、生徒1千人あたり不登校生徒数(市立中学校)**

出典:「町田市統計書」、庁内資料

時点:各年度3月31日現在(不登校児童・生徒数)、各年5月1日現在(児童・生徒数)

単位:人

		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
小学校	不登校児童数	110	122	162	199	216
	児童1千人あたり不登校児童数	4.8	5.4	7.2	9.0	10.0
中学校	不登校生徒数	355	392	494	557	551
	生徒1千人あたり不登校生徒数	32.6	37.0	47.2	54.1	53.3

【注1】不登校児童(生徒)数とは、何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、登校しないあるいはしたくともできない状況にあるため年間30日以上欠席した者のうち、病気や経済的な理由による者を除いた児童(生徒)数。

**No.6-1-6-1 教育相談件数**

出典:「町田の教育」、庁内資料

時点:各年度3月31日現在

単位:件

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
不登校	596	561	600	642	556
育て方等	33	20	14	13	11
発達に関すること	561	536	479	357	445
落ち着きなし	124	132	158	203	-
その他	309	287	325	345	349
計	1,623	1,536	1,576	1,560	1,361

【注1】教育相談とは、市内の児童、生徒及び幼児の様々な教育上の問題について、専門の相談員が本人、保護者、学校・保育園・幼稚園関係者の必要に応じて行う相談。教育センターで実施。

【注2】「落ち着きなし」は、2020年度から統計指標を東京都と統一し、全て「発達に関すること」で計上。

**No.6-1-6-2 就学援助費認定者数(小学校)****No.6-1-6-3 就学援助費認定者数(中学校)**

出典:「町田市統計書」

時点:5月1日現在(2016年)、各年7月1日現在(2017年以降)

単位:人

		2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
小学校	要保護者数	309	327	332	318	295
	準要保護者数	2,326	2,281	2,254	2,155	2,049
	計	2,635	2,608	2,586	2,473	2,344
中学校	要保護者数	216	222	208	189	176
	準要保護者数	1,490	1,375	1,334	1,295	1,291
	計	1,706	1,597	1,542	1,484	1,467

【注1】要保護者とは、生活保護を受給している世帯の者。

【注2】準要保護者とは、生活保護に準ずる程度に生活に困っている世帯の者。

**2 生涯学習****No.6-2-1-1 市民ホール、和光大学ポプリホール鶴川入場者数**

出典:「町田市統計書」、庁内資料

期間:各年度4月1日～3月31日

単位:人

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
市民ホール	125,712	99,123	86,794	90,359	11,601
和光大学ポプリホール鶴川	43,872	38,933	34,511	32,694	7,720

【注1】新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため2020年3月～6月休館あり。

**No.6-2-1-2 文化施設来館者数**

出典:「町田市統計書」、庁内資料

期間:各年度4月1日～3月31日(市民ホール、国際版画美術館、文学館)、各年3月31日現在(博物館、自由民権資料館)

単位:人

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
市民ホール	125,712	99,123	86,794	90,359	11,601
国際版画美術館	154,805	165,091	178,656	162,035	107,022
文学館	69,665	65,738	61,713	60,602	30,364
博物館	10,379	8,943	10,153	11,450	-
自由民権資料館	6,922	6,648	7,852	8,084	4,106
計	367,483	345,543	345,168	332,530	153,093

【注1】「博物館」は、2019年6月16日閉館。

【注2】新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため2020年3月～6月休館あり。

**No.6-2-1-3 レクリエーション施設来園(苑)者数**

出典:庁内資料

期間:各年度4月1日～3月31日(リス園、ダリア園)、各年度4月16日～5月11日(ぼたん園)、各年度4月18日～5月11日(えびね苑)

単位:人

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
リス園	185,285	150,805	164,203	149,351	106,750
ぼたん園	16,361	16,888	11,723	12,157	0
ダリア園	14,776	12,619	14,049	9,744	18,073
えびね苑	4,729	5,707	2,987	2,867	0
計	221,151	186,019	192,962	174,119	124,823

【注1】新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、「リス園」は、2020年3月～5月休園あり、「ぼたん園」と「えびね苑」は、2020年度全期間休園。

**No.6-2-1-4 市民大学延べ受講者数、講座数**

出典:庁内資料

時点:各年度3月31日現在

単位:人、講座

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
延べ受講者数	4,873	4,964	4,571	4,023	1,866
講座数	17	17	13	13	13

【注1】新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため2020年3月～6月休館あり。前期講座を中止し、代替として特別講座を1回開催。

**No.6-2-2-1 貸出図書数、登録者数**

出典:「町田の教育」、「町田市統計書」、庁内資料

時点:各年度4月1日～3月31日(貸出図書数)、各年度3月31日現在(登録者数)

単位:冊、人

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
貸出図書数	3,929,480	3,669,044	3,599,577	3,202,060	2,634,849
登録者数	115,176	112,944	107,641	101,744	93,971

【注1】登録者とは、町田市民、相模原市民、八王子市民、町田市内の在勤在学者のうち利用券の発行を受けた者(3年ごとに利用券の更新をしない者は除く)。

【注2】新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため2020年3月以降臨時休館あり。

**No.6-2-2-2 市民1人あたり貸出図書数**

出典:「東京都公立図書館調査」東京都立中央図書館

時点:2019年度(貸出総数)、2020年1月1日現在(人口)

単位:冊

	貸出総数	うち視聴覚 資料貸出 数	貸出図書 数	市民1人 あたり 貸出図書 数	市民1人 あたり 貸出図書 数 ランキング
八王子市	2,202,238	128,792	2,073,446	3.7	26
立川市	1,534,296	85,288	1,449,008	7.9	9
武蔵野市	2,364,437	51,275	2,313,162	15.7	1
三鷹市	1,635,422	15,894	1,619,528	8.6	7
青梅市	848,895	107,220	741,675	5.6	22
府中市	1,942,836	167,692	1,775,144	6.8	15
昭島市	578,295	4,755	573,540	5.1	23
調布市	2,431,540	48,849	2,382,691	10.1	3
<b>町田市</b>	<b>3,283,285</b>	<b>101,604</b>	<b>3,181,681</b>	<b>7.4</b>	<b>10</b>
小金井市	886,167	46,625	839,542	6.9	14
小平市	1,357,379	11,783	1,345,596	6.9	12
日野市	1,574,761	14,005	1,560,756	8.4	8
東村山市	921,172	20,954	900,218	6.0	20
国分寺市	734,447	15,195	719,252	5.7	21
国立市	470,824	4,638	466,186	6.1	19
福生市	552,858	31,164	521,694	9.1	6
狛江市	519,531	7,634	511,897	6.1	17
東大和市	618,382	31,800	586,582	6.9	13
清瀬市	503,756	26,008	477,748	6.4	16
東久留米市	777,505	60,334	717,171	6.1	18
武蔵村山市	299,807	8,379	291,428	4.0	25
多摩市	1,537,505	45,987	1,491,518	10.0	4
稲城市	1,164,835	111,731	1,053,104	11.5	2
羽村市	283,565	17,114	266,451	4.8	24
あきる野市	619,394	26,266	593,128	7.4	11
西東京市	1,948,305	49,759	1,898,546	9.3	5
多摩26市	31,591,437	1,240,745	30,350,692	7.3	

【注1】貸出図書数は、視聴覚資料を除いた個人貸出数。

【注2】新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため3月以降臨時休館あり。

【注3】多摩26市の市民1人あたり貸出図書数は、26市の合計貸出図書数/26市の合計人口

**No.6-2-2-3 蔵書数、蔵書回転数**

出典:「町田の教育」、「町田市統計書」、庁内資料

時点:各年度4月1日～3月31日(貸出図書数)、各年度3月31日現在(蔵書数)

単位:冊、回

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
貸出図書数	3,929,480	3,669,044	3,599,577	3,202,060	2,634,849
蔵書数	1,165,289	1,174,773	1,170,302	1,168,080	1,171,761
蔵書回転数	3.40	3.10	3.10	2.70	2.20

【注1】蔵書回転数＝貸出図書数/蔵書数

【注2】新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため2020年3月以降臨時休館あり。

**No.6-2-2-4 市民1人あたり蔵書数【他市比較】**

出典:「東京都公立図書館調査」東京都立中央図書館

時点:2020年3月31日現在(蔵書数)、2020年1月1日現在(人口)

単位:冊

	蔵書数	市民1人あたり蔵書数	市民1人あたり蔵書数 ランキング
八王子市	1,673,056	3.0	25
立川市	909,989	4.9	12
武蔵野市	932,167	6.3	5
三鷹市	790,776	4.2	19
青梅市	587,361	4.4	17
府中市	1,518,458	5.8	8
昭島市	457,296	4.0	21
調布市	1,383,916	5.8	7
<b>町田市</b>	<b>1,168,080</b>	<b>2.7</b>	<b>26</b>
小金井市	491,046	4.0	22
小平市	1,168,127	6.0	6
日野市	843,715	4.5	16
東村山市	706,955	4.7	15
国分寺市	601,274	4.8	13
国立市	360,277	4.7	14
福生市	455,686	7.9	1
狛江市	294,625	3.5	24
東大和市	477,617	5.6	9
清瀬市	406,805	5.5	10
東久留米市	471,632	4.0	20
武蔵村山市	316,462	4.4	18
多摩市	736,972	5.0	11
稲城市	654,738	7.2	4
羽村市	416,189	7.5	3
あきる野市	612,027	7.6	2
西東京市	784,963	3.8	23
多摩26市	19,220,209	4.6	

【注1】多摩26市の市民1人あたり蔵書数は、26市の合計蔵書数／26市の合計人口

**No.6-2-2-5 蔵書回転数【他市比較】**

出典:「東京都公立図書館調査」東京都立中央図書館

時点:2019年度(貸出図書数)、2020年3月31日現在(蔵書数)

単位:冊、回

	貸出図書数	蔵書数	蔵書回転数	蔵書回転数 ランキング
八王子市	2,073,446	1,673,056	1.2	17
立川市	1,449,008	909,989	1.6	11
武蔵野市	2,313,162	932,167	2.5	2
三鷹市	1,619,528	790,776	2.0	4
青梅市	741,675	587,361	1.3	15
府中市	1,775,144	1,518,458	1.2	21
昭島市	573,540	457,296	1.3	16
調布市	2,382,691	1,383,916	1.7	8
<b>町田市</b>	<b>3,181,681</b>	<b>1,168,080</b>	<b>2.7</b>	<b>1</b>
小金井市	839,542	491,046	1.7	9
小平市	1,345,596	1,168,127	1.2	22
日野市	1,560,756	843,715	1.8	6
東村山市	900,218	706,955	1.3	14
国分寺市	719,252	601,274	1.2	19
国立市	466,186	360,277	1.3	13
福生市	521,694	455,686	1.1	23
狛江市	511,897	294,625	1.7	7
東大和市	586,582	477,617	1.2	18
清瀬市	477,748	406,805	1.2	20
東久留米市	717,171	471,632	1.5	12
武蔵村山市	291,428	316,462	0.9	25
多摩市	1,491,518	736,972	2.0	5
稲城市	1,053,104	654,738	1.6	10
羽村市	266,451	416,189	0.6	26
あきる野市	593,128	612,027	1.0	24
西東京市	1,898,546	784,963	2.4	3
多摩26市	30,350,692	19,220,209	1.6	

【注1】蔵書回転数＝貸出図書数／蔵書数

【注2】貸出図書数は、視聴覚資料を除いた個人貸出数。

【注3】多摩26市の蔵書回転数は、26市の合計貸出図書数／26市の合計蔵書数

**No.6-2-3-1 相模原市民の町田市立図書館利用件数、登録者数**

出典:庁内資料

時点:各年度4月1日～3月31日(利用件数)、各年度3月31日現在(登録者数)

単位:件、人

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
利用件数	290,717	274,025	247,163	245,915	217,543
登録者数	11,264	10,868	10,289	9,924	9,349

【注1】図書館相互利用とは、図書館の相互利用協定に基づき、町田市民は相模原市立図書館を、相模原市民は町田市立図書館を相互に利用できる制度。

**No.6-2-3-2 町田市民の相模原市立図書館利用件数、登録者数**

出典:庁内資料

時点:各年度4月1日～3月31日(利用件数)、各年度3月31日現在(登録者数)

単位:件、人

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
利用件数	119,048	105,850	105,363	93,385	80,199
登録者数	13,291	13,098	10,289	12,994	11,593

**No.6-2-4-1 市立体育施設利用者数**

出典:「町田市統計書」、庁内資料

期間:各年度4月1日～3月31日

単位:人

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
体育館	727,046	758,347	756,554	632,588	228,567
プール	286,489	289,708	142,283	50,950	138,632
テニスコート	209,213	219,258	212,355	199,665	168,564
グラウンド等	439,581	439,208	514,987	401,976	354,137
計	1,662,329	1,706,521	1,626,179	1,285,179	889,900

【注1】体育施設とは、体育施設条例に基づく体育施設と市立公園条例に基づく運動施設。

【注2】グラウンド等には、2018年11月から緑ヶ丘グラウンドが追加。2019年10月から芹ヶ谷公園グラウンドが追加。2019年12月から鶴間公園グラウンドが追加。

**No.6-2-4-2 学校開放施設利用者数**

出典:「町田市統計書」、庁内資料

期間:各年度4月1日～3月31日

単位:人

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
温水プール	32,587	30,987	36,837	33,819	7,422
木曾中学校校庭夜間照明設備	11,089	10,611	10,845	9,304	588
計	43,676	41,598	47,682	43,123	8,010

【注1】温水プールの利用者数は、町田第一中学校温水プール、南中学校温水プール、鶴川中学校温水プールの合計。

【注2】新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため2020年3月～6月は学校開放中止。

**No.6-2-4-3 スポーツ教室延べ参加者数、開催回数**

出典:庁内資料

期間:各年度4月1日～3月31日

単位:人、回

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
延べ参加者数	99,206	55,804	40,868	21,026	11,696
開催回数	6,285	3,918	3,045	1,014	1,035

【注1】新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、2019年度と2020年度は開催数や参加者数の減少あり。

### No.6-2-4-4 公立社会体育施設数【他市比較】

出典:「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

時点:2019年10月1日現在

単位:箇所

	陸上競技場	多目的運動広場	野球場	テニスコート	プール	体育館	その他
八王子市	2	1	11	13	6	12	15
立川市	1	3	9	4	3	4	16
武蔵野市	1	3	1	1	4	3	8
三鷹市	0	3	3	3	3	5	8
青梅市	1	0	6	6	11	3	6
府中市	1	1	7	14	17	9	19
昭島市	1	0	3	3	4	5	9
調布市	0	0	7	5	5	5	19
町田市	1	9	6	6	3	4	6
小金井市	0	1	0	2	3	2	6
小平市	1	5	0	3	7	3	9
日野市	1	0	6	4	4	3	13
東村山市	1	0	1	2	2	1	18
国分寺市	0	2	0	2	2	6	6
国立市	0	0	3	3	1	3	4
福生市	1	0	7	4	4	5	9
狛江市	0	3	1	2	2	4	5
東大和市	0	1	1	1	4	2	6
清瀬市	0	2	2	4	3	2	10
東久留米市	0	3	2	6	1	3	7
武蔵村山市	1	4	4	3	2	2	5
多摩市	1	0	5	10	4	2	11
稲城市	1	7	2	5	1	4	11
羽村市	1	1	2	2	3	2	15
あきる野市	0	1	5	4	7	4	11
西東京市	0	2	2	3	2	6	12
多摩26市	16	52	96	115	108	104	264

### No.6-2-5-1 青少年施設利用者数

出典:「町田市統計書」、庁内資料

時点:各年度3月31日現在

単位:人

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
子どもセンター	370,712	398,844	396,294	354,235	195,492
子どもクラブ	63,639	63,432	58,211	91,797	115,017
大地沢青少年センター	49,774	49,567	48,254	46,580	12,765
ひなた村	76,921	75,944	73,884	60,592	30,221

【注1】子どもセンターは、「子どもセンターばあん」、「子どもセンターつるっこ」、「子どもセンターばお」、「子どもセンターただON」、「子どもセンターまあち」を合計したもの。(「子どもセンターまあち」は2016年度から)

【注2】子どもクラブは、2016年度は「南大谷子どもクラブ」、「玉川学園子どもクラブ」を合計したもの。

2017年度「木曾子どもクラブ」、2018年度「南町田子どもクラブ」、「小山子どもクラブ」、2020年度「三輪子どもクラブ」を追加。

【注3】新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため2020年3月～6月休館あり。

### No.6-2-5-2 相模原市民の大地沢青少年センター利用者数

出典:庁内資料

時点:各年度3月31日現在

単位:人

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
日帰り	4,698	4,811	4,091	4,392	2,342
宿泊	1,373	998	773	704	102
利用者数	6,071	5,809	4,864	5,096	2,444

【注1】新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため2020年3月～6月休館あり。

### No.6-2-5-3 町田市民の相模原市立青少年施設「ビレッジ若あゆ」利用者数

出典:庁内資料

時点:各年度3月末現在

単位:人

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
日帰り	8	15	7	0	0
宿泊	63	48	64	0	0
利用者数	71	63	71	0	0

【注1】ビレッジ若あゆは、多目的ホール、工作室、天体観測室、野外炊事場を備えた相模原市が運営する宿泊体験学習施設。

## VII 地域生活

## 1 コミュニティ

## No.7-1-1-1 町内会自治会加入世帯数、加入率

出典:「町田市統計書」、庁内資料

時点:各年度4月1日現在

単位:世帯、%

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
加入世帯数	103,477	102,797	101,197	99,949	98,479
加入率	53.6	52.8	51.5	50.3	48.9

【注1】町内会自治会加入率=町内会自治会加入世帯数/市内世帯数合計×100

## No.7-1-2-1 コミュニティ施設ホールの利用者数

出典:「町田市統計書」、庁内資料

期間:各年度4月1日～3月31日

単位:人

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
市民センター	133,901	132,205	145,143	137,295	65,795
忠生市民センター	27,075	26,235	26,811	25,040	13,380
南市民センター	27,940	28,023	27,000	24,496	10,055
なるせ駅前市民センター	26,306	27,262	25,747	23,795	8,746
鶴川市民センター	10,323	25,682	27,153	25,367	11,824
堺市民センター	22,008	10,468	20,237	18,965	7,023
小山市民センター	20,249	14,535	18,195	19,632	14,767
市民フォーラム	69,121	68,370	66,484	54,013	21,098
コミュニティセンター	134,801	144,267	114,239	98,237	53,339
成瀬センター	25,838	29,011	22,263	23,133	14,932
つくし野センター	26,498	28,334	24,968	25,310	9,811
木曾森野センター	16,176	17,327	16,998	16,012	8,765
三輪センター	13,752	13,060	11,667	10,670	7,219
木曾山崎センター	28,921	29,696	26,394	23,112	12,612
玉川学園センター	23,616	26,839	11,949	-	-
計	337,823	344,842	325,866	289,545	140,232

【注1】市民センター利用者数は、忠生市民センター、鶴川市民センター、南市民センター、なるせ駅前市民センター、堺市民センター、小山市民センターの合計をいう。

【注2】コミュニティセンター利用者数は、玉川学園コミュニティセンター、木曾山崎コミュニティセンター、成瀬コミュニティセンター、つくし野コミュニティセンター、木曾森野コミュニティセンター、三輪コミュニティセンターの合計をいう。

【注3】鶴川市民センターは、2016年2月～10月まで大規模改修工事のため休館。

【注4】堺市民センターは、2017年9月～2018年3月末まで工事のため貸出中止。

【注5】玉川学園コミュニティセンターは、2019年1月以降施設建替え工事のため休館。

【注6】新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため臨時休館及び夜間閉鎖あり。

## No.7-1-2-2 コミュニティ施設会議室の利用者数

出典:「町田市統計書」、庁内資料

期間:各年度4月1日～3月31日

単位:人

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
市民センター	261,047	298,220	213,680	223,808	141,203
忠生市民センター	71,299	70,252	48,626	52,638	30,847
南市民センター	40,222	43,301	31,560	32,258	17,109
なるせ駅前市民センター	47,528	58,937	32,333	34,687	18,797
鶴川市民センター	16,708	61,269	40,647	39,241	28,473
堺市民センター	39,272	13,952	25,121	29,096	17,562
小山市民センター	46,018	50,509	35,393	35,888	28,415
市民フォーラム	83,098	80,444	79,769	70,898	27,464
コミュニティセンター	179,899	194,679	166,479	139,734	72,566
成瀬センター	22,775	41,823	41,932	37,542	19,168
つくし野センター	29,920	26,757	26,154	23,796	9,001
木曾森野センター	23,124	22,473	18,495	17,380	11,245
三輪センター	22,805	21,658	20,412	18,557	9,311
木曾山崎センター	38,364	42,870	29,059	30,057	18,249
玉川学園センター	32,901	27,314	16,585	-	-
上小山田センター	10,010	11,784	13,842	12,402	5,592
計	524,044	573,343	459,928	434,440	241,233

【注1】注意事項はNo.7-1-2-1参照。

**No.7-1-3-1 NPO法人数**

出典:「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会  
 時点:11月30日現在(2016年~2019年)、12月31日現在(2020年)  
 単位:法人

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
NPO法人数	184	182	186	188	189

【注1】NPO法人とは、特定非営利活動法人のこと。

**No.7-1-3-2 市民1千人あたりNPO法人数【他市比較】**

出典:「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会  
 時点:2020年12月31日現在(NPO法人数)、2020年1月1日現在(人口)  
 単位:団体

	人口	NPO法人数	市民1千人あたりNPO法人数	市民1千人あたりNPO法人数ランキング
八王子市	562,480	267	0.47	9
立川市	184,090	95	0.52	6
武蔵野市	146,871	97	0.66	1
三鷹市	188,461	86	0.46	10
青梅市	133,032	44	0.33	21
府中市	260,232	91	0.35	19
昭島市	113,397	22	0.19	26
調布市	237,054	101	0.43	12
<b>町田市</b>	<b>428,821</b>	<b>189</b>	<b>0.44</b>	<b>11</b>
小金井市	122,306	70	0.57	4
小平市	194,869	67	0.34	20
日野市	186,346	77	0.41	13
東村山市	151,255	57	0.38	16
国分寺市	125,170	62	0.50	7
国立市	76,280	50	0.66	2
福生市	57,617	23	0.40	14
狛江市	83,257	41	0.49	8
東大和市	85,301	30	0.35	18
清瀬市	74,636	28	0.38	17
東久留米市	116,916	61	0.52	5
武蔵村山市	72,382	20	0.28	24
多摩市	148,823	87	0.58	3
稲城市	91,540	28	0.31	23
羽村市	55,354	14	0.25	25
あきる野市	80,667	26	0.32	22
西東京市	205,125	79	0.39	15
多摩26市	4,182,282	1,812	0.43	

【注1】多摩26市の市民1千人あたりNPO法人数は、26市の合計NPO法人数/26市の合計人口

**2 暮らし相談****No.7-2-1-1 女性相談件数**

出典:庁内資料  
 期間:各年度4月1日~3月31日  
 単位:件

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
電話相談	1,786	1,976	2,002	2,064	2,166
配偶者等からの暴力	101	104	93	73	89
その他	1,685	1,872	1,909	1,991	2,077
面接相談	111	97	113	126	97
配偶者等からの暴力	23	25	31	53	35
その他	88	72	82	73	62
相談件数計	1,897	2,073	2,115	2,190	2,263
配偶者等からの暴力	124	129	124	126	124
その他	1,773	1,944	1,991	2,064	2,139

【注1】女性相談件数は、町田市男女平等推進センターの女性悩みごと相談に寄せられた件数である。

**No.7-2-1-2 消費相談件数**

出典:東京都消費生活相談年報(相談概要)  
 期間:各年度4月1日~3月31日  
 単位:件

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
消費相談件数	3,286	3,411	4,287	4,093	3,709

### 3 市民参画

#### No.7-3-1-1 町田市ホームページのアクセス件数

出典:庁内資料

期間:各年度4月1日～3月31日

単位:件

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
ホームページアクセス件数	5,450,474	5,004,625	5,197,842	6,211,583	12,221,374

#### No.7-3-1-2 議会傍聴者数

出典:「町田市統計書」、庁内資料

期間:各年1月1日～12月31日

単位:人

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
本会議傍聴者数	798	601	644	444	13
委員会傍聴者数	439	278	177	156	18

【注1】2020年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、傍聴の制限を実施。

#### No.7-3-1-3 情報公開、個人情報保護開示等請求件数

出典:「町田市統計書」、庁内資料

期間:各年度4月1日～3月31日

単位:件

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
情報公開請求件数	86	62	117	45	55
個人情報開示等請求件数	57	53	102	67	43

#### No.7-3-2-1 市政に対する要望等の件数

出典:「町田市統計書」

期間:各年度4月1日～3月31日

単位:件、%

	2016年度		2017年度		2018年度		2019年度		2020年度	
	件数	比率								
市政に対する意見・要望書	910	100.0	843	100.0	840	100.0	1,000	100.0	1,403	100.0
要望書	714	78.5	757	89.8	656	78.1	829	82.9	1,083	77.2
苦情	114	12.5	51	6.0	122	14.5	103	10.3	169	12.0
お礼	21	2.3	13	1.5	19	2.3	16	1.6	27	1.9
その他	61	6.7	22	2.6	43	5.1	52	5.2	124	8.8

### 4 犯罪

#### No.7-4-1-1 刑法犯認知件数、指数

出典:「町田市統計書」、「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

期間:各年1月1日～12月31日

単位:件、%

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
刑法犯認知件数(町田市)	3,403	3,406	2,915	2,703	2,128
凶悪犯	19	25	20	20	15
粗暴犯	200	202	186	196	183
窃盗犯	2,381	2,237	1,963	1,751	1,401
知能犯	165	242	241	188	125
その他	638	700	505	548	404
刑法犯認知件数(多摩地域)	33,823	31,109	28,313	25,840	20,431
指数(町田市)	100.0	100.1	85.7	79.4	62.5
指数(多摩地域)	100.0	92.0	83.7	76.4	60.4

【注1】この表の多摩地域とは、多摩26市、3町、1村のことをいう。

【注2】指数(町田市)、指数(多摩地域)は、2016年を100としたときの比率。

【注3】指数(多摩地域)は多摩地域を管轄する20警察署の刑法犯認知件数を元としている。

**No.7-4-1-2 人口1万人あたり刑法犯認知件数【他市比較】**

出典:「警視庁の統計」警視庁

時点:2020年(刑法犯認知件数)、2020年1月1日現在(人口)

単位:人、件

	人口	刑法犯認知件数	人口1万人あたり 刑法犯認知件数	人口1万人あたり 刑法犯認知件数 ランキング
八王子市	562,480	2,805	49.9	18
立川市	184,090	1,243	67.5	25
武蔵野市	146,871	1,193	81.2	26
三鷹市	188,461	723	38.4	6
青梅市	133,032	594	44.7	10
府中市	260,232	1,117	42.9	8
昭島市	113,397	625	55.1	23
調布市	237,054	1,105	46.6	13
<b>町田市</b>	<b>428,821</b>	<b>2,128</b>	<b>49.6</b>	<b>17</b>
小金井市	122,306	603	49.3	16
小平市	194,869	876	45.0	11
日野市	186,346	690	37.0	3
東村山市	151,255	615	40.7	7
国分寺市	125,170	574	45.9	12
国立市	76,280	331	43.4	9
福生市	57,617	300	52.1	20
狛江市	83,257	310	37.2	4
東大和市	85,301	447	52.4	21
清瀬市	74,636	362	48.5	15
東久留米市	116,916	557	47.6	14
武蔵村山市	72,382	382	52.8	22
多摩市	148,823	568	38.2	5
稲城市	91,540	304	33.2	2
羽村市	55,354	307	55.5	24
あきる野市	80,667	264	32.7	1
西東京市	205,125	1,027	50.1	19
多摩26市	4,182,282	20,050	47.9	

【注1】この表の26市ランキングについては、数値の小さい市から並べている。

【注2】多摩26市の人口1万人あたり刑法犯認知件数は、26市の合計刑法犯認知件数÷26市の合計人口

## VIII 行政

## 1 組織

## No.8-1-1-1 職員数、職員1人あたり市民数

出典:「地方公共団体定員管理調査」総務省自治行政局

時点:各年度4月1日現在

単位:人

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
職員数	2,096	2,125	2,128	2,117	2,101
職員1人あたり市民数	205	202	201	203	204

【注1】職員数は、普通会計職員数をいう。

【注2】普通会計職員数とは、他の市町村との比較を行うため、実施している事業にばらつきがある公営企業等会計部門(病院等)の職員を除いた数をいう。

## No.8-1-1-2 職員1人あたり市民数【他市比較】

出典:「地方公共団体定員管理調査」総務省自治行政局

時点:2020年4月1日現在

単位:人

	人口	職員数	職員1人あたり市民数	職員1人あたり市民数ランキング
八王子市	561,622	2,685	209	5
立川市	184,195	975	189	19
武蔵野市	147,519	859	172	24
三鷹市	189,478	918	206	8
青梅市	132,593	634	209	6
府中市	260,382	1,232	211	4
昭島市	113,610	552	206	9
調布市	237,506	1,206	197	15
町田市	428,851	2,117	203	12
小金井市	122,542	624	196	16
小平市	194,941	894	218	1
日野市	186,731	1,006	186	20
東村山市	151,233	742	204	11
国分寺市	125,881	608	207	7
国立市	76,282	439	174	23
福生市	57,378	361	159	26
狛江市	83,503	414	202	13
東大和市	85,266	431	198	14
清瀬市	74,633	406	184	21
東久留米市	116,807	541	216	3
武蔵村山市	72,277	354	204	10
多摩市	148,835	784	190	18
稲城市	91,706	508	181	22
羽村市	55,091	337	163	25
あきる野市	80,575	423	190	17
西東京市	205,653	948	217	2
多摩26市	4,185,090	20,998	199	

【注1】この表の26市ランキングについては、普通会計職員数を比較している。

【注2】普通会計職員数とは、他の市町村との比較を行うため、実施している事業にばらつきがある公営企業等会計部門(病院等)の職員を除いた数をいう。

【注3】多摩26市の職員1人あたり市民数は、26市の合計人口÷26市の合計職員数

**No.8-1-1-3 ラスパイレス指数【他市比較】**

出典:「令和2年東京都区市町村の給与水準(ラスパイレス指数)について」東京都総務局行政部  
 時点:2020年4月1日現在

	ラスパイレス 指数	ラスパイレス 指数 ランキング
八王子市	97.9	26
立川市	98.7	22
武蔵野市	101.0	2
三鷹市	100.2	10
青梅市	100.2	10
府中市	98.7	22
昭島市	100.2	10
調布市	100.0	13
<b>町田市</b>	<b>99.6</b>	<b>16</b>
小金井市	99.3	19
小平市	99.7	15
日野市	98.3	24
東村山市	101.0	2
国分寺市	99.3	19
国立市	100.7	6
福生市	100.8	4
狛江市	99.5	18
東大和市	100.8	4
清瀬市	101.1	1
東久留米市	100.3	9
武蔵村山市	98.2	25
多摩市	100.0	13
稲城市	100.4	8
羽村市	100.5	7
あきる野市	99.6	16
西東京市	98.9	21
多摩26市	99.5	

【注1】ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与水準を100とした場合の地方公務員の給与水準のことをいう。

【注2】国家公務員においては、国家公務員の給与の改定及び臨時特例に関する法律(平成24年法律第2号)により平成24年4月1日から平成26年3月31日までの間、平均7.8%の給与削減措置を実施しているが、給与削減措置前をもとにラスパイレス指数を掲載している。

【注3】多摩26市のラスパイレス指数は出典の市平均より。

**2 財政****No.8-2-1-1 財政規模**

出典:「決算カード」

時点:各会計年度(出納整理期間中の増減含む)

単位:千円

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
歳入	144,519,334	153,012,414	153,406,933	159,397,944	222,652,994
歳出	139,899,675	148,140,403	150,901,331	154,324,046	216,708,988
翌年度へ繰り越すべき財源	260,323	262,277	106,757	576,143	1,791,162
実質収支	4,359,336	4,609,734	2,398,845	4,497,755	4,152,844

【注1】実質収支＝歳入－歳出－翌年度へ繰り越すべき財源

**No.8-2-1-2 市民1人あたり財政規模【他市比較】**

出典:「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

時点:2019年度(歳入、歳出、繰越財源)、2020年1月1日現在(人口)

単位:円

	歳入(a)	歳出(b)	歳入歳出 引(c)=(a-b)	翌年度への 繰越財源(d)	実質収支 (E)=(C-D)	歳入 ランキング
八王子市	372,457	365,614	6,843	3,972	2,871	21
立川市	438,198	410,871	27,327	3,875	23,452	3
武蔵野市	486,080	466,159	19,921	923	18,998	1
三鷹市	388,132	381,647	6,485	528	5,957	16
青梅市	389,809	383,481	6,328	940	5,388	14
府中市	405,603	395,791	9,812	105	9,707	8
昭島市	410,852	398,450	12,402	778	11,624	6
調布市	406,955	392,282	14,673	2,904	11,768	7
<b>町田市</b>	<b>371,712</b>	<b>359,880</b>	<b>11,832</b>	<b>1,344</b>	<b>10,489</b>	<b>23</b>
小金井市	384,268	365,970	18,298	105	18,193	18
小平市	347,421	336,470	10,951	6	10,945	26
日野市	394,867	384,265	10,602	137	10,465	11
東村山市	376,811	362,564	14,246	1,461	12,785	20
国分寺市	388,276	376,484	11,792	1,458	10,334	15
国立市	401,835	397,027	4,808	29	4,780	9
福生市	440,132	428,327	11,805	4	11,801	2
狛江市	358,623	346,825	11,798	921	10,877	24
東大和市	391,528	374,363	17,166	939	16,226	12
清瀬市	424,910	415,079	9,830	669	9,161	4
東久留米市	379,634	362,045	17,589	2,854	14,735	19
武蔵村山市	400,705	389,125	11,580	368	11,212	10
多摩市	386,707	376,029	10,679	1,994	8,685	17
稲城市	371,804	360,565	11,239	594	10,645	22
羽村市	419,125	406,229	12,897	232	12,665	5
あきる野市	390,539	381,962	8,578	1,066	7,511	13
西東京市	351,946	345,061	6,885	0	6,885	25
多摩26市	390,050	378,354	11,696	1,471	10,226	

【注1】表中のランキングは、歳入を示す。

【注2】多摩26市の値は、26市の人口加重平均

**No.8-2-2-1 歳入**

出典:「決算カード」

時点:各会計年度(出納整理期間中の増減含む)

単位:千円

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
市税	68,691,221	68,604,671	68,407,085	68,973,730	69,256,763
国庫支出金	26,467,917	27,983,442	28,000,288	29,972,390	83,541,894
都支出金	18,377,246	19,513,912	20,043,204	21,383,132	23,781,031
市債	4,715,200	5,901,800	7,209,500	10,913,200	14,729,000
その他	26,267,750	31,008,589	29,746,856	28,155,492	31,344,306
計	144,519,334	153,012,414	153,406,933	159,397,944	222,652,994

**No.8-2-2-2 市民1人あたり自主財源、依存財源【他市比較】**

出典:「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

時点:2019年度(財源)、2020年1月1日現在(人口)

単位:円

	歳入	自主財源		依存財源				
		市税	その他	国からの支出金	東京都からの支出金	市債		
八王子市	372,457	222,587	162,905	59,682	149,870	68,913	49,303	31,653
立川市	438,198	289,838	221,117	68,721	148,360	84,198	51,318	12,844
武蔵野市	486,080	363,944	283,793	80,150	122,136	63,450	55,340	3,346
三鷹市	388,132	269,420	204,348	65,071	118,712	61,371	48,289	9,052
青梅市	389,809	240,115	148,351	91,764	149,694	74,119	57,290	18,285
府中市	405,603	283,430	202,796	80,634	122,174	67,359	47,229	7,586
昭島市	410,852	246,500	174,957	71,543	164,352	87,035	65,708	11,610
調布市	406,955	276,878	205,042	71,837	130,077	61,951	54,306	13,820
<b>町田市</b>	<b>371,712</b>	<b>226,503</b>	<b>160,845</b>	<b>65,658</b>	<b>145,209</b>	<b>69,895</b>	<b>49,865</b>	<b>25,449</b>
小金井市	384,268	248,222	178,795	69,427	136,046	65,250	59,821	10,974
小平市	347,421	224,625	163,629	60,997	122,796	61,362	48,717	12,717
日野市	394,867	250,663	166,966	83,696	144,205	67,415	52,798	23,991
東村山市	376,811	226,437	138,919	87,519	150,373	70,370	58,705	21,298
国分寺市	388,276	257,466	190,652	66,814	130,811	58,871	54,418	17,523
国立市	401,835	263,805	198,114	65,692	138,030	64,935	60,466	12,628
福生市	440,132	277,051	140,314	136,737	163,081	83,346	68,150	11,585
狛江市	358,623	225,929	154,700	71,229	132,694	54,822	59,722	18,150
東大和市	391,528	242,823	150,688	92,135	148,705	73,989	58,153	16,563
清瀬市	424,910	247,584	129,659	117,925	177,326	82,603	66,198	28,525
東久留米市	379,634	239,408	147,233	92,175	140,226	66,434	53,919	19,873
武蔵村山市	400,705	237,485	144,229	93,256	163,220	84,017	64,242	14,961
多摩市	386,707	258,748	195,863	62,885	127,959	62,076	52,414	13,470
稲城市	371,804	232,343	171,419	60,924	139,461	56,986	63,765	18,710
羽村市	419,125	277,798	188,825	88,972	141,328	66,720	61,412	13,195
あきる野市	390,539	239,403	134,194	105,210	151,136	56,498	70,420	24,218
西東京市	351,946	223,011	159,548	63,463	128,935	63,739	47,344	17,852
多摩26市	390,050	250,102	176,293	73,809	139,948	67,906	53,837	18,205

【注1】自主財源:P.189「財政用語」参照

【注2】依存財源:P.189「財政用語」参照

【注3】多摩26市の値は、26市の人口加重平均

**No.8-2-3-1 市税**

出典:「決算カード」

時点:各会計年度(出納整理期間中の増減含む)

単位:千円、%

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
市民税(個人)	30,852,761	30,770,154	30,900,465	31,225,488	31,158,282
市民税(法人)	3,673,428	3,599,648	3,562,498	3,515,063	3,022,731
固定資産税	25,822,983	25,954,029	25,723,631	25,930,662	26,691,235
目的税	5,638,610	5,678,500	5,637,966	5,668,976	5,711,905
その他	2,703,439	2,602,340	2,582,525	2,633,541	2,672,610
計	68,691,221	68,604,671	68,407,085	68,973,730	69,256,763
歳入	144,519,334	153,012,414	153,406,933	159,397,944	222,652,994
市税割合	47.5	44.8	44.6	43.3	31.1

【注1】市税割合とは、歳入に対する市税の割合のことをいう。

**No.8-2-3-2 税目別構成比【他市比較】**

出典:「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

時点:2019年度

単位:千円、%

	総計	市民税(個人)		市民税(法人)		固定資産税		目的税		その他	
			構成比		構成比		構成比		構成比		構成比
八王子市	91,630,705	36,738,159	40.1	5,617,010	6.1	36,149,531	39.5	9,173,667	10.0	3,952,338	4.3
立川市	40,705,451	13,416,820	33.0	4,679,192	11.5	18,026,120	44.3	3,124,022	7.7	1,459,297	3.6
武蔵野市	41,681,026	17,881,708	42.9	3,159,761	7.6	16,388,318	39.3	3,315,092	8.0	936,147	2.2
三鷹市	38,511,695	18,210,818	47.3	2,082,260	5.4	14,285,434	37.1	3,082,173	8.0	851,010	2.2
青梅市	19,735,461	7,748,744	39.3	896,671	4.5	8,456,587	42.8	1,530,782	7.8	1,102,677	5.6
府中市	52,773,925	20,455,047	38.8	5,417,045	10.3	22,044,866	41.8	3,334,056	6.3	1,522,911	2.9
昭島市	19,839,585	7,132,745	36.0	1,531,827	7.7	8,741,091	44.1	1,555,665	7.8	878,257	4.4
調布市	48,605,950	20,897,005	43.0	6,139,750	12.6	16,976,995	34.9	3,244,884	6.7	1,347,316	2.8
<b>町田市</b>	<b>68,973,730</b>	<b>31,225,488</b>	<b>45.3</b>	<b>3,515,063</b>	<b>5.1</b>	<b>25,930,662</b>	<b>37.6</b>	<b>5,668,976</b>	<b>8.2</b>	<b>2,633,541</b>	<b>3.8</b>
小金井市	21,867,722	11,101,208	50.8	764,647	3.5	7,601,067	34.8	1,847,963	8.5	552,837	2.5
小平市	31,886,129	14,104,549	44.2	2,437,424	7.6	12,046,204	37.8	2,360,715	7.4	937,237	2.9
日野市	31,113,518	13,575,908	43.6	2,062,405	6.6	11,939,561	38.4	2,521,908	8.1	1,013,736	3.3
東村山市	21,012,129	9,523,675	45.3	851,523	4.1	8,038,348	38.3	1,773,437	8.4	825,146	3.9
国分寺市	23,863,890	11,631,987	48.7	1,131,370	4.7	8,288,290	34.7	1,925,483	8.1	886,760	3.7
国立市	15,112,107	7,007,648	46.4	605,029	4.0	5,783,941	38.3	1,281,692	8.5	433,797	2.9
福生市	8,084,475	3,486,226	43.1	319,225	3.9	3,177,352	39.3	605,863	7.5	495,809	6.1
狛江市	12,879,898	6,905,772	53.6	339,487	2.6	4,273,498	33.2	974,401	7.6	386,740	3.0
東大和市	12,853,856	5,403,894	42.0	571,071	4.4	5,272,988	41.0	983,732	7.7	622,171	4.8
清瀬市	9,677,220	4,485,519	46.4	352,235	3.6	3,677,528	38.0	727,255	7.5	434,683	4.5
東久留米市	17,213,914	7,712,075	44.8	701,670	4.1	6,788,448	39.4	1,333,556	7.7	678,165	3.9
武蔵村山市	10,439,592	3,830,622	36.7	528,097	5.1	4,581,358	43.9	877,857	8.4	621,658	6.0
多摩市	29,148,873	10,720,236	36.8	1,701,544	5.8	14,094,808	48.4	1,736,380	6.0	895,905	3.1
稲城市	15,691,691	7,117,380	45.4	603,971	3.8	6,211,481	39.6	1,268,663	8.1	490,196	3.1
羽村市	10,452,235	3,623,355	34.7	714,046	6.8	4,781,546	45.7	835,084	8.0	498,204	4.8
あきる野市	10,825,007	4,514,043	41.7	412,959	3.8	4,422,404	40.9	866,242	8.0	609,359	5.6
西東京市	32,727,298	15,489,464	47.3	1,512,968	4.6	12,123,867	37.0	2,511,566	7.7	1,089,433	3.3
多摩26市	737,307,082	313,940,095	42.6	48,648,250	6.6	290,102,293	39.3	58,461,114	7.9	26,155,330	3.5

**No.8-2-4-1 市民税(個人)、納税義務者数(個人均等割)**

出典:「決算カード」、「課税状況等の調」

時点:各会計年度(出納整理期間中の増減含む)(市民税)、各年度6月末現在(納税義務者数)

単位:千円、人

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
市民税(個人)	30,852,761	30,770,154	30,900,465	31,225,488	31,158,282
納税義務者数(個人均等割)	202,703	205,832	207,820	210,328	211,389

【注1】個人均等割:P.189「財政用語」参照

**No.8-2-4-2 納税義務者1人あたり市民税(所得割)【他市比較】**

出典:「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

時点:2019年7月1日現在(税)、2019年1月1日現在(人口)

単位:千円、人

	市民税(所得割)	納税義務者数(所得割)	納税義務者1人あたり市民税(所得割)	納税義務者1人あたり市民税(所得割)ランキング
八王子市	35,178,321	266,268	132	17
立川市	12,952,972	91,416	142	13
武蔵野市	17,316,361	78,920	219	1
三鷹市	17,515,659	97,751	179	2
青梅市	7,410,758	64,280	115	23
府中市	19,802,594	131,450	151	9
昭島市	6,871,738	55,584	124	22
調布市	20,220,204	123,638	164	6
<b>町田市</b>	<b>29,973,903</b>	<b>201,585</b>	<b>149</b>	<b>10</b>
小金井市	10,709,182	63,724	168	5
小平市	13,581,441	92,822	146	12
日野市	13,124,791	93,129	141	14
東村山市	9,134,191	71,457	128	19
国分寺市	11,257,103	64,781	174	4
国立市	6,791,296	38,445	177	3
福生市	3,347,641	29,012	115	23
狛江市	6,669,591	43,141	155	7
東大和市	5,192,127	40,370	129	18
清瀬市	4,300,218	34,485	125	20
東久留米市	7,397,128	55,445	133	16
武蔵村山市	3,644,641	32,534	112	26
多摩市	10,283,257	73,403	140	15
稲城市	6,866,736	44,377	155	7
羽村市	3,460,610	27,631	125	20
あきる野市	4,303,340	37,929	113	25
西東京市	14,826,266	99,608	149	10
多摩26市	302,132,069	2,053,185	147	

【注1】市民税(所得割)は、市が納税義務者に課税した金額を用いている。

【注2】多摩26市の納税義務者1人あたり市民税(所得割)は、26市の合計市民税/26市の合計納税義務者数

**No.8-2-5-1 固定資産税、都市計画税**

出典:「決算カード」、庁内資料

時点:各年度3月31日現在

単位:千円

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
固定資産税	25,822,983	25,954,029	25,723,631	25,930,662	26,691,236
都市計画税	4,806,773	4,835,632	4,797,217	4,826,136	4,860,668
計	30,629,756	30,789,661	30,520,848	30,756,798	31,551,904

**No.8-2-5-2 市域面積1km<sup>2</sup>あたり固定資産税、都市計画税【他市比較】**

出典:「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会、「市町村別決算状況調」総務省

時点:2019年度(固定資産税、都市計画税)、2018年10月1日現在(市域面積)

単位:km<sup>2</sup>、千円

	市域面積	総計	総計 ランキング	固定資産税	固定資産税 ランキング	都市計画税	都市計画税 ランキング
八王子市	186.38	231,719	24	193,956	24	37,763	24
立川市	24.36	868,232	6	739,989	6	128,244	9
武蔵野市	10.98	1,736,849	1	1,492,561	1	244,288	1
三鷹市	16.42	1,032,600	2	870,002	2	162,598	4
青梅市	103.31	96,613	25	81,856	25	14,756	25
府中市	29.43	862,349	8	749,061	5	113,288	11
昭島市	17.34	593,815	14	504,100	14	89,715	15
調布市	21.58	937,066	3	786,700	3	150,365	8
<b>町田市</b>	<b>71.55</b>	<b>429,864</b>	<b>20</b>	<b>362,413</b>	<b>19</b>	<b>67,451</b>	<b>21</b>
小金井市	11.30	836,197	9	672,661	9	163,537	3
小平市	20.51	702,434	12	587,333	12	115,101	10
日野市	27.55	524,917	17	433,378	17	91,539	14
東村山市	17.14	572,450	15	468,982	16	103,468	13
国分寺市	11.46	891,254	5	723,236	7	168,018	2
国立市	8.15	866,949	7	709,686	8	157,263	6
福生市	10.16	372,364	22	312,731	22	59,632	22
狛江市	6.39	821,267	10	668,779	11	152,488	7
東大和市	13.42	466,224	18	392,920	18	73,303	18
清瀬市	10.23	430,575	19	359,485	20	71,090	19
東久留米市	12.88	630,590	13	527,053	13	103,537	12
武蔵村山市	15.32	356,346	23	299,044	23	57,301	23
多摩市	21.01	753,507	11	670,862	10	82,645	17
稲城市	17.97	416,257	21	345,658	21	70,599	20
羽村市	9.90	567,336	16	482,984	15	84,352	16
あきる野市	73.47	71,830	26	60,193	26	11,636	26
西東京市	15.75	929,234	4	769,769	4	159,465	5
多摩26市	783.96	439,464		370,047		69,417	

【注1】多摩26市の固定資産税と都市計画税は、26市の市域面積加重平均

**No.8-2-6-1 分担金等**

出典:「決算カード」

時点:各会計年度(出納整理期間中の増減含む)

単位:千円

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
分担金及び負担金	1,543,044	1,573,269	1,685,749	1,211,008	646,397
使用料	953,739	974,202	1,026,692	959,753	819,788
手数料	1,916,203	1,884,782	1,872,787	1,926,983	1,871,925
計	4,412,986	4,432,253	4,585,228	4,097,744	3,338,110

【注1】分担金等:P.189「財政用語」参照

## No.8-2-6-2 市民1人あたり分担金等【他市比較】

出典:「東京都町村普通会計決算」東京都総務局行政部

時点:2019年度(分担金及び負担金、使用料、手数料)、2020年1月1日現在(人口)

単位:円

	総計	総計 ランキング	分担金及び 負担金	分担金及び 負担金 ランキング	使用料	使用料 ランキング	手数料	手数料 ランキング
八王子市	10,182	16	2,478	24	3,208	16	4,496	3
立川市	10,253	15	2,718	20	4,480	7	3,055	20
武蔵野市	13,764	1	2,954	15	5,848	1	4,962	1
三鷹市	10,534	11	3,188	11	4,799	5	2,547	23
青梅市	12,973	4	5,391	1	3,336	15	4,246	9
府中市	12,428	6	2,838	18	5,329	2	4,261	8
昭島市	11,804	7	4,012	4	3,795	10	3,997	13
調布市	12,992	3	5,297	2	4,893	4	2,802	22
<b>町田市</b>	<b>9,556</b>	<b>20</b>	<b>2,824</b>	<b>19</b>	<b>2,238</b>	<b>22</b>	<b>4,494</b>	<b>4</b>
小金井市	10,987	9	3,224	9	4,009	8	3,753	16
小平市	10,480	12	2,659	21	3,536	12	4,284	7
日野市	10,567	10	2,846	17	3,527	13	4,194	11
東村山市	9,703	18	1,957	26	3,931	9	3,816	14
国分寺市	12,870	5	4,635	3	4,648	6	3,587	17
国立市	13,588	2	3,588	6	5,114	3	4,886	2
福生市	9,806	17	3,141	13	3,145	18	3,520	18
狛江市	10,386	14	3,440	7	2,718	19	4,228	10
東大和市	8,775	22	3,205	10	1,535	26	4,036	12
清瀬市	7,272	25	2,285	25	2,590	20	2,397	24
東久留米市	8,757	23	2,635	22	3,188	17	2,933	21
武蔵村山市	6,657	26	2,885	16	1,752	25	2,020	26
多摩市	9,573	19	3,010	14	2,084	23	4,479	5
稲城市	11,532	8	3,387	8	3,690	11	4,455	6
羽村市	10,406	13	3,157	12	3,455	14	3,794	15
あきる野市	9,147	21	3,737	5	1,999	24	3,411	19
西東京市	7,282	24	2,613	23	2,514	21	2,155	25
多摩26市	10,540		3,132		3,568		3,840	

【注1】多摩26市の値は、26市の人口加重平均

## No.8-2-7-1 市民1人あたり国からの支出金【他市比較】

出典:「東京都町村普通会計決算」東京都総務局行政部

時点:2019年度(地方交付税等、国庫支出金)、2020年1月1日現在(人口)

単位:円

	総計	地方交付税 等	国庫支出金	その他	総計 ランキング
八王子市	82,700	11,865	68,913	1,922	12
立川市	89,997	2,718	84,198	3,081	10
武蔵野市	66,766	1,933	63,450	1,383	22
三鷹市	65,601	2,730	61,371	1,500	25
青梅市	104,298	27,949	74,119	2,230	6
府中市	71,965	3,024	67,359	1,582	18
昭島市	95,028	6,249	87,035	1,744	9
調布市	66,426	2,959	61,951	1,516	24
<b>町田市</b>	<b>79,320</b>	<b>7,606</b>	<b>69,895</b>	<b>1,818</b>	<b>14</b>
小金井市	69,413	2,736	65,250	1,426	21
小平市	70,135	7,302	61,362	1,471	19
日野市	78,295	9,152	67,415	1,728	15
東村山市	104,461	32,453	70,370	1,637	5
国分寺市	63,146	2,754	58,871	1,521	26
国立市	69,838	3,248	64,935	1,656	20
福生市	159,006	44,208	83,346	31,452	1
狛江市	76,120	19,860	54,822	1,438	16
東大和市	103,362	27,517	73,989	1,856	7
清瀬市	141,757	56,924	82,603	2,230	2
東久留米市	96,101	27,955	66,434	1,711	8
武蔵村山市	123,756	31,448	84,017	8,291	3
多摩市	66,554	2,505	62,076	1,973	23
稲城市	72,643	11,463	56,986	4,194	17
羽村市	80,010	6,511	66,720	6,778	13
あきる野市	115,766	56,911	56,498	2,358	4
西東京市	82,969	17,846	63,739	1,384	11
多摩26市	82,874	12,550	67,906	2,417	

【注1】地方交付税等とは、地方交付税に地方特例交付金を加えたもの。

【注2】「その他」とは、地方譲与税、交通安全特別交付金、国有提供施設等所在市町村助成交付金を加えたもの。

【注3】多摩26市の値は、26市の人口加重平均

**No.8-2-7-2 市民1人あたり東京都からの支出金【他市比較】**

出典:「東京都市町村普通会計決算」東京都総務局行政部

時点:2019年度(税連動交付金、都支出金)、2020年1月1日現在(人口)

単位:円

	総計	税連動交付金							都支出金	総計 ランキング
		利子割交付金	配当割交付金	株式等譲渡所得	地方消費税	ゴルフ場利用税	自動車取得税			
八王子市	69,434	20,131	215	1,068	657	17,499	163	529	49,303	21
立川市	72,295	20,977	234	1,162	718	18,429	0	434	51,318	18
武蔵野市	77,743	22,402	398	1,979	1,220	18,425	0	381	55,340	10
三鷹市	67,824	19,534	311	1,547	955	16,310	0	412	48,289	23
青梅市	77,661	20,371	195	967	593	17,620	393	605	57,290	11
府中市	67,443	20,215	257	1,275	785	17,462	0	437	47,229	24
昭島市	85,450	19,743	206	1,023	629	17,207	235	442	65,708	3
調布市	73,331	19,025	281	1,397	863	16,022	43	419	54,306	16
<b>町田市</b>	<b>69,254</b>	<b>19,389</b>	<b>241</b>	<b>1,197</b>	<b>735</b>	<b>16,616</b>	<b>95</b>	<b>505</b>	<b>49,865</b>	<b>22</b>
小金井市	78,628	18,807	295	1,465	902	15,747	0	397	59,821	9
小平市	67,342	18,625	234	1,163	718	16,031	73	406	48,717	25
日野市	71,848	19,050	235	1,167	719	16,450	0	480	52,798	20
東村山市	76,919	18,214	207	1,026	631	15,895	0	456	58,705	13
国分寺市	73,426	19,008	294	1,459	898	15,933	0	425	54,418	15
国立市	80,051	19,585	306	1,518	936	16,372	0	453	60,466	8
福生市	87,163	19,013	198	983	603	16,756	0	472	68,150	2
狛江市	77,413	17,691	260	1,292	797	14,942	0	400	59,722	12
東大和市	76,724	18,571	212	1,053	648	16,145	0	513	58,153	14
清瀬市	84,467	18,269	197	977	602	16,020	0	473	66,198	4
東久留米市	72,232	18,313	215	1,068	659	15,897	0	474	53,919	19
武蔵村山市	82,919	18,678	170	846	521	16,620	0	520	64,242	5
多摩市	72,446	20,033	238	1,181	724	17,155	227	507	52,414	17
稲城市	82,705	18,940	252	1,254	773	15,360	837	465	63,765	6
羽村市	81,755	20,342	215	1,065	654	17,856	0	553	61,412	7
あきる野市	89,748	19,329	185	917	564	16,346	677	640	70,420	1
西東京市	65,424	18,080	242	1,204	741	15,510	0	382	47,344	26
多摩26市	73,304	19,467	244	1,214	748	16,697	96	468	53,837	

【注1】税連動交付金:P.189「財政用語」参照

【注2】多摩26市の値は、26市の人口加重平均

**No.8-2-8-1 市債発行額**

出典:「決算カード」

時点:各会計年度(出納整理期間中の増減含む)

単位:千円、%

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
市債	4,715,200	5,901,800	7,209,500	10,913,200	14,729,000
臨時財政対策債	1,150,000	2,680,000	3,869,000	3,472,000	2,696,000
その他	3,565,200	3,221,800	3,340,500	7,441,200	12,033,000
歳入	144,519,334	153,012,414	153,406,933	159,397,944	222,652,994
市債割合	3.3	3.9	4.7	6.8	6.6

【注1】市債割合とは、歳入に対する市債の割合のことをいう。

【注2】臨時財政対策債とは、地方公共団体の財源不足を補てんするために、特例的に認められている市債のことをいう。

**No.8-2-8-2 市債現在高、市民1人あたり市債現在高**

出典:「決算カード」、「町田市統計書」

時点:各年度末現在(市債現在高)、各年度1月1日現在(人口)

単位:千円、円(1人あたり)

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
市債現在高	74,209,706	74,309,822	75,485,197	79,949,601	87,458,165
市民1人あたり市債現在高	173,156	173,321	176,085	186,440	203,793

【注1】市債現在高は、下水道事業、介護保険事業、病院事業に係る市債を除く、普通会計における市債に限る。

**No.8-2-8-3 市民1人あたり市債現在高【他市比較】**

出典:「東京都市町村普通会計決算」東京都総務局行政部

時点:2019年度(市債現在高)、2020年1月1日現在(人口)

単位:千円、円(1人あたり)

	市債現在高	市民1人あたり市債現在高	市民1人あたり市債現在高 ランキング
八王子市	134,392,286	238,928	19
立川市	23,523,599	127,783	4
武蔵野市	13,238,664	90,138	1
三鷹市	36,308,947	192,660	15
青梅市	33,630,061	252,797	21
府中市	40,437,749	155,391	6
昭島市	19,601,394	172,856	11
調布市	40,728,633	171,812	10
<b>町田市</b>	<b>79,949,601</b>	<b>186,440</b>	<b>13</b>
小金井市	20,635,629	168,721	8
小平市	25,561,976	131,175	5
日野市	35,893,789	192,619	14
東村山市	40,497,643	267,744	25
国分寺市	19,779,353	158,020	7
国立市	13,082,483	171,506	9
福生市	6,994,316	121,393	3
狛江市	19,341,173	232,307	18
東大和市	20,480,369	240,095	20
清瀬市	19,886,029	266,440	23
東久留米市	24,917,108	213,120	17
武蔵村山市	14,705,693	203,168	16
多摩市	14,079,191	94,604	2
稲城市	24,026,219	262,467	22
羽村市	10,247,850	185,133	12
あきる野市	24,876,294	308,383	26
西東京市	54,806,055	267,184	24
多摩26市	811,622,104	194,062	

【注1】この表の26市ランキングについては、数値の小さい市から並べている。

【注2】多摩26市の市民1人あたり市債現在高は、26市の合計市債現在高÷26市の合計人口

**No.8-2-9-1 積立金現在高**

出典:「決算カード」、「決算書」、庁内資料

時点:各会計年度(出納整理期間中の増減含む)

単位:千円

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
財政調整基金	7,529,087	9,699,039	9,523,610	7,876,144	9,016,059
公共施設整備等基金	2,256,229	4,668,839	6,951,091	5,621,077	6,566,417
緑地保全基金	1,825,793	1,776,477	1,680,027	1,559,777	1,491,690
職員退職手当基金	100,000	426,950	997,706	1,296,789	1,580,089
その他	1,808,846	2,003,532	2,439,467	2,713,087	3,090,478
計	13,519,955	18,574,837	21,591,901	19,066,874	21,744,733

【注1】財政調整基金とは、決算剰余金が生じた場合などに積み立て、財源が不足する場合に取崩すことによって、年度間の財源を調整し健全な財政運営を図ることを目的とした基金のことをいう。

【注2】「その他」は、福祉基金、廃棄物減量再資源化等推進整備基金、まちだ未来づくり基金の合計。

**No.8-2-9-2 市民1人あたり積立金現在高【他市比較】**

出典:「東京都町村普通会計決算」東京都総務局行政部

時点:2019年度(積立金現在高)、2020年1月1日現在(人口)

単位:千円、円(1人あたり)

	積立金現在高	市民1人あたり積立金現在高	市民1人あたり積立金現在高 ランキング
八王子市	23,256,120	41,346	23
立川市	25,698,509	139,598	3
武蔵野市	45,073,110	306,889	1
三鷹市	14,266,775	75,701	9
青梅市	6,771,540	50,902	20
府中市	56,514,483	217,170	2
昭島市	12,089,130	106,609	6
調布市	18,165,522	76,630	8
<b>町田市</b>	<b>19,066,874</b>	<b>44,463</b>	<b>22</b>
小金井市	8,457,153	69,147	11
小平市	11,065,149	56,783	18
日野市	12,399,291	66,539	12
東村山市	9,327,184	61,665	14
国分寺市	12,257,738	97,929	7
国立市	5,707,607	74,824	10
福生市	7,843,810	136,137	4
狛江市	4,536,801	54,492	19
東大和市	5,180,195	60,728	16
清瀬市	4,543,176	60,871	15
東久留米市	5,759,540	49,262	21
武蔵村山市	4,768,676	65,882	13
多摩市	18,697,549	125,636	5
稲城市	5,458,582	59,631	17
羽村市	1,671,548	30,197	26
あきる野市	3,041,614	37,706	25
西東京市	8,182,253	39,889	24
多摩26市	349,799,929	83,639	

【注1】多摩26市の市民1人あたり積立金現在高は、26市の合計積立金現在高/26市の合計人口

**No.8-2-10-1 将来にわたる実質的な財政負担**

出典:「決算カード」

時点:各会計年度(出納整理期間中の増減含む)

単位:千円、%

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
市債現在高(a)	74,209,706	74,309,822	75,485,197	79,949,601	87,458,165
債務負担行為翌年度以降支出予定額(b)	62,592,130	61,018,010	66,175,064	65,031,377	50,482,402
積立金現在高(c)	13,519,955	18,574,837	21,591,901	19,066,874	21,744,733
将来にわたる実質的な財政負担(d)=(a+b-c)	123,281,881	116,752,995	120,068,360	125,914,104	116,195,834
標準財政規模(e)	77,188,344	78,603,966	79,400,416	79,102,926	80,743,860
将来にわたる実質的な財政負担の標準財政規模に対する比率(d/e)×100	159.7	148.5	151.2	159.2	143.9

【注1】将来にわたる実質的な財政負担:P.189「財政用語」参照

【注2】将来にわたる実質的な財政負担の標準財政規模に対する比率＝

(市債現在高+債務負担行為翌年度以降支出予定額-積立金現在高)／標準財政規模×100

【注3】債務負担行為翌年度以降支出予定額:P.189「財政用語」参照

【注4】標準財政規模:P.189「財政用語」参照

**No.8-2-11-1 目的別歳出**

出典:「決算カード」

時点:各会計年度(出納整理期間中の増減含む)

単位:千円

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
民生費	73,332,973	72,604,414	73,697,779	76,558,232	78,499,624
衛生費	12,649,264	13,207,252	14,341,677	14,723,579	22,470,209
土木費	9,887,358	10,897,657	13,254,427	13,993,649	10,624,900
教育費	14,642,994	17,582,155	18,187,496	19,796,973	25,519,373
その他	29,387,086	33,848,925	31,419,952	29,251,613	79,594,882
計	139,899,675	148,140,403	150,901,331	154,324,046	216,708,988

**No.8-2-11-2 市民1人あたり目的別歳出【他市比較】**

出典:「東京都市町村普通会計決算」東京都総務局行政部

時点:2019年度(歳出)、2020年1月1日現在(人口)

単位:円

	総計	民生費	衛生費	土木費	教育費	その他	民生費 ランキング
八王子市	365,614	179,763	32,924	35,141	43,419	74,367	19
立川市	410,871	209,028	29,006	28,139	57,755	86,943	2
武蔵野市	466,159	204,337	47,978	50,602	65,861	97,380	6
三鷹市	381,647	196,283	19,095	32,154	42,349	91,767	9
青梅市	383,481	191,580	35,655	27,148	39,487	89,611	13
府中市	395,791	196,880	23,942	30,414	51,625	92,930	8
昭島市	398,450	189,258	32,222	19,123	64,836	93,011	15
調布市	392,282	195,928	21,720	46,024	40,001	88,609	10
<b>町田市</b>	<b>359,880</b>	<b>178,532</b>	<b>34,335</b>	<b>32,633</b>	<b>46,166</b>	<b>68,214</b>	<b>20</b>
小金井市	365,970	178,065	36,137	36,640	29,767	85,361	22
小平市	336,470	177,416	28,584	23,264	37,979	69,229	23
日野市	384,265	178,088	46,194	41,758	38,245	79,982	21
東村山市	362,564	192,114	24,359	33,174	35,725	77,193	11
国分寺市	376,484	173,964	33,227	51,335	45,384	72,573	24
国立市	397,027	204,626	24,793	44,972	40,106	82,530	5
福生市	428,327	208,653	39,717	32,263	57,847	89,848	3
狛江市	346,825	186,104	23,388	23,579	36,575	77,179	17
東大和市	374,363	203,322	26,636	19,348	33,696	91,361	7
清瀬市	415,079	219,730	23,468	16,424	45,023	110,435	1
東久留米市	362,045	191,437	25,945	21,617	42,208	80,838	14
武蔵村山市	389,125	206,960	28,085	31,413	40,702	81,966	4
多摩市	376,029	180,190	28,885	23,120	61,836	81,997	18
稲城市	360,565	164,240	31,450	35,140	53,094	76,641	26
羽村市	406,229	191,762	35,339	41,104	43,173	94,850	12
あきる野市	381,962	166,866	39,399	37,187	35,902	102,608	25
西東京市	345,061	186,562	24,049	14,038	37,481	82,931	16
多摩26市	378,354	188,074	30,583	32,283	44,920	82,493	

【注1】多摩26市の値は、26市の人口加重平均

**No.8-2-12-1 性質別歳出**

出典:「決算カード」

時点:各会計年度(出納整理期間中の増減含む)

単位:千円

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
人件費	21,705,817	21,359,719	21,709,504	21,770,026	21,969,270
扶助費	47,899,576	48,724,141	48,968,155	51,407,969	52,969,253
物件費	19,094,359	19,092,168	19,600,651	21,373,098	25,697,693
普通建設事業費	9,010,155	12,529,169	15,262,199	16,133,435	23,783,915
その他	42,189,768	46,435,206	45,360,822	43,639,518	92,288,857
計	139,899,675	148,140,403	150,901,331	154,324,046	216,708,988

**No.8-2-12-2 市民1人あたり性質別歳出【他市比較】**

出典:「東京都町村普通会計決算」東京都総務局行政部

時点:2019年度(歳出)、2020年1月1日現在(人口)

単位:円

	総計	人件費	扶助費	物件費	普通建設 事業費	その他	扶助費 ランキング
八王子市	365,614	47,233	126,720	45,591	43,615	102,454	9
立川市	410,871	55,891	145,610	64,224	34,668	110,478	3
武蔵野市	466,159	61,882	114,759	105,089	49,990	134,440	15
三鷹市	381,647	52,644	112,522	61,125	33,469	121,886	17
青梅市	383,481	50,530	133,146	57,612	19,618	122,575	6
府中市	395,791	43,873	115,645	79,725	34,367	122,181	14
昭島市	398,450	46,719	133,135	59,698	48,391	110,507	7
調布市	392,282	50,134	105,641	69,898	42,968	123,642	21
<b>町田市</b>	<b>359,880</b>	<b>50,767</b>	<b>119,882</b>	<b>49,842</b>	<b>37,623</b>	<b>101,766</b>	<b>12</b>
小金井市	365,970	49,952	104,474	58,742	37,954	114,848	24
小平市	336,470	47,619	112,231	53,260	16,413	106,947	18
日野市	384,265	53,606	108,903	55,046	54,007	112,703	20
東村山市	362,564	52,542	118,945	52,691	23,739	114,647	13
国分寺市	376,484	54,410	105,517	69,530	41,387	105,640	22
国立市	397,027	65,889	126,425	55,149	28,834	120,730	10
福生市	428,327	64,626	138,417	63,833	44,323	117,127	4
狛江市	346,825	53,884	101,795	53,548	26,394	111,205	26
東大和市	374,363	50,777	133,683	56,101	11,639	122,163	5
清瀬市	415,079	61,222	147,424	47,223	37,691	121,520	2
東久留米市	362,045	46,436	122,778	60,033	22,238	110,560	11
武蔵村山市	389,125	52,815	150,798	49,631	21,718	114,162	1
多摩市	376,029	54,099	103,109	68,799	43,388	106,633	25
稲城市	360,565	56,562	110,074	56,510	46,945	90,474	19
羽村市	406,229	61,456	132,177	60,256	26,557	125,782	8
あきる野市	381,962	52,493	114,147	53,104	24,402	137,816	16
西東京市	345,061	49,596	105,140	54,601	18,434	117,290	23
多摩26市	378,354	51,532	119,294	59,186	35,268	113,073	

【注1】表中のランキングは、扶助費を示す。

【注2】多摩26市の値は、26市の人口加重平均

**No.8-2-13-1 義務的経費、義務的経費比率**

出典:「決算カード」

時点:各会計年度(出納整理期間中の増減含む)

単位:千円、%

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
人件費	21,705,817	21,359,719	21,709,504	21,770,026	21,969,270
扶助費	47,899,576	48,724,141	48,968,155	51,407,969	52,969,253
公債費	6,222,143	6,437,949	6,588,369	6,925,318	7,631,179
計	75,827,536	76,521,809	77,266,028	80,103,313	82,569,702
歳出	139,899,675	148,140,403	150,901,331	154,324,046	216,708,988
義務的経費比率	54.2	51.7	51.2	51.9	38.1

【注1】義務的経費＝人件費＋扶助費＋公債費

【注2】義務的経費比率とは、歳出に対する義務的経費の割合のことをいう。

**No.8-2-13-2 市民1人あたり義務的経費、義務的経費比率【他市比較】**

出典:「東京都市町村普通会計決算」東京都総務局行政部

時点:2019年度(義務的経費)、2020年1月1日現在(人口)

単位:円、%

	総計 (義務的経費)	人件費	扶助費	公債費	義務的 経費比率	義務的 経費比率 ランキング
八王子市	195,293	47,233	126,720	21,340	53.4	19
立川市	221,502	55,891	145,610	20,001	53.9	22
武蔵野市	188,013	61,882	114,759	11,372	40.3	1
三鷹市	192,539	52,644	112,522	27,372	50.4	9
青梅市	206,660	50,530	133,146	22,985	53.9	21
府中市	175,123	43,873	115,645	15,605	44.2	3
昭島市	198,597	46,719	133,135	18,743	49.8	8
調布市	170,092	50,134	105,641	14,317	43.4	2
<b>町田市</b>	<b>186,799</b>	<b>50,767</b>	<b>119,882</b>	<b>16,150</b>	<b>51.9</b>	<b>13</b>
小金井市	173,845	49,952	104,474	19,420	47.5	7
小平市	177,777	47,619	112,231	17,927	52.8	18
日野市	179,884	53,606	108,903	17,375	46.8	6
東村山市	197,904	52,542	118,945	26,417	54.6	24
国分寺市	175,270	54,410	105,517	15,343	46.6	5
国立市	212,646	65,889	126,425	20,332	53.6	20
福生市	216,206	64,626	138,417	13,163	50.5	10
狛江市	177,267	53,884	101,795	21,588	51.1	11
東大和市	203,433	50,777	133,683	18,973	54.3	23
清瀬市	233,794	61,222	147,424	25,148	56.3	25
東久留米市	188,628	46,436	122,778	19,414	52.1	15
武蔵村山市	220,800	52,815	150,798	17,188	56.7	26
多摩市	170,984	54,099	103,109	13,776	45.5	4
稲城市	187,854	56,562	110,074	21,218	52.1	14
羽村市	211,664	61,456	132,177	18,030	52.1	16
あきる野市	197,572	52,493	114,147	30,932	51.7	12
西東京市	181,856	49,596	105,140	27,120	52.7	17
多摩26市	190,257	51,532	119,294	19,431	50.3	

【注1】義務的経費比率とは、歳出に対する義務的経費の割合のことをいう。

【注2】この表の26市ランキングについては、数値の小さい市から並べている。

【注3】多摩26市の義務的経費は、26市の人口加重平均

多摩26市の義務的経費比率は、26市の平均義務的経費/26市の平均歳出×100

**No.8-2-13-3 人件費のうち職員給**

出典:「決算カード」

時点:各会計年度(出納整理期間中の増減含む)

単位:千円、%

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
人件費	21,705,817	21,359,719	21,709,504	21,770,026	21,969,270
職員給	14,337,360	14,208,242	14,227,125	14,224,555	13,808,113
その他	7,368,457	7,151,477	7,482,379	7,545,471	8,161,157
人件費に対する職員給の割合	66.1	66.5	65.5	65.3	62.9

**No.8-2-14-1 基準財政収入額、基準財政需要額、財政力指数**

出典:「決算カード」

時点:各会計年度(出納整理期間中の増減含む)

単位:千円

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
基準財政収入額	58,489,941	57,874,419	56,649,088	56,843,395	59,193,043
基準財政需要額	59,145,799	59,188,606	58,453,585	59,001,897	61,171,948
財政力指数	0.982	0.983	0.979	0.970	0.967

【注1】基準財政収入額とは、各地方公共団体が標準的な状態において徴収が見込まれる税収入等を、一定の方法により算出した額のことをいう。

【注2】基準財政需要額とは、各地方公共団体が合理的かつ妥当な水準における行政を行うために必要となる経費を、一定の方法により算出した額のことをいう。

【注3】財政力指数:P.189「財政用語」参照

**No.8-2-15-1 経常収支比率**

出典:「決算カード」

時点:各会計年度(出納整理期間中の増減含む)

単位:%

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
経常収支比率	93.7	90.5	91.3	93.3	91.9

【注1】経常収支比率:P.189「財政用語」参照

**No.8-2-14-2 財政力指数【他市比較】****No.8-2-15-2 経常収支比率【他市比較】**

出典:「東京都市町村普通会計決算」東京都総務局行政部

時点:2019年度

単位:%

	財政力指数	財政力指数 ランキング	経常収支比率		経常収支比 率 ランキング
				減税補てん 債、臨時財 政対策債を 分母に加え ない率	
八王子市	0.943	16	87.3	92.8	3
立川市	1.166	5	91.0	91.0	7
武蔵野市	1.515	1	84.3	84.3	1
三鷹市	1.171	4	89.8	89.8	5
青梅市	0.860	19	100.2	108.5	24
府中市	1.213	2	87.0	87.0	2
昭島市	0.977	11	93.9	95.8	14
調布市	1.181	3	89.7	89.7	4
<b>町田市</b>	<b>0.970</b>	<b>13</b>	<b>93.3</b>	<b>97.6</b>	<b>11</b>
小金井市	1.035	7	95.6	95.6	20
小平市	0.973	12	93.7	96.7	12
日野市	0.968	14	95.0	99.0	16
東村山市	0.808	23	96.8	104.2	22
国分寺市	1.031	8	94.5	94.5	15
国立市	1.012	9	100.2	100.2	24
福生市	0.772	24	91.3	94.9	9
狛江市	0.883	18	92.7	97.4	10
東大和市	0.851	20	96.6	103.9	21
清瀬市	0.682	26	95.1	101.0	17
東久留米市	0.837	21	93.7	100.4	12
武蔵村山市	0.827	22	95.3	102.0	19
多摩市	1.139	6	90.6	90.6	6
稲城市	0.957	15	91.1	94.6	8
羽村市	0.986	10	102.6	105.3	26
あきる野市	0.724	25	99.3	106.2	23
西東京市	0.905	17	95.1	100.5	17
多摩26市	1.002		92.1	95.1	

【注1】この表の経常収支比率の26市ランキングについては、数値の小さい市から並べている。

【注2】多摩26市の財政力指数、経常収支比率は出典の市計より。

**No.8-2-16-1 実質収支比率**

出典:「決算カード」

時点:各会計年度(出納整理期間中の増減含む)

単位:%

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
実質収支比率	5.6	5.9	3.0	5.7	5.1

【注1】実質収支比率:P.189「財政用語」参照

**No.8-2-17-1 実質公債費比率**

出典:「決算カード」

時点:各会計年度(出納整理期間中の増減含む)

単位:%

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
実質公債費比率	-1.3	-0.6	-0.3	0.0	0.5

【注1】実質公債費比率:P.189「財政用語」参照

**No.8-2-16-2 実質収支比率【他市比較】****No.8-2-17-2 実質公債費比率【他市比較】**

出典:「東京都市町村普通会計決算」東京都総務局行政部、「多摩地域データブック」東京市町村自治調査会

時点:2019年度

単位:%

	実質収支比率	実質収支比率 ランキング	実質公債費比率	実質公債費比率 ランキング
八王子市	1.5	26	-0.7	5
立川市	10.5	1	2.4	20
武蔵野市	6.7	5	-0.4	6
三鷹市	2.8	23	1.4	13
青梅市	2.7	24	2.7	21
府中市	4.6	18	2.7	21
昭島市	6.1	8	0.3	10
調布市	6.1	8	0.3	10
<b>町田市</b>	<b>5.7</b>	<b>14</b>	<b>0.0</b>	<b>8</b>
小金井市	9.9	2	2.1	19
小平市	6.0	10	1.7	16
日野市	5.6	15	-2.2	3
東村山市	6.7	5	2.7	21
国分寺市	5.3	17	-1.2	4
国立市	2.4	25	-0.4	6
福生市	5.8	11	-3.2	1
狛江市	5.8	11	1.9	18
東大和市	8.1	3	-2.7	2
清瀬市	4.4	19	3.5	25
東久留米市	7.6	4	0.3	10
武蔵村山市	5.8	11	0.0	8
多摩市	4.2	20	1.6	14
稲城市	5.5	16	2.9	24
羽村市	6.2	7	1.6	14
あきる野市	3.7	21	8.2	26
西東京市	3.6	22	1.7	16
多摩26市	5.1		1.0	

【注1】この表の実質公債費比率の26市ランキングについては、数値の小さい市から並べている。

【注2】多摩26市の実質収支比率は出典の市計より、実質公債費比率は各市の数値の平均。

---

---

## 町田市データブック 2021 年度

発 行 2021 年 12 月発行  
東京都町田市

編 集 政策経営部企画政策課  
〒194-8520  
東京都町田市森野二丁目 2 番 22 号  
電話番号 042-722-3111 (代)

印 刷 庁内印刷

---

---

刊行物番号 21-12